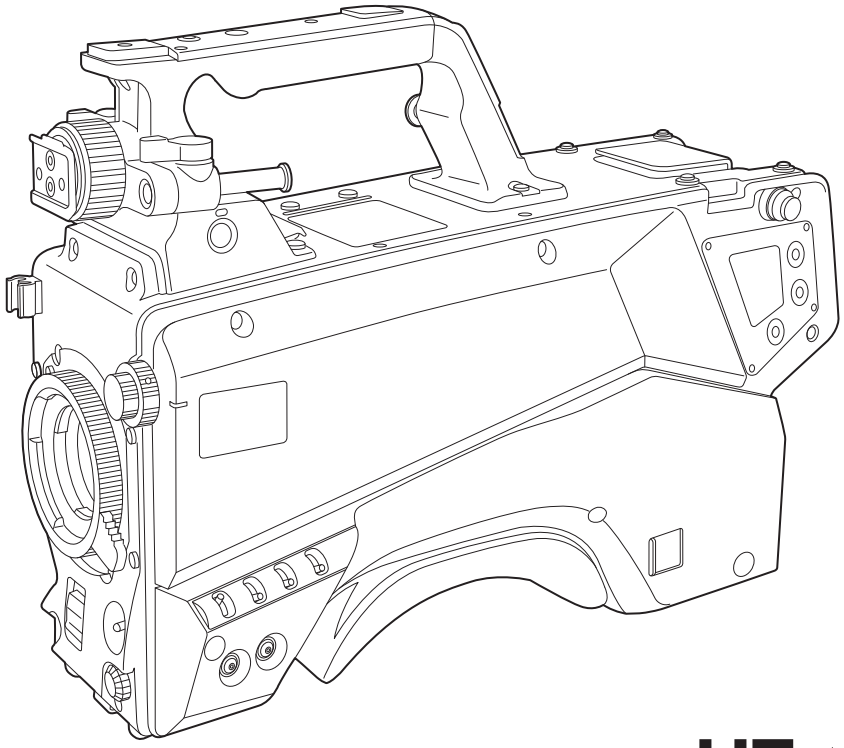
Panasonic

取扱説明書

4Kスタジオカメラ

品番 AK-UCX100



このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
■ 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
■ ご使用前に「**安全上のご注意**」（4 ～ 6ページ）**を必ずお読みください。**
■ 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

W0125YM3056 -FJ

JAPANESE
DPQP1604WA

- Microsoft®、Windows®、Windows® 10、Windows® 11 および Microsoft Edge は、米国 Microsoft Corporation の、米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。
- Apple、Mac、macOS、Safari は、米国およびその他の国で登録された Apple Inc. の商標です。
- Chrome™ ブラウザは Google LLC の商標です。
- Intel®、Intel® Core™ は、アメリカ合衆国およびその他の国におけるインテルコーポレーションまたはその子会社の商標または登録商標です。
- NDI® は 映像伝送・制御技術であり、Vizrt NDI AB の米国およびその他の国における登録商標です。
- その他、本文中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。
- 本機に含まれるソフトウェアの譲渡、コピー、逆アセンブル、逆コンパイル、リバースエンジニアリング、ならびに輸出法令に違反した輸出行為は禁じられています。

本書の見かた

■ 本書内のイラストについて

- カメラ本体、メニュー画面などのイラストは、実際とは異なることがあります。
- Microsoft Corporation のガイドラインに従って画面写真を使用しています。

■ 表記について

- [ ] の語句はビューファインダーやモニターに表示される内容を示しています。
- 〈 〉 の語句はボタン名など本機の意匠文字を示しています。

■ 参照ページについて

- 本書では、参照ページを（00 ページ）のように示しています。

■ 用語について

- Windows® Internet Explorer® 11 32/64 ビット日本語版を Internet Explorer と表記しています。
- カメラコントロールユニットは、「CCU」と記載しています。
- リモートオペレーションパネルは、「ROP」と記載しています。

もくじ

安全上のご注意 4

第 1 章　概要　7

ご使用の前に 8
お知らせ 10
　必要なパーソナルコンピューターの環境 10
　免責について 10
　ネットワークに関するお願い 11
システムで活用 12
　基本構成機器 12
　拡張構成機器 12
　システムブロック図 13
付属品 17
フレーム周波数の設定 18

第 2 章　各部の名称　19

前面部 20
左面部 21
右面部 23
後面部 24
上面部 27
底面部 28

第 3 章　準備　29

SFP モジュールの取り付け 30
　BiDi SFP28 モジュールの取り付けかた 30
ビューファインダーの取り付け 31
　ビューファインダーの取り付けかた 31
　リアビューファインダーの取り付けかた 32
ビューファインダーのオンスクリーン表示 33
マイクの接続 37
　ビューファインダー（別売品）に取り付けて使用する場合 37
　マイクホルダー（別売品）を取り付けて使用する場合 38
レンズの調整 39
　バックフォーカス調整 39
外部 DC 電源の使用 40
データについて 41
　ユーザーファイル 41

第 4 章　メニュー操作　42

メニューの操作 43
　基本操作 43
メニューの構成 45
　[ALL MENU] 45
メニューの一覧 46
　[BASIC CONFIG] 46
　[NETWORK] 48
　[OUTPUT] 50
　[RETURN] 51
　[AUDIO] 52
　[INTERCOM] 53
　[IP SIGNAL] 57
　[PAINT] 70
　[FOCUS SETTING] 90
　[LENS] 92
　[SUB DISPLAY] 92
　[TRACKING DATA OUTPUT] 97
　[SWITCH ASSIGN] 97
　[FILES] 98
　[MAINTENANCE] 100

第 5 章　Web 画面　105

ユーザーアカウントの設定 106
　ソフトウェアについて 106
　ユーザーアカウント設定ソフトウェアを使用して本機にユーザーアカウントを設定する 106
ネットワークの設定 107
　ソフトウェアについて 107
　EasyIP Setup Tool Plus を使用して本機の設定をする 107
Web 画面の表示 109
　Web 画面に関するお知らせ 109
　パーソナルコンピューターによる Web 画面の表示 109
　ライブ画面 [Live]/Web 設定画面 [Setup] の切り替え 111
　Web 画面へのログイン 111
Web 画面からの操作 112
　ライブ画面 [Live] 112
Web 画面からの設定 116
　Web 設定画面 [Setup] 116
　設定状態画面 [Setting status] 118
　システム画面 [System] 118
　信号設定画面 [Signals] 123
　カメラ画面 [Image/Audio] 124
　連携機能 [Linkage] 158
　ユーザー管理画面 [Access mng.] 160
　ネットワーク設定画面 [Network] 163
　メンテナンス画面 [Maintenance] 180

第 6 章　メンテナンス　184

故障かな？と思ったら 185
　操作関係 185
　IP 映像関係 186
　Web 画面 187
ご使用時間の確認 188
ワーニング表示について 189
　カメラワーニング表示 189
　その他のワーニング表示 189
本機搭載ファームウェアのアップデート 190
保証とアフターサービス（よくお読みください） 191
　修理を依頼されるとき 191

第 7 章　仕様　192

定格 193
　寸法図 193
　定格 193
コネクター信号の内容 196
さくいん 200

安全上のご注意 （必ずお守りください）

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ **警告**	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠ **注意**	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。

⚠ 警告

	■ 本機の設置や接続工事は販売店に依頼する （設置や接続工事には技術と経験が必要です。火災、感電、けが、器物損壊の原因となります。） ⇒必ず販売店に依頼してください。
	■ 電源を入れたまま設置や接続工事、配線をしない （火災や感電の原因となります。）
異常、故障時には直ちに使用を中止する 	■ 異常があったときは、光ファイバーマルチケーブルを抜く ［内部に金属や水などの液体、異物が入ったとき、落下などで外装ケースが破損したとき、煙や異臭、異音などが出たとき］ （そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。） ⇒本機を電源から完全に遮断するには、光ファイバーマルチケーブルを抜く必要があります。 ⇒お買い上げの販売店にご相談ください。
異常、故障時には直ちに使用を中止する  電源プラグを抜く	■ 外部 DC 電源を使用時、異常があったときは、電源プラグを抜く ［内部に金属や水などの液体、異物が入ったとき、落下などで外装ケースが破損したとき、煙や異臭、異音などが出たとき］ （そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。） ⇒本機を電源コンセントの近くに設置し、電源プラグに簡単に手が届くようにしてください。 ⇒本機を電源から完全に遮断するには、電源プラグを抜く必要があります。 ⇒お買い上げの販売店にご相談ください。
	■ 光ファイバーマルチケーブルは、根元まで確実に差し込む （差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。） ⇒傷んだケーブルやゆるんだケーブルのまま使用しないでください。 （光ファイバーマルチケーブルは本機に付属しておりませんが、安全にご使用いただくために、お守りください。）
	■ 付属品・オプションは、指定の製品を使用する （本体に誤って指定外の製品を使用すると、火災や事故を起こす原因になります。）
	■ 外部 DC 電源を使用するときは、電源電圧、および DC IN 端子のピン配列を確認し、極性を正しく接続する （誤って接続すると火災や故障の原因になります。） ⇒詳しくは 40 ページを参照してください。 （DC 電源は本機に付属しておりませんが、安全にご使用いただくために、お守りください。）

⚠ 警告（つづき）

	■ 外部 DC 電源は、定格電圧、電流を確認し、適切なものを使用する （不適切な外部 DC 電源を使用すると火災の原因になります。） ⇒詳しくは 40 ページを参照してください。 ⇒外部 DC 電源に付属の説明書をよくお読みのうえ、正しく使用してください。 ⇒外部 DC 電源は、電気用品安全法のマーク  の付いたものをご使用ください。
	■ 光ファイバーマルチケーブルのほこりなどは、定期的にとる （ケーブルにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災や感電の原因になります。） ⇒半年に一度はケーブルを抜いて、乾いた布で拭いてください。
	■ レンズの取り付け・締め付けは確実に行う （落下すると事故の原因になります。）
	■ 光ファイバーマルチケーブルが破損するようなことはしない ［傷つける、加工する、高温部や熱機具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重いものを載せる、束ねるなど］ （傷んだまま使用すると、火災・ショートの原因になります。） ⇒光ファイバーマルチケーブルの修理は、お買い上げの販売店にご相談ください。 （光ファイバーマルチケーブルは本機に付属しておりませんが、安全にご使用いただくために、お守りください。）
	■ カメラナンバーシート、カメラハンガー、ねじは、乳幼児の手の届くところに置かない （誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。） ⇒万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。
	■ 電源を入れたまま長時間直接触れて使用しない （本機の温度の高い部分に、長時間直接触れていると低温やけど * の原因になります。） ⇒長時間ご使用の場合は、三脚などをお使いください。 * 血流状態が悪い人（血管障害、血液循環不良、糖尿病、強い圧迫を受けている）や、皮膚感覚が弱い人などは、低温やけどになりやすい傾向があります。
	■ 内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたりぬらしたりしない （ショートや発熱により、火災・感電・故障の原因になります。） ⇒機器の上や近くに液体の入った花びんなどの容器や金属物を置かないでください。
	■ 不安定な場所に置かない （落ちたり、倒れたりして、けがの原因になります）
	■ 光ファイバーコネクターや光ファイバーマルチケーブルの先端を直視しない （内部のレーザー光源を直視すると、視力障害の原因になることがあります。）
 分解禁止	■ 分解や改造をしない （火災の原因になります。また、使用機器を損傷することがあります。） ⇒内部の点検や修理などは、お買い上げの販売店にご相談ください。
 接触禁止	■ 雷が鳴り出したら、本機や光ファイバーマルチケーブルには触れない （感電の原因になります。）
 水場使用禁止	■ 水場で使用しない （火災や感電の原因になります）
 ぬれ手禁止	■ ぬれた手で光ファイバーマルチケーブルやコネクターに触れない （感電の原因になります）

⚠ 注意

	■ 本機の放熱を妨げない ［通風孔やファンは、ふさがない、横倒し、逆さまにしない］ （内部に熱がこもり、火災の原因になります。）
	■ 三脚を取り付けた状態で、本機のハンドルを使って持ち上げない （三脚を取り付けると、三脚の重さも本機のハンドルに加わるため、ハンドルが破損し、けがの原因になります。） ⇒三脚を取り付けているときは、必ず、三脚を持って運搬してください。
	■ レンズやファインダーを太陽や強い光源に向けたままにしない （レンズにより集光されると、内部部品が加熱・損傷し、火災、故障の原因となります。）
	■ インターカム使用時は音量を上げすぎない （インターカムから大きな音量で聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。）
	■ コンバージョンレンズなどを装着した状態で、ハンドルを持って振り回したり、ゆさぶったり、振り下ろしたりしない （コンバージョンレンズなどの質量増加により、ハンドルを持って衝撃を加えると、ハンドルが破損し、けがの原因になります。）
	■ 油煙や湯気の当たるところ、湿気やほこりの多いところに置かない （電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災・感電の原因になることがあります。たばこの煙なども製品の故障の原因になることがあります。）
	■ 直射日光の当たる場所や異常に温度が高くなる場所に置かない （特に真夏の車内、車のトランクの中は、想像以上に高温（約 60℃以上）になります。本機を絶対に放置しないでください。外装ケースや内部部品が劣化するほか、火災の原因になります。）
	■ 光ファイバーマルチケーブルやコネクターを抜くときは、コードを引っ張らない （コードが傷つき、火災や感電の原因になります。） ⇒必ずコネクターを持って抜いてください。
	■ 本機の上に重いものを置いたり、乗ったりしない （落下したり倒れたりして壊れ、けがの原因になります。また、重さで外装ケースが変形し、内部部品が破損すると、火災・故障の原因になります。）
	■ 落としたり、破損させたりしない （本機を落としたり、破損させたりしたまま使用すると、火災や感電の原因となります。） ⇒直ちに光ファイバーマルチケーブルを抜いて、販売店にご連絡ください。
	■ レーザー光を直接見ないでください
	■ 長期間使用しないときや、お手入れのときは、光ファイバーマルチケーブルや DC コードを外す （火災や感電の原因になります。）
	■ 移動するとき、接続したコードに力が加わらないよう注意する （コードが傷つき、火災や感電の原因になります。また、コードが引っ掛かって、けがの原因になります。）
	■ 1 年に 1 回をめやすに、販売店に内部の掃除の相談をする （本機の内部にほこりがたまったまま使用すると、火災や故障の原因になります。）
	■ コードを引き回す場合、足など引っ掛けないよう固定したりカバーなどをする （足などを引っ掛けると、けがの原因になります。また、コードが傷つき、火災の原因にもなります。）

第 1 章　概要

ご使用になる前に本章をお読みください。

ご使用の前に

■ CCU との接続について
- 本機は確実に接地された指定の CCU に接続してください。

■ 撮影は適正な照明のもとで行ってください
- 美しいカラー映像を得るには適正な照明で撮影してください。
- 蛍光灯の照明では正しい色が出にくいことがあります。必要に応じて適正な照明をお選びください。
- 明るすぎるところでは ND フィルターをお使いください。

■ ケーブルの抜き差しは電源を切ってください
- ケーブルの抜き差しは必ず機器の電源を切ってから行ってください。

■ 取り扱いについて
- 落としたり、強い衝撃や振動を与えたりしないでください。故障の原因になります。

■ 光学系部には触れないでください
- 光学系部はカメラの「生命」です。レンズを外したときなど、光学系には絶対に触れないでください。万一、ほこりが付いた場合は、カメラ用のブロワーやレンズクリーニングペーパーで軽く清掃してください。

■ 太陽光やレーザー光に向けないでください
- 太陽光・レーザー光などを長時間撮像すると、MOS を破壊する原因となります。

■ 雨天・降雪・海岸・水辺での使用について
- レインカバー（別売品）をかぶせるなどして、機器がぬれたり水が入ったりしないようにしてください。

■ 湿気、ほこりについて
- 湿気、ほこりの多いところは内部の部品が傷みやすくなります。避けてください。
- 使用していない端子類には保護キャップをかぶせておいてください。

■ 使用温度範囲について
- 次のようなところでは画質低下や内部の部品に悪影響を与えます。避けてください。
  –10 ℃以下の寒いところ
  45 ℃以上の暑いところ
- 低温環境下では予熱が必要になります。⚠が消灯していることを確認し、ご使用ください。

■ お手入れについて
- 電源を切って乾いた布で拭いてください。ほこりがとれにくいときは、台所用洗剤を布に浸み込ませて軽く拭いてください。
- レンズの清掃はレンズクリーニングペーパー（メガネやカメラなどの清掃に使うもの）で行ってください。

■ 光ファイバーコネクターについて
- 光ファイバーコネクターが汚れている場合は、光信号の送受信状態が低下します。清掃してください。（24 ページ）

■ 冷却ファンについて
- 内部には冷却ファンが付いています。
- 冷却ファンは消耗品です。約 25,000 時間を目安に交換してください。交換は必ず販売店へ依頼してください。

■ 周辺機器ソフトウェアについて
- AK-UCX100 に接続する周辺機器（CCU、ROP）は、ソフトウェアのバージョンアップが必要なことがあります。
- 詳細については、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

■ 1 年に 1 回をめやすに、販売店に内部の掃除についてご相談ください
- 本機の内部にほこりがたまったまま使用し続けると、火災・故障の原因となることがあります。

■ 個人情報の保護について
- 本機を使用したシステムで撮影された本人が判別できる映像情報は、「個人情報の保護に関する法律」で定められた個人情報に該当します。法律に従って、映像情報を適正にお取り扱いください。
- 「個人情報」については、経済産業省「個人情報の保護に関する法律についての経済産業分野を対象とするガイドライン」における「個人情報に該当する事例」を参照してください。

■ 本製品に関するソフトウェア情報
- 本製品には、GNU General Public License（GPL）、ならびに GNU Lesser General Public License（LGPL）に基づきライセンスされるソフトウェアが含まれており、お客様は、これらのソフトウェアのソースコードの入手・改変・再配布の権利があることをお知らせいたします。
  本製品には、MIT-License に基づきライセンスされるソフトウェアが含まれています。
  本製品には、The BSD License に基づきライセンスされるソフトウェアが含まれています。
  ソースコードの入手については、次の Web サイトを参照してください。
  https://connect.panasonic.com/jp-ja/products-services_proav
  なお、お客様が入手されたソースコードの内容などについてのお問い合わせは、ご遠慮ください。

■ H.264/H.265 特許プールライセンスについて

• 本製品は、AVC Patent Portfolio License に基づきライセンスされており、以下に記載する行為にかかわるお客様の個人的かつ非営利目的の使用を除いてはライセンスされておりません。

(i) 画像情報を AVC 規格に準拠して (以下、AVC ビデオ) 記録すること

(ii) 個人的活動に従事する消費者によって記録された AVC ビデオ、または、ライセンスを受けた提供者から入手した AVC ビデオを再生すること

詳細については MPEG LA, LLC の Web サイト (http://www.mpegla.com) を参照してください。

■ 廃棄のときは

• 本機のご使用を終え、廃棄されるときは環境保全のため、専門の業者に廃棄を依頼してください。

■ JPEG XS patent pool licensing

This product or service includes JPEG XS compliant features that are covered by patents in the United States and in other jurisdictions owned by intoPIX SA (“intoPIX”) and/or Fraunhofer-Gesellschaft zur Foerderung der angewandten Forschung E.V. (“Fraunhofer”) and listed at www.jpegxspool.com. Additional patents may be pending in United States and elsewhere.

お知らせ

必要なパーソナルコンピューターの環境

CPU	Intel® Core™ 第 7 世代（Kaby Lake 以降）推奨
メモリー	【Windows の場合】 4 GB 以上 【Mac の場合】 4 GB 以上
ネットワーク機能	100BASE-T/TX または 1000BASE-T RJ-45 コネクター
画像表示機能	解像度：1920 × 1080 ピクセル以上、 発色　：True Color 24 ビット以上
対応 OS と Web ブラウザー	【Windows】 Microsoft® Windows® 11 Microsoft® Windows® 10 Microsoft Edge（最新版） Google Chrome
	【Mac】 macOS15 macOS14 macOS13 Safari Google Chrome

重要

- **必要なパーソナルコンピューターの環境を満たしていない場合には、画面の描画が遅くなったり、Web ブラウザーが操作できなくなったりするなどの不具合が発生するおそれがあります。**

NOTE

- 本体ソフトのバージョンによっては、アップデートが必要になります。
- 対応 OS と Web ブラウザーに関する最新情報については、下記の Web サイトのサポートサイトをご覧ください。
  日本語：https://connect.panasonic.com/jp-ja/products-services_proav
  英語：https://pro-av.panasonic.net/en/

免責について

当社はいかなる場合も、次の項目に関して一切の責任を負わないものとします。

- 本機に関連して直接または間接に発生した、偶発的、特殊、または結果的損害・被害
- お客様の誤使用や不注意による障害または本機の破損など
- お客様による本機の分解、修理または改造が行われた場合
- 本機の故障・不具合を含む何らかの理由または原因により、映像が表示できないことによる不便・損害・被害
- 第 3 者の機器などと組み合わせたシステムによる不具合、あるいはその結果被る不便・損害・被害
- 取り付け方法の不備など、本商品の不良によるもの以外の事故に対する不便・損害・被害
- 登録した情報内容が何らかの原因により、消失してしまうこと
- 本体またはパーソナルコンピューターに保存された画像データ、設定データの消失あるいは漏えいなどによるいかなる損害、クレームなど

ネットワークに関するお願い

本機はネットワークへ接続して使用するため、以下のような被害を受けることが考えられます。

①本機を経由した情報の漏えいや流出
②悪意を持った第三者による本機の不正操作
③悪意を持った第三者による本機の妨害や停止

このような被害を防ぐため、お客様の責任の下、下記のような対策も含め、ネットワークセキュリティ対策を十分に行ってください。これらの被害について、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

- ファイアウォールなどを使用し、安全性の確保されたネットワーク上で本機を使用する。
- パーソナルコンピューターが接続されているシステムで本機を使用する場合、コンピューターウイルスや不正プログラムの感染に対するチェックや駆除が定期的に行われていることを確認する。
- 不正な攻撃から守るため、ユーザー名とパスワードを設定し、ログインできるユーザーを制限する。
- 管理者で本機にアクセスした後は、必ずすべての Web ブラウザーを閉じる。
- 管理者のパスワードは、定期的に変更する。
- パスワードは第三者が容易に推測できないよう、アルファベット大文字、アルファベット小文字、数字、特殊記号の少なくとも 3 つを含め 8 文字以上で設定してください。
- 本機内の設定情報をネットワーク上に漏えいさせないため、ユーザー認証でアクセスを制限するなどの対策を実施する。
- 本機、ケーブルなどが容易に破壊されるような場所には設置しない。
- 公衆回線を利用した接続はしない。

NOTE

ユーザー認証について

- 本機では、ユーザー認証機能はダイジェスト認証またはベーシック認証を使用しています。認証機能を有した専用機を用いないでベーシック認証を使用した場合、パスワードが漏えいする危険性があります。ダイジェスト認証を使用するか、ホスト認証を使用することを推奨します。

使用時の制約事項

- 本機とコントローラーもしくはパーソナルコンピューターを接続するネットワークは、同一セグメントを推奨します。
  セグメントが異なる接続を行う場合は、ネットワーク機器固有の設定などに依存した事象が起きる可能性がありますので、運用開始前に十分確認を行ってください。
- ROP を使用する場合、ダイジェスト認証のときは [Wait time mode] を [Mode2] に設定してご利用ください。（160 ページ）
  [Wait time mode] を [Mode1] に設定している場合、スムーズな操作性が損なわれる可能性があります。

システムで活用

4K スタジオカメラ（AK-UCX100）と周辺機器から構成される標準システムの例を示します。
接続機器については、各機器の取扱説明書を参照してください。

基本構成機器

基本のシステム構成には、レンズ、4K スタジオカメラ、ビューファインダー、カメラコントロールユニット（CCU）またはカメラファイバーアダプター、およびリモートオペレーションパネル（ROP）が含まれます。

品名	品番	備考
0.7 型 FHD OLED ビューファインダー	AJ-CVF70G	4K スタジオカメラ用のビューファインダーです。
3.45 型カラービューファインダー	AJ-CVF25G	—
9 型 LCD ビューファインダー	AK-HVF100G	4K スタジオカメラ用の LCD ビューファインダーです。
レンズ	FUJINON/CANON	—
カメラコントロールユニット（CCU）	AK-UCU700/AK-UCU700S/AK-UCU710/ AK-UCU710S	4K スタジオカメラ用のカメラコントロールユニットです。 光ファイバーマルチケーブルで 4K スタジオカメラに接続します。 AK-UCU700/AK-UCU700S/AK-UCU710/ AK-UCU710S 以外は、接続しないでください。
リモートオペレーションパネル（ROP）	AK-HRP1010G AK-HRP1015G	ROP ケーブル使って CCU に接続し、カメラ、CCU、レンズをリモートでコントロールします。
カメラファイバーアダプター	AK-CFA100	4K スタジオカメラ用のカメラファイバーアダプターです。 光ファイバーマルチケーブルで 4K スタジオカメラに接続します。

拡張構成機器

基本構成機器に加えて、次の機器を使用できます。

品名	品番	備考
マイクキット	AG-MC200G	「マイクの接続」（37 ページ）
マイクホルダー	AJ-MH800G	「マイクの接続」（37 ページ）
5G モバイルルーター（USB テザリング対応）*	—	無線回線を使用して映像伝送が可能となります。
マスターセットアップユニット	AK-MSU1000GJ	複数のカメラを制御しない場合は、マスターセットアップユニットは不要です。
ビルドアップユニット	AK-HBU500G	4K スタジオカメラに大型レンズを取り付けることができ、大型カメラと同等の操作ができるようになります。 AK-HBU500G 以外は、接続しないでください。
三脚アダプター	SHAN-TM700	「三脚取り付け部」（20 ページ）

* 接続可能な 5G モバイルルーターについては、次の Web サイトのサポートデスクを参照してください。
https://connect.panasonic.com/jp-ja/products-services_proav

システムブロック図

CCU と接続する場合

- 図 1 のように、〈SFP1〉端子に SFP28 モジュールを接続します。（工場出荷状態）
- [ALL MENU] → [BASIC CONFIG] → [OPT MODE] → [CCU CONNECT] に設定します。

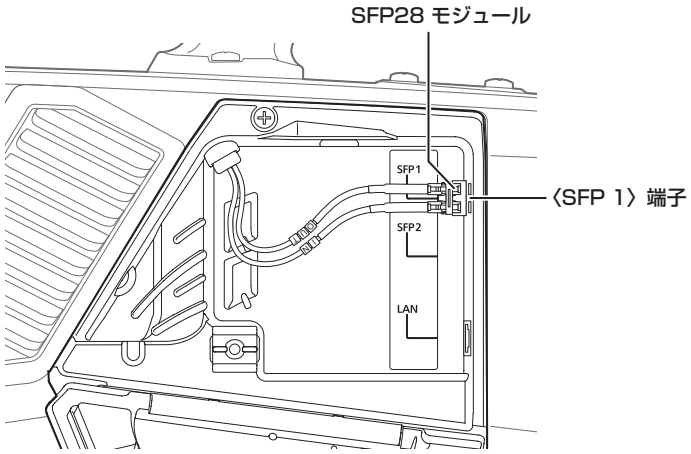
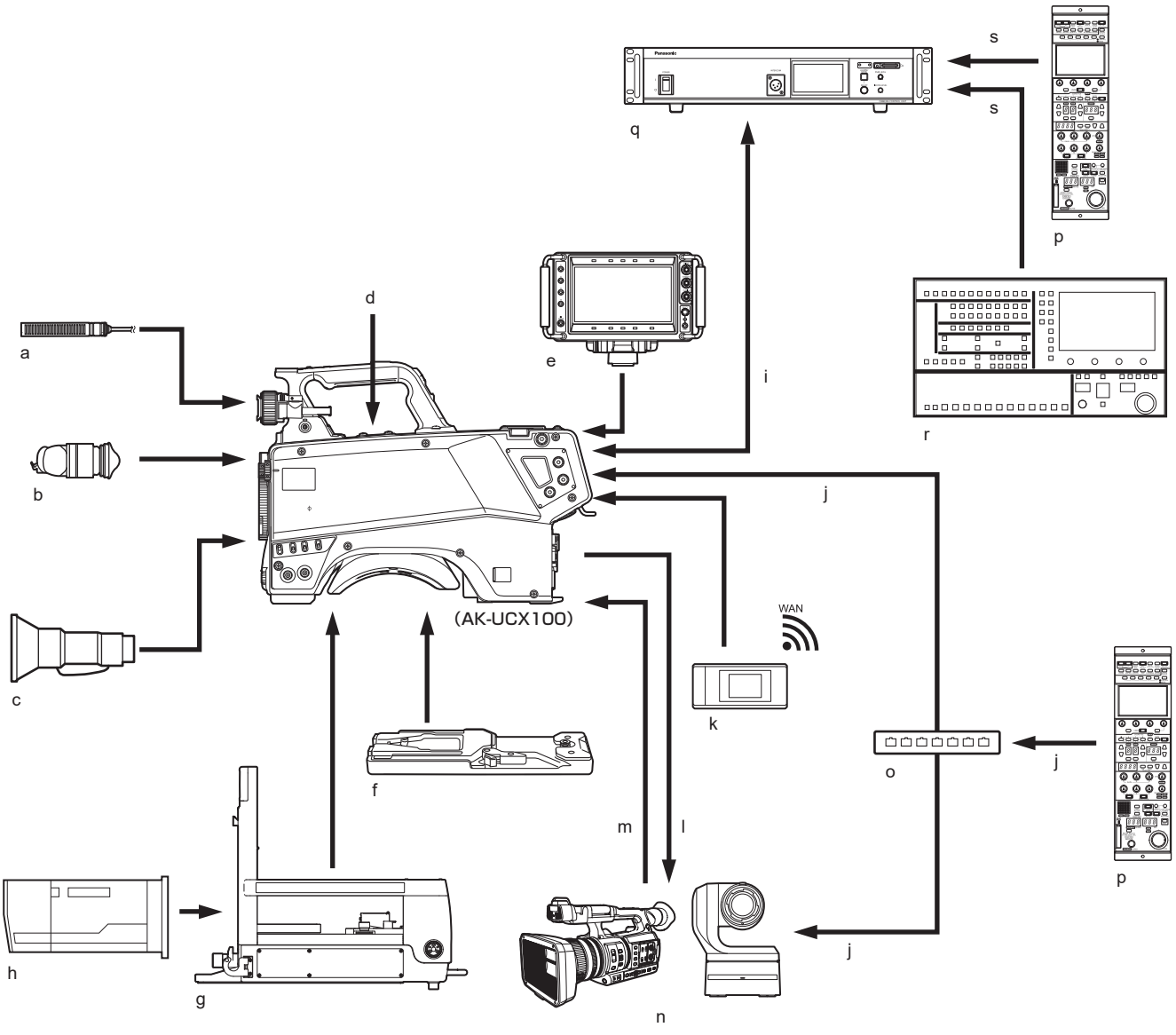


図 1



a: マイク
b: カラービューファインダー
c: レンズ
d: マイクホルダー
e: LCD ビューファインダー
f: 三脚アダプター
g: ビルドアップユニット
h: 大型レンズ
i: 光ファイバーマルチケーブル
j: LAN ケーブル
k: 〈USB3.0 HOST〉5G モバイルルーター
l: 〈REF OUT〉BNC ケーブル
m: 〈TRUNK IN〉BNC ケーブル
n: カメラレコーダー、リモートカメラなど
o: PoE 対応スイッチングハブ
p: リモートオペレーションパネル（ROP）
q: カメラコントロールユニット（CCU）
r: マスターセットアップユニット
s: ROP ケーブル

カメラファイバーアダプターと接続する場合

- 図 2 のように、〈SFP1〉端子に SFP28 モジュールを接続します。（工場出荷状態）
  BiDi SFP28 モジュール 2 個を使用してリダンダンシー構成にすることができます。取り付け方法については、「SFP モジュールの取り付け」（30 ページ）を参照してください。
- [ALL MENU] → [BASIC CONFIG] → [OPT MODE] を [CCU CONNECT] 以外に設定します。

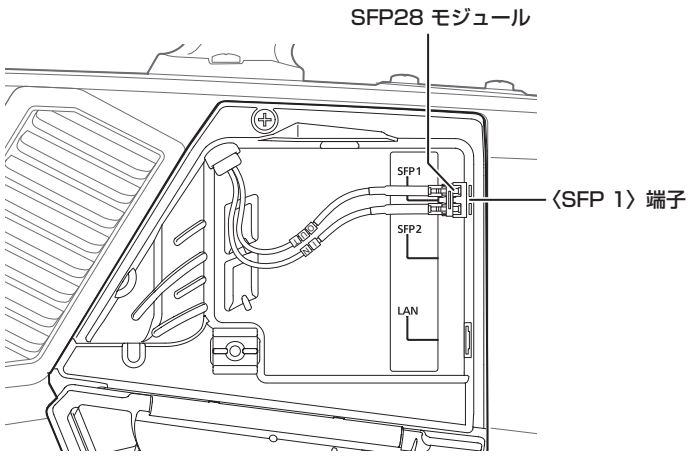
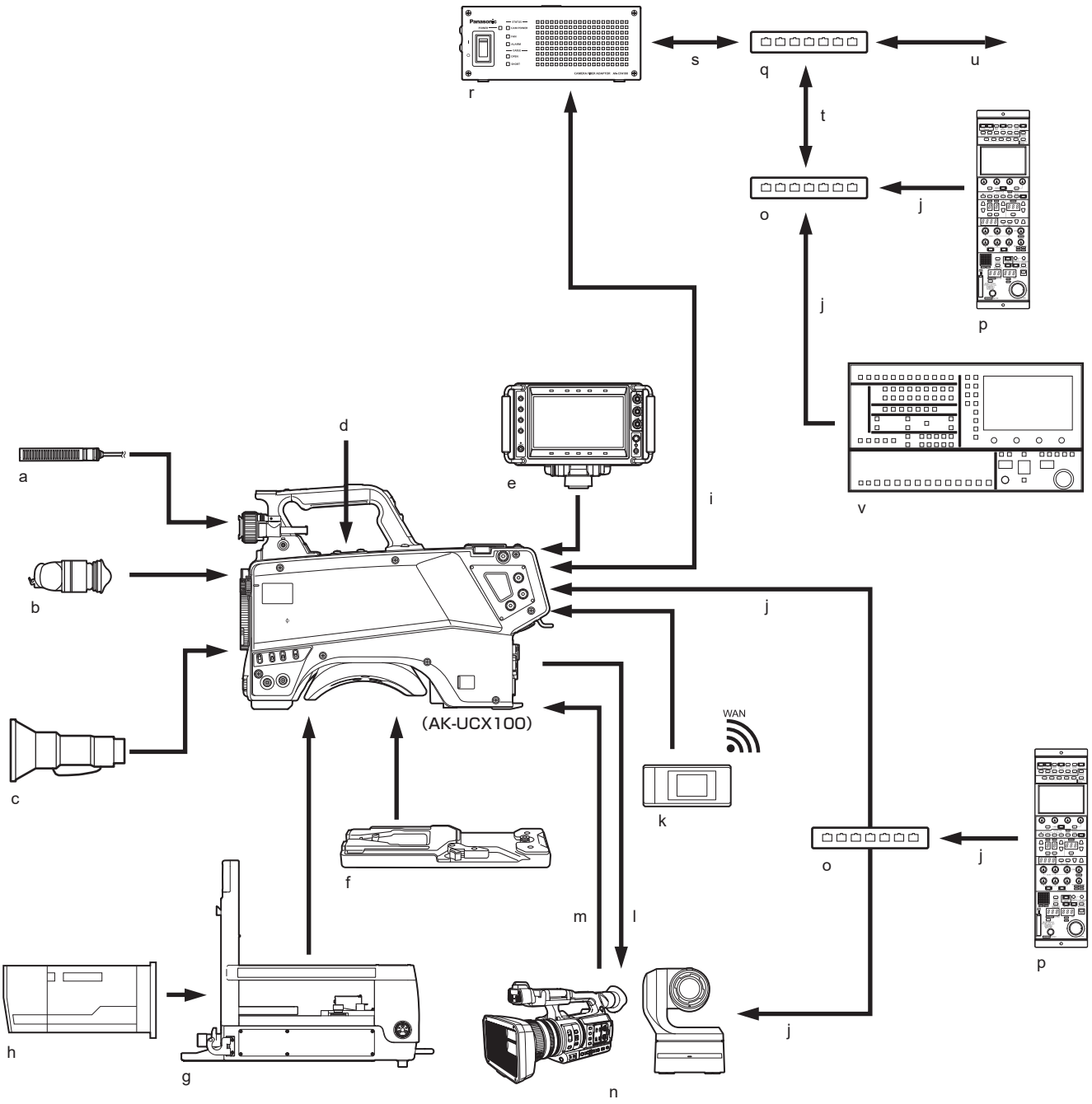


図 2



a: マイク
b: カラービューファインダー
c: レンズ
d: マイクホルダー
e: LCD ビューファインダー
f: 三脚アダプター
g: ビルドアップユニット
h: 大型レンズ
i: 光ファイバーマルチケーブル
j: LAN ケーブル
k: 〈USB3.0 HOST〉5G モバイルルーター
l: 〈REF OUT〉BNC ケーブル
m: 〈TRUNK IN〉BNC ケーブル
n: カメラレコーダー、リモートカメラなど
o: PoE 対応スイッチングハブ
p: リモートオペレーションパネル（ROP）
q: 広帯域ネットワークスイッチ
r: カメラファイバーアダプター
s: シングルモードファイバーケーブル
t: NMOS LAN ケーブル
u: ST2110
v: マスターセットアップユニット

カメラ単体で使用する場合

外部 DC 電源を使用して、リダンダンシー構成にすることもできます。
図 3 のように、〈SFP1〉端子、〈SFP2〉端子に SFP28 モジュール 2 個（1 個は別売品）を取り付けてシングルモードファイバーケーブル 2 本（別売品）を使用してください。
この場合は、光ファイバーマルチケーブルは使用できません。

取り付け方法については、「SFP モジュールの取り付け」（30 ページ）を参考に図 3 のように接続してください。

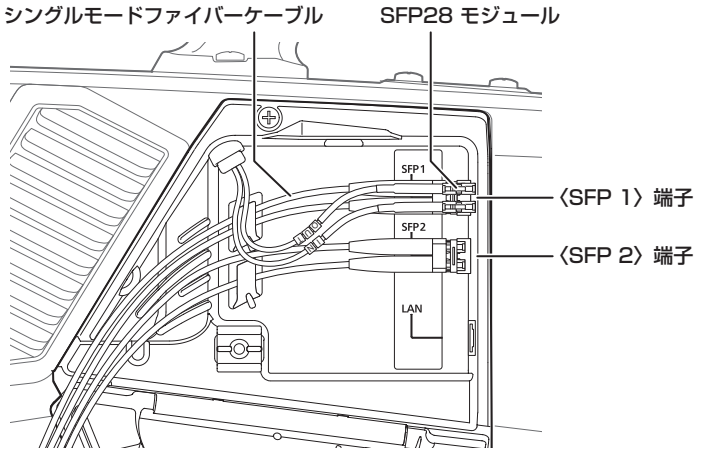
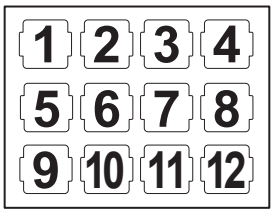


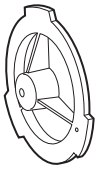
図 3

付属品

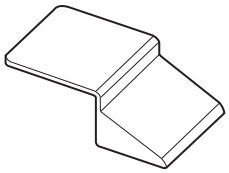
カメラナンバーシート（1 ～ 12）



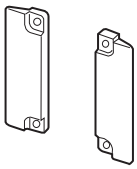
マウントキャップ（製品本体にあらかじめ取り付けられています）



D-sub コネクターカバー（製品本体にあらかじめ取り付けられています）



カメラハンガー（2 個）



ねじ（M3×8 mm）（4 個）



NOTE

- 包装材料は商品を取り出した後、適切に処理してください。
- カメラハンガーおよびねじは、ビルドアップユニット（AK-HBU500G）に取り付けるときに使用します。紛失しないように大切に保管してください。

フレーム周波数の設定

フレーム周波数を変更するときは、次の手順で設定してください。

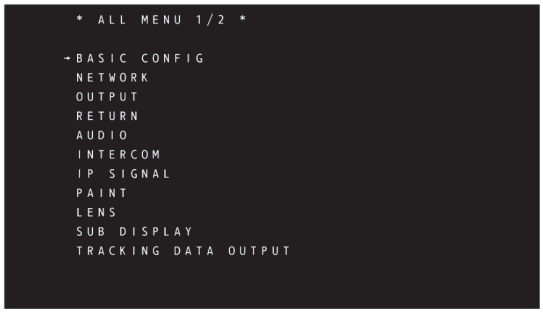


図 1

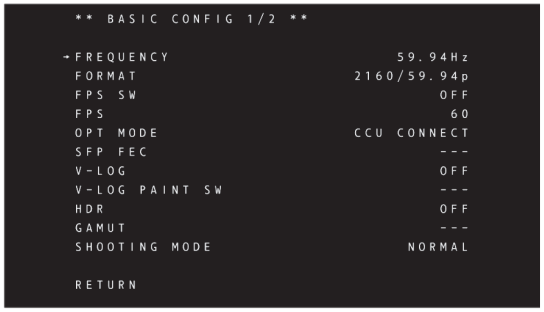


図 2

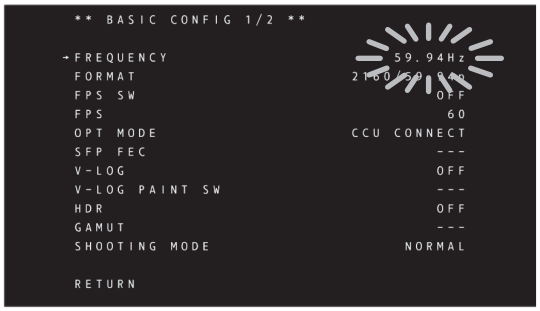


図 3

1 ビューファインダー（31 ページ）を取り付けるか、〈SDI OUT 2〉端子（26 ページ）にモニターを接続する。

2 DC 電源を接続する。

CCU と接続しているときは、CCU のフレーム周波数に従います。

3 〈POWER〉スイッチを〈ON〉にする。

4 〈MENU〉を押す。

[ALL MENU] が表示されます。
操作方法について、詳しくは「メニューの操作」（43 ページ）を参照してください。

5 〈SELECT〉ダイヤルボタンを回して [BASIC CONFIG] にカーソル（矢印）を移動させる。（図 1）

6 〈SELECT〉ダイヤルボタンを押す。

7 〈SELECT〉ダイヤルボタンを回して [FREQUENCY] にカーソル（矢印）を移動させる。（図 2）

電源を入れた直後は、本機が起動中のため [FREQUENCY] を選択できません。
異常ではありません。しばらく待ってから操作してください。

8 〈SELECT〉ダイヤルボタンを押す。

9 〈SELECT〉ダイヤルボタンを回してフォーマットを選択する。（図 3）

10 〈SELECT〉ダイヤルボタンを押す。

フレーム周波数の設定が確定します。
本機は自動的に再起動します。

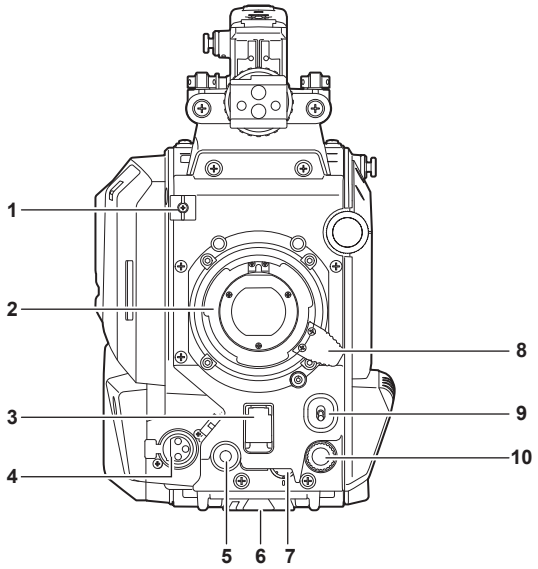
NOTE

- 出荷時は時計が設定されていません。〈MENU〉を押して、メニュー画面 [DATE/TIME] で時計を設定の上、ご利用ください。（102 ページ）
  Web 画面の時計設定画面 [Date&Time] でも設定できます。（122 ページ）
- [DATE/TIME HAS BEEN RESET] が表示された場合、同様に時計を設定してください。

第２章　各部の名称

本機の各部の名称と機能、動作について説明します。

前面部



1　レンズケーブル / マイクケーブルクランプ
レンズケーブルやマイクケーブルを固定するためのクランプです。

2　レンズマウント（バヨネット式）
レンズを取り付けます。

3　〈SHUTTER〉スイッチ
電子シャッターのスイッチです。
〈OFF〉：電子シャッターは動作しません。
〈ON〉：電子シャッターが動作します。
〈SEL〉：シャッタースピードがプリセット範囲内で切り替わります。
本機に CCU または ROP が接続されているときは使用できません。

4　〈MIC〉端子（フロント）
マイク（別売品）を接続します。
使用する場合は、後面部のスイッチを次のように設定してください。
- 〈LINE/MIC/+48V〉選択スイッチ（〈MIC 1〉）：〈MIC〉または〈+48V〉（ファントムマイク使用時）
- 〈FRONT〉/〈REAR〉スイッチ（〈MIC 1〉）：〈FRONT〉

5　〈USER 1〉ボタン
ユーザーが選択した機能を割り当てることができます。ボタンを押すことで、割り当てられた機能が動作します。

6　三脚取り付け部
本機を三脚に固定するときに、三脚アダプター SHAN-TM700（別売品）を取り付けます。

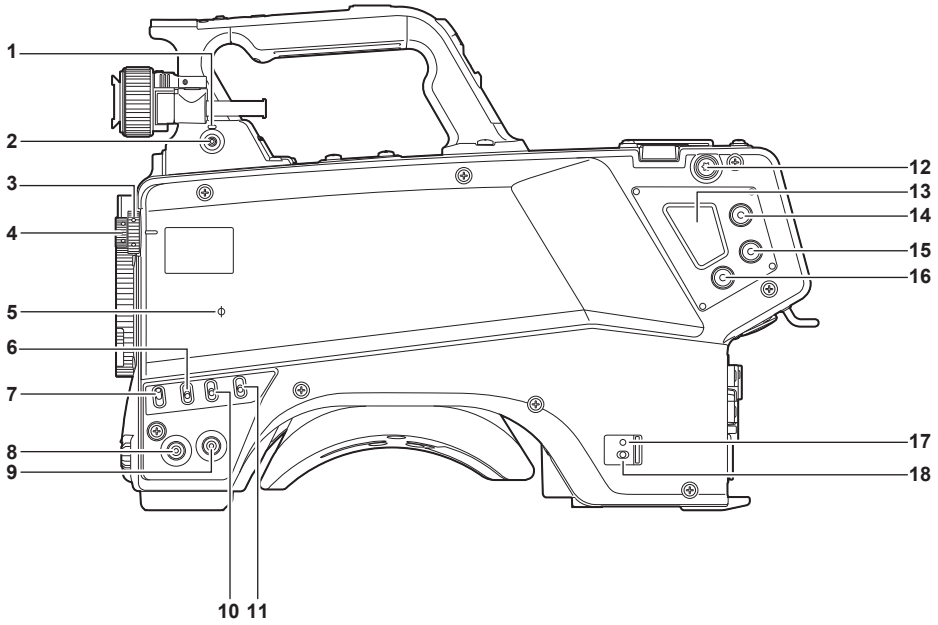
7　〈INCOM LEVEL〉つまみ（フロント）
後面部の〈REAR〉/〈INC1 FRONT〉/〈INC2 FRONT〉スイッチの設定に応じて、インターカムの受話音量を調整します。
- **〈REAR〉**：調整できません。
- **〈INC1 FRONT〉**：インターカム 1 の受話音量を調整します。
- **〈INC2 FRONT〉**：インターカム 2 の受話音量を調整します。

8　レンズ固定レバー
レンズをレンズマウントに取り付けた後、レバーを締めてレンズを固定します。

9　〈AUTO W/B BAL〉スイッチ
〈AWB〉：ホワイトバランスを自動調整します。側面の〈WHITE BAL〉スイッチを〈A〉、または〈B〉の位置にして、ホワイトバランスを自動調整すると、数秒で調整され、調整値がメモリーに記録されます。
〈ABB〉：ブラックバランスを自動調整します。
本機に CCU または ROP が接続されているときの動作は、[ALL MENU] → [SWITCH ASSIGN] → [W/B BAL SETTING] で設定できます。

10　〈SELECT〉ダイヤルボタン
メニュー画面表示中に、〈SELECT〉ダイヤルボタンを回して設定項目にカーソルを移動します。〈SELECT〉ダイヤルボタンを押してメニュー設定を確定します。
操作方法について、詳しくは「メニューの操作」（43 ページ）を参照してください。

左面部



1 〈LOCAL〉ランプ
ランプ点灯中は、〈ND〉フィルターや〈FX〉フィルターを手動で調整できます。

2 〈FILTER LOCAL〉スイッチ
〈ND〉フィルターや〈FX〉フィルターを手動調整するかリモート調整するかを設定します。

3 〈FX〉フィルターつまみ
求める効果に合わせてフィルターを選択します。
〈A〉〈CLEAR〉：FX フィルターを使用しません。
〈B〉〈CLEAR(OP)〉：FX フィルターを使用しません。OPTION：HD-Low Pass Filter についてはお買い上げの販売店にご相談ください。
〈C〉〈CROSS〉：クロスフィルターに設定します。
〈D〉〈DFO〉：ディフュージョンフィルターに設定します。
〈E〉〈CAP〉：MOS センサーに入る光を遮光します。

NOTE
- 〈LOCAL〉ランプが消灯しているときは、〈FX〉フィルターつまみを回さないでください。

4 〈ND〉フィルターつまみ
被写体の明るさに合わせてフィルターを選択します。
〈1〉〈CLEAR〉：ND フィルターを使用しません。
〈2〉〈1/2ND〉：MOS センサーに入る光の量を 1/2 にします。
〈3〉〈1/4ND〉：MOS センサーに入る光の量を 1/4 にします。
〈4〉〈1/16ND〉：MOS センサーに入る光の量を 1/16 にします。
〈5〉〈1/64ND〉：MOS センサーに入る光の量を 1/64 にします。

NOTE
- 〈LOCAL〉ランプが消灯しているときは、〈ND〉フィルターつまみを回さないでください。

5 〈φ〉マーク
MOS センサーの焦点位置を示します。
被写体からの焦点距離を正確に測る場合は、このマークを基準としてください。

6 〈GAIN〉スイッチ
カメラ映像のゲインを切り替えます。(〈L〉、〈M〉、〈H〉)
CCU からゲインの設定ができます。
本機に CCU または ROP が接続されているときは使用できません。

7 〈DISP/MODE CHK〉スイッチ
各種撮影状態の確認などができる跳ね返りスイッチです。
- 〈OFF〉側に倒すと、ビューファインダーの動作状態表示とエリアなどの枠表示、マーカー、セーフティーゾーン表示以外の全ての表示が非表示になります。
- 〈CHK〉側に倒すと、各種撮影機能の設定状態、〈USER 1〉/〈USER 2〉/〈USER 3〉/〈USER 4〉/〈USER 5〉/〈USER 6〉ボタンに割り当てた機能の一覧などがビューファインダーに表示されます。情報の表示中にさらに再度〈CHK〉側に倒すと、次の情報ページに切り替わります。モードチェックの情報表示は約 3 秒で消えます。

8 〈MENU〉ボタン
ボタンを押すと、カメラの [ALL MENU] 画面が表示されます。
再度ボタンを押すと、もとの映像に戻ります。

9 〈USER 2〉ボタン
ユーザーが選択した機能を割り当てることができます。ボタンを押すことで、割り当てられた機能が動作します。

10 〈OUTPUT〉スイッチ
ビデオ出力（〈CAM〉、〈BARS〉、〈TEST〉）を切り替えます。
本機に CCU または ROP が接続されているときは使用できません。

11 〈WHITE BAL〉スイッチ
ホワイトバランスメモリーを選択します。〈A〉または〈B〉に記録できます。
〈PRST〉：[ALL MENU] → [PAINT] → [COLOR TEMP SETTING] で設定した状態になります。
本機に CCU または ROP が接続されているときは使用できません。

12 ショルダーベルト取り付け金具
ショルダーベルトを取り付けます。

13 〈DC OUT 12V 2.5A〉端子
DC12 V の出力端子です。最大 2.5 A の電流を取り出すことができます。
規定以上の電流が流れると、電流が間欠的に遮断されます。
〈DC OUT 12V 1A〉端子、〈DC OUT 12V 2.5A〉端子、〈USB3.0 HOST〉端子の各端子から取り出す電力の合計が規定値以上を検出すると、各端子に供給する電力を制限します。
〈DC OUT 12V 1A〉端子、〈DC OUT 12V 2.5A〉端子、〈USB3.0 HOST〉端子の各端子から供給可能な電力はメニューにより切り替え可能です。
詳しくはメニューの説明、[DC OUT MODE]（104 ページ）を参照してください。

NOTE

- 外部機器への電源供給が間欠的に遮断されているときは、直ちに外部機器を外してください。故障の原因になります。
- 外部機器を接続する場合は極性および消費電流を十分にご確認のうえ、接続してください。故障の原因になります。

14 〈USER 4〉ボタン
ユーザーが選択した機能を割り当てることができます。ボタンを押すことで、割り当てられた機能が動作します。

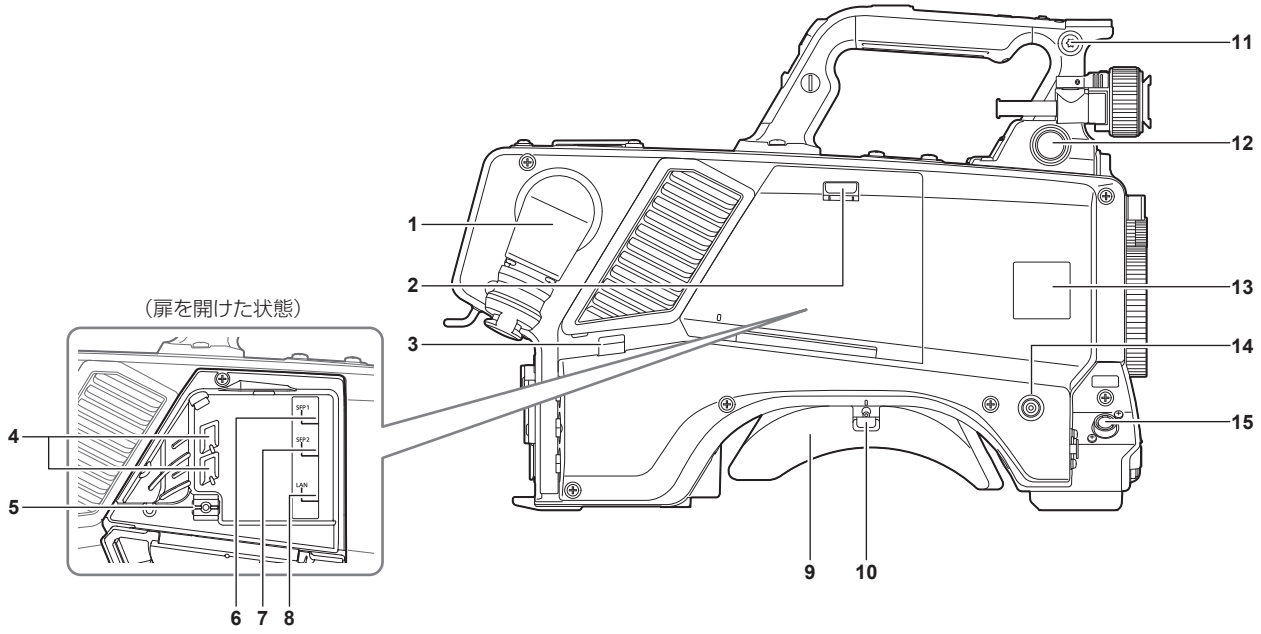
15 〈USER 5〉ボタン
ユーザーが選択した機能を割り当てることができます。ボタンを押すことで、割り当てられた機能が動作します。

16 〈USER 6〉ボタン
ユーザーが選択した機能を割り当てることができます。ボタンを押すことで、割り当てられた機能が動作します。

17 電源表示ランプ
カメラに電源が供給されると緑色に点灯します。
点灯（緑）：カメラ電源入の状態
点灯（赤）：電源入状態の CCU、カメラファイバーアダプターに接続されている状態でカメラ電源切の場合
消灯：CCU、カメラファイバーアダプター未接続状態でカメラ電源切の場合、または電源切状態の CCU、カメラファイバーアダプターに接続されている場合

18 〈POWER〉スイッチ
カメラの電源入力選択、または電源切を行います。
〈CCU〉：本機を CCU、カメラファイバーアダプターに接続時、CCU、カメラファイバーアダプターから電源を供給して電源を入れます。
〈EXT〉：本機に外部 DC 電源を接続時、外部 DC 電源から電源を供給して電源を入れます。
中央位置：電源を切ります。

右面部



1 〈OPT FIBER〉端子
CCU またはカメラファイバーアダプターと光ファイバーマルチケーブルで接続します。使用しないときはダストキャップを取り付けます。

2 扉ロック解除つまみ
扉を開けるときにロックを解除します。

3 ケーブルクランプ
扉内の端子に接続したケーブル類を束ねるためのクランプです。

4 光ファイバーケーブルクランプ
機器外部から〈SFP 1〉/〈SFP 2〉端子に接続した光ファイバーケーブルを固定するためのクランプです。

5 LAN ケーブルクランプ
LAN ケーブルを固定するためのクランプです。

6 〈SFP 1〉端子
SFP28 / BiDi SFP28 光ファイバー用モジュールの接続端子です。

NOTE

• SFP28 モジュールと光ファイバーケーブルがあらかじめ接続されており、〈OPT FIBER〉端子に繋がっています。

7 〈SFP 2〉端子
SFP28 / BiDi SFP28 光ファイバー用モジュールの接続端子です。

8 〈LAN〉端子
LAN（100BASE-TX/1000BASE-T）ケーブルを接続します。

NOTE

• 〈LAN〉端子に接続するケーブルは、カテゴリー 5e 以上の STP（Shielded Twisted Pair）をご使用ください。

9 ショルダーパッド
本機を肩に担ぐときに肩への負担を減らします。

10 スライドロック解除レバー
ショルダーパッドの位置を変更するときに解除します。

11 ショルダーベルト取り付け金具
ショルダーベルトを取り付けます。

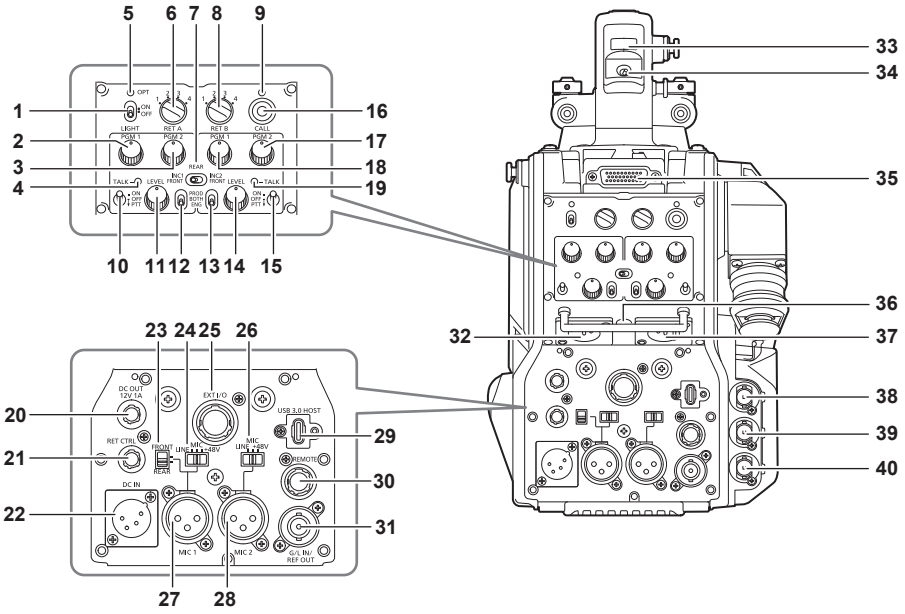
12 〈VF〉端子
ビューファインダーのプラグと接続します。

13 カメラナンバーシートホルダー
付属のカメラナンバーシートを取り付けます。

14 〈USER 3〉ボタン
ユーザーが選択した機能を割り当てることができます。ボタンを押すことで、割り当てられた機能が動作します。

15 〈LENS〉端子
レンズケーブルを接続します。

後面部



1 〈LIGHT〉スイッチ
バックパネルランプの入 / 切を設定します。

2 〈PGM1〉つまみ（〈INTERCOM1〉）
[ALL MENU] → [INTERCOM] → [LEVEL/PGM1/PGM2 VR SETTING] → [INTERCOM1 PGM1 VR] で設定した音声のレベルまたはミックス比を調整します。

3 〈PGM2〉つまみ（〈INTERCOM1〉）
[ALL MENU] → [INTERCOM] → [LEVEL/PGM1/PGM2 VR SETTING] → [INTERCOM1 PGM2 VR] で設定した音声のレベルまたはミックス比を調整します。

4 〈TALK〉ランプ（〈INTERCOM1〉）
〈TALK〉スイッチ（〈INTERCOM1〉）が有効のときに点灯します。

5 〈OPT〉ランプ
カメラの光信号受信状態を示します。
正常時：緑色に点灯
異常時：赤色に点灯

NOTE

- 異常が発生した場合は、本機および CCU、カメラファイバーアダプターの電源を切り、光ファイバーコネクターの清掃をしてください。改善されない場合は、ただちに電源を切り、お買い上げの販売店にご連絡ください。

6 〈RET A〉スイッチ
リターン A 映像の種類を切り替えます。

7 〈REAR〉/〈INC1 FRONT〉/〈INC2 FRONT〉スイッチ
インターカムの受話対象を切り替えます。

- **〈REAR〉：**インターカムの受話音量を後面部の〈INTERCOM1〉と〈INTERCOM2〉の〈LEVEL〉つまみで調整します。
- **〈INC1 FRONT〉：**インターカム 1 の受話音量を〈INCOM LEVEL〉つまみ（フロント）で調整します。
- **〈INC2 FRONT〉：**インターカム 2 の受話音量を〈INCOM LEVEL〉つまみ（フロント）で調整します。

8 〈RET B〉スイッチ
リターン B 映像の種類を切り替えます。

9 〈CALL〉ランプ
ROP、CCU からコールスイッチが押されると、緑色に点灯します。
次の場合に点滅します。

- 〈POWER〉スイッチが〈EXT〉のとき：
  外部 DC 出力を含むトータル消費電流が規定以上を検出すると、赤色で点滅します。
  外部 DC 出力が規定以上を検出すると、オレンジ色で点滅します。
- 〈POWER〉スイッチが〈CCU〉のとき：
  CCU、カメラファイバーアダプターからの供給電圧が規定以下を検出すると、赤色点滅します。
  外部 DC 出力が規定以上を検出すると、オレンジ色で点滅します。

NOTE

- CCU、カメラファイバーアダプターからの供給電圧は、次の条件を含むトータルの消費電力によって変化します。
  光ファイバーマルチケーブルの距離と DC 出力を含むカメラ消費電力
  AK-HBU500G 装着時

10 〈TALK〉スイッチ（〈INTERCOM1〉）
〈INTERCOM1〉端子に接続したインターカムマイクの〈ON〉/〈OFF〉/〈PTT〉選択スイッチです。
〈ON〉/〈PTT〉側に倒すとマイクが有効になります。

11 〈LEVEL〉つまみ（〈INTERCOM1〉）
〈INTERCOM1〉端子に接続したインターカムと PGM のミックス機能が有効に設定されているとき、インターカム 1 の受話音量を調節します。インターカムと PGM のミックス機能の有効 / 無効は、[ALL MENU] → [INTERCOM] → [INTERCOM1] → [INCOM1 RECEIVE CH1 SETTING] → [PGM1 MIX]/[PGM2 MIX] で設定します。

12 〈PROD〉/〈BOTH〉/〈ENG〉スイッチ（〈INTERCOM1〉）
〈INTERCOM1〉端子に接続したインターカムの通話先を切り替えます。

13 〈PROD〉/〈BOTH〉/〈ENG〉スイッチ（〈INTERCOM2〉）
〈INTERCOM2〉端子に接続したインターカムの通話先を切り替えます。

14 〈LEVEL〉つまみ（〈INTERCOM2〉）
〈INTERCOM2〉端子に接続したインターカムと PGM のミックス機能が有効に設定されているとき、インターカム 2 の受話音量を調節します。インターカムと PGM のミックス機能の有効 / 無効は、[ALL MENU] → [INTERCOM] → [INTERCOM2] → [INCOM2 RECEIVE CH1 SETTING] → [PGM1 MIX]/[PGM2 MIX] で設定します。

15 〈TALK〉スイッチ（〈INTERCOM2〉）
〈INTERCOM2〉端子に接続したインターカムマイクの〈ON〉/〈OFF〉/〈PTT〉選択スイッチです。
〈ON〉/〈PTT〉側に倒すとマイクが有効になります。

16 〈CALL〉スイッチ
スイッチが押されている間、ROP および CCU のコールランプが点灯し ROP のブザーが鳴ります。（ROP のブザー設定が有効の場合）

NOTE
• カメラが外部 DC 電源で動作しているときに〈CALL〉スイッチを押した場合は、ROP のコールランプは点灯しません。

17 〈PGM2〉つまみ（〈INTERCOM2〉）
[ALL MENU] → [INTERCOM] → [LEVEL/PGM1/PGM2 VR SETTING] → [INTERCOM2 PGM2 VR] で設定した音声のレベルまたはミックス比を調整します。

18 〈PGM1〉つまみ（〈INTERCOM2〉）
[ALL MENU] → [INTERCOM] → [LEVEL/PGM1/PGM2 VR SETTING] → [INTERCOM2 PGM1 VR] で設定した音声のレベルまたはミックス比を調整します。

19 〈TALK〉ランプ（〈INTERCOM2〉）
〈TALK〉スイッチ（〈INTERCOM2〉）が有効のときに点灯します。

20 〈DC OUT 12V 1A〉端子
DC12 V の出力端子です。最大 1.0 A の電流を取り出すことができます。
規定以上の電流が流れると、電流が遮断されます。
〈DC OUT 12V 1A〉端子、〈DC OUT 12V 2.5A〉端子、〈USB3.0 HOST〉端子の各端子から取り出す電力の合計が規定値以上を検出すると、各端子に供給する電力を制限します。
〈DC OUT 12V 1A〉端子、〈DC OUT 12V 2.5A〉端子、〈USB3.0 HOST〉端子の各端子から供給可能な電力はメニューにより切り替え可能です。詳しくはメニューの説明、[DC OUT MODE]（104 ページ）を参照してください。
また、R と G のタリー信号が出力されます。（オープンコレクター形式）

NOTE
• 外部機器への電源供給が間欠的に遮断されているときは、直ちに外部機器を外してください。故障の原因になります。
• 外部機器を接続する場合は極性および消費電流を十分にご確認のうえ、接続してください。故障の原因になります。

21 〈RET CTRL〉端子
外部制御端子です。外部リターンコントロールスイッチ 1/2/3 とインターカムマイク 1/2 の入 / 切をコントロールします。
[ALL MENU] → [RETURN] → [RETURN SELECT] → [RETURN C] でリターン信号を割り当てることができます。

22 〈DC IN〉端子
外部 DC 電源の入力用端子です。外部 DC 電源と接続します。（DC 10.8 V ～ 17 V）

23 〈FRONT〉/〈REAR〉選択スイッチ
〈MIC 1〉のマイク入力信号をフロントマイクとリアマイクのいずれかに切り替えます。
〈FRONT〉：フロントマイク
〈REAR〉：リアマイク

24 〈LINE/MIC/+48V〉選択スイッチ（〈MIC 1〉）
オーディオチャンネル 1 の音声入力信号を切り替えます。
〈LINE〉：ライン入力でオーディオ機器を接続する場合
〈MIC〉：外部マイクを接続する場合
〈+48V〉：マイクに 48 V 電源を供給する場合

25 〈EXT I/O〉端子
外部入出力端子です。

26 〈LINE/MIC/+48V〉選択スイッチ（〈MIC 2〉）
オーディオチャンネル 2 の音声入力信号を切り替えます。
〈LINE〉：ライン入力でオーディオ機器を接続する場合
〈MIC〉：外部マイクを接続する場合
〈+48V〉：マイクに 48 V 電源を供給する場合

27 〈MIC 1〉端子
オーディオ機器またはマイクを接続します。
マイク用の電源はこの端子から供給され、ファントム方式（48 V）のマイクが使用できます。マイク接続時は電源を切り、マイク接続後にマイクに合わせて設定してください。

28 〈MIC 2〉端子
オーディオ機器またはマイクを接続します。
マイク用の電源はこの端子から供給され、ファントム方式（48 V）のマイクが使用できます。マイク接続時は電源を切り、マイク接続後にマイクに合わせて設定してください。

29 〈USB3.0 HOST〉端子
USB メモリ（別売品）を接続して、本機の設定メニューの保存 / 読み出し、およびソフトウェアのアップデートなどで使用します。詳しくは「データについて」（41 ページ）を参照してください。
また、5G モバイルルーター（USB テザリング対応）（別売品）を接続することで無線回線を使用して映像伝送が可能となります。
〈DC OUT 12V 1A〉端子、〈DC OUT 12V 2.5A〉端子、〈USB3.0 HOST〉端子の各端子から取り出す電力の合計が規定値以上を検出すると、各端子に供給する電力を制限します。
〈DC OUT 12V 1A〉端子、〈DC OUT 12V 2.5A〉端子、〈USB3.0 HOST〉端子の各端子から供給可能な電力はメニューにより切り替え可能です。詳しくはメニューの説明、[DC OUT MODE]（104 ページ）を参照してください。

NOTE

- 5G モバイルルーターの使用時間については、ご使用の機器のカタログをご確認ください。
- USB ケーブルは、USB3.0 規格に準拠したケーブルをご用意ください。また、1.5 m 以内のケーブルのご使用をお勧めします。
- USB2.0 用のケーブルでは、動作保証ができません。誤って接続した場合は、本機の電源の再起動が必要になります。
- 接続する製品によっては、USB Type A − Type C 変換アダプターが必要になります。

30 〈REMOTE〉端子
リモートコントロールユニット（別売品）を接続して、機能の一部をリモートコントロールすることができます。

31 〈G/L IN/REF OUT〉端子
ゲンロック信号の入力端子、または、リファレンス信号の出力端子です。
[ALL MENU] → [BASIC CONFIG] → [SYNC SIGNAL] → [GENLOCK] → [IN/OUT SEL] で設定します。

NOTE

- [MAIN MENU] → [SYSTEM MODE] → [FORMAT] が [2160/23.98p] または [1080/23.98p] のときは、次の信号にゲンロックをかけることができます。
  - 1080/23.98p または 1080/23.98PsF の HD-Y 信号
  - コンポジット信号
- [2160/23.98p] と [1080/23.98p] 以外では、次の信号にゲンロックをかけることができます。
  - 1080/59.94i または 1080/50i の HD-Y 信号
  - コンポジット信号

32 〈INTERCOM1〉端子
インターカムまたはヘッドセットのプラグを接続します。

33 バックタリーランプ
タリー信号が送られると点灯します。
R タリー時：赤色点灯
G タリー時：緑色点灯
R/G タリー同時：橙色点灯

34 バックタリーランプ選択スイッチ
バックタリーランプの入 / 切を設定します。

35 リアビューファインダー端子
9 型 LCD ビューファインダー AK-HVF100G を接続します。
この D-sub コネクターは、ビューファインダーインターフェースに使用します。

NOTE

- AK-HVF70G も接続できます。

36 〈EARPHONE〉端子
イヤホンのプラグを接続します。
音声出力は、[ALL MENU] → [INTERCOM] → [EAR PHONES SETTING] → [LCH OUTPUT SELECT]/[RCH OUTPUT SELECT] で設定します。

37 〈INTERCOM2〉端子
インターカムまたはヘッドセットのプラグを接続します。

38 〈SDI OUT 1〉端子（BNC）
[CAM]：カメラ映像を出力
[HD PROMPT]：HD のプロンプター映像を出力
[ALL MENU] → [OUTPUT] → [SDI OUT1] → [OUTPUT SELECT] で出力映像を設定します。

NOTE

- 12G SDI 用のケーブルをご使用ください。

39 〈SDI OUT 2〉端子（BNC）
[CAM]：カメラ映像を出力
[VF]：ビューファインダー映像を出力
[RET]：リターン映像を出力
[RET1]/[RET2]/[RET3]/[RET4]：選択した映像を出力
[ALL MENU] → [OUTPUT] → [SDI OUT2] → [OUTPUT SELECT] で出力映像を設定します。

NOTE

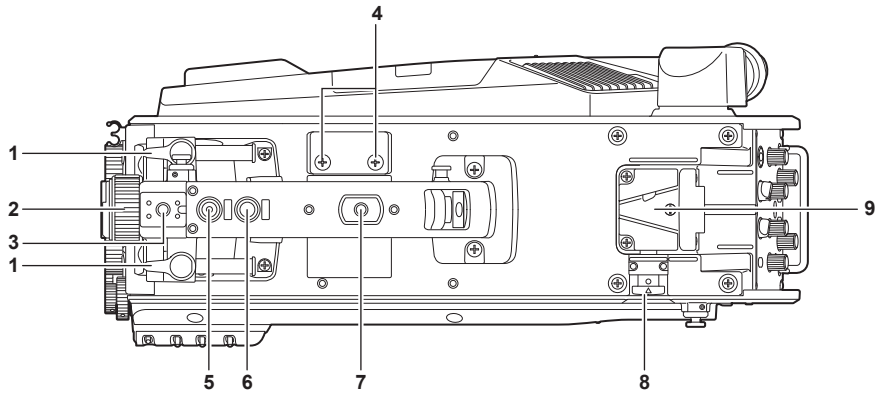
- 12G SDI 用のケーブルをご使用ください。

40 〈TRUNK IN〉端子
トランク映像信号を入力します。

NOTE

- 5C-FB 以上のケーブルをご使用ください。

上面部



1　ビューファインダー前後位置固定レバー
ビューファインダーの前後位置を調整する場合にゆるめ、ビューファインダーを前後にスライドさせて見やすい位置に調整します。調整後、〈LOCK〉方向に回してしっかり固定します。

2　ビューファインダー左右位置固定リング
ビューファインダーの左右位置を調整する場合にゆるめ、ビューファインダーを左右にスライドさせて見やすい位置に調整します。調整後、締めて固定します。

3　ライトシュー
ビデオライトなどを取り付けます。

4　マイクホルダー取り付け穴
マイクホルダーを取り付けます。

5　〈PTT〉スイッチ
インターカムマイクの入 / 切を切り替えることができます。[ALL MENU] → [SWITCH ASSIGN] → [USER SWITCH] → [GRIP PTT] で機能が変更できます。

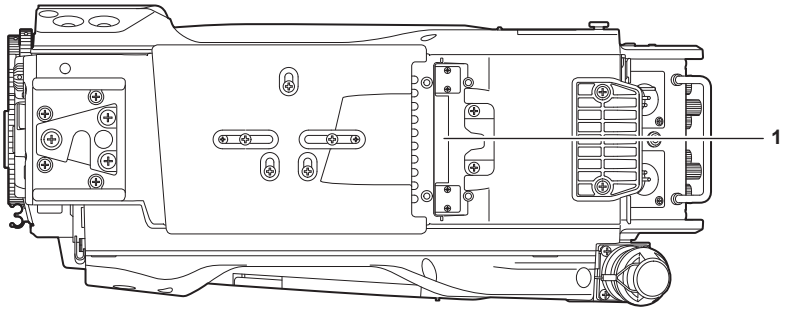
6　〈RET〉スイッチ
リターン A の信号に切り替えることができます。[ALL MENU] → [SWITCH ASSIGN] → [USER SWITCH] → [GRIP RET] で機能が変更できます。

7　アクセサリー取り付け穴
アクセサリーを取り付けます。アクセサリー取り付けの用途のみに使用してください。
• 取り付け穴サイズ
- 1/4-20 UNC（ねじ長さ 13 mm 以下）

8　ロック解除ボタン
V 字溝のロックを解除します。

9　V 字溝
リアビューファインダーを取り付けます。

底面部



1　ビルドアップ端子
ビルドアップユニット AK-HBU500G（別売品）と接続します。

第３章　準備

本機を使用する前に、本章の手順に従ってアクセサリーの取り付けを行ってください。

SFP モジュールの取り付け

BiDi SFP28 モジュールの取り付けかた

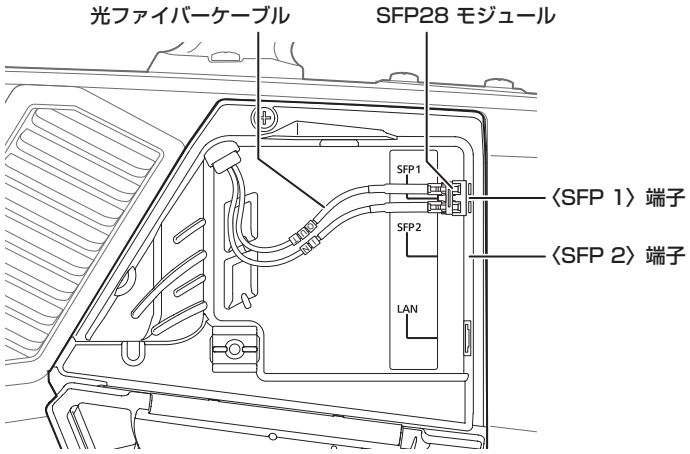


図 1

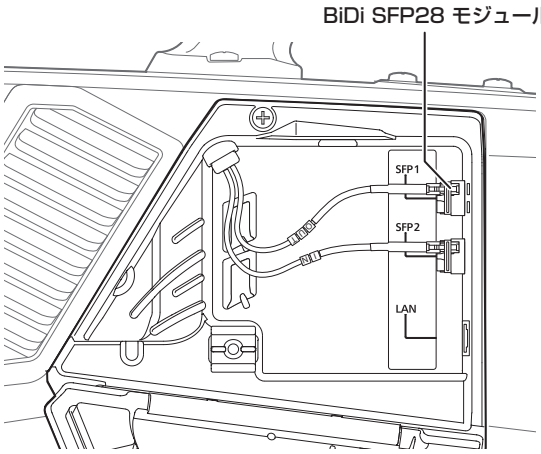


図 2

BiDi SFP28 モジュール 2 個を使用してリダンダンシー構成にすることができます。

1 本機の電源を切る。

2 図 1 のように〈SFP 1〉端子に挿入されている SFP28 モジュールの光ファイバーケーブルを取り外します。

3 取り外した光ファイバーケーブルを仮置きします。

4 SFP28 モジュールを取り外します。

5 〈SFP 1〉端子および〈SFP 2〉端子に、BiDi SFP28 モジュール（別売品）を挿入します。

6 光ファイバーケーブルを、各 BiDi SFP28 モジュールに挿入します。（図 2）

NOTE

- SFP28/BiDi SFP28 モジュールおよび光ファイバーケーブルの取り扱いには十分ご注意ください。
- 本機は、SFP+ モジュールには対応していません。

工場出荷状態に戻すには

1 本機の電源を切る。

2 図 2 のように〈SFP 1〉端子および〈SFP 2〉端子に挿入されている BiDi SFP28 モジュールの光ファイバーケーブルを取り外します。

3 取り外した光ファイバーケーブルを仮置きします。

4 各 BiDi SFP28 モジュールを取り外します。

5 〈SFP 1〉端子に、SFP28 モジュールを挿入します。

6 光ファイバーケーブルの IN を、SFP28 モジュールの IN（▷）に挿入します。
光ファイバーケーブルの OUT を、SFP28 モジュールの OUT（◁）に挿入します。（図 1）

NOTE

- SFP28/BiDi SFP28 モジュールおよび光ファイバーケーブルの取り扱いには十分ご注意ください。
- 本機は、SFP+ モジュールには対応していません。

ビューファインダーの取り付け

ビューファインダー（別売品）を取り付けます。

ビューファインダーの取り付けかた

HD ビューファインダー AJ-CVF70G（別売品）を使用できます。
HD ビューファインダーの取り扱いについて、詳しくはビューファインダーの取扱説明書を参照してください。

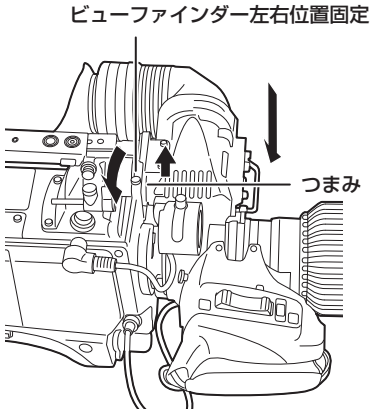


図 1

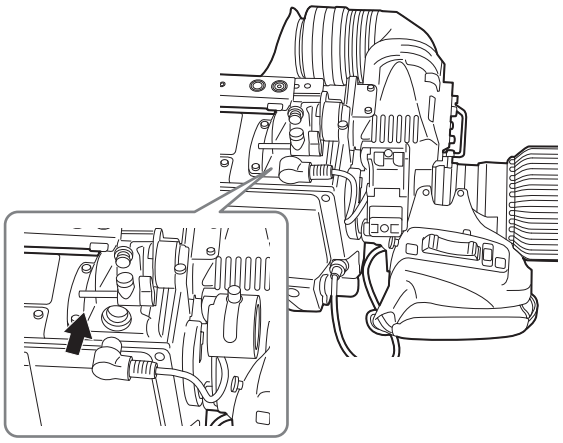


図 2

1 〈POWER〉スイッチを〈OFF〉にする。

2 取り付けプレートのつまみを引き上げ、プレートをスライドさせてビューファインダーを取り付ける。（図 1）

3 ビューファインダー左右位置固定リングをしっかりと締め付ける。（図 1）

4 プラグを〈VF〉端子に接続する。（図 2）

NOTE

• プラグを〈VF〉端子に接続するときは、プラグの根本までしっかりと差し込まれていることを確認してください。

取り外すには

1 〈POWER〉スイッチを〈OFF〉にする。

2 プラグを〈VF〉端子から取り外す。

3 ビューファインダー固定つまみをゆるめ、取り付けプレートのつまみを引き上げる。

4 プレートに沿ってビューファインダーをスライドさせ、プレートから取り外す。

リアビューファインダーの取り付けかた

LCD ビューファインダー AK-HVF100G（別売品）を使用できます。
LCD ビューファインダーの取り扱いについて、詳しくはビューファインダーの取扱説明書を参照してください。

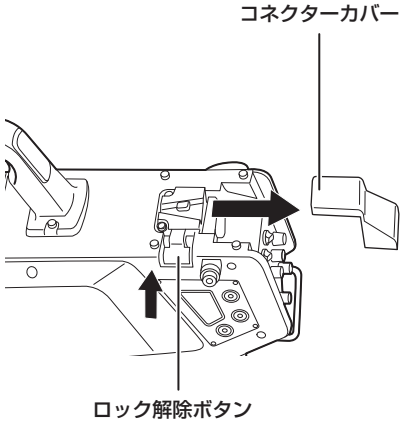


図 1

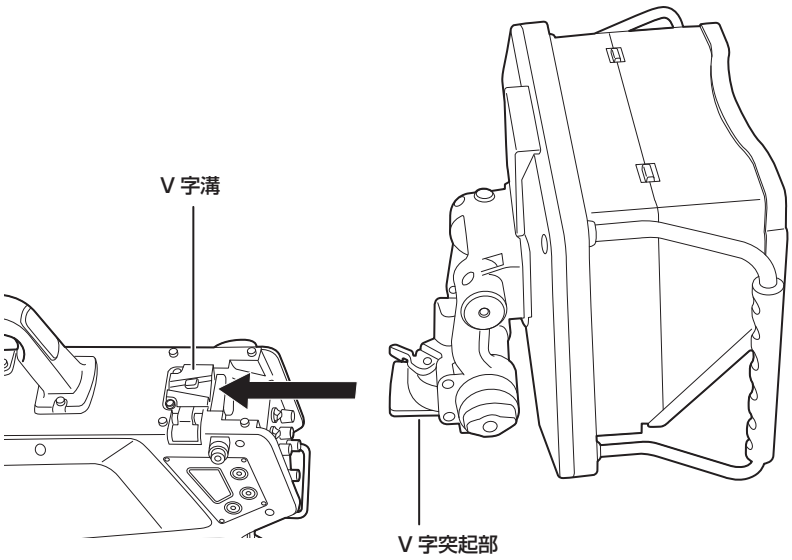


図 2

1 本機と LCD ビューファインダーの電源を切る。

2 ロック解除ボタンを押して、コネクターカバーを外す。（図 1）

3 カメラ側の V 字溝に、LCD ビューファインダーの V 字突起部を合わせてスライドし、ロックがかかるまで押し込む。（図 2）

NOTE

• 取り付け時は、LCD ビューファインダーのフードを持たないでください。

取り外すには

1 本機と LCD ビューファインダーの電源を切る。

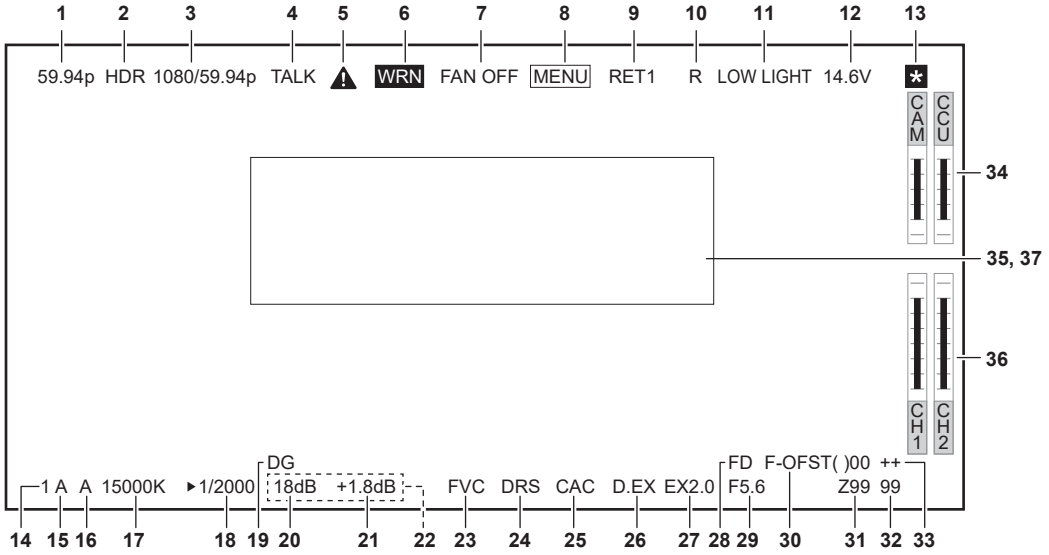
2 ロック解除ボタンを押しながら、LCD ビューファインダーをスライドし、取り外す。

NOTE

• 取り外し時は、LCD ビューファインダーのフードを持たないでください。

ビューファインダーのオンスクリーン表示

4K スタジオカメラの設定と動作状態を示すメッセージが、ビューファインダーの画面内に表示されます。
表示できる全ての項目は、次の図のように配置されています。



1　センサーレート表示
カメラの映像モードを表示します。
- [59.94p]
- [50p]
- [29.97p]
- [25p]
- [23.98p]
- [240p]
- [200p]
- [180p]
- [150p]
- [120p]
- [100p]

[BASIC CONFIG] − [FPS SW] が [ON] のときは、[FPS] の値を表示します。
- [60p]
- [30p]
- [24p]

2　HDR/V-LOG モード表示
フォーマットが HDR または V-LOG のときに表示されます。
- [HDR]
- [V-LOG]

3　システムモード表示
システム周波数を表示します。
- [2160/59.94p]
- [2160/50p]
- [2160/29.97p]
- [2160/25p]
- [2160/23.98p]
- [1080/59.94p]
- [1080/50p]
- [1080/29.97p]
- [1080/25p]
- [1080/23.98p]

4　TALK SW 表示
〈TALK〉スイッチが〈ON〉/〈PTT〉のときに表示します。

5　ワーニング表示（予熱）
起動したときに、機器内部の温度が下がりすぎているため予熱している場合に表示します。

6　ワーニング表示（機器）
機器の状態に異常がある場合に表示します。
- ファンが異常停止したとき
- 内部温度が高温になったとき
- DC 出力供給がオーバーしているとき（各出力合算）
- 光受信レベルに異常があるとき

非表示設定はできません。

7　ワーニング表示（ファン停止）
ファンが停止している場合に表示します。

8　ワーニング表示（メニュー表示）
CCU でカメラメニューを表示しています。カメラ側でメニューの操作はできません。

9　リターン ID 表示
リターン出力されている番号のリターン ID が表示されます。
[ALL MENU] → [RETURN] → [RETURN1 ID] ～ [RETURN4 ID] で設定された ID（文字列）が表示されます。
工場出荷時は、次のリターン ID（文字列）に設定されています。
- [RET.1]（[RETURN1] 出力時）
- [RET.2]（[RETURN2] 出力時）
- [RET.3]（[RETURN3] 出力時）
- [RET.4]（[RETURN4] 出力時）

10 TALLY（RGY）表示
R/G/Y TALLY がそれぞれ独立して表示されます。
- [R]
- [G]
- [Y]

11 高感度モード表示
[ALL MENU] → [BASIC CONFIG] → [LOW LIGHT] のとき表示されます。

12 電圧表示
電源から供給される電圧の値が表示されます。

13 フォーカスアシスト拡大表示
フォーカスアシスト拡大表示機能が動作中に表示します。

14 ND フィルター表示
選択されている ND フィルターの値が表示されます。
- [1]
- [2]
- [3]
- [4]
- [5]

15 FX フィルター表示
選択されている FX フィルターの値が表示されます。
- [A]
- [B]
- [C]
- [D]
- [E]

16〈WHITE BAL〉スイッチ位置表示
選択されている位置が表示されます。
- **[A]**：〈WHITE BAL〉スイッチを〈A〉に設定しているとき
- **[B]**：〈WHITE BAL〉スイッチを〈B〉に設定しているとき
- **[P]**：〈WHITE BAL〉スイッチを〈PRST〉に設定しているとき

17 色温度表示
カメラで設定されている色温度が表示されます。
オートホワイトバランス実行時のメモリー値とメニュー設定値の場合があります。

18 シャッタースピード表示
各設定に応じてシャッタースピードが表示されます。
[ALL MENU] → [PAINT] → [SHUTTER SPEED] → [SHUTTER DISP] を [sec] に設定しているときは時間（分数）、[deg] に設定しているときは開口角度で表示されます。
[sec] 表示の場合
[ALL MENU] → [PAINT] → [SHUTTER SPEED] → [SHUTTER SW] → [ON] かつ、[ALL MENU] → [PAINT] → [SHUTTER SPEED] → [SHUTTER MODE] → [STEP] のとき
- [1/48]（[23.98p] モードのときのみ）
- [1/50]（[25p] モードのときのみ）
- [1/60]（[50i]/[50p]/[29.97p]/[25p]/[23.98p] モードのときのみ）
- [1/96]（[29.97p]/[25p]/[23.98p] モードのときのみ）
- [1/100]（HS 時は選択できません）
- [1/120]（[59.94i]/[59.94p]/[29.97p]/[23.98p] モードのときのみ）
- [1/125]（[240p] / [200p] / [180p] / [150p] 時は選択できません）
- [1/250]
- [1/500]
- [1/1000]
- [1/1500]
- [1/2000]

[ALL MENU] → [PAINT] → [SHUTTER SPEED] → [SHUTTER SW] → [ON] かつ、[ALL MENU] → [PAINT] → [SHUTTER SPEED] → [SHUTTER MODE] → [SYNCHRO] のとき
- [60.0Hz] ～ [7200Hz]（[59.94i]/[59.94p] モードのときのみ）
- [50.0Hz] ～ [7200Hz]（[50i]/[50p] モードのときのみ）
- [30.0Hz] ～ [7200Hz]（[29.97p] モードのときのみ）
- [25.0Hz] ～ [7200Hz]（[25p] モードのときのみ）
- [24.0Hz] ～ [7200Hz]（[23.98p] モードのときのみ）
- [241.1Hz] ～ [7200Hz]（[240p] モードのときのみ）
- [200.5Hz] ～ [7200Hz]（[200p] モードのときのみ）
- [180.2Hz] ～ [7200Hz]（[180p] モードのときのみ）
- [150.3Hz] ～ [7200Hz]（[150p] モードのときのみ）
- [120.1Hz] ～ [7200Hz]（[120p] モードのときのみ）
- [100.1Hz] ～ [7200Hz]（[100p] モードのときのみ）

[deg] 表示の場合
- [3.0d] ～ [357.0d]

[ALL MENU] → [PAINT] → [SHUTTER SPEED] → [SHUTTER SW] → [OFF] のとき
- [SH.OFF]

19 VIEW FINDER DARK GAIN 表示
VF の暗部を持ち上げているときに VF 画面のみに表示します。

20 マスターゲイン表示
[ALL MENU] → [PAINT] → [GAIN SETTING] → [GAIN/ISO MODE] → [dB] のとき、[ALL MENU] → [PAINT] → [GAIN SETTING] → [LOW GAIN]/[MID GAIN]/[HIGH GAIN] で設定された値が表示されます。
- [–6dB] ～ [18dB]

21 オフセットゲイン表示
[ALL MENU] → [PAINT] → [GAIN SETTING] → [GAIN/ISO MODE] → [dB] のとき、[ALL MENU] → [PAINT] → [GAIN SETTING] → [OFFSET LOW GAIN]/[OFFSET MID GAIN]/[OFFSET HIGH GAIN] で設定された値が表示されます。
- [–2.9dB] ～ [+2.9dB]

22 ISO 表示
[ALL MENU] → [PAINT] → [GAIN SETTING] → [GAIN/ISO MODE] → [ISO] のとき表示されます。
- [ISO 400]、[ISO 500]、[ISO 640]、[ISO 800]、[ISO 1000]、[ISO 1250]、[ISO 1600]、[ISO 2000]、[ISO 2500]、[ISO 3200]、[ISO 4000]、[ISO 5000]、[ISO 6400]、[ISO 8000]、[ISO 10000]、[ISO 12800]

NOTE
- マスターゲイン表示、オフセットゲイン表示と排他になります。

23 F ドロップ・周辺光量落ち補正表示
F ドロップ・周辺光量落ち補正機能が動作しているときに表示されます。

24 ダイナミックレンジストレッチャー表示
ダイナミックレンジストレッチャー機能が動作しているときに表示されます。

25 色収差補正表示
色収差補正機能が動作しているときに表示されます。

26 デジタルエクステンダー表示
デジタルエクステンダーを使用しているときに表示されます。

27 レンズエクステンダー表示
レンズエクステンダーを使用しているときに表示されます。

28 F ドロップ表示
F ドロップが発生したときに表示されます。

NOTE
- レンズの機種によっては表示が未対応のものがあります。
  詳しくはレンズメーカーにお問い合わせください。

29 アイリス表示
アイリス設定（F 値）または [OPEN]/[CLOSE] が表示されます。F 値はおおよその値になります。
レンズケーブルが接続されていないときは [NC] と表示されます。

30 フォーカスオフセット表示
フォーカスオフセットが付与されているときに表示されます。

NOTE
- オフセットが 0 の場合、3 秒後に表示が消えます。
- デマンド位置と FOCUS 位置のずれ量を F-OFST(N)99 ～ F-OFST(F)99 の範囲で示します。
- (N) は NEAR 方向、(F) は FAR 方向へのズレを表します。

31 ズーム位置表示

ズーム位置が表示されます。

- [Z00] ～ [Z99]

NOTE

- ズーム位置を出力するレンズを使用しているときに表示されます。

32 フォーカス位置表示

フォーカス位置が表示されます。

- [00] ～ [99]：[ALL MENU] → [SUB DISPLAY] → [STATUS INDICATOR] → [FOCUS DISP] → [NUMBER] のときに表示します。
- [***.*ft]：[ALL MENU] → [SUB DISPLAY] → [STATUS INDICATOR] → [FOCUS DISP] → [FEET] のときに表示します。
- [***.*m]：[ALL MENU] → [SUB DISPLAY] → [STATUS INDICATOR] → [FOCUS DISP] → [METER] のときに表示します。

NOTE

- フォーカス位置を出力するレンズを使用しているときに表示されます。

33 ピント情報表示

フォーカスのピント情報を表示します。

NOTE

- オートフォーカスレンズでピント情報を返す機能が付いたレンズを装着しているとき表示します。
- カメラ本体のオートフォーカス機能が有効のときは、選択している AF PRESET が表示されます。
- オートフォーカス機能に非対応のレンズを装着した場合でもオートフォーカス情報が表示される場合があります。その場合はマニュアルフォーカスに設定を切り替えてご使用ください。

34 光レベル表示

本機が受信する光信号のレベルが表示されます。

[OPT MODE] が [CCU CONNECT] のときは CCU または本機の受信レベルを表示します。

[OPT MODE] が [CCU CONNECT] 以外のときは SFP1 端子（表示は [PRI]）/SFP2 端子（表示は [SEC]）の受信レベルを表示します。

35 カメラ警告、情報表示エリア

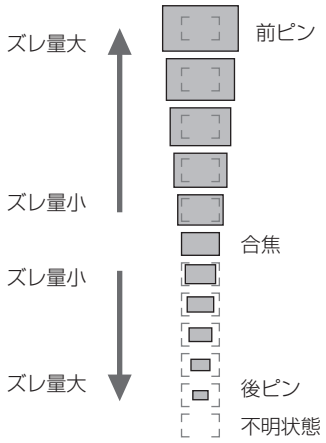
エラーの発生、カメラの設定、調整進行状況、および調整結果を示すメッセージが約 3 秒間表示されます。

36 音声入力系統とレベルメーター

〈MIC 1〉端子（音声入力 1）と〈MIC 2〉端子（音声入力 2）のオーディオレベルが表示されます。

37 フォーカスガイド表示

画角中心付近のフォーカスのピント状態を表示します。



NOTE

- 本機能を設定したユーザースイッチを操作することによってマニュアルフォーカス時に表示します。
- [FORMAT] が [2160/120fps]、[1080/240fps]、[1080/180fps]、[1080/120fps]、[2160/100fps]、[1080/200fps]、[1080/150fps]、[1080/100fps] のときは表示されません。

マイクの接続

ビューファインダー（別売品）に取り付けて使用する場合

ビューファインダーには、マイクキット AJ-MC700P（別売品）などのマイクを取り付けることができます。

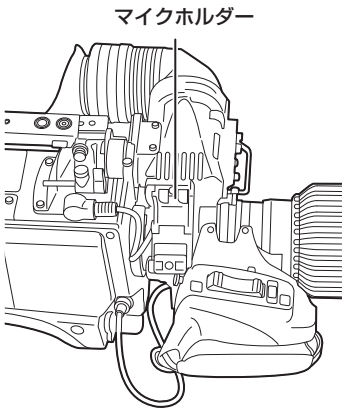


図 1

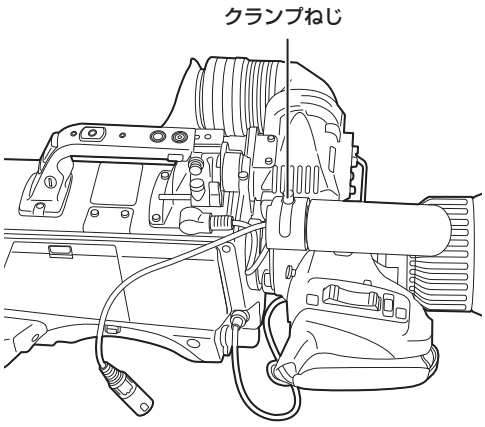


図 2

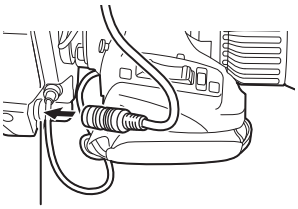


図 3

1 マイクホルダーを開ける。（図 1）

2 マイクを取り付け、クランプねじを締め付ける。（図 2）

3 マイクケーブルをケーブルクランプに通し、〈MIC 1〉端子（フロント）に接続する。（図 3）

4 〈FRONT〉/〈REAR〉スイッチ（〈MIC 1〉）を〈FRONT〉に設定する。

5 〈LINE/MIC/+48V〉選択スイッチ（〈MIC 1〉）を〈MIC〉または〈+48V〉に設定する。

マイクホルダー（別売品）を取り付けて使用する場合

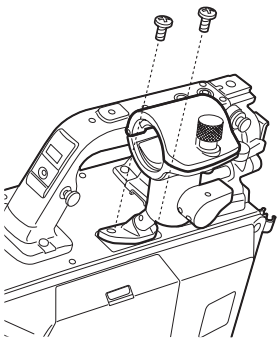


図 1

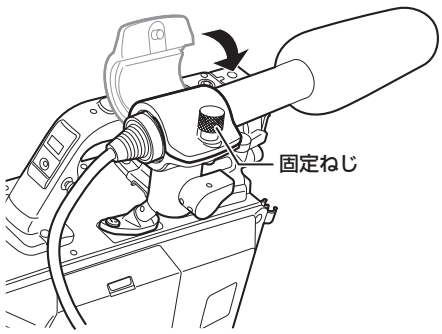


図 2

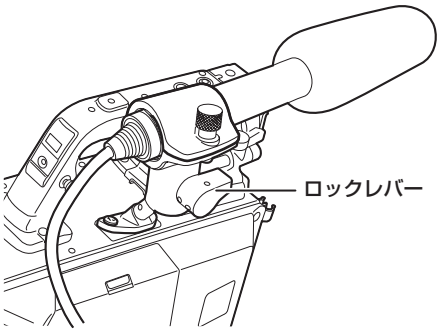


図 3

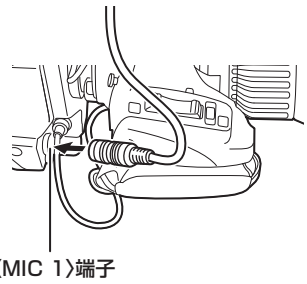


図 4

1 マイクホルダー取り付け位置のねじを外し、マイクホルダー AJ-MH800G（別売品）を取り付ける。（図 1）

2 マイクを取り付け、固定ねじを締める。（図 2）

3 ロックレバーをゆるめ、マイクの角度を調整し、ロックレバーを締める。（図 3）

4 マイクケーブルをケーブルクランプに通し、〈MIC 1〉端子（フロント）に接続する。（図 4）

5 〈FRONT〉/〈REAR〉スイッチ（〈MIC 1〉）を〈FRONT〉に設定する。

6 〈LINE/MIC/+48V〉選択スイッチ（〈MIC 1〉）を〈MIC〉または〈+48V〉に設定する。

レンズの調整

バックフォーカス調整

ズーム操作のときに望遠･広角の両方で焦点が正確に合わない場合は､バックフォーカス（レンズの取り付け面から結像面までの距離）の調整をします。一度調整すると、レンズを交換するまで再調整の必要はありません。

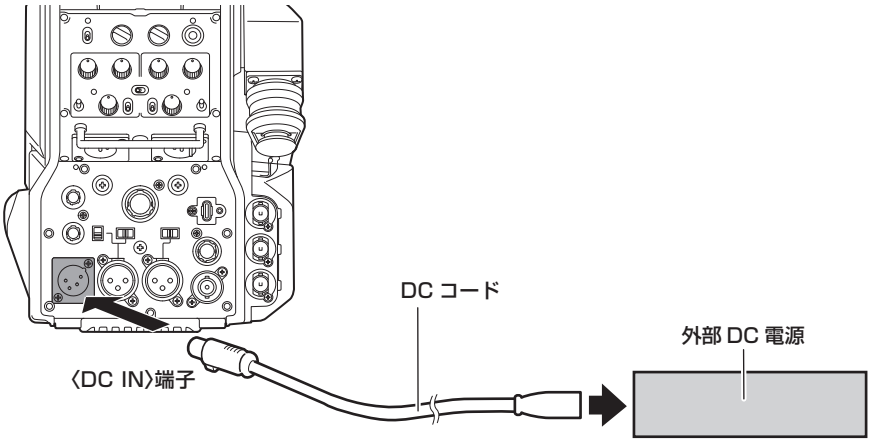
NOTE

- 調整方法やレンズの各部位置については、レンズの取扱説明書も参照してください。
- 対応レンズを装着した場合、当社製リモートオペレーションパネルを用いて、バックフォーカス調整をリモートで調整することが可能です。
- リモートオペレーションパネル（ROP）を使用してリモートで調整する場合は、ROP 側で以下の方法で実施してください。

＜ AK-HRP1010G の場合＞

1. ROP メニューの「REMOTE BACK FOCUS SET」ページを開く
2. BACK FOCUS SW を“ACTIVE”にして BACK FOCUS 調整モードを有効にする
   ※リモートバックフォーカス調整非対応レンズの場合は“ACTIVE”になりません。
3. ズームを望遠端の位置にする（ZOOM TELE END を実行）
4. FOCUS で焦点を合わせる
5. ズームを広角端の位置にする（ZOOM WIDE END を実行）
6. BACK FOCUS で焦点を合わせる
7. 望遠と広角の両方の位置で焦点が合うようになるまで手順 3 ～ 6 の操作を繰り返す
8. BACK FOCUS SW を“INACT”にして BACK FOCUS 調整モードを終了する

外部 DC 電源の使用



1 本機の〈DC IN〉端子と外部 DC 電源を接続する。

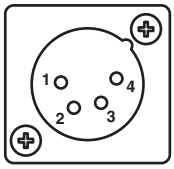
2 外部 DC 電源の〈POWER〉スイッチを入れる（外部 DC 電源に〈POWER〉スイッチがある場合）。

3 本機の〈POWER〉スイッチを〈EXT〉にする。

■ 外部 DC 電源について

外部 DC 電源の出力電圧が、本機の定格電圧に適合していることを確認のうえ、接続してください。
外部 DC 電源の出力電流は、接続機器の合計電流以上で、余裕があるものをお選びください。
接続機器の合計電流は、次の式で求めることができます。
総消費電力 ÷ 電圧
本機の電源が入ったときには、突入電流が発生します。電源が入ったときに電源供給能力が不足すると、故障の原因となります。本機および本機の電源が入ったときと連動して電源が入る接続機器（ビューファインダーなど）の、総消費電力の 2 倍以上の電力を確保できる、外部 DC 電源のご使用をお勧めします。DC コードは AWG18（公称断面積 0.824 mm^2）以上の芯線の 2 芯シールドコードをご使用ください。

- 外部 DC 電源の DC 出力端子と、本機の〈DC IN〉端子のピン配列を確認し、極性を正しく接続してください。
  誤って GND 端子に +12 V の電源を接続すると、火災や故障の原因になります。

DC IN		
	1	UNREG GND
	2	未使用
	3	未使用
	4	+12 V
	XLR-4-32-F512（アイティティキャノン）	

NOTE

- 外部 DC 電源を使用するときは、必ず外部 DC 電源の〈POWER〉スイッチを入れた後、本機の〈POWER〉スイッチを〈EXT〉にしてください。逆の操作を行った場合、外部 DC 電源の出力電圧がゆっくり立ち上がるため、本機が誤動作することがあります。
- 本機と CCU を接続時も、外部 DC 電源で CCU および ROP からの操作はできます。動作は本機と CCU の延長距離に影響します。
- 外部 DC 電源を使用しているときに本機と CCU、カメラファイバーアダプターを接続する場合は、次のようにしてください。
  - CCU、カメラファイバーアダプターとの接続は、光ファイバーマルチケーブルを使用してください。

  CCU との接続：
  - [ALL MENU] → [BASIC CONFIG] → [OPT MODE] を [CCU CONNECT] に設定してください。

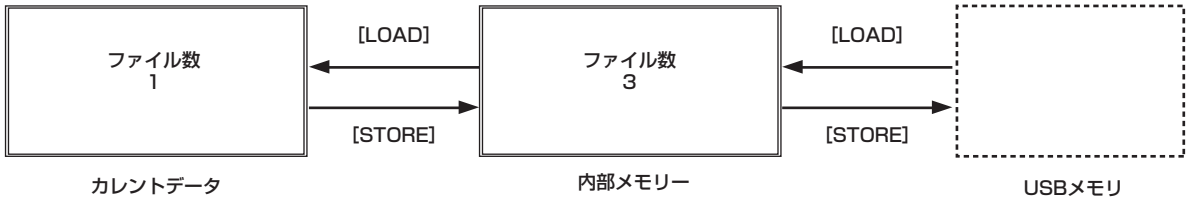
  カメラファイバーアダプターとの接続：
  - [ALL MENU] → [BASIC CONFIG] → [OPT MODE] を [CCU CONNECT] 以外に設定してください。

データについて

カメラで取り扱うデータは次のとおりです。

管理機器	名称	個数	説明
カメラ	ユーザーファイル	1 ～ 3	[ALL MENU] で設定されたカメラで保持している機器設定データです。 カメラにて管理します。 [ALL MENU] → [FILES] → [USER FILE] で保存、読み出しができます。
	レンズファイル	1 ～ 32	ビデオエンジニアが扱うレンズ固有の特性を補正するデータです。 カメラにて管理します。 [ALL MENU] → [MAINTENANCE] → [LENS FILE ADJUST] で保存、読み出しができます。
	シーンファイル	1 ～ 8	主にビデオエンジニアが扱う絵作り用データです。 カメラにて管理します。 [ALL MENU] → [FILES] → [SCENE FILE] で保存、読み出しができます。
	オペレーションファイル	1	主にカメラマンが扱う操作用データです。 カメラにて管理します。 [ALL MENU] → [FILES] → [USB MEDIA] で USB メモリを使用して保存、読み出しができます。
	リファレンスファイル	1 ～ 3	機器設定データから操作用データを除いたデータです。 カメラにて管理します。 [ALL MENU] → [FILES] → [REFERENCE FILE] で保存、読み出しができます。
	ネットワークファイル	1	ネットワーク関連の設定データです。 カメラにて管理します。 [ALL MENU] → [FILES] → [USB MEDIA] で USB メモリを使用して保存、読み出しができます。
	イベント / エラーファイル	1 ～ 3	カメラの状態履歴とエラー履歴のデータです。 [ALL MENU] → [FILES] → [USB MEDIA] で USB メモリを使用して読み出しができます。 ***NOTE*** • ファイルは最大 3 ファイル読み出しされます。（イベント 1、エラー 2） • 履歴情報がないエラーファイルは出力されません。 • 履歴情報は消去することはできません。

ユーザーファイル



■ 読み出し

[ALL MENU] → [FILES] → [USB MEDIA] で、カメラの USB メモリ挿入部に挿入された USB メモリよりオペレーションデータを実動作領域へ読み出すことができます。

また、実動作領域のオペレーションデータを USB メモリへ保存できます。

NOTE

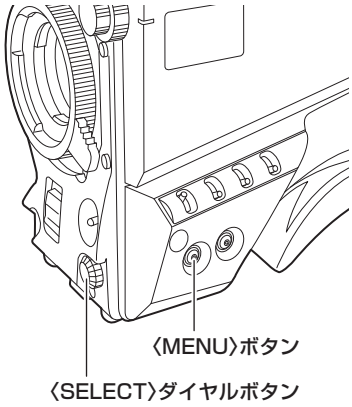
• 本機の〈USB3.0 HOST〉端子に、USB メモリ（Type C）を直接接続してご使用ください。
　USB ハブや SD カード変換アダプターを使用すると、正しく動作しないことがあります。
• 本機は、exFAT/FAT32 に対応しています。対応フォーマット以外は認識できません。
• ファイル名について
　- 本機でのファイル名の設定は 15 文字まで可能です。
　- PC 等で付与されたファイル名が 15 文字を超える場合は、先頭から 12 文字を表示して残りは “...” で表示が省略されます。
　- 本機で使用できない文字が付与されている場合、本機では、“_” に置き換えて取り込みます。

第４章　メニュー操作

本機のメニュー操作方法、設定メニューの構成、設定メニューの詳細について説明します。

メニューの操作

基本操作



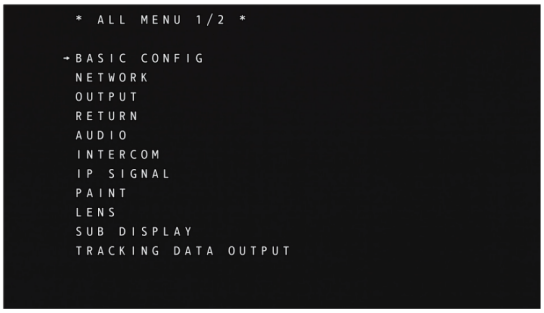


図 1

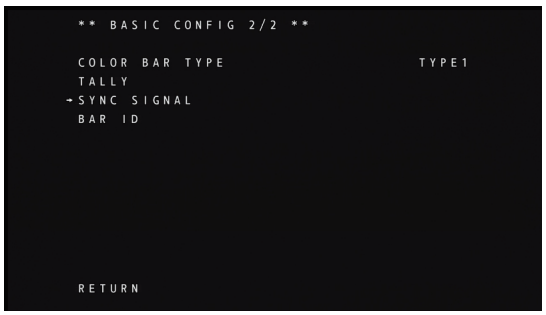


図 2

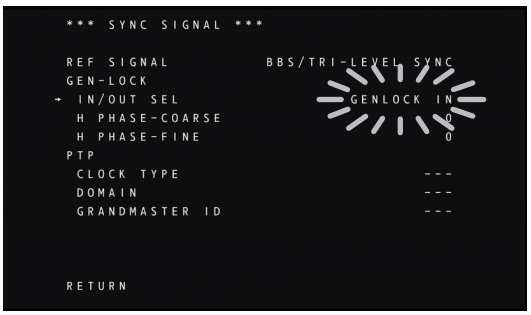


図 3

1 〈MENU〉ボタンを押す。

ビューファインダーまたはモニターに、カメラの [ALL MENU] が表示されます。（図 1）

2 〈SELECT〉ダイヤルボタンを回して項目を選択する。

3 〈SELECT〉ダイヤルボタンを押す。

選択した項目のメニューに入ります。（図 2）

4 〈SELECT〉ダイヤルボタンを回して設定するメニュー項目を選択する。

5 〈SELECT〉ダイヤルボタンを押す。

矢印で示された項目の設定が点滅します。（図 3）

6 〈SELECT〉ダイヤルボタンを回して、設定を変更する。

7 〈SELECT〉ダイヤルボタンを押す。

設定が確定します。
〈MENU〉ボタンを押して、メニュー画面を閉じても、設定は反映されます。

文字を入力するには

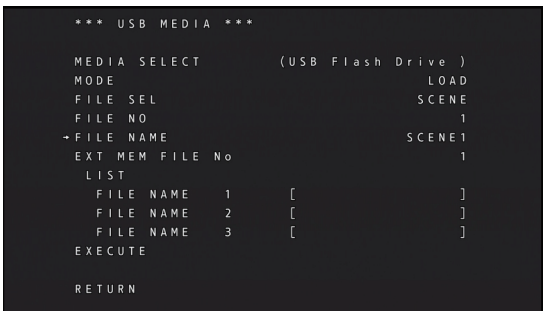


図 1

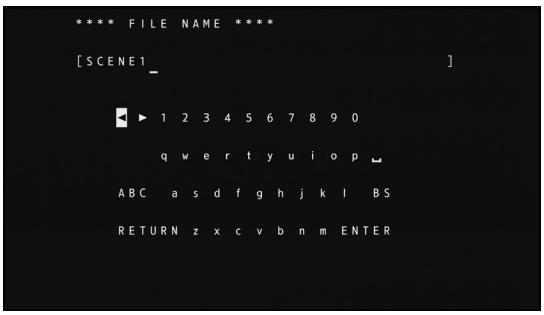


図 2

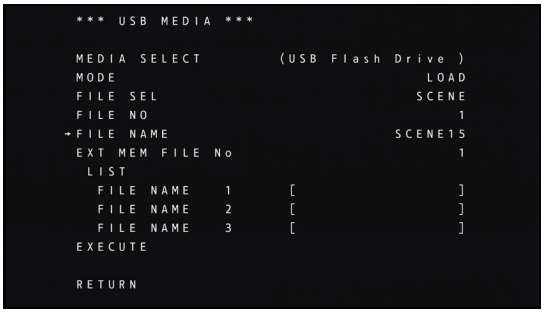


図 3

1 〈SELECT〉ダイヤルボタンを押す。（図 1、図 2）

2 〈SELECT〉ダイヤルボタンを回して、文字を変更する。

3 〈SELECT〉ダイヤルボタンを回して、[ENTER] を押す。

設定が確定します。（図 3）
別の項目が選択できるようになります。

メニューの構成

[ALL MENU]

BASIC CONFIG	カメラの基本的な設定項目（システム設定項目）を設定します。
NETWORK	ネットワーク関連の基本設定項目を設定します。
OUTPUT	各出力端子の項目を設定します。
RETURN	リターン映像に関する項目を設定します。
AUDIO	音声関連の項目を設定します。
INTERCOM	インターカム関連の項目を設定します。
IP SIGNAL	IP 関連の映像 / 音声出力に関する項目を設定します。
PAINT	カメラ映像に関する項目を設定します。
FOCUS SETTING	フォーカス関連の項目を設定します。
LENS	レンズ関連の項目を設定します。
SUB DISPLAY	ステータス表示 / インジケータ表示などの項目を設定します。
TRACKING DATA OUTPUT	トラッキングデータ出力に関する項目を設定します。
SWITCH ASSIGN	スイッチに割り当てる機能を設定します。
FILES	SCENE ファイルや USB メモリに関する項目を設定します。
MAINTENANCE	メンテナンスに関する項目を設定します。

NOTE

- 電源を入れた直後は、本機が起動中のため一部のメニューを選択できません。
  異常ではありません。しばらく待ってから操作してください。
- メニュー設定変更後、すぐに電源を切ると設定値が反映されない場合があります。
  確実に反映させるためには、設定後 10 秒以上待ってから電源を切ってください。

メニューの一覧

S：シーンファイルデータとして保存 / 読み出しができます。
U：ユーザーファイルデータとして保存 / 読み出しができます。
O：オペレーションファイルデータとして保存 / 読み出しができます。
R：リファレンスファイルデータとして保存 / 読み出しができます。
N：ネットワークファイルデータとして保存 / 読み出しができます。

[BASIC CONFIG]

電源を入れた直後は、本機が起動中のため [FREQUENCY] を選択できません。
異常ではありません。しばらく待ってから操作してください。

項目	設定内容
[FREQUENCY]	システム周波数を設定します。 **[59.94Hz]、[50Hz]** • 工場出荷値：[59.94Hz]
[FORMAT]	システムフォーマットを設定します。 **[2160/120fps]、[2160/59.94p]、[2160/29.97p]、[2160/23.98p]、[1080/240fps]、[1080/180fps]、[1080/120fps]、[1080/59.94p]、[1080/29.97p]、[1080/23.98p]、[2160/100fps]、[2160/50p]、[2160/25p]、[1080/200fps]、[1080/150fps]、[1080/100fps]、[1080/50p]、[1080/25p]** • 工場出荷値：[2160/59.94p] ***NOTE*** • [OPT MODE] が [CCU CONNECT] のときのみ、ハイスピードモード（HS モード）の設定ができます。
[FPS SW]	FPS 機能の有効 / 無効を設定します。 **[OFF]、[ON]** • 工場出荷値：[OFF] ***NOTE*** • [FORMAT] が [2160/59.94p] または [1080/59.94p] のときのみ設定できます。
[FPS]	[FPS SW] が [ON] のときに、MOS センサーのフレームレートを設定します。 **[60]、[30]、[24]** • 工場出荷値：[60]
[OPT MODE]	OPT モードを設定します。 **[CCU CONNECT]、[ST2110]、[ST2110 JPEG XS]** • 工場出荷値：[CCU CONNECT]
[SFP FEC]	SFP モードの誤り訂正機能の有効 / 無効を設定します。 **[25G-FEC]、[25G]** • 工場出荷値：[25G-FEC]
[LAN(RJ45) MODE] URN	〈LAN〉端子の用途を設定します。 **[TRUNK]、[IP CONTROL]** • 工場出荷値：[IP CONTROL] ***NOTE*** • [OPT MODE] が [ST2110] および [ST2110 JPEG XS] 時は [TRUNK] は選択できません。
[V-LOG] UR	V-LOG モードの有効 / 無効を設定します。 **[OFF]**：今までのスタジオカメラ同等に、カメラで詳細な画質調整を行う設定にします。 **[ON]**：階調と広いラティチュード（露光範囲）が得られるガンマカーブにします。撮影後のグレーディング処理が必要です。 • 工場出荷値：[OFF] ***NOTE*** • [HDR] が [ON] のときは [V-LOG] は選択できません。
[V-LOG PAINT SW] UR	[V-LOG] が [ON] 時に、[PAINT] メニューを設定可能にするかどうかを選択します。 **[OFF]、[ON]** • 工場出荷値：[OFF] ***NOTE*** [V-LOG PAINT SW] を [ON] に設定しても、下記機能は設定できません。 • [GAMMA/BLACK GAMMA] の [GAMMA]、[GAMMA MODE SELECT]、[MASTER GAMMA]、[R GAMMA]、[B GAMMA]、[INITIAL GAMMA] • [DRS] の [DRS]、[EFFECT DEPTH] • [LINEAR MATRIX] の [PRESET MATRIX] • [COLOR CORRECTION] の [PRESET MATRIX]
[HDR] UR	HDR モードの有効 / 無効を設定します。 **[OFF]、[ON]** • 工場出荷値：[OFF] ***NOTE*** • [V-LOG] が [ON] のときは [HDR] は選択できません。
[GAMUT] UR	[HDR] が [ON] のときに、色域を切り替えます。 **[NORMAL]、[WIDE_G2]** • 工場出荷値：[NORMAL]

項目		設定内容
[SHOOTING MODE] UR		撮影モードを設定します。 **[NORMAL]、[LOW LIGHT]** • 工場出荷値：[NORMAL]
[SCAN MODE]		センサーの読み出し方式を選択します。 **[NORMAL]**：通常の読み出しモード **[LOW SKEW]**：スキューを低減する高速読み出しモード • 工場出荷値：[NORMAL] ***NOTE*** • [FORMAT] が [2160/120fps]、[1080/240fps]、[1080/180fps]、[1080/120fps]、[2160/100fps]、[1080/200fps]、[1080/150fps]、[1080/100fps] のときは [SCAN MODE] は設定できません。 • [LOW SKEW] 設定時は [NORMAL] 設定時よりもノイズ感が多くなります。
[COLOR BAR TYPE] UR		表示するカラーバーのタイプを設定します。 **[TYPE1:SMPTE]** **[TYPE2:FULL]** **[TYPE3:ARIB(FHD)]** **[TYPE4:ARIB(UHD)]** **[TYPE5:ARIB(2020/HLG)]** • 工場出荷値：[TYPE1:SMPTE] ***NOTE*** • IP 配信系（H.264/H.265/M-JPEG）のカラーバーは、SMPTE 準拠しません。 • [TYPE4:ARIB(UHD)]/[TYPE5:ARIB(2020/HLG)] では、709 設定時は 709 が出力されます。
[TALLY]	[CALL TALLY] UR	コール時にリアタリーランプを点灯させるかどうかを設定します。 **[OFF]**：消灯 **[R]**：レッドタリーが点灯 **[T]**：アップタリーが点灯 **[R&T]**：レッドタリーとアップタリーの両方が点灯 • 工場出荷値：[OFF]
	[TALLY GUARD] UR	タリーランプが点灯しているときの、オートホワイトバランス、オートブラックバランスの有効 / 無効を設定します。 **[OFF]、[ON]** • 工場出荷値：[OFF]
	[TSL5.0]	TSL Protocol 5.0 による TALLY 制御に関する設定を行います。
	[INDEX NO.] URN	TALLY 出力される機器で設定される INDEX NO. を設定します。 **[1] … [65534]** • 工場出荷値：[1]
	[PORT] URN	PORT 番号を設定します。 **[1] … [65535]** • 工場出荷値：[62000]
[SYNC SIGNAL]	[REF SIGNAL] UR	基準信号の入力端子を設定します。 **[BBS/TRI-LEVEL SYNC]、[PTP]** • 工場出荷値：[BBS/TRI-LEVEL SYNC] ***NOTE*** • [OPT MODE] が [CCU CONNECT]、または、[IP SIGNAL] − [ST2110 COMMON] − [MOIP MODE] が [OFF] のときは、[BBS/TRI-LEVEL SYNC] 固定です。
	[GEN-LOCK]	—
	[IN/ OUT SEL] UR	〈G/L IN / REF OUT〉端子を設定します。 **[GENLOCK IN]、[REF OUT]** • 工場出荷値：[GENLOCK IN]
	[H PHASE-COARSE] UR	水平同期の位相合わせの粗調整をします。 **[–100] … [+100]** • 工場出荷値：[0]
	[H PHASE-FINE] UR	水平同期の位相合わせの微調整をします。 **[–100] … [+100]** • 工場出荷値：[0]
	[PTP]	—
	[CLOCK TYPE] UR	PTP の CLOCK TYPE を設定します。 **[BC]、[E2E TC]、[P2P TC]** • 工場出荷値：[BC]
	[DOMAIN] UR	DOMAIN 番号を設定します。 **[0] … [127]** • 工場出荷値：[127]
	[GMID]	PTP サーバーから通知される GRANDMASTER ID を表示します。
[CAMERA NUMBER] UR		本機のカメラ番号を設定します。 **[1] … [99]** • 工場出荷値：[1] ***NOTE*** • CCU と接続時には CCU に登録されたカメラ番号が CAMERA NUMBER に反映されます。

項目		設定内容
[BAR ID]	[BAR ID] U R	カラーバー上のカメラ ID の有効 / 無効を設定します。 **[OFF]、[ON]** • 工場出荷値：[OFF]
	[BRIGHTNESS] U R	カラーバー上のカメラ ID の文字色を設定します。 **[0%] … [100%]** • 工場出荷値：[100%]
	[ID1 POSITION V] U R	カラーバー上のカメラ ID1 の表示開始位置（垂直方向）を設定します。 **[0] … [5]** • 工場出荷値：[0]
	[ID1 POSITION H] U R	カラーバー上のカメラ ID1 の表示開始位置（水平方向）を設定します。 **[0] … [15]** • 工場出荷値：[0]
	[ID1] U R	カメラ ID1 を設定します。 最大 16 文字（半角英数字、空白、! # % & ' ( ) * + , - . / : ; < = > ? [ ] _ ˜ $ @ ¦） ***NOTE*** • 設定する文字に“##”を使用すると、CAMERA NUMBER メニューで設定したカメラ番号の数字に置き換えて挿入されます。
	[ID2 POSITION V] U R	カラーバー上のカメラ ID2 の表示開始位置（垂直方向）を設定します。 **[0] … [5]** • 工場出荷値：[1]
	[ID2 POSITION H] U R	カラーバー上のカメラ ID2 の表示開始位置（水平方向）を設定します。 **[0] … [15]** • 工場出荷値：[0]
	[ID2] U R	カメラ ID2 を設定します。 最大 16 文字（半角英数字、空白、! # % & ' ( ) * + , - . / : ; < = > ? [ ] _ ˜ $ @ ¦） ***NOTE*** • 設定する文字に“##”を使用すると、CAMERA NUMBER メニューで設定したカメラ番号の数字に置き換えて挿入されます。
	[OFFSET V] U R	文字描画領域の原点（左上）を、垂直方向に画素単位で指定します。 **[0] … [89]** • 工場出荷値：[0]
	[OFFSET H] U R	文字描画領域の原点（左上）を、水平方向に画素単位で指定します。 **[0] … [79]** • 工場出荷値：[0]

[NETWORK]

項目		設定内容
[LAN]		〈LAN〉端子のネットワークを設定します。
	[DHCP]	DHCP の有効 / 無効を設定します。 **[OFF]、[ON]** • 工場出荷値：[OFF]
	[IP ADDRESS]	IP アドレスを設定します。 • 工場出荷値：[192.168.0.30]
	[SUBNET MASK]	サブネットマスクを設定します。 • 工場出荷値：[255.255.255.0]
	[DEFAULT GATEWAY]	デフォルトゲートウェイを設定します。 • 工場出荷値：[192.168.0.1]
	[MAC ADDRESS]	MAC アドレスを表示します。
	[SET EXECUTE]	設定した内容を保存する場合に選択します。
[SFP28 PRIMARY]		〈SFP 1〉端子のネットワークを設定します。
	[DHCP]	DHCP の有効 / 無効を設定します。 **[OFF]、[ON]** • 工場出荷値：[OFF]
	[IP ADDRESS]	IP アドレスを設定します。 • 工場出荷値：[192.168.1.30]
	[SUBNET MASK]	サブネットマスクを設定します。 • 工場出荷値：[255.255.255.0]
	[DEFAULT GATEWAY]	デフォルトゲートウェイを設定します。 • 工場出荷値：[192.168.1.1]
	[MAC ADDRESS]	MAC アドレスを表示します。
	[SET EXECUTE]	設定した内容を保存する場合に選択します。
[SFP28 SECONDARY]		〈SFP 2〉端子のネットワークを設定します。
	[DHCP]	DHCP の有効 / 無効を設定します。 **[OFF]、[ON]** • 工場出荷値：[OFF]
	[IP ADDRESS]	IP アドレスを設定します。 • 工場出荷値：[192.168.2.30]

項目			設定内容
	[SUBNET MASK]		サブネットマスクを設定します。 • 工場出荷値：[255.255.255.0]
	[DEFAULT GATEWAY]		デフォルトゲートウェイを設定します。 • 工場出荷値：[192.168.2.1]
	[MAC ADDRESS]		MAC アドレスを表示します。
	[SET EXECUTE]		設定した内容を保存する場合に選択します。
[USB]			〈USB 3.0 HOST〉端子のネットワークを設定します。
	[DHCP]		DHCP の有効 / 無効を設定します。 **[OFF]、[ON]** • 工場出荷値：[OFF]
	[IP ADDRESS]		IP アドレスを設定します。 • 工場出荷値：[192.168.3.30]
	[SUBNET MASK]		サブネットマスクを設定します。 • 工場出荷値：[255.255.255.0]
	[DEFAULT GATEWAY]		デフォルトゲートウェイを設定します。 • 工場出荷値：[192.168.3.1]
	[SET EXECUTE]		設定した内容を保存する場合に選択します。
[COMMON SETTING]			—
	[DNS] N		DNS サーバーのアドレスの取得方法を設定します。 **[MANUAL]、[AUTO]** • 工場出荷値：[MANUAL]
	[PRIMARY] N		DNS の PRIMARY アドレスを設定します。 表示のみ（OSD メニューでは設定変更できないため、設定変更する場合は Web 画面から設定してください。）
	[SECONDARY] N		DNS の SECONDARY アドレスを設定します。 表示のみ（OSD メニューでは設定変更できないため、設定変更する場合は Web 画面から設定してください。）
	[DOMAIN] N		DHCP サーバーが割り当てた値を表示します。 表示のみ（OSD メニューでは設定変更できないため、設定変更する場合は Web 画面から設定してください。）
	[HTTP PORT] N		HTTP で使用するときのポート番号を設定します。 **[1] … [65535]** 以下のポート番号は、本機で使用していますので設定できません。 [20]、[21]、[23]、[25]、[42]、[53]、[67]、[68]、[69]、[110]、[123]、[161]、[162]、[443]、[546]、[547]、[554]、[995]、[5960] … [5985]、[7960] … [8060]、[10669]、[10670]、[59000] … [61000] • 工場出荷値：[80]
	[HTTPS PORT] N		HTTPS で使用するときのポート番号を設定します。 **[1] … [65535]** 以下のポート番号は、本機で使用していますので設定できません。 [20]、[21]、[23]、[25]、[42]、[53]、[67]、[68]、[69]、[80]、[110]、[123]、[161]、[162]、[546]、[547]、[554]、[995]、[5960] … [5985]、[7960] … [8060]、[10669]、[10670]、[59000] … [61000] • 工場出荷値：[443]
	[WEB CONNECTION] N		本機への接続方法を設定します。 **[HTTP]、[HTTPS]** • 工場出荷値：[HTTP]
	[ROP PORT] N		ROP と接続するときのポート番号を設定します。 **[49152]、[49200] … [49299]** • 工場出荷値：[49152]
	[ROP AUTH MODE] N		ユーザー認証で使用するアルゴリズムを設定します。 **[SHA2&MD5]、[SHA2]** • 工場出荷値：[SHA2&MD5]
	[SET EXECUTE]		設定した内容を保存する場合に選択します。
	[NTP]		—
		[SYNCHRONIZATION WITH NTP] U R N	NTP サーバー同期の有効 / 無効を設定します。 **[ON]、[OFF]** • 工場出荷値：[OFF]
		[NTP SERVER ADDRESS SETTING] U R N	NTP サーバーのアドレスの取得方法を設定します。 **[AUTO]、[MANUAL]** • 工場出荷値：[MANUAL]
		[NTP SERVER ADDRESS] N	[NTP SERVER ADDRESS SETTING] が [MANUAL] のときに、NTP サーバーの IP アドレスを設定します。 最大 128 文字（半角英数字、: . _ -）
		[NTP PORT] N	接続先 NTP サーバーのポート番号を設定します。 **[1] … [65535]** 以下のポート番号は、本機で使用していますので設定できません。 [20]、[21]、[23]、[25]、[42]、[53]、[67]、[68]、[69]、[80]、[110]、[161]、[162]、[443]、[546]、[547]、[554]、[995]、[5960] … [5985]、[7960] … [8060]、[10669]、[10670]、[59000] … [61000] • 工場出荷値：[123]

項目			設定内容
		[TIME ADJUSTMENT INTERVAL] U R N	NTP サーバーへのアクセス間隔を設定します。 **[1h] … [24h]** • 工場出荷値：[1h]
		[SET EXECUTE]	設定した内容を保存する場合に選択します。
	[NMOS]		—
		[NMOS] U R N	NMOS 機能の有効 / 無効を設定します。 **[ON]、[OFF]** • 工場出荷値：[OFF] ***NOTE*** • [IP SIGNAL] − [MOIP MODE] が [OFF]、または、[BASIC CONFIG] − [OPT MODE] が [CCU CONNECT] のときは [OFF] 固定です。
		[STATUS] N	RDS 接続状態などの NMOS 動作状態を表示します。 **[UNREGISTERED]、[REGISTERING]、[REGISTERED]、[P2P MODE]、[---]**
		[PORT(IS-04)] N	IS-04 Node API 用カメラ側ポート番号を設定します。 **[1024] … [65535]** • 工場出荷値：[50040]
		[PORT(IS-05)] N	IS-05 Connection API 用カメラ側ポート番号を設定します。 **[1024] … [65535]** • 工場出荷値：[50050]
		[RDS IP ADDR] N	自動検出した IP アドレスを表示します。
		[RDS PORT] N	自動検出したポート番号を表示します。
		[LABEL SETTING] U R N	ラベル名を自動で取得するか、手動で入力するかを設定します。 **[AUTO]、[MANUAL]** • 工場出荷値：[AUTO]
		[LABEL PREFIX] U R N	本機の各 NMOS リソース名に共通して付与する接頭辞を設定します。 最大 16 文字（半角英数字、空白、! # % ( ) + - . / =[ ] _） • 工場出荷値：[UCX100_****]（**** は、MAC アドレスの下 4 桁）
		[SET EXECUTE]	設定した内容を保存する場合に選択します。
		[DISCOVERY] U R N	NMOS リソースの検出方法を設定します。 **[Auto]、[mDNS]、[uniDNS]、[Manual]** • 工場出荷値：[Auto]
		[RDS IP ADDR MANUAL] N	手動で入力する IP アドレスを入力します。 • 工場出荷値：[192.168.0.130]
		[RDS PORT MANUAL] N	手動で入力するポート番号を設定します。 **[1024] … [65535]** • 工場出荷値：[8010]
		[SET EXECUTE]	設定した内容を保存する場合に選択します。

[OUTPUT]

項目		設定内容
[SDI OUT1]	[OUTPUT SELECT] U R	〈SDI OUT 1〉端子の出力映像を設定します。 **[CAM]**：カメラ映像を出力 **[HD PROMPT]**：HD のプロンプター映像を出力 • 工場出荷値：[CAM]
	[FORMAT SELECT] U R	〈SDI OUT 1〉端子の出力映像の信号フォーマットを設定します。 **[2160p]、[1080p]、[1080i]** • 工場出荷値：[2160p] ***NOTE*** • [2160p] は、[OUTPUT SELECT] が [CAM] のときのみ選択できます。 • [OUTPUT SELECT] が [HD PROMPT] のときは [2160p] は選択できません。 • [OPT MODE] が [CCU CONNECT] のとき、[HD PROMPT] は [1080i] 固定です。
	[HDR OUTPUT SELECT] U R	[HDR] が [ON] のときに〈SDI OUT 1〉端子から出力する信号を設定します。 **[SDR(709)]、[HDR(709)]、[HDR(2020)]** • 工場出荷値：[HDR(2020)] ***NOTE*** • [OUTPUT SELECT] が [CAM] のときのみ設定できます。 • [HDR(2020)] は、[BASIC CONFIG] − [GAMUT] が [WIDE_G2] のときのみ選択できます。
	[V-LOG OUTPUT SELECT] U R	[V-LOG] が [ON] のときに〈SDI OUT 1〉端子から出力する信号を設定します。 **[V-LOG]、[V-709]、[BC709]** • 工場出荷値：[V-LOG] ***NOTE*** • [OUTPUT SELECT] が [CAM] のときのみ設定できます。

項目		設定内容
	[OUTPUT ITEM] U R	〈SDI OUT 1〉端子の出力映像に重畳するキャラクターの内容を設定します。 **[MENU ONLY]**：メニューのときのみ表示 **[STATUS]**：ビューファインダーに表示しているキャラクターと同じものを全て表示 • 工場出荷値：[MENU ONLY]
	[CHAR] U R	〈SDI OUT 1〉端子の出力映像にキャラクターを重畳するかどうかを設定します。 **[OFF]**、**[ON]** • 工場出荷値：[OFF]
[SDI OUT2]	[OUTPUT SELECT] U R	〈SDI OUT 2〉端子の出力映像を設定します。 **[CAM]**：カメラ映像を出力 **[VF]**：ビューファインダー映像を出力 **[RET]**：リターン映像を出力 **[RET1]**、**[RET2]**、**[RET3]**、**[RET4]**：固定のリターン映像を出力 • 工場出荷値：[VF]
	[FORMAT SELECT] U R	〈SDI OUT 2〉端子の出力映像の信号フォーマットを設定します。 **[2160p]**、**[1080p]**、**[1080i]** • 工場出荷値：[1080i] ***NOTE*** • [2160p] は、[OUTPUT SELECT] が [CAM] のとき、かつ、[OPT MODE] が [CCU CONNECT] のときのみ選択できます。 • [OUTPUT SELECT] が [VF] のときは [1080i] 固定です。 • [OPT MODE] が [CCU CONNECT] のとき、[RET] ～ [RET4] は [1080i] 固定です。 • [OPT MODE] が [CCU CONNECT] 以外のとき、かつ、[FORMAT] が [29.97p]、[23.98p]、[25p] のときは [1080p] 固定です。
	[HDR OUTPUT SELECT] U R	[HDR] が [ON] のときに〈SDI OUT 2〉端子から出力する信号を設定します。 **[SDR(709)]**、**[HDR(709)]**、**[HDR(2020)]** • 工場出荷値：[HDR(709)] ***NOTE*** • [OUTPUT SELECT] が [CAM] または [VF] のときのみ設定できます。 • [HDR(2020)] は、[BASIC CONFIG] − [GAMUT] が [WIDE_G2] のときのみ選択できます。
	[V-LOG OUTPUT SELECT] U R	[V-LOG] が [ON] のときに〈SDI OUT 2〉端子から出力する信号を設定します。 **[V-LOG]**、**[V-709]**、**[BC709]** • 工場出荷値：[V-709] ***NOTE*** • [OUTPUT SELECT] が [CAM] または [VF] のときのみ設定できます。
	[OUTPUT ITEM] U R	〈SDI OUT 2〉端子の出力映像に重畳するキャラクターの内容を設定します。 **[MENU ONLY]**：メニューのときのみ表示 **[STATUS]**：ビューファインダーに表示しているキャラクターと同じものを全て表示 • 工場出荷値：[MENU ONLY]
	[CHAR] U R	〈SDI OUT 2〉端子の出力映像にキャラクターを重畳するかどうかを設定します。 **[OFF]**、**[ON]** • 工場出荷値：[ON]
[BACK LIGHT] U R		バックライトの明るさを設定します。 **[1]** … **[70]** • 工場出荷値：[20]

[RETURN]

項目		設定内容
[RETURN MODE] U O		〈RET〉スイッチの操作モードを設定します。 **[NORM]**、**[TOGGLE]**、**[BOX]** • 工場出荷値：[NORM]
[RETURN SELECT]	[RETURN C] U O	リターン C に割り当てる信号を設定します。 **[RETURN1]**、**[RETURN2]**、**[RETURN3]**、**[RETURN4]** • 工場出荷値：[RETURN1]
[RETURN1 ID] U O		リターンビデオ 1 の名称を設定します。(5 文字以内　半角英数字、空白、! # % & ' ( ) * + , - . / : ; < = > ? [ ] _ ` $ @ ¦) • 工場出荷値：[RET.1]
[RETURN2 ID] U O		リターンビデオ 2 の名称を設定します。(5 文字以内　半角英数字、空白、! # % & ' ( ) * + , - . / : ; < = > ? [ ] _ ` $ @ ¦) • 工場出荷値：[RET.2]
[RETURN3 ID] U O		リターンビデオ 3 の名称を設定します。(5 文字以内　半角英数字、空白、! # % & ' ( ) * + , - . / : ; < = > ? [ ] _ ` $ @ ¦) • 工場出荷値：[RET.3]
[RETURN4 ID] U O		リターンビデオ 4 の名称を設定します。(5 文字以内　半角英数字、空白、! # % & ' ( ) * + , - . / : ; < = > ? [ ] _ ` $ @ ¦) • 工場出荷値：[RET.4]

[AUDIO]

項目		設定内容
[INPUT1 SETTING]	[MIC GAIN] U O	〈MIC 1〉端子にマイク入力したときのゲインを設定します。 **[60dB]、[40dB]、[20dB]** • 工場出荷値：[60dB]
	[LINE LEVEL] U O	〈MIC 1〉端子にライン入力したときの入力レベルを設定します。 **[0dB]、[+4dB]** • 工場出荷値：[0dB]
	[MIC AMP] U O	〈MIC 1〉端子への入力レベルを調整します。 **[–20dB] … [+20dB]** • 工場出荷値：[0dB]
[INPUT2 SETTING]	[MIC GAIN] U O	〈MIC 2〉端子にマイク入力したときのゲインを設定します。 **[60dB]、[40dB]、[20dB]** • 工場出荷値：[60dB]
	[LINE LEVEL] U O	〈MIC 2〉端子にライン入力したときの入力レベルを設定します。 **[0dB]、[+4dB]** • 工場出荷値：[0dB]
	[MIC AMP] U O	〈MIC 2〉端子への入力レベルを調整します。 **[–20dB] … [+20dB]** • 工場出荷値：[0dB]
	[MIC INPUT SELECT] U O	〈MIC 2〉端子の入力信号を設定します。 PGM オプションを使用しているときのみ設定できます。 **[FRONT MIC]、[OFF]** • 工場出荷値：[OFF]
[FRONT MIC POWER] U O		〈MIC〉端子（フロント）に接続した外部マイクのファントム電源（48 V）の有効 / 無効を設定します。 PGM オプションを使用しているときのみ設定できます。 **[ON]、[OFF]** • 工場出荷値：[OFF]
[ST2110 AUDIO FORMAT]	[IP SIGNAL] − [MOIP MODE] が [OFF]、または、[BASIC CONFIG] − [OPT MODE] が [CCU CONNECT] のときは設定できません。	
	[MIC1 TX] U R	MIC 1 の出力フォーマットを設定します。 **[1ms/8ch]、[0.125ms/8ch]、[0.125ms/64ch]** • 工場出荷値：[1ms/8ch]
	[MIC2 TX] U R	MIC 2 の出力フォーマットを設定します。 **[1ms/8ch]、[0.125ms/8ch]、[0.125ms/64ch]** • 工場出荷値：[1ms/8ch]
	[MIX TX] U R	MIX の出力フォーマットを設定します。 **[1ms/8ch]、[0.125ms/8ch]、[0.125ms/64ch]** • 工場出荷値：[1ms/8ch]
	[TRUNK TX] U R	TRUNK の出力フォーマットを設定します。 **[1ms/8ch]（固定）**
	[PGM1 RX] U R	PGM 1 の入力フォーマットを設定します。 **[1ms/8ch]、[0.125ms/8ch]、[0.125ms/64ch]** • 工場出荷値：[1ms/8ch]
	[PGM2 RX] U R	PGM 2 の入力フォーマットを設定します。 **[1ms/8ch]、[0.125ms/8ch]、[0.125ms/64ch]** • 工場出荷値：[1ms/8ch]
	[PROMPTER RX] U R	PROMPTER の入力フォーマットを設定します。 **[1ms/8ch]（固定）**
	[INCOM1 TX (ENG)] U R	INCOM 1 の出力フォーマットを設定します。 **[1ms/8ch]、[0.125ms/8ch]、[0.125ms/64ch]** • 工場出荷値：[1ms/8ch]
	[INCOM2 TX (PROD)] U R	INCOM 2 の出力フォーマットを設定します。 **[1ms/8ch]、[0.125ms/8ch]、[0.125ms/64ch]** • 工場出荷値：[1ms/8ch]
	[INCOM1 RX (ENG)] U R	INCOM 1 の入力フォーマットを設定します。 **[1ms/8ch]、[0.125ms/8ch]、[0.125ms/64ch]** • 工場出荷値：[1ms/8ch]
	[INCOM2 RX (PROD)] U R	INCOM 2 の入力フォーマットを設定します。 **[1ms/8ch]、[0.125ms/8ch]、[0.125ms/64ch]** • 工場出荷値：[1ms/8ch]

[INTERCOM]

項目		設定内容
[INTERCOM1]	[INCOM1 TALK SETTING]	–
	[MIC TYPE] UO	インターカム 1 マイクのタイプを選択します。 **[DYN]**：ダイナミック型 **[ECM]**：コンデンサー型 **[CBN]**：カーボン型 • 工場出荷値：[DYN]
	[MIC POWER] UO	インターカム 1 マイクの電源供給の入 / 切を設定します。 **[OFF]**、**[ON]** • 工場出荷値：[OFF]
	[MIC GAIN] UO	インターカム 1 のマイクのボリュームを設定します。 **[–12dB]** … **[12dB]** • 工場出荷値：[0dB]
	[SIDE TONE] UO	インターカム 1 のマイクサイドトーンのボリュームを設定します。 **[OFF]**、**[–36dB]** … **[0dB]**（3 dB ステップ） • 工場出荷値：[–6dB]
	[INCOM1 TO CCU] UO	インターカム 1 のマイク音声を CCU へ送るかどうかを設定します。 **[OFF]**、**[ON]** • 工場出荷値：[ON]
	[INCOM1 RECEIVE SETTING]	—
	[OUTPUT GAIN] UO	インターカム 1 の音声出力のゲインを設定します。 **[NORMAL]**、**[BOOST]** • 工場出荷値：[NORMAL]
	[OUTPUT CH] UO	インターカム 1 の音声出力の割り当てを設定します。 **[CH1/CH2]**、**[CH2/CH1]** • 工場出荷値：[CH1/CH2]
	[INCOM1 RECEIVE CH1 SETTING]	—
	[ENG MIX] UO	インターカム 1 の CH1 出力に ENG 信号をミックスさせるかどうかを〈PROD〉/〈BOTH〉/〈ENG〉スイッチ（25 ページの **12**）で指定するか、本項目を [ON] にすることでミックスさせるかどうかを設定します。 **[SWITCH]**、**[ON]** • 工場出荷値：[SWITCH]
	[PROD MIX] UO	インターカム 1 の CH1 出力に PROD 信号をミックスさせるかどうかを〈PROD〉/〈BOTH〉/〈ENG〉スイッチ（25 ページの **12**）で指定するか、本項目を [ON] にすることでミックスさせるかどうかを設定します。 **[SWITCH]**、**[ON]** • 工場出荷値：[SWITCH]
	[PGM1 MIX] UO	インターカム 1 の CH1 出力に PGM1 信号をミックスさせるかどうかを設定します。 **[OFF]**、**[ON]** • 工場出荷値：[ON]
	[PGM2 MIX] UO	インターカム 1 の CH1 出力に PGM2 信号をミックスさせるかどうかを設定します。 **[OFF]**、**[ON]** • 工場出荷値：[ON]
	[CRANE INCOM MIX] UO	インターカム 1 の CH1 出力にクレーンインターカムの信号をミックスさせるかどうかを設定します。 **[OFF]**、**[ON]** • 工場出荷値：[OFF]
	[INCOM2 MIX]（[CLEAR COM MIX]） UO	インターカム 1 の CH1 出力にインターカム 2(クリアカムオプションの場合:CLEAR COM)信号をミックスさせるかどうかを設定します。 **[OFF]**、**[ON]** • 工場出荷値：[OFF]
	[INCOM1 RECEIVE CH2 SETTING]	—
	[ENG MIX] UO	インターカム 1 の CH2 出力に ENG 信号をミックスさせるかどうかを設定します。 **[OFF]**、**[ON]** • 工場出荷値：[OFF]
	[PROD MIX] UO	インターカム 1 の CH2 出力に PROD 信号をミックスさせるかどうかを設定します。 **[OFF]**、**[ON]** • 工場出荷値：[OFF]
	[PGM1 MIX] UO	インターカム 1 の CH2 出力に PGM1 信号をミックスさせるかどうかを設定します。 **[OFF]**、**[ON]** • 工場出荷値：[ON]
	[PGM2 MIX] UO	インターカム 1 の CH2 出力に PGM2 信号をミックスさせるかどうかを設定します。 **[OFF]**、**[ON]** • 工場出荷値：[ON]
	[CRANE INCOM MIX] UO	インターカム 1 の CH2 出力にクレーンインターカムの信号をミックスさせるかどうかを設定します。 **[OFF]**、**[ON]** • 工場出荷値：[OFF]

項目		設定内容
	[INCOM2 MIX]（[CLEAR COM MIX]） U O	インターカム 1 の CH2 出力にインターカム 2(クリアカムオプションの場合:CLEAR COM)信号をミックスさせるかどうかを設定します。 **[OFF]、[ON]** • 工場出荷値：[OFF]
	[TALK SW SEL] U O	インターカム 1 の〈PROD〉/〈BOTH〉/〈ENG〉スイッチが〈BOTH〉のときの通話先を設定します。 **[PROD]、[BOTH]、[ENG]** • 工場出荷値：[BOTH]

NOTE

• 〈PROD〉/〈BOTH〉/〈ENG〉スイッチと MENU 設定の組み合わせにより、インターカムの通話先を下記の①～③のように切り替えることができます。

• 受話先については CH1 のみの切り替えが可能です。CH2 の切り替えは MENU の [INCOM1 RECEIVE CH2 SETTING] で設定します。

		① TALK 先を MENU にて切り替える場合 (RECEIVE は BOTH)			② TALK/RECEIVE 共に SWITCH で切り替える場合		③ TALK 先を SWITCH にて切り替える場合 (RECEIVE は BOTH)	
	インターカム受話先(CH1 のみ)	BOTH			PROD	ENG	BOTH	
	インターカムマイクの通話先	BOTH	PROD	ENG	PROD	ENG	PROD	ENG
スイッチ	〈PROD〉/〈BOTH〉/〈ENG〉スイッチ	〈BOTH〉			〈PROD〉	〈ENG〉	〈PROD〉	〈ENG〉
MENU	<INCOM1 RECEIVE CH1 SETTING > ENG MIX	[SWITCH] / [ON]			[SWITCH]	[SWITCH] / [ON]	[ON]	[SWITCH] / [ON]
	<INCOM1 RECEIVE CH1 SETTING > PROD MIX	[SWITCH] / [ON]			[SWITCH] / [ON]	[SWITCH]	[SWITCH] / [ON]	[ON]
	TALK SW SEL	[BOTH]	[PROD]	[ENG]	無効		無効	

運用例

① PROD/ENG 両方聞いているときに TALK 先を BOTH、PROD または ENG のいずれかに固定したい場合
② TALK/RECEIVE 共にスイッチで切り替えたい場合
③ PROD/ENG 両方聞いているときに TALK 先を PROD または ENG にスイッチで切り替えたい場合

[INTERCOM2]　クリアカムを接続しているときは表示されません。

[INCOM2 TALK SETTING]	—
[MIC TYPE] U O	インターカム 2 マイクのタイプを選択します。 **[DYN]**：ダイナミック型 **[ECM]**：コンデンサー型 **[CBN]**：カーボン型 • 工場出荷値：[DYN]
[MIC POWER] U O	インターカム 2 マイクの電源供給の入 / 切を設定します。 **[OFF]、[ON]** • 工場出荷値：[OFF]
[MIC GAIN] U O	インターカム 2 のマイクのボリュームを設定します。 **[–12dB] … [+12dB]** • 工場出荷値：[0dB]
[SIDE TONE] U O	インターカム 2 のマイクサイドトーンのボリュームを設定します。 **[OFF]、[–36dB] … [0dB]** • 工場出荷値：[–6dB]
[INCOM2 TO CCU] U O	インターカム 2 のマイク音声を CCU へ送るかどうかを設定します。 **[OFF]、[ON]** • 工場出荷値：[ON]
[INCOM2 RECEIVE SETTING]	—
[OUTPUT GAIN] U O	インターカム 2 の音声出力のゲインを設定します。 **[NORMAL]、[BOOST]** • 工場出荷値：[NORMAL]
[OUTPUT CH] U O	インターカム 2 の音声出力の割り当てを設定します。 **[CH1/CH2]、[CH2/CH1]** • 工場出荷値：[CH1/CH2]
[INCOM2 RECEIVE CH1 SETTING]	—
[ENG MIX] U O	インターカム2の CH1 出力に ENG 信号をミックスさせるかどうかを〈PROD〉/〈BOTH〉/〈ENG〉スイッチ（25 ページの **13**）で指定するか、本項目を [ON] にすることでミックスさせるかどうかを設定します。 **[SWITCH]、[ON]** • 工場出荷値：[SWITCH]
[PROD MIX] U O	インターカム2の CH1 出力に PROD 信号をミックスさせるかどうかを〈PROD〉/〈BOTH〉/〈ENG〉スイッチ（25 ページの **13**）で指定するか、本項目を [ON] にすることでミックスさせるかどうかを設定します。 **[SWITCH]、[ON]** • 工場出荷値：[SWITCH]
[PGM1 MIX] U O	インターカム 2 の CH1 出力に PGM1 信号をミックスさせるかどうかを設定します。 **[OFF]、[ON]** • 工場出荷値：[ON]

項目		設定内容
	[PGM2 MIX] UO	インターカム 2 の CH1 出力に PGM2 信号をミックスさせるかどうかを設定します。 **[OFF]、[ON]** • 工場出荷値：[ON]
	[CRANE INCOM MIX] UO	インターカム 2 の CH1 出力にクレーンインターカムの信号をミックスさせるかどうかを設定します。 **[OFF]、[ON]** • 工場出荷値：[OFF]
	[INCOM1 MIX] UO	インターカム 2 の CH1 出力にインターカム 1 信号をミックスさせるかどうかを設定します。 **[OFF]、[ON]** • 工場出荷値：[OFF]
	[INCOM2 RECEIVE CH2 SETTING]	—
	[ENG MIX] UO	インターカム 2 の CH2 出力に ENG 信号をミックスさせるかどうかを設定します。 **[OFF]、[ON]** • 工場出荷値：[OFF]
	[PROD MIX] UO	インターカム 2 の CH2 出力に PROD 信号をミックスさせるかどうかを設定します。 **[OFF]、[ON]** • 工場出荷値：[OFF]
	[PGM1 MIX] UO	インターカム 2 の CH2 出力に PGM1 信号をミックスさせるかどうかを設定します。 **[OFF]、[ON]** • 工場出荷値：[ON]
	[PGM2 MIX] UO	インターカム 2 の CH2 出力に PGM2 信号をミックスさせるかどうかを設定します。 **[OFF]、[ON]** • 工場出荷値：[ON]
	[CRANE INCOM MIX] UO	インターカム 2 の CH2 出力にクレーンインターカムの信号をミックスさせるかどうかを設定します。 **[OFF]、[ON]** • 工場出荷値：[OFF]
	[INCOM1 MIX] UO	インターカム 2 の CH2 出力にインターカム 1 信号をミックスさせるかどうかを設定します。 **[OFF]、[ON]** • 工場出荷値：[OFF]
	[TALK SW SEL] UO	インターカム 2 の〈PROD〉/〈BOTH〉/〈ENG〉スイッチが〈BOTH〉のときの通話先を設定します。 **[PROD]、[BOTH]、[ENG]** • 工場出荷値：[BOTH]

NOTE

• 〈PROD〉/〈BOTH〉/〈ENG〉スイッチと MENU 設定の組み合わせにより、インターカムの通話先を切り替えることができます。
設定方法は [INTERCOM1] の NOTE を参照ください。

[CRANE INTERCOM]	[CRANE INCOM SETTING]	—
	[INPUT LEVEL] UO	クレーンインターカム（〈EXT I/O〉端子へ接続）の入力ボリュームを設定します。 **[–36dB] … [+12dB]** • 工場出荷値：[0dB]
	[OUTPUT LEVEL] UO	クレーンインターカム（〈EXT I/O〉端子へ接続）の出力ボリュームを設定します。 **[–36dB] … [+12dB]** • 工場出荷値：[0dB]
	[SIDE TONE] UO	クレーンインターカム（〈EXT I/O〉端子へ接続）のサイドトーンのボリュームを設定します。 **[OFF]、[–36dB] … [0dB]**（3 dB ステップ） • 工場出荷値：[–6dB]
	[ENG/PROD] UO	クレーンインターカム音声のライン入力を設定します。 **[ENG]、[PROD]、[BOTH]** • 工場出荷値：[ENG]
	[CRANE TO CCU] UO	クレーンインターカムの音声を CCU へ出力するかどうかを設定します。 **[OFF]、[ON]** • 工場出荷値：[OFF]
	[CRANE INCOM OUTPUT SETTING]	—
	[PGM1 MIX] UO	クレーンインターカム出力に PGM1 信号をミックスさせるかどうかを設定します。 **[OFF]、[ON]** • 工場出荷値：[ON]
	[PGM2 MIX] UO	クレーンインターカム出力に PGM2 信号をミックスさせるかどうかを設定します。 **[OFF]、[ON]** • 工場出荷値：[ON]
	[INCOM1 MIX] UO	クレーンインターカム出力にインターカム 1 信号をミックスさせるかどうかを設定します。 **[OFF]、[ON]** • 工場出荷値：[OFF]
	[INCOM2 MIX]（[CLEAR COM MIX]） UO	クレーンインターカム出力にインターカム 2（クリアカムオプションの場合：CLEAR COM）信号をミックスさせるかどうかを設定します。 **[OFF]、[ON]** • 工場出荷値：[OFF]
[CLEAR COM]	インターカム 2 を接続しているときは表示されません。	
	[CLEAR COM SETTING]	—

項目		設定内容
	[INPUT LEVEL] UO	クリアカムの入力ボリュームを設定します。 **[–36dB] … [+12dB]** • 工場出荷値：[0dB]
	[CANCEL LEVEL] UO	クリアカムの入出力キャンセル信号のレベルを設定します。 **[–20.0dB] … [+20.0dB]**（0.5 dB ステップ） • 工場出荷値：[0.0dB]
	[SIDE TONE] UO	クリアカムのサイドトーンのボリュームを設定します。 **[OFF]、[–36dB] … [0dB]**（3 dB ステップ） • 工場出荷値：[–6dB]
	[CLEAR COM TO CCU] UO	クリアカムの音声を CCU へ出力するかどうかを設定します。 **[OFF]、[ON]** • 工場出荷値：[ON]
	[CLEAR COM OUTPUT SETTING]	—
	[PGM1 MIX] UO	クリアカム出力に PGM1 信号をミックスさせるかどうかを設定します。 **[OFF]、[ON]** • 工場出荷値：[ON]
	[PGM2 MIX] UO	クリアカム出力に PGM2 信号をミックスさせるかどうかを設定します。 **[OFF]、[ON]** • 工場出荷値：[ON]
	[INCOM1 MIX] UO	クリアカム出力に INCOM1 信号をミックスさせるかどうかを設定します。 **[OFF]、[ON]** • 工場出荷値：[OFF]
	[CRANE INCOM MIX] UO	クリアカム出力に CRANE INCOM 信号をミックスさせるかどうかを設定します。 **[OFF]、[ON]** • 工場出荷値：[OFF]
[EARPHONES SETTING]	[LCH OUTPUT] UO	イヤホンの L チャンネルに出力する音声信号を設定します。 **[INCOM1(CH1)]、[INCOM2(CH1)]（クリアカムオプションの場合：[CLEAR COM]）、[INCOM1/2 MIX(CH1)]（クリアカムオプションの場合：[INCOM1(CH1)/CLEAR COM MIX]）、[PGM1]、[PGM2]、[PGM1/PGM2 MIX]、[MIC1]、[OFF]** • 工場出荷値：[INCOM1(CH1)]
	[RCH OUTPUT] UO	イヤホンの R チャンネルに出力する音声信号を設定します。 **[INCOM1(CH2)]、[INCOM2(CH2)]（クリアカムオプションの場合：[CLEAR COM]）、[INCOM1/2 MIX(CH2)]（クリアカムオプションの場合：[INCOM1(CH2)/CLEAR COM MIX]）、[PGM1]、[PGM2]、[PGM1/PGM2 MIX]、[MIC2]、[OFF]** • 工場出荷値：[INCOM1(CH2)]
	[LCH MONITOR LEVEL] UO	イヤホンの L チャンネルのモニター出力レベルを設定します。 **[–40dB] … [+12dB]** • 工場出荷値：[0dB]
	[RCH MONITOR LEVEL] UO	イヤホンの R チャンネルのモニター出力レベルを設定します。 **[–40dB] … [+12dB]** • 工場出荷値：[0dB]
[PGM OUTPUT]	PGM オプションを使用しているときのみ設定できます。	
	[PGM OUTPUT SELECT] UO	〈PGM OUT〉端子に出力する音声を設定します。 **[PGM1]、[PGM2]、[PGM1/PGM2]、[ENG]、[PROD]、[ENG/PROD]、[CRANE]** • 工場出荷値：[PGM1]
	[PGM OUTPUT LEVEL] UO	〈PGM OUT〉端子からの出力レベルを設定します。 **[–36dB] … [+12dB]** • 工場出荷値：[0dB]
[LEVEL/PGM1/PGM2 VR SETTING]	[INTERCOM1 PGM1 VR] UO	〈INTERCOM1〉の〈PGM1〉つまみで制御する音声信号を設定します。 **[ENG]、[PROD]、[ENG/PROD]、[PGM1]、[PGM2]、[PGM1/PGM2]、[CRANE]、[INCOM2]（クリアカムオプションの場合：[CLEAR COM]）** • 工場出荷値：[PGM1]
	[INTERCOM1 PGM2 VR] UO	〈INTERCOM1〉の〈PGM2〉つまみで制御する音声信号を設定します。 **[ENG]、[PROD]、[ENG/PROD]、[PGM1]、[PGM2]、[PGM1/PGM2]、[CRANE]、[INCOM2]（クリアカムオプションの場合：[CLEAR COM]）** • 工場出荷値：[PGM2]
	[INTERCOM2 PGM1 VR] UO	〈INTERCOM2〉の〈PGM1〉つまみで制御する音声信号を設定します。 **[ENG]、[PROD]、[ENG/PROD]、[PGM1]、[PGM2]、[PGM1/PGM2]、[CRANE]、[INCOM1]** • 工場出荷値：[PGM1]
	[INTERCOM2 PGM2 VR] UO	〈INTERCOM2〉の〈PGM2〉つまみで制御する音声信号を設定します。 **[ENG]、[PROD]、[ENG/PROD]、[PGM1]、[PGM2]、[PGM1/PGM2]、[CRANE]、[INCOM1]** • 工場出荷値：[PGM2]
	[VR MIN MODE] UO	ボリュームレベルが最小時のレベルを設定します。 **[MUTE]**：消音 **[MIN GAIN]**：最小レベル • 工場出荷値：[MUTE]
	[B/U INTERCOM LEVEL] UO	ビルドアップユニットのインターカムレベルで制御する音声信号を設定します。 **[OFF]、[INCOM1]、[INCOM2]（クリアカムオプションの場合：[CLEAR COM]）、[INCOM1/INCOM2]（クリアカムオプションの場合：[INCOM1/CLEAR COM]）** • 工場出荷値：[OFF]

項目		設定内容
[OPT INTERCOM INPUT SETTING]	[OPT ENG INPUT LEVEL] UO	CCU からカメラに送られてくる ENG 音声信号の入力レベルを設定します。 **[–36dB] … [+12dB]** • 工場出荷値：[0dB]
	[OPT PROD INPUT LEVEL] UO	CCU からカメラに送られてくる PROD 音声信号の入力レベルを設定します。 **[–36dB] … [+12dB]** • 工場出荷値：[0dB]
	[OPT PGM1 INPUT LEVEL] UO	CCU からカメラに送られてくる PGM1 音声信号の入力レベルを設定します。 **[–36dB] … [+12dB]** • 工場出荷値：[0dB]
	[OPT PGM2 INPUT LEVEL] UO	CCU からカメラに送られてくる PGM2 音声信号の入力レベルを設定します。 **[–36dB] … [+12dB]** • 工場出荷値：[0dB]

[IP SIGNAL]

項目		設定内容
[START/STOP]		ストリーミングの配信開始 / 停止を設定します。 **[START]、[STOP]** • 工場出荷値：[STOP]
[STREAMING COMMON]	[STREAMING MODE] URN	ストリーミングモードを設定します。 **[H.264]、[H.264(UHD)]、[H.265]、[H.265(UHD)]、[JPEG(UHD)]、[RTMP]、[RTMP(UHD)]、[SRT(H.264)]、[SRT(H.264 UHD)]、[SRT(H.265)]、[SRT(H.265 UHD)]、[NDI High Bandwidth]、[MPEG2-TX over UDP]** • 工場出荷値：[H.264] ***NOTE*** • [BASIC CONFIG] − [FORMAT] が UHD のときのみ UHD ストリーミングモードを選択できます。 • [FORMAT] が HS モードのときは、設定できません。 • [BASIC CONFIG] − [OPT MODE] が [ST2110 JPEG XS] のときは、[NDI High Bandwidth] は選択できません。 • [JPEG(1)] から [MPEG2-TS OVER UDP] までの項目は、[STREAMING MODE] の設定によって表示されないことがあります。 • [SCAN MODE] が [LOW SKEW] のときは、設定できません。
	[SET EXECUTE]	設定した内容を保存する場合に選択します。
	[TIMECODE OVERLAY] URN	IP 配信データにタイムコード情報を重畳するかどうかを設定します。 **[ENABLE]、[DISABLE]** • 工場出荷値：[DISABLE]
	[HDR/V-LOG MODE] URN	HDR / V-LOG モードを設定します。 **[V-LOG]、[V709]、[BC709]、[SDR/709]、[HDR/709]、[HDR/2020]** • 工場出荷値：HDR ON 時 [SDR/709]、V-LOG ON 時 [V709]
	[OUTPUT ITEM] URN	出力映像に重畳するキャラクターの内容を設定します。 **[MENU ONLY]**：メニューのときのみ表示 **[STATUS]**：ビューファインダーに表示しているキャラクターと同じものを全て表示 • 工場出荷値：[MENU ONLY]
	[CHAR] URN	出力映像にキャラクターを重畳するかどうかを設定します。 **[OFF]、[ON]** • 工場出荷値：[ON]
[JPEG(1)]		JPEG(1) の画像の設定を行います。
	[JPEG TRANSMISSION] URN	JPEG(1) 画像の配信の有効 / 無効を設定します。 **[ON]、[OFF]** • 工場出荷値：[ON]
	[IMAGE CAPTURE SIZE] URN	JPEG(1) 画像を表示する画像解像度を設定します。 **[3840 x 2160]、[1920 x 1080]、[1280 x 720]、[640 x 360]、[320 x 180]** • 工場出荷値：[1280 x 720] ***NOTE*** • [3840 x 2160] は、[STREAMINNG MODE] が [JPEG(UHD)] のときのみ選択できます。
	[REFRESH INTERVAL] URN	JPEG(1) 画像を更新する速度を設定します。 [59.94Hz] **[1fps]、[5fps]、[15fps]、[30fps]** [STREAMING MODE] が [JPEG(UHD)] のときは、[1fps]、[5fps] のみ選択できます。 [50Hz] **[1fps]、[5fps]、[12.5fps]、[25fps]** [STREAMING MODE] が [JPEG(UHD)] のときは、[1fps]、[5fps] のみ選択できます。 [23.98Hz] **[1fps]、[4fps]、[12fps]、[24fps]** [STREAMING MODE] が [JPEG(UHD)] のときは、[1fps]、[4fps] のみ選択できます。 • 工場出荷値：[30fps]

項目		設定内容
	[IMAGE QUAULITY] U R N	JPEG(1) 画像の画質を設定します。 **[FINE]、[NORMAL]** • 工場出荷値：[FINE]
	[SET EXECUTE]	設定した内容を保存する場合に選択します。
[JPEG(2)]		JPEG(2) の画像の設定を行います。 [STREAMING MODE] が [JPEG(UHD)] または [NDI High Bandwidth] のときは設定できません。
	[JPEG TRANSMISSION] U R N	JPEG(2) 画像の配信の有効 / 無効を設定します。 **[ON]、[OFF]** • 工場出荷値：[ON]
	[IMAGE CAPTURE SIZE] U R N	JPEG(2) 画像を表示する画像解像度を設定します。 **[640 x 360]、[320 x 180]** • 工場出荷値：[640 x 360]
	[REFRESH INTERVAL] U R N	JPEG(2) 画像を更新する速度を設定します。 [59.94Hz] **[1fps]、[5fps]、[15fps]、[30fps]** [50Hz] **[1fps]、[5fps]、[12.5fps]、[25fps]** [23.98Hz] **[1fps]、[4fps]、[12fps]、[24fps]** • 工場出荷値：[30fps]
	[IMAGE QUAULITY] U R N	JPEG(2) 画像の画質を設定します。 **[FINE]、[NORMAL]** • 工場出荷値：[FINE]
	[SET EXECUTE]	設定した内容を保存する場合に選択します。
[JPEG(3)]		JPEG(3) の画像の設定を行います。 [STREAMING MODE] が [JPEG(UHD)] または [NDI High Bandwidth] のときは設定できません。
	[JPEG TRANSMISSION] U R N	JPEG(3) 画像の配信の有効 / 無効を設定します。 **[ON]、[OFF]** • 工場出荷値：[ON]
	[IMAGE CAPTURE SIZE] U R N	JPEG(3) 画像を表示する画像解像度を設定します。 **[640 x 360]、[320 x 180]** • 工場出荷値：[320 x 180]
	[REFRESH INTERVAL] U R N	JPEG(3) 画像を更新する速度を設定します。 [59.94Hz] **[1fps]、[5fps]、[15fps]、[30fps]** [50Hz] **[1fps]、[5fps]、[12.5fps]、[25fps]** [23.98Hz] **[1fps]、[4fps]、[12fps]、[24fps]** • 工場出荷値：[30fps]
	[IMAGE QUAULITY] U R N	JPEG(3) 画像の画質を設定します。 **[FINE]、[NORMAL]** • 工場出荷値：[FINE]
	[SET EXECUTE]	設定した内容を保存する場合に選択します。
[H.264(1)]		H.264(1) 画像の設定を行います。
	[H.264 TRANSMISSION] U R N	H.264(1) 画像の配信の有効 / 無効を設定します。 **[ON]、[OFF]** • 工場出荷値：[ON]
	[BIT DEPTH] U R N	H.264(1) 画像の bit 数を設定します。 **[10bit]、[8bit]** • 工場出荷値：[10bit]
	[PROFILE TYPE] U R N	H.264(1) 画像を配信するときのプロファイルを設定します。 **[HIGH]、[MAIN]、[BASELINE]** • 工場出荷値：[HIGH] ***NOTE*** • [BIT DEPTH] が [10bit] または [IMAGE CAPTURE SIZE] が [3840 x 2160] の場合、[HIGH] のみが選択可能となります。
	[IMAGE CAPTURE SIZE] U R N	H.264(1) 画像の解像度を設定します。 **[3840 x 2160]、[1920 x 1080]、[1280 x 720]** • 工場出荷値：[1920 x 1080] ***NOTE*** • [3840 x 2160] は、[STREAMINNG MODE] が [H.264(UHD)] のときのみ選択できます。
	[CBR/VBR] U R N	H.264(1) 画像の配信モードを設定します。 **[CBR]、[VBR]** • 工場出荷値：[VBR]

項目		設定内容
	[FRAME RATE] U R N	H.264(1) 画像のフレームレートを設定します。 [59.94Hz] **[30fps]、[60fps]** [50Hz] **[25fps]、[50fps]** [23.98Hz] **[24fps]** • 工場出荷値：[30fps]
	[MAX BIT RATE] U R N	1 クライアントに対する H.264(1) ビットレートを設定します。 [BIT DEPTH] が [10bit] のとき： **[112640(110Mbps)]、[76800(75Mbps)]、[36864(36Mbps)]、[30720(30Mbps)]、[21504(21Mbps)]、[18432(18Mbps)]、[15360(15Mbps)]、[12288(12Mbps)]、[6144(6Mbps)]** [BIT DEPTH] が [8bit] のとき： **[76800(75Mbps)]、[51200(50Mbps)]、[25600(25Mbps)]、[24576(24Mbps)]、[20480(20Mbps)]、[14336(14Mbps)]、[12800(12.5Mbps)]、[10240(10Mbps)]、[8192(8Mbps)]、[4096(4Mbps)]、[2048(2Mbps)]** • 工場出荷値：[14336(14Mbps)]
	[SET EXECUTE]	設定した内容を保存する場合に選択します。
	[TRANSMISSION TYPE] N	H.264(1) 画像の配信方式を設定します。 **[UNICAST (AUTO)]、[UNICAST (MANUAL)]、[MULTICAST]** • 工場出荷値：[UNICAST (AUTO)]
	[UNICAST PORT(IMAGE)] N	ユニキャストポート番号（本機から画像を送信するときに使用）を入力します。 **[1024] … [50000]** • 工場出荷値：[32004]
	[UNICAST PORT(AUDIO)] N	ユニキャストポート番号（本機から音声を送信するときに使用）を入力します。 **[1024] … [50000]** • 工場出荷値：[33004]
	[MULTICAST ADDRESS] N	マルチキャストの IP アドレスを入力します。指定した IP アドレスに画像と音声を送信します。 **[224.0.0.0] … [239.255.255.255]** • 工場出荷値：[239.192.0.20]
	[MULTICAST PORT] N	マルチキャストポート番号（本機から画像を送信するときに使用）を入力します。 **[1024] … [50000]** • 工場出荷値：[37004]
	[MULTICAST TTL/HOP LIMIT] N	マルチキャストの TTL/HOP LIMIT 値を入力します。 **[1] … [254]** • 工場出荷値：[16]
	[SET EXECUTE]	設定した内容を保存する場合に選択します。
[H.264(2)]		H.264(2) 画像の設定を行います。
	[H.264 TRANSMISSION] U R N	H.264(2) 画像の配信の有効 / 無効を設定します。 **[ON]、[OFF]** • 工場出荷値：[ON]
	[PROFILE TYPE] U R N	H.264(2) 画像を配信するときのプロファイルを設定します。 **[HIGH]、[MAIN]、[BASELINE]** • 工場出荷値：[HIGH]
	[IMAGE CAPTURE SIZE] U R N	H.264(2) 画像の解像度を設定します。 **[1920 x 1080]、[1280 x 720]、[640 x 360]** • 工場出荷値：[1280 x 720]
	[CBR/VBR] U R N	H.264(2) 画像の配信モードを設定します。 **[CBR]、[VBR]** • 工場出荷値：[VBR]
	[FRAME RATE] U R N	H.264(2) 画像のフレームレートを設定します。 [59.94Hz] **[30fps]、[60fps]** [50Hz] **[25fps]、[50fps]** [23.98Hz] **[24fps]** • 工場出荷値：[30fps]
	[MAX BIT RATE] U R N	1 クライアントに対する H.264(2) ビットレートを設定します。 **[24576(24Mbps)]、[20480(20Mbps)]、[14336(14Mbps)]、[10240(10Mbps)]、[8192(8Mbps)]、[4096(4Mbps)]、[2048(2Mbps)]** • 工場出荷値：[8192(8Mbps)]
	[SET EXECUTE]	設定した内容を保存する場合に選択します。
	[TRANSMISSION TYPE] N	H.264(2) 画像の配信方式を設定します。 **[UNICAST (AUTO)]、[UNICAST (MANUAL)]、[MULTICAST]** • 工場出荷値：[UNICAST (AUTO)]
	[UNICAST PORT(IMAGE)] N	ユニキャストポート番号（本機から画像を送信するときに使用）を入力します。 **[1024] … [50000]** • 工場出荷値：[32014]
	[UNICAST PORT(AUDIO)] N	ユニキャストポート番号（本機から音声を送信するときに使用）を入力します。 **[1024] … [50000]** • 工場出荷値：[33014]

項目		設定内容
	[MULTICAST ADDRESS] N	マルチキャストの IP アドレスを入力します。指定した IP アドレスに画像と音声を送信します。 **[224.0.0.0] … [239.255.255.255]** • 工場出荷値：[239.192.0.21]
	[MULTICAST PORT] N	マルチキャストポート番号（本機から画像を送信するときに使用）を入力します。 **[1024] … [50000]** • 工場出荷値：[37004]
	[MULTICAST TTL/HOP LIMIT] N	マルチキャストの TTL/HOP LIMIT 値を入力します。 **[1] … [254]** • 工場出荷値：[16]
	[SET EXECUTE]	設定した内容を保存する場合に選択します。
[H.264(3)]		H.264(3) 画像の設定を行います。
	[H.264 TRANSMISSION] U R N	H.264(3) 画像の配信の有効 / 無効を設定します。 **[ON]、[OFF]** • 工場出荷値：[ON]
	[PROFILE TYPE] U R N	H.264(3) 画像を配信するときのプロファイルを設定します。 **[HIGH]、[MAIN]、[BASELINE]** • 工場出荷値：[HIGH]
	[IMAGE CAPTURE SIZE] U R N	H.264(3) 画像の解像度を設定します。 **[1280 x 720]、[640 x 360]** 工場出荷値：[640 x 360]
	[CBR/VBR] U R N	H.264(3) 画像の配信モードを設定します。 **[CBR]、[VBR]** • 工場出荷値：[VBR]
	[FRAME RATE] U R N	H.264(3) 画像のフレームレートを設定します。 [59.94Hz] **[30fps]、[60fps]** [50Hz] **[25fps]、[50fps]** [23.98Hz] **[24fps]** • 工場出荷値：[30fps]
	[MAX BIT RATE] U R N	1 クライアントに対する H.264(3) ビットレートを設定します。 **[14336(14Mbps)]、[10240(10Mbps)]、[8192(8Mbps)]、[4096(4Mbps)]、[2048(2Mbps)]** • 工場出荷値：[4096(4Mbps)]
	[SET EXECUTE]	設定した内容を保存する場合に選択します。
	[TRANSMISSION TYPE] N	H.264(3) 画像の配信方式を設定します。 **[UNICAST (AUTO)]、[UNICAST (MANUAL)]、[MULTICAST]** • 工場出荷値：[UNICAST (AUTO)]
	[UNICAST PORT(IMAGE)] N	ユニキャストポート番号（本機から画像を送信するときに使用）を入力します。 **[1024] … [50000]** • 工場出荷値：[32024]
	[UNICAST PORT(AUDIO)] N	ユニキャストポート番号（本機から音声を送信するときに使用）を入力します。 **[1024] … [50000]** • 工場出荷値：[33024]
	[MULTICAST ADDRESS] N	マルチキャストの IP アドレスを入力します。指定した IP アドレスに画像と音声を送信します。 **[224.0.0.0] … [239.255.255.255]** • 工場出荷値：[239.192.0.22]
	[MULTICAST PORT] N	マルチキャストポート番号（本機から画像を送信するときに使用）を入力します。 **[1024] … [50000]** • 工場出荷値：[37004]
	[MULTICAST TTL/HOP LIMIT] N	マルチキャストの TTL/HOP LIMIT 値を入力します。 **[1] … [254]** • 工場出荷値：[16]
	[SET EXECUTE]	設定した内容を保存する場合に選択します。
[H.265(1)]		H.265(1) 画像の設定を行います。
	[H.265 TRANSMISSION] U R N	H.265(1) 画像の配信の有効 / 無効を設定します。 **[ON]、[OFF]** • 工場出荷値：[ON]
	[BIT DEPTH] U R N	H.265(1) 画像の bit 数を設定します。 **[10bit]、[8bit]** • 工場出荷値：[10bit]
	[IMAGE CAPTURE SIZE] U R N	H.265(1) 画像の解像度を設定します。 **[3840 x 2160]、[1920 x 1080]、[1280 x 720]** • 工場出荷値：[1920 x 1080] ***NOTE*** • [3840 x 2160] は、[STREAMINNG MODE] が [H.265(UHD)] のときのみ選択できます。
	[CBR/VBR] U R N	H.265(1) 画像の配信モードを設定します。 **[CBR]、[VBR]** • 工場出荷値：[VBR]

項目		設定内容
	[FRAME RATE] U R N	H.265(1) 画像のフレームレートを設定します。 [59.94Hz] **[30fps]、[60fps]** [50Hz] **[25fps]、[50fps]** [23.98Hz] **[24fps]** • 工場出荷値：[30fps]
	[MAX BIT RATE] U R N	1 クライアントに対する H.265(1) ビットレートを設定します。 **[76800(75Mbps)]、[51200(50Mbps)]、[25600(25Mbps)]、[24576(24Mbps)]、[20480(20Mbps)]、[14336(14Mbps])、[12800(12.5Mbps)]、[10240(10Mbps)]、[8192(8Mbps)]、[4096(4Mbps)]、[2048(2Mbps)]** • 工場出荷値：[14336(14Mbps)]
	[SET EXECUTE]	設定した内容を保存する場合に選択します。
	[TRANSMISSION TYPE] N	H.265(1) 画像の配信方式を設定します。 **[UNICAST (AUTO)]、[UNICAST (MANUAL)]、[MULTICAST]** • 工場出荷値：[UNICAST (AUTO)]
	[UNICAST PORT(IMAGE)] N	ユニキャストポート番号（本機から画像を送信するときに使用）を入力します。 **[1024] … [50000]** • 工場出荷値：[32004]
	[UNICAST PORT(AUDIO)] N	ユニキャストポート番号（本機から音声を送信するときに使用）を入力します。 **[1024] … [50000]** • 工場出荷値：[33004]
	[MULTICAST ADDRESS] N	マルチキャストの IP アドレスを入力します。指定した IP アドレスに画像と音声を送信します。 **[224.0.0.0] … [239.255.255.255]** • 工場出荷値：[239.192.0.20]
	[MULTICAST PORT] N	マルチキャストポート番号（本機から画像を送信するときに使用）を入力します。 **[1024] … [50000]** • 工場出荷値：[37004]
	[MULTICAST TTL/HOP LIMIT] N	マルチキャストの TTL/HOP LIMIT 値を入力します。 **[1] … [254]** • 工場出荷値：[16]
	[SET EXECUTE]	設定した内容を保存する場合に選択します。
[H.265(2)]		H.265(2) 画像の設定を行います。
	[H.265 TRANSMISSION] U R N	H.265(2) 画像の配信の有効 / 無効を設定します。 **[ON]、[OFF]** • 工場出荷値：[ON]
	[IMAGE CAPTURE SIZE] U R N	H.265(2) 画像の解像度を設定します。 **[1920 x 1080]、[1280 x 720]、[640 x 360]** • 工場出荷値：[1280 x 720]
	[CBR/VBR] U R N	H.265(2) 画像の配信モードを設定します。 **[CBR]、[VBR]** • 工場出荷値：[VBR]
	[FRAME RATE] U R N	H.265(2) 画像のフレームレートを設定します。 [59.94Hz] **[30fps]、[60fps]** [50Hz] **[25fps]、[50fps]** [23.98Hz] **[24fps]** • 工場出荷値：[30fps]
	[MAX BIT RATE] U R N	1 クライアントに対する H.265(2) ビットレートを設定します。 **[24576(24Mbps)]、[20480(20Mbps)]、[14336(14Mbps)]、[10240(10Mbps)]、[8192(8Mbps)]、[4096(4Mbps)]、[2048(2Mbps)]** • 工場出荷値：[8192(8Mbps)]
	[SET EXECUTE]	設定した内容を保存する場合に選択します。
	[TRANSMISSION TYPE] N	H.265(2) 画像の配信方式を設定します。 **[UNICAST (AUTO)]、[UNICAST (MANUAL)]、[MULTICAST]** • 工場出荷値：[UNICAST (AUTO)]
	[UNICAST PORT(IMAGE)] N	ユニキャストポート番号（本機から画像を送信するときに使用）を入力します。 **[1024] … [50000]** • 工場出荷値：[32014]
	[UNICAST PORT(AUDIO)] N	ユニキャストポート番号（本機から音声を送信するときに使用）を入力します。 **[1024] … [50000]** • 工場出荷値：[33014]
	[MULTICAST ADDRESS] N	マルチキャストの IP アドレスを入力します。指定した IP アドレスに画像と音声を送信します。 **[224.0.0.0] … [239.255.255.255]** • 工場出荷値：[239.192.0.21]
	[MULTICAST PORT] N	マルチキャストポート番号（本機から画像を送信するときに使用）を入力します。 **[1024] … [50000]** • 工場出荷値：[37004]

項目		設定内容
	[MULTICAST TTL/HOP LIMIT] N	マルチキャストの TTL/HOP LIMIT 値を入力します。 **[1] … [254]** • 工場出荷値：[16]
	[SET EXECUTE]	設定した内容を保存する場合に選択します。
[RTMP]		RTMP/RTMPS 配信設定を行います。
	[RTMP TRANSMISSION] U R N	RTMP 配信の有効 / 無効を設定します。 **[ON]、[OFF]** • 工場出荷値：[ON]
	[BIT DEPTH] U R N	設定内容は [H.264(1)] を参照してください。
	[PROFILE TYPE] U R N	
	[IMAGE CAPTURE SIZE] U R N	
	[CBR/VBR] U R N	
	[FRAME RATE] U R N	
	[MAX BIT RATE] U R N	
	[URL TYPE] N	RTMP 配信サーバー情報の登録方式を設定します。 **[TYPE1]、[TYPE2]** • 工場出荷値：[TYPE1]
	[SERVER URL] N	配信先の RTMP サーバー URL を設定します。
	[STREAMING KEY] N	[URL TYPE] を [Type2] に設定している場合のみ、配信時に RTMP サーバーから取得したストリーミングキーを設定します。
	[SET EXECUTE]	設定した内容を保存する場合に選択します。
[SRT]		SRT 配信設定を行います。
	[SRT TRANSMISSION] U R N	SRT 配信の有効 / 無効を設定します。 **[ON]、[OFF]** • 工場出荷値：[ON]
	[BIT DEPTH] U R N	設定内容は [H.264(1)] または [H.265(1)] を参照してください。
	[PROFILE TYPE] U R N	
	[IMAGE CAPTURE SIZE] U R N	
	[CBR/VBR] U R N	
	[FRAME RATE] U R N	
	[MAX BIT RATE] U R N	
	[SET EXECUTE]	設定した内容を保存する場合に選択します。
	[MODE] U R N	SRT 対応デコーダーまたはサービスへの接続方法を選択します。 **[CLIENT(CALLER)]、[LISTENER]** • 工場出荷値：[LISTENER]
	[DESTINATION URL] N	[MODE] で [CLIENT(CALLER)] が設定されているときに、IP アドレスを入力します。指定した IP アドレスに画像と音声を送信します。 • 工場出荷値：[192.168.0.3]
	[DESTINATION PORT] N	[MODE] で [CLIENT(CALLER)] が設定されているときに、ポート番号（本機から画像を送信するときに使用）を入力します。指定したポート番号に接続します。 **[1] … [65535]** • 工場出荷値：[7002]
	[STREAM ID] N	[MODE] で [CLIENT(CALLER)] が設定されているときに、STREAM ID を入力します。入力された情報は SRT 配信開始時に接続先に通知されます。 • 工場出荷値：[#!::m=publish,r=PanasonicStream]
	[CLIENT(CALLER)] N	[MODE] で [LISTENER] が設定されているときに、ポート番号（本機が接続を待ち受けるときに使用）を入力します。 • 工場出荷値：[2020]
	[TTL/HOP LIMIT] N	マルチキャストの TTL/HOP LIMIT 値を入力します。 **[1] … [254]** • 工場出荷値：[16]
	[LATENCY] N	映像・音声が送信されてから、受信側で再生されるまでの時間（ms）を設定します。 **[0] … [65535]** • 工場出荷値：[120]

項目		設定内容
	[ENCRYPTION] N	配信される IP 映像を暗号化するか設定します。 **[OFF]、[AES-128]、[AES-256]** • 工場出荷値：[OFF]
	[PASSPHRASE] N	暗号化された IP 映像を復号化するためのフレーズを設定します。
	[SET EXECUTE]	設定した内容を保存する場合に選択します。
[NDI HIGH BANDWIDTH]		NDI 配信設定を行います。
	[FORMAT SELECT] U R N	NDI 配信のフォーマットを設定します。
	[SOURCE NAME] N	本機が NDI と互換性のあるソフトウェアアプリケーションやハードウェアから検知された際に、表示されるデバイス名を設定します。 最大 32 文字（半角英数字、: - _） • 工場出荷値：[NDI_Device-[シリアル No]]
	[PROTOCOL] N	ユニキャスト配信する際の方式を設定します。 **[TCP]、[UDP]、[RUDP]** • 工場出荷値：[RUDP]
	[MULTICAST TRANSMIT] N	NDI と互換性のあるソフトウェアアプリケーションやハードウェアに対して映像をマルチキャスト配信するか設定します。 **[ON]、[OFF]** • 工場出荷値：[OFF]
	[ADDRESS] N	マルチキャストの IP アドレスを入力します。指定した IP アドレスに画像と音声を送信します。 **[224.0.0.0] … [239.255.255.255]** 工場出荷値：[239.192.0.30]
	[SUBNET] N	サブネットマスクを入力します。 • 工場出荷値：[255.255.255.255]
	[TTL/HOP LIMIT] N	マルチキャストの TTL/HOP LIMIT 値を入力します。 **[1] … [254]** • 工場出荷値：[16]
	[SET EXECUTE]	設定した内容を保存する場合に選択します。
	[GROUP] N	NDI 配信を行うときにグルーピング機能を使用するかどうか設定します。 **[ENABLE]、[DISABLE]** • 工場出荷値：[DISABLE]
	[NAME] N	グルーピング機能を使用するときのグループ名を設定します。 最大 63 文字（半角英数字、: - _）
	[USE DISCOVERY SERVER] N	NDI 配信を行うときにディスカバリーサーバーを使用するかどうか設定します。 **[ENABLE]、[DISABLE]** • 工場出荷値：[DISABLE]
	[SERVER ADDRESS] N	ディスカバリーサーバーを使用するときに、サーバーの IPv4 アドレスを設定します。
	[SET EXECUTE]	設定した内容を保存する場合に選択します。
[MPEG2-TS OVER UDP]		MPEG2-TS OVER UDP 配信設定を行います。
	[TS TRANSMISSION] U R N	MPEG2-TS OVER UDP 配信の有効 / 無効を設定します。 **[ON]、[OFF]** • 工場出荷値：[ON]
	[BIT DEPTH] U R N	設定内容は [H.264(1)] を参照してください。
	[PROFILE TYPE] U R N	
	[IMAGE CAPTURE SIZE] U R N	
	[CBR/VBR] U R N	
	[FRAME RATE] U R N	
	[MAX BIT RATE] U R N	
	[SET EXECUTE]	設定した内容を保存する場合に選択します。
	[TRANSMISSION TYPE] N	MPEG2-TS OVER UDP 配信方式を設定します。 **[UNICAST]、[MULTICAST]** • 工場出荷値：[UNICAST]
	[UNICAST ADDRESS] N	MPEG2-TS OVER UDP配信を行うUNICASTアドレスを設定します。受信するアプリケーション･サービスはこの IP アドレスを指定します。 • 工場出荷値：[192.168.0.3]
	[UNICAST PORT] N	MPEG2-TS OVER UDP 配信を行う UNICAST ポート番号を設定します。受信するアプリケーション･サービスはこのポート番号を指定します。 **[1024] … [50000]** • 工場出荷値：[7002]

項目		設定内容
	[MULTICAST ADDRESS] N	MPEG2-TS OVER UDP 配信を行う MULTICAST アドレスを設定します。受信するアプリケーション・サービスはこの IP アドレスを指定します。 • 工場出荷値：[239.192.0.20]
	[MULTICAST PORT] N	MPEG2-TS OVER UDP 配信を行う MULTICAST ポート番号を設定します。受信するアプリケーション・サービスはこのポート番号を指定します。 **[1024] … [50000]** • 工場出荷値：[32004]
	[MULTICAST TTL/HOP LIMIT] N	マルチキャストの TTL/HOP LIMIT 値を入力します。 **[1] … [254]** • 工場出荷値：[16]
	[PUSH UDP] N	[PUSH UDP] が [ENABLE] に設定されている場合、カメラ起動時に自動的に MPEG2-TS OVER UDP 配信が開始されます。 **[ENABLE]、[DISABLE]** • 工場出荷値：[ENABLE]
	[SET EXECUTE]	設定した内容を保存する場合に選択します。
[ST2110 COMMON]	[BASIC CONFIG] – [OPT MODE] が [CCU CONNECT] のときは設定できません。	
	[MOIP MODE] URN	MOIP（SMPTE ST2110 映像 / 音声の入出力）の有効 / 無効を設定します。 **[OFF]、[ON]** • 工場出荷値：[OFF]
	[ST2110 PORT] URN	SMPTE ST2110 用ポート番号（本機から SMPTE ST2110 を送信するときに使用）を入力します。10670 はポート番号に設定できません。 • 工場出荷値：[49330]
	[MAIN VIDEO TX]	—
	[FORMAT] URN	SMPTE ST2110（非圧縮）の MAIN 映像信号の映像フォーマットを設定します。
	[MAIN JPEG XS VIDEO TX]	—
	[FORMAT] URN	SMPTE ST2110 JPEG-XS（圧縮）の MAIN 映像信号の映像フォーマットを設定します。
	[COMPRESSION RATIO] URN	圧縮率を設定します。 FORMAT が 2160p 時 [5:1]、[8:1]、[12:1]、[20:1] FORMAT が 1080p 時 [4:1]、[6:1]、[10:1]、[15:1] • 工場出荷値：[5:1]
	[PAYLOAD TYPE] URN	SMPTE ST2110 JPEG XS（圧縮）のペイロードタイプを設定します。 **[96] … [127]** • 工場出荷値：[101]
	[SUB VIDEO TX]	—
	[FORMAT] URN	SMPTE ST2110（非圧縮）の SUB 映像信号の映像フォーマットを設定します。 [SUB VIDEO TX] で出力される映像は、[SDI OUT2] の [CAM] と同等です。(FORMAT 設定除く) ***NOTE*** • [TRUNK MODE] が [UP TO UHD]、かつ [FORMAT] が [2160/59.94p]、[2160/50p] が設定されているときは SUB VIDEO TX は [1080/59.94i]、[1080/50i] 出力に制限されます。
	[TRUNK VIDEO TX]	—
	[TRUNK MODE] URN	TRUNK モードを設定します。 **[UP TO UHD]、[HD]** • 工場出荷値：[HD] ***NOTE*** • [UP TO UHD] は [OPT MODE] が [ST2110] と [ST2110 JPEG XS] のときに設定できます。 • [UP TO UHD] 時は TRUNK 入力端子に入力された 2160p 信号を 2160p/1080p/1080i 信号として TRUNK VIDEO 出力できます。([FORMAT] で設定。1080i 出力が選択できるのは 59.94p、50p 時のみ。) • [HD] 時は TRUNK 入力端子に入力された 1080p 信号のみ TRUNK VIDEO 出力できます。
	[FORMAT]	SMPTE ST2110（非圧縮）の TRUNK 映像信号の映像フォーマットを設定します。
	[RET VIDEO RX]	—
	[FORMAT] URN	SMPTE ST2110（非圧縮）の RETURN 映像信号の映像フォーマットを設定します。
	[PROMPTER VIDEO RX]	—
	[FORMAT] URN	SMPTE ST2110（非圧縮）の PROMPTER 映像信号の映像フォーマットを設定します。
[ST2110 PRIMARY TX]		SMPTE ST2110（非圧縮）の PRIMARY 送信設定を行います。
	[MAIN VIDEO TX]	—
	[DEST ADDR] N	[MAIN VIDEO] の配信先 IP アドレスを入力します。 第 1 オクテット：0 ～ 239 第 2 オクテット：0 ～ 255 第 3 オクテット：0 ～ 255 第 4 オクテット：0 ～ 255 0.0.0.0、224.0.0.0 ～ 224.0.1.255、第 1 オクテットが 127 の IP アドレスは設定できません。 • 工場出荷値：[230.1.0.1]

項目	設定内容
[DEST PORT] N	[MAIN VIDEO] の配信先ポート番号を入力します。 **[1024] … [65535]** 10670 はポート番号に設定できません。 • 工場出荷値：[49101]
[MAIN JPEG XS VIDEO TX]	—
[DEST ADDR] N	[MAIN JPEG XS VIDEO] の配信先 IP アドレスを入力します。 設定内容は [MAIN VIDEO TX] を参照してください。 • 工場出荷値：[230.1.0.2]
[DEST PORT] N	[MAIN JPEG XS VIDEO] の配信先ポート番号を入力します。 設定内容は [MAIN VIDEO TX] を参照してください。 • 工場出荷値：[49102]
[SUB VIDEO TX]	—
[DEST ADDR] N	[SUB VIDEO] の配信先 IP アドレスを入力します。 設定内容は [MAIN VIDEO TX] を参照してください。 • 工場出荷値：[230.1.0.3]
[DEST PORT] N	[SUB VIDEO] の配信先ポート番号を入力します。 設定内容は [MAIN VIDEO TX] を参照してください。 • 工場出荷値：[49103]
[TRUNK VIDEO TX]	—
[DEST ADDR] N	[TRUNK VIDEO] の配信先 IP アドレスを入力します。 設定内容は [MAIN VIDEO TX] を参照してください。 • 工場出荷値：[230.1.0.4]
[DEST PORT] N	[TRUNK VIDEO] の配信先ポート番号を入力します。 設定内容は [MAIN VIDEO TX] を参照してください。 • 工場出荷値：[49104]
[SET EXECUTE]	設定した内容を保存する場合に選択します。
[MIC1 AUDIO TX]	—
[DEST ADDR] N	[MIC1 AUDIO] の配信先 IP アドレスを入力します。 設定内容は [MAIN VIDEO TX] を参照してください。 • 工場出荷値：[230.1.20.2]
[DEST PORT] N	[MIC1 AUDIO] の配信先ポート番号を入力します。 設定内容は [MAIN VIDEO TX] を参照してください。 • 工場出荷値：[49122]
[MIC2 AUDIO TX]	—
[DEST ADDR] N	[MIC2 AUDIO] の配信先 IP アドレスを入力します。 設定内容は [MAIN VIDEO TX] を参照してください。 • 工場出荷値：[230.1.20.3]
[DEST PORT] N	[MIC2 AUDIO] の配信先ポート番号を入力します。 設定内容は [MAIN VIDEO TX] を参照してください。 • 工場出荷値：[49123]
[MIX AUDIO TX]	—
[DEST ADDR] N	[MIX AUDIO] の配信先 IP アドレスを入力します。 設定内容は [MAIN VIDEO TX] を参照してください。 • 工場出荷値：[230.1.20.6]
[DEST PORT] N	[MIX AUDIO] の配信先ポート番号を入力します。 設定内容は [MAIN VIDEO TX] を参照してください。 • 工場出荷値：[49126]
[SET EXECUTE]	設定した内容を保存する場合に選択します。
[TRUNK AUDIO TX]	—
[DEST ADDR] N	[TRUNK AUDIO] の配信先 IP アドレスを入力します。 設定内容は [MAIN VIDEO TX] を参照してください。 • 工場出荷値：[230.1.20.1]
[DEST PORT] N	[TRUNK AUDIO] の配信先ポート番号を入力します。 設定内容は [MAIN VIDEO TX] を参照してください。 • 工場出荷値：[49121]
[INCOM1 AUDIO TX (ENG)]	—
[DEST ADDR] N	[INCOM1 AUDIO] の配信先 IP アドレスを入力します。 設定内容は [MAIN VIDEO TX] を参照してください。 • 工場出荷値：[230.1.20.4]

項目		設定内容
	[DEST PORT] N	[INCOM1 AUDIO] の配信先ポート番号を入力します。 設定内容は [MAIN VIDEO TX] を参照してください。 • 工場出荷値：[49124]
	[INCOM2 AUDIO TX (PROD)]	—
	[DEST ADDR] N	[INCOM2 AUDIO] の配信先 IP アドレスを入力します。 設定内容は [MAIN VIDEO TX] を参照してください。 • 工場出荷値：[230.1.20.5]
	[DEST PORT] N	[INCOM2 AUDIO] の配信先ポート番号を入力します。 設定内容は [MAIN VIDEO TX] を参照してください。 • 工場出荷値：[49125]
	[SET EXECUTE]	設定した内容を保存する場合に選択します。
[ST2110 PRIMARY RX]		SMPTE ST2110（非圧縮）の PRIMARY 受信設定を行います。
	[RET1 VIDEO RX]	—
	[DEST ADDR] N	[RET1 VIDEO] として受信するストリームのマルチキャストアドレスを入力します。 第 1 オクテット：0 ～ 239 第 2 オクテット：0 ～ 255 第 3 オクテット：0 ～ 255 第 4 オクテット：0 ～ 255 0.0.0.0、224.0.0.0 ～ 224.0.1.255、第 1 オクテットが 127 の IP アドレスは設定できません。 • 工場出荷値：[230.1.30.1]
	[DEST PORT] N	[RET1 VIDEO] として受信するストリームのポート番号を入力します。 **[1024] … [65535]** 10670 はポート番号に設定できません。 • 工場出荷値：[49131]
	[SRC ADDR] N	[RET1 VIDEO] として受信するストリームの送信元機器の IP アドレスを入力します。 第 1 オクテット：0 ～ 223 第 2 オクテット：0 ～ 255 第 3 オクテット：0 ～ 255 第 4 オクテット：0 ～ 255 0.0.0.0、第 1 オクテットが 127 の IP アドレスは設定できません。 • 工場出荷値：[0.0.0.0]
	[RET2 VIDEO RX]	—
	[DEST ADDR] N	[RET2 VIDEO] として受信するストリームのマルチキャストアドレスを入力します。 設定内容は [RET1 VIDEO RX] を参照してください。 • 工場出荷値：[230.1.30.2]
	[DEST PORT] N	[RET2 VIDEO] として受信するストリームのポート番号を入力します。 設定内容は [RET1 VIDEO RX] を参照してください。 • 工場出荷値：[49132]
	[SRC ADDR] N	[RET2 VIDEO] として受信するストリームの送信元機器の IP アドレスを入力します。 設定内容は [RET1 VIDEO RX] を参照してください。 • 工場出荷値：[0.0.0.0]
	[SET EXECUTE]	設定した内容を保存する場合に選択します。
	[RET3 VIDEO RX]	—
	[DEST ADDR] N	[RET3 VIDEO] として受信するストリームのマルチキャストアドレスを入力します。 設定内容は [RET1 VIDEO RX] を参照してください。 • 工場出荷値：[230.1.30.3]
	[DEST PORT] N	[RET3 VIDEO] として受信するストリームのポート番号を入力します。 設定内容は [RET1 VIDEO RX] を参照してください。 • 工場出荷値：[49133]
	[SRC ADDR] N	[RET3 VIDEO] として受信するストリームの送信元機器の IP アドレスを入力します。 設定内容は [RET1 VIDEO RX] を参照してください。 • 工場出荷値：[0.0.0.0]
	[RET4 VIDEO RX]	—
	[DEST ADDR] N	[RET4 VIDEO] として受信するストリームのマルチキャストアドレスを入力します。 設定内容は [RET1 VIDEO RX] を参照してください。 • 工場出荷値：[230.1.30.4]
	[DEST PORT] N	[RET4 VIDEO] として受信するストリームのポート番号を入力します。 設定内容は [RET1 VIDEO RX] を参照してください。 • 工場出荷値：[49134]
	[SRC ADDR] N	[RET4 VIDEO] として受信するストリームの送信元機器の IP アドレスを入力します。 設定内容は [RET1 VIDEO RX] を参照してください。 • 工場出荷値：[0.0.0.0]
	[SET EXECUTE]	設定した内容を保存する場合に選択します。
	[PROMPTER VIDEO RX]	—
	[DEST ADDR] N	[PROMPTER VIDEO] として受信するストリームのマルチキャストアドレスを入力します。 設定内容は [RET1 VIDEO RX] を参照してください。 • 工場出荷値：[230.1.40.1]

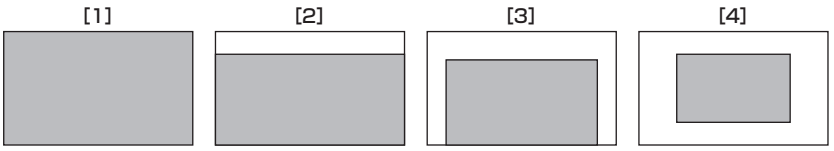
項目		設定内容
	[DEST PORT] N	[PROMPTER VIDEO] として受信するストリームのポート番号を入力します。 設定内容は [RET1 VIDEO RX] を参照してください。 • 工場出荷値：[49141]
	[SRC ADDR] N	[PROMPTER VIDEO] として受信するストリームの送信元機器の IP アドレスを入力します。 設定内容は [RET1 VIDEO RX] を参照してください。 • 工場出荷値：[0.0.0.0]
	[PGM1 AUDIO RX]	—
	[DEST ADDR] N	[PGM1 AUDIO] として受信するストリームのマルチキャストアドレスを入力します。 設定内容は [RET1 VIDEO RX] を参照してください。 • 工場出荷値：[230.1.90.2]
	[DEST PORT] N	[PGM1 AUDIO] として受信するストリームのポート番号を入力します。 設定内容は [RET1 VIDEO RX] を参照してください。 • 工場出荷値：[49192]
	[SRC ADDR] N	[PGM1 AUDIO] として受信するストリームの送信元機器の IP アドレスを入力します。 設定内容は [RET1 VIDEO RX] を参照してください。 • 工場出荷値：[0.0.0.0]
	[SET EXECUTE]	設定した内容を保存する場合に選択します。
	[PGM2 AUDIO RX]	—
	[DEST ADDR] N	[PGM2 AUDIO] として受信するストリームのマルチキャストアドレスを入力します。 設定内容は [RET1 VIDEO RX] を参照してください。 • 工場出荷値：[230.1.90.3]
	[DEST PORT] N	[PGM2 AUDIO] として受信するストリームのポート番号を入力します。 設定内容は [RET1 VIDEO RX] を参照してください。 • 工場出荷値：[49193]
	[SRC ADDR] N	[PGM2 AUDIO] として受信するストリームの送信元機器の IP アドレスを入力します。 設定内容は [RET1 VIDEO RX] を参照してください。 • 工場出荷値：[0.0.0.0]
	[PROMPTER AUDIO RX]	—
	[DEST ADDR] N	[PROMPTER AUDIO] として受信するストリームのマルチキャストアドレスを入力します。 設定内容は [RET1 VIDEO RX] を参照してください。 • 工場出荷値：[230.1.90.1]
	[DEST PORT] N	[PROMPTER AUDIO] として受信するストリームのポート番号を入力します。 設定内容は [RET1 VIDEO RX] を参照してください。 • 工場出荷値：[49191]
	[SRC ADDR] N	[PROMPTER AUDIO] として受信するストリームの送信元機器の IP アドレスを入力します。 設定内容は [RET1 VIDEO RX] を参照してください。 • 工場出荷値：[0.0.0.0]
	[SET EXECUTE]	設定した内容を保存する場合に選択します。
	[INCOM1 AUDIO RX (ENG)]	—
	[DEST ADDR] N	[INCOM1 AUDIO] として受信するストリームのマルチキャストアドレスを入力します。 設定内容は [RET1 VIDEO RX] を参照してください。 • 工場出荷値：[230.1.90.4]
	[DEST PORT] N	[INCOM1 AUDIO] として受信するストリームのポート番号を入力します。 設定内容は [RET1 VIDEO RX] を参照してください。 • 工場出荷値：[49194]
	[SRC ADDR] N	[INCOM1 AUDIO] として受信するストリームの送信元機器の IP アドレスを入力します。 設定内容は [RET1 VIDEO RX] を参照してください。 • 工場出荷値：[0.0.0.0]
	[INCOM2 AUDIO RX (PROD)]	—
	[DEST ADDR] N	[INCOM2 AUDIO] として受信するストリームのマルチキャストアドレスを入力します。 設定内容は [RET1 VIDEO RX] を参照してください。 • 工場出荷値：[230.1.90.5]
	[DEST PORT] N	[INCOM2 AUDIO] として受信するストリームのポート番号を入力します。 設定内容は [RET1 VIDEO RX] を参照してください。 • 工場出荷値：[49195]
	[SRC ADDR] N	[INCOM2 AUDIO] として受信するストリームの送信元機器の IP アドレスを入力します。 設定内容は [RET1 VIDEO RX] を参照してください。 • 工場出荷値：[0.0.0.0]
	[SET EXECUTE]	設定した内容を保存する場合に選択します。

項目		設定内容
[ST2110 SECONDARY TX]		SMPTE ST2110（非圧縮）の SECONDARY 送信設定を行います。
	[MAIN VIDEO TX]	設定内容は [ST2110 PRIMARY TX] を参照してください。 • [DEST ADDR] 、[DEST PORT] の工場出荷値は [ST2110 PRIMARY TX] とは異なります。[230.1.xx.x] は [230.2.xx.x] に、[491xx] は [492xx] に、読み替えてください。
	[DEST ADDR] N	
	[DEST PORT] N	
	[MAIN JPEG XS VIDEO TX]	
	[DEST ADDR] N	
	[DEST PORT] N	
	[SUB VIDEO TX]	
	[DEST ADDR] N	
	[DEST PORT] N	
	[TRUNK VIDEO TX]	
	[DEST ADDR] N	
	[DEST PORT] N	
	[SET EXECUTE]	
	[MIC1 AUDIO TX]	
	[DEST ADDR] N	
	[DEST PORT] N	
	[MIC2 AUDIO TX]	
	[DEST ADDR] N	
	[DEST PORT] N	
	[MIX AUDIO TX]	
	[DEST ADDR] N	
	[DEST PORT] N	
	[SET EXECUTE]	
	[TRUNK AUDIO TX]	
	[DEST ADDR] N	
	[DEST PORT] N	
	[INCOM1 AUDIO TX (ENG)]	
	[DEST ADDR] N	
	[DEST PORT] N	
	[INCOM2 AUDIO TX (PROD)]	
	[DEST ADDR] N	
	[DEST PORT] N	
	[SET EXECUTE]	
[ST2110 SECONDARY RX]		SMPTE ST2110（非圧縮）の SECONDARY 受信設定を行います。
	[RET1 VIDEO RX]	設定内容は [ST2110 PRIMARY RX] を参照してください。 • [DEST ADDR] 、[DEST PORT] の工場出荷値は [ST2110 PRIMARY RX] とは異なります。[230.1.xx.x] は [230.2.xx.x] に、[491xx] は [492xx] に、読み替えてください。
	[DEST ADDR] N	
	[DEST PORT] N	
	[SRC ADDR] N	
	[RET2 VIDEO RX]	

項目	設定内容
[DEST ADDR] N	
[DEST PORT] N	
[SRC ADDR] N	
[SET EXECUTE]	
[RET3 VIDEO RX]	
[DEST ADDR] N	
[DEST PORT] N	
[SRC ADDR] N	
[RET4 VIDEO RX]	
[DEST ADDR] N	
[DEST PORT] N	
[SRC ADDR] N	
[SET EXECUTE]	
[PROMPTER VIDEO RX]	
[DEST ADDR] N	
[DEST PORT] N	
[SRC ADDR] N	
[PGM1 AUDIO RX]	
[DEST ADDR] N	
[DEST PORT] N	
[SRC ADDR] N	
[SET EXECUTE]	
[PGM2 AUDIO RX]	
[DEST ADDR] N	
[DEST PORT] N	
[SRC ADDR] N	
[PROMPTER AUDIO RX]	
[DEST ADDR] N	
[DEST PORT] N	
[SRC ADDR] N	
[SET EXECUTE]	
[INCOM1 AUDIO RX (ENG)]	
[DEST ADDR] N	
[DEST PORT] N	
[SRC ADDR] N	
[INCOM2 AUDIO RX (PROD)]	
[DEST ADDR] N	
[DEST PORT] N	

項目		設定内容
	[SRC ADDR] N	
	[SET EXECUTE]	

[PAINT]

項目		設定内容
[AUTO]	[AUTO IRIS] USO	オートアイリスモードの有効 / 無効を設定します。 **[OFF]、[ON]** • 工場出荷値：[ON]（カメラ単体で使用しているとき）、[OFF]（その他）
[GAIN SETTING]	[GAIN/ISO MODE] USOR	ゲイン値の単位を設定します。 **[dB]、[ISO]** • 工場出荷値：[dB]
	[LOW GAIN] USOR	〈GAIN〉スイッチで〈L〉が選択されたときのゲインアップ量を設定します。 [dB モード] **[–6dB] … [18dB]** [ISO モード] **[ISO 400]、[ISO 500]、[ISO 640]、[ISO 800]、[ISO 1000]、[ISO 1250]、[ISO 1600]、[ISO 2000]、[ISO 2500]、[ISO 3200]、[ISO 4000]、[ISO 5000]、[ISO 6400]、[ISO 8000]、[ISO 10000]、[ISO 12800]** • 工場出荷値： [dB モード]　0dB [ISO モード]　ISO 800
	[OFFSET LOW GAIN] USOR	[LOW GAIN] からのオフセットを設定します。 **[–2.9dB] … [+2.9dB]**（0.1 dB ステップ） • 工場出荷値：[0.0dB]
	[MID GAIN] USOR	〈GAIN〉スイッチで〈M〉が選択されたときのゲインアップ量を設定します。 [dB モード] **[–6dB] … [18dB]** [ISO モード] **[ISO 400]、[ISO 500]、[ISO 640]、[ISO 800]、[ISO 1000]、[ISO 1250]、[ISO 1600]、[ISO 2000]、[ISO 2500]、[ISO 3200]、[ISO 4000]、[ISO 5000]、[ISO 6400]、[ISO 8000]、[ISO 10000]、[ISO 12800]** • 工場出荷値： [dB モード]　9dB [ISO モード]　ISO 1600
	[OFFSET MID GAIN] USOR	[MID GAIN] からのオフセットを設定します。 **[–2.9dB] … [+2.9dB]**（0.1 dB ステップ） • 工場出荷値：[0.0dB]
	[HIGH GAIN] USOR	〈GAIN〉スイッチで〈H〉が選択されたときのゲインアップ量を設定します。 [dB モード] **[–6dB] … [18dB]** [ISO モード] **[ISO 400]、[ISO 500]、[ISO 640]、[ISO 800]、[ISO 1000]、[ISO 1250]、[ISO 1600]、[ISO 2000]、[ISO 2500]、[ISO 3200]、[ISO 4000]、[ISO 5000]、[ISO 6400]、[ISO 8000]、[ISO 10000]、[ISO 12800]** • 工場出荷値： [dB モード]　18dB [ISO モード]　ISO 2500
	[OFFSET HIGH GAIN] USOR	[HIGH GAIN] からのオフセットを設定します。 **[–2.9dB] … [+2.9dB]**（0.1 dB ステップ） • 工場出荷値：[0.0dB]
[IRIS]	[AUTO IRIS] USO	オートアイリスモードの有効 / 無効を設定します。 **[OFF]、[ON]** • 工場出荷値：[ON]（カメラ単体で使用しているとき）、[OFF]（その他）
	[WINDOW SELECT] USO	測光範囲を設定します。 **[1] … [5]** ウィンドウイメージは次のようになります。  • 工場出荷値：[1] ***NOTE*** • [5] を選択したときは、任意のウィンドウ（領域）を指定できます。 領域の指定は、Web ブラウザーから設定可能です。
	[IRIS LEVEL] UO	オートアイリスの目標値（明るさ）を調整します。 **[0] … [100]** • 工場出荷値：[50]

項目		設定内容
	[PEAK RATIO] U S O	オートアイリス測光のピーク値と平均値の割合を設定します。 **[0] … [100]** • 工場出荷値：[30]
	[IRIS RANGE] U O	アイリス調整ジョイスティックによるオートアイリスレベルの微調整範囲を設定します。 **[NORMAL]、[(3/4)]、[(2/4)]、[(1/4)]** • 工場出荷値：[NORMAL]
	[IRIS SPEED] U S O	オートアイリススピードを設定します。 **[1] … [25]** • 工場出荷値：[15]
	[IRIS GAIN] U O	オートアイリスの測光速度の調整を、レンズのアイリスゲインボリュームから行うか、メニューから行うかを切り替えます。通常は [LENS] に設定して、レンズのアイリスボリュームで調整します。 **[LENS]、[CAM]** • 工場出荷値：[LENS]
[W/B BAL SETTING]	[SHOCKLESS WB SW] U S O	色温度を変更したときのショックレスホワイトバランスの有効 / 無効を設定します。 **[OFF]、[ON]** • 工場出荷値：[OFF]
	[SHOCKLESS WB SPEED] U S O	ショックレスホワイトバランスのスピードを設定します。 **[1] … [5]** • 工場出荷値：[4]
[SHUTTER SPEED]	[SHUTTER SW] U S R	シャッター機能の有効 / 無効を設定します。 **[OFF]**：シャッターを無効にします。 **[ON]**：[SHUTTER SPEED]/[SYNCHRO SCAN] でシャッタースピードを設定します。 • 工場出荷値：[OFF]
	[SHUTTER DISP] U S R	シャッターの表示を設定します。 **[sec]、[deg]** • 工場出荷値：[sec]
	[SHUTTER MODE] U S R	シャッターの動作モードを選択します。 **[STEP]**：[SHUTTER SPEED] で設定されたシャッタースピードになります。 **[SYNCHRO]**：[SYNCHRO SCAN] で設定されたシャッタースピードになります。 • 工場出荷値：[STEP]
	[SHUTTER SPEED] U S R	[SHUTTER MODE] が [STEP] のときのシャッタースピードを設定します。[SHUTTER DISP] を [sec] に設定しているときは時間（分数）、[deg] に設定しているときは開角角度で表示します。 [sec] 表示の場合 [59.94i]/[59.94p] モード： **[1/100]、[1/120]、[1/125]、[1/250]、[1/500]、[1/1000]、[1/1500]、[1/2000]** [50i]/[50p] モード： **[1/60]、[1/100]、[1/125]、[1/250]、[1/500]、[1/1000]、[1/1500]、[1/2000]** [29.97p] モード： **[1/48]、[1/50]、[1/60]、[1/96]、[1/100]、[1/120]、[1/125]、[1/250]、[1/500]、[1/1000]、[1/1500]、[1/2000]** [25p] モード： **[1/48]、[1/50]、[1/60]、[1/96]、[1/100]、[1/125]、[1/250]、[1/500]、[1/1000]、[1/1500]、[1/2000]** [23.98p] モード： **[1/48]、[1/50]、[1/60]、[1/96]、[1/100]、[1/120]、[1/125]、[1/250]、[1/500]、[1/1000]、[1/1500]、[1/2000]** [120p]/[100p] モード： **[1/125]、[1/250]、[1/500]、[1/1000]、[1/1500]、[1/2000]** [180p]/[150p] モード： **[1/250]、[1/500]、[1/1000]、[1/1500]、[1/2000]** [240p]/[200p] モード： **[1/250]、[1/500]、[1/1000]、[1/1500]、[1/2000]** [deg] 表示の場合 **[HALF SHUTTER]、[11.5d]、[22.5d]、[45.0d]、[90.0d]、[120.0d]、[144.0d]、[172.8d]、[180.0d]、[270.0d]、[357.0d]** • 工場出荷値：[1/100]

項目		設定内容
	[SYNCHRO SCAN] U S R	[SHUTTER MODE] が [SYNCHRO] のときのシャッタースピードを設定します。[SHUTTER DISP] を [sec] に設定しているときは時間（分数）、[deg] に設定しているときは開角角度で表示します。 [sec] 表示の場合 [59.94i]/[59.94p] モード： **[60.0Hz] … [7200Hz]** • 工場出荷値：[60.0Hz] [50i]/[50p] モード： **[50.0Hz] … [7200Hz]** [29.97p] モード： **[30.0Hz] … [7200Hz]** [25p] モード： **[25.0Hz] … [7200Hz]** [23.98p] モード： **[24.0Hz] … [7200Hz]** [120p] モード： **[120.1Hz] … [7200Hz]** [180p] モード： **[180.2Hz] … [7200Hz]** [240p] モード： **[241.1Hz] … [7200Hz]** [100p] モード： **[100.1Hz] … [7200Hz]** [150p] モード： **[150.3Hz] … [7200Hz]** [200p] モード： **[200.5Hz] … [7200Hz]** [deg] 表示の場合 **[3.0 deg] … [357.0 deg]**
	[SYNCHRO SCAN FINE] U S R	[SHUTTER MODE] が [SYNCHRO] のときのシャッタースピードの微調整値を設定します。 **[–5]…[+5]** • 工場出荷値：[0] ***NOTE*** • [SHUTTER DISP] が [sec] のときのみ設定できます。
[SHUTTER SELECT]	[SHUTTER OFF BY ROP] U R	ROP からシャッターの動作を可能にするかどうかを選択します。 **[ENABLE]、[DISABLE]** • 工場出荷値：[DISABLE]
	[POSITION1] U S R	[POSITION1] のシャッタースピードを設定します。 [sec] 表示の場合 [59.94i]/[59.94p] モード： **[1/100]、[1/120]、[1/125]、[1/250]、[1/500]、[1/1000]、[1/1500]、[1/2000]** • 工場出荷値：[1/100] [50i]/[50p] モード： **[1/60]、[1/100]、[1/125]、[1/250]、[1/500]、[1/1000]、[1/1500]、[1/2000]** • 工場出荷値：[1/60] [29.97p] モード： **[1/48]、[1/50]、[1/60]、[1/96]、[1/100]、[1/120]、[1/125]、[1/250]、[1/500]、[1/1000]、[1/1500]、[1/2000]** • 工場出荷値：[1/60] [25p] モード： **[1/48]、[1/50]、[1/60]、[1/96]、[1/100]、[1/125]、[1/250]、[1/500]、[1/1000]、[1/1500]、[1/2000]** • 工場出荷値：[1/50] [23.98p] モード： **[1/48]、[1/50]、[1/60]、[1/96]、[1/100]、[1/120]、[1/125]、[1/250]、[1/500]、[1/1000]、[1/1500]、[1/2000]** • 工場出荷値：[1/48] [120p]/[100p] モード： **[1/125]、[1/250]、[1/500]、[1/1000]、[1/1500]、[1/2000]** • 工場出荷値：[1/125] [180p]/[150p] モード： **[1/250]、[1/500]、[1/1000]、[1/1500]、[1/2000]** • 工場出荷値：[1/250] [240p]/[200p] モード： **[1/250]、[1/500]、[1/1000]、[1/1500]、[1/2000]** • 工場出荷値：[1/250] [deg] 表示の場合 **[HALF SHUTTER]、[11.5d]、[22.5d]、[45.0d]、[90.0d]、[120.0d]、[144.0d]、[172.8d]、[180.0d]、[270.0d]、[357.0d]** • 工場出荷値：[HALF SHUTTER]

項目		設定内容
	[POSITION2] USR	[POSITION2] のシャッタースピードを設定します。 [sec] 表示の場合 [59.94i]/[59.94p] モード : **[1/100]、[1/120]、[1/125]、[1/250]、[1/500]、[1/1000]、[1/1500]、[1/2000]** • 工場出荷値 : [1/120] [50i]/[50p] モード : **[1/60]、[1/100]、[1/125]、[1/250]、[1/500]、[1/1000]、[1/1500]、[1/2000]** • 工場出荷値 : [1/100] [29.97p] モード : **[1/48]、[1/50]、[1/60]、[1/96]、[1/100]、[1/120]、[1/125]、[1/250]、[1/500]、[1/1000]、[1/1500]、[1/2000]** • 工場出荷値 : [1/120] [25p] モード : **[1/48]、[1/50]、[1/60]、[1/96]、[1/100]、[1/125]、[1/250]、[1/500]、[1/1000]、[1/1500]、[1/2000]** • 工場出荷値 : [1/100] [23.98p] モード : **[1/48]、[1/50]、[1/60]、[1/96]、[1/100]、[1/120]、[1/125]、[1/250]、[1/500]、[1/1000]、[1/1500]、[1/2000]** • 工場出荷値 : [1/120] [120p]/[100p] モード : **[1/125]、[1/250]、[1/500]、[1/1000]、[1/1500]、[1/2000]** • 工場出荷値 : [1/250] [180p]/[150p] モード : **[1/250]、[1/500]、[1/1000]、[1/1500]、[1/2000]** • 工場出荷値 : [1/500] [240p]/[200p] モード : **[1/250]、[1/500]、[1/1000]、[1/1500]、[1/2000]** • 工場出荷値 : [1/500] [deg] 表示の場合 **[HALF SHUTTER]、[11.5d]、[22.5d]、[45.0d]、[90.0d]、[120.0d]、[144.0d]、[172.8d]、[180.0d]、[270.0d]、[357.0d]** • 工場出荷値 : [22.5d]
	[POSITION3] USR	[POSITION3] のシャッタースピードを設定します。 [sec] 表示の場合 [59.94i]/[59.94p] モード : **[1/100]、[1/120]、[1/125]、[1/250]、[1/500]、[1/1000]、[1/1500]、[1/2000]** • 工場出荷値 : [1/125] [50i]/[50p] モード : **[1/60]、[1/100]、[1/125]、[1/250]、[1/500]、[1/1000]、[1/1500]、[1/2000]** • 工場出荷値 : [1/125] [29.97p] モード : **[1/48]、[1/50]、[1/60]、[1/96]、[1/100]、[1/120]、[1/125]、[1/250]、[1/500]、[1/1000]、[1/1500]、[1/2000]** • 工場出荷値 : [1/125] [25p] モード : **[1/48]、[1/50]、[1/60]、[1/96]、[1/100]、[1/125]、[1/250]、[1/500]、[1/1000]、[1/1500]、[1/2000]** • 工場出荷値 : [1/125] [23.98p] モード : **[1/48]、[1/50]、[1/60]、[1/96]、[1/100]、[1/120]、[1/125]、[1/250]、[1/500]、[1/1000]、[1/1500]、[1/2000]** • 工場出荷値 : [1/125] [120p]/[100p] モード : **[1/125]、[1/250]、[1/500]、[1/1000]、[1/1500]、[1/2000]** • 工場出荷値 : [1/500] [180p]/[150p] モード : **[1/250]、[1/500]、[1/1000]、[1/1500]、[1/2000]** • 工場出荷値 : [1/1000] [240p]/[200p] モード : **[1/250]、[1/500]、[1/1000]、[1/1500]、[1/2000]** • 工場出荷値 : [1/1000] [deg] 表示の場合 **[HALF SHUTTER]、[11.5d]、[22.5d]、[45.0d]、[90.0d]、[120.0d]、[144.0d]、[172.8d]、[180.0d]、[270.0d]、[357.0d]** • 工場出荷値 : [45.0d]

項目		設定内容
	[POSITION4] USR	[POSITION4] のシャッタースピードを設定します。 [sec] 表示の場合 [59.94i]/[59.94p] モード : **[1/100]、[1/120]、[1/125]、[1/250]、[1/500]、[1/1000]、[1/1500]、[1/2000]** • 工場出荷値 : [1/250] [50i]/[50p] モード : **[1/60]、[1/100]、[1/125]、[1/250]、[1/500]、[1/1000]、[1/1500]、[1/2000]** • 工場出荷値 : [1/250] [29.97p] モード : **[1/48]、[1/50]、[1/60]、[1/96]、[1/100]、[1/120]、[1/125]、[1/250]、[1/500]、[1/1000]、[1/1500]、[1/2000]** • 工場出荷値 : [1/250] [25p] モード : **[1/48]、[1/50]、[1/60]、[1/96]、[1/100]、[1/125]、[1/250]、[1/500]、[1/1000]、[1/1500]、[1/2000]** • 工場出荷値 : [1/250] [23.98p] モード : **[1/48]、[1/50]、[1/60]、[1/96]、[1/100]、[1/120]、[1/125]、[1/250]、[1/500]、[1/1000]、[1/1500]、[1/2000]** • 工場出荷値 : [1/250] [120p]/[100p] モード : **[1/125]、[1/250]、[1/500]、[1/1000]、[1/1500]、[1/2000]** • 工場出荷値 : [1/1000] [180p]/[150p] モード : **[1/250]、[1/500]、[1/1000]、[1/1500]、[1/2000]** • 工場出荷値 : [1/1500] [240p]/[200p] モード : **[1/250]、[1/500]、[1/1000]、[1/1500]、[1/2000]** • 工場出荷値 : [1/1500] [deg] 表示の場合 **[HALF SHUTTER]、[11.5d]、[22.5d]、[45.0d]、[90.0d]、[120.0d]、[144.0d]、[172.8d]、[180.0d]、[270.0d]、[357.0d]** • 工場出荷値 : [90.0d]
	[POSITION5] USR	[POSITION5] のシャッタースピードを設定します。 [sec] 表示の場合 [59.94i]/[59.94p] モード : **[1/100]、[1/120]、[1/125]、[1/250]、[1/500]、[1/1000]、[1/1500]、[1/2000]** • 工場出荷値 : [1/500] [50i]/[50p] モード : **[1/60]、[1/100]、[1/125]、[1/250]、[1/500]、[1/1000]、[1/1500]、[1/2000]** • 工場出荷値 : [1/500] [29.97p] モード : **[1/48]、[1/50]、[1/60]、[1/96]、[1/100]、[1/120]、[1/125]、[1/250]、[1/500]、[1/1000]、[1/1500]、[1/2000]** • 工場出荷値 : [1/500] [25p] モード : **[1/48]、[1/50]、[1/60]、[1/96]、[1/100]、[1/125]、[1/250]、[1/500]、[1/1000]、[1/1500]、[1/2000]** • 工場出荷値 : [1/500] [23.98p] モード : **[1/48]、[1/50]、[1/60]、[1/96]、[1/100]、[1/120]、[1/125]、[1/250]、[1/500]、[1/1000]、[1/1500]、[1/2000]** • 工場出荷値 : [1/500] [120p]/[100p] モード : **[1/125]、[1/250]、[1/500]、[1/1000]、[1/1500]、[1/2000]** • 工場出荷値 : [1/1500] [180p]/[150p] モード : **[1/250]、[1/500]、[1/1000]、[1/1500]、[1/2000]** • 工場出荷値 : [1/2000] [240p]/[200p] モード : **[1/250]、[1/500]、[1/1000]、[1/1500]、[1/2000]** • 工場出荷値 : [1/2000] [deg] 表示の場合 **[HALF SHUTTER]、[11.5d]、[22.5d]、[45.0d]、[90.0d]、[120.0d]、[144.0d]、[172.8d]、[180.0d]、[270.0d]、[357.0d]** • 工場出荷値 : [120.0d]

項目		設定内容
	[POSITION6] USR	[POSITION6] のシャッタースピードを設定します。 [sec] 表示の場合 [59.94i]/[59.94p] モード : **[1/100]、[1/120]、[1/125]、[1/250]、[1/500]、[1/1000]、[1/1500]、[1/2000]** • 工場出荷値 : [1/1000] [50i]/[50p] モード : **[1/60]、[1/100]、[1/125]、[1/250]、[1/500]、[1/1000]、[1/1500]、[1/2000]** • 工場出荷値 : [1/1000] [29.97p] モード : **[1/48]、[1/50]、[1/60]、[1/96]、[1/100]、[1/120]、[1/125]、[1/250]、[1/500]、[1/1000]、[1/1500]、[1/2000]** • 工場出荷値 : [1/1000] [25p] モード : **[1/48]、[1/50]、[1/60]、[1/96]、[1/100]、[1/125]、[1/250]、[1/500]、[1/1000]、[1/1500]、[1/2000]** • 工場出荷値 : [1/1000] [23.98p] モード : **[1/48]、[1/50]、[1/60]、[1/96]、[1/100]、[1/120]、[1/125]、[1/250]、[1/500]、[1/1000]、[1/1500]、[1/2000]** • 工場出荷値 : [1/1000] [120p]/[100p] モード : **[1/125]、[1/250]、[1/500]、[1/1000]、[1/1500]、[1/2000]** • 工場出荷値 : [1/2000] [180p]/[150p] モード : **[1/250]、[1/500]、[1/1000]、[1/1500]、[1/2000]** • 工場出荷値 : [1/2000] [240p]/[200p] モード : **[1/250]、[1/500]、[1/1000]、[1/1500]、[1/2000]** • 工場出荷値 : [1/2000] [deg] 表示の場合 **[HALF SHUTTER]、[11.5d]、[22.5d]、[45.0d]、[90.0d]、[120.0d]、[144.0d]、[172.8d]、[180.0d]、[270.0d]、[357.0d]** • 工場出荷値 : [144.0d]
	[POSITION7] USR	[POSITION7] のシャッタースピードを設定します。 [sec] 表示の場合 [59.94i]/[59.94p] モード : **[1/100]、[1/120]、[1/125]、[1/250]、[1/500]、[1/1000]、[1/1500]、[1/2000]** • 工場出荷値 : [1/1500] [50i]/[50p] モード : **[1/60]、[1/100]、[1/125]、[1/250]、[1/500]、[1/1000]、[1/1500]、[1/2000]** • 工場出荷値 : [1/1500] [29.97p] モード : **[1/48]、[1/50]、[1/60]、[1/96]、[1/100]、[1/120]、[1/125]、[1/250]、[1/500]、[1/1000]、[1/1500]、[1/2000]** • 工場出荷値 : [1/1500] [25p] モード : **[1/48]、[1/50]、[1/60]、[1/96]、[1/100]、[1/125]、[1/250]、[1/500]、[1/1000]、[1/1500]、[1/2000]** • 工場出荷値 : [1/1500] [23.98p] モード : **[1/48]、[1/50]、[1/60]、[1/96]、[1/100]、[1/120]、[1/125]、[1/250]、[1/500]、[1/1000]、[1/1500]、[1/2000]** • 工場出荷値 : [1/1500] [120p]/[100p] モード : **[1/125]、[1/250]、[1/500]、[1/1000]、[1/1500]、[1/2000]** • 工場出荷値 : [1/2000] [180p]/[150p] モード : **[1/250]、[1/500]、[1/1000]、[1/1500]、[1/2000]** • 工場出荷値 : [1/2000] [240p]/[200p] モード : **[1/250]、[1/500]、[1/1000]、[1/1500]、[1/2000]** • 工場出荷値 : [1/2000] [deg] 表示の場合 **[HALF SHUTTER]、[11.5d]、[22.5d]、[45.0d]、[90.0d]、[120.0d]、[144.0d]、[172.8d]、[180.0d]、[270.0d]、[357.0d]** • 工場出荷値 : [172.8d]

項目		設定内容
	[POSITION8] USR	[POSITION8] のシャッタースピードを設定します。 [sec] 表示の場合 [59.94i]/[59.94p] モード : **[1/100]、[1/120]、[1/125]、[1/250]、[1/500]、[1/1000]、[1/1500]、[1/2000]** • 工場出荷値 : [1/2000] [50i]/[50p] モード : **[1/60]、[1/100]、[1/125]、[1/250]、[1/500]、[1/1000]、[1/1500]、[1/2000]** • 工場出荷値 : [1/2000] [29.97p] モード : **[1/48]、[1/50]、[1/60]、[1/96]、[1/100]、[1/120]、[1/125]、[1/250]、[1/500]、[1/1000]、[1/1500]、[1/2000]** • 工場出荷値 : [1/2000] [25p] モード : **[1/48]、[1/50]、[1/60]、[1/96]、[1/100]、[1/125]、[1/250]、[1/500]、[1/1000]、[1/1500]、[1/2000]** • 工場出荷値 : [1/2000] [23.98p] モード : **[1/48]、[1/50]、[1/60]、[1/96]、[1/100]、[1/120]、[1/125]、[1/250]、[1/500]、[1/1000]、[1/1500]、[1/2000]** • 工場出荷値 : [1/2000] [120p]/[100p] モード : **[1/125]、[1/250]、[1/500]、[1/1000]、[1/1500]、[1/2000]** • 工場出荷値 : [1/2000] [180p]/[150p] モード : **[1/250]、[1/500]、[1/1000]、[1/1500]、[1/2000]** • 工場出荷値 : [1/2000] [240p]/[200p] モード : **[1/250]、[1/500]、[1/1000]、[1/1500]、[1/2000]** • 工場出荷値 : [1/2000] [deg] 表示の場合 **[HALF SHUTTER]、[11.5d]、[22.5d]、[45.0d]、[90.0d]、[120.0d]、[144.0d]、[172.8d]、[180.0d]、[270.0d]、[357.0d]** • 工場出荷値 : [270.0d]
[SHUTTER POSITION]	[POSITION1] USR	シャッターポジションの [POSITION1] 設定の有効 / 無効を設定します。 **[OFF]、[ON]** • 工場出荷値 : [ON]
	[POSITION2] USR	シャッターポジションの [POSITION2] 設定の有効 / 無効を設定します。 **[OFF]、[ON]** • 工場出荷値 : [ON]
	[POSITION3] USR	シャッターポジションの [POSITION3] 設定の有効 / 無効を設定します。 **[OFF]、[ON]** • 工場出荷値 : [ON]
	[POSITION4] USR	シャッターポジションの [POSITION4] 設定の有効 / 無効を設定します。 **[OFF]、[ON]** • 工場出荷値 : [ON]
	[POSITION5] USR	シャッターポジションの [POSITION5] 設定の有効 / 無効を設定します。 **[OFF]、[ON]** • 工場出荷値 : [ON]
	[POSITION6] USR	シャッターポジションの [POSITION6] 設定の有効 / 無効を設定します。 **[OFF]、[ON]** • 工場出荷値 : [ON]
	[POSITION7] USR	シャッターポジションの [POSITION7] 設定の有効 / 無効を設定します。 **[OFF]、[ON]** • 工場出荷値 : [ON]
	[POSITION8] USR	シャッターポジションの [POSITION8] 設定の有効 / 無効を設定します。 **[OFF]、[ON]** • 工場出荷値 : [ON]
	[SHUTTER SELECT BY ROP] USR	ROP からのシャッター動作が [POSITION1] ～ [POSITION8] の設定に従うかどうかを選択します。 **[FULL]、[SELECT]** • 工場出荷値 : [SELECT]

項目		設定内容
[PEDESTAL]	[MASTER PEDESTAL] U S R	マスターペデスタルの黒レベルを調整します。 **[–200] … [+200]** • 工場出荷値：[0]
	[R PEDESTAL] U S R	マスターペデスタルに対して赤色の補正レベルを設定します。 **[–800] … [+800]** • 工場出荷値：[0]
	[G PEDESTAL] U S R	マスターペデスタルに対して緑色の補正レベルを設定します。 **[–800] … [+800]** • 工場出荷値：[0]
	[B PEDESTAL] U S R	マスターペデスタルに対して青色の補正レベルを設定します。 **[–800] … [+800]** • 工場出荷値：[0]
	[PEDESTAL OFFSET] U S R	オートブラックバランスを調整したときの、Rch、Gch、Bch のペデスタルレベルを保持するかどうかを設定します。 **[ON]**：[R PEDESTAL]、[G PEDESTAL]、[B PEDESTAL] で設定した値を保持したままにします。 **[OFF]**：[R PEDESTAL]、[G PEDESTAL]、[B PEDESTAL] で設定を [0] にします。 • 工場出荷値：[OFF]
[CHROMA]	[CHROMA LEVEL SWITCH] U S R	クロマのゲイン調整の有効 / 無効を設定します。 **[OFF]、[ON]** • 工場出荷値：[OFF]
	[CHROMA LEVEL] U S R	クロマのゲイン調整を設定します。 **[–100%] … [+80%]** • 工場出荷値：[0%]
[COLOR TEMP SETTING]	[COLOR TEMP PRESET]	—
	[COLOR TEMP PRE SWITCH] U S R	色温度の調整の有効 / 無効を設定します。 **[OFF]、[ON]** • 工場出荷値：[OFF]
	[COLOR TEMP] U S R	[COLOR TEMP PRE SWITCH] が [ON] のときの色温度を設定します。 **[2000K] … [15000K]** • 工場出荷値：[3200K]
	[R GAIN] U S R	色温度に対して赤色の補正レベルを設定します。 **[–400] … [+400]** • 工場出荷値：[0]
	[B GAIN] U S R	色温度に対して青色の補正レベルを設定します。 **[–400] … [+400]** • 工場出荷値：[0]
	[G AXIS] U S R	色温度に対して緑色の補正レベルを設定します。 **[–400] … [+400]** • 工場出荷値：[0]
	[COLOR TEMP ACH/BCH]	システム接続しているときは、[COLOR TEMP ACH] のみ設定できます。
	[COLOR TEMP ACH] U S R	〈WHITE BAL〉スイッチが〈A〉のときの色温度を設定します。 **[2000K] … [15000K]** • 工場出荷値：[3200K]
	[R GAIN ACH] U S R	色温度に対して赤色の補正レベルを設定します。 **[–400] … [+400]** • 工場出荷値：[0]
	[B GAIN ACH] U S R	色温度に対して青色の補正レベルを設定します。 **[–400] … [+400]** • 工場出荷値：[0]
	[G AXIS ACH] U S R	色温度に対して緑色の補正レベルを設定します。 **[–400] … [+400]** • 工場出荷値：[0]
	[COLOR TEMP BCH] U S R	〈WHITE BAL〉スイッチが〈B〉のときの色温度を設定します。 **[2000K] … [15000K]** • 工場出荷値：[3200K]
	[R GAIN BCH] U S R	色温度に対して赤色の補正レベルを設定します。 **[–400] … [+400]** • 工場出荷値：[0]
	[B GAIN BCH] U S R	色温度に対して青色の補正レベルを設定します。 **[–400] … [+400]** • 工場出荷値：[0]
	[G AXIS BCH] U S R	色温度に対して緑色の補正レベルを設定します。 **[–400] … [+400]** • 工場出荷値：[0]
	[COLOR TEMP USER SW]	—
	[COLOR TEMP SW] U S R	[COLOR TEMP USER SW] 項目の有効 / 無効を設定します。 **[OFF]、[ON]** • 工場出荷値：[OFF]

項目			設定内容
		[COLOR TEMP] U SR	〈USER 1〉/〈USER 2〉/〈USER 3〉/〈USER 4〉/〈USER 5〉/〈USER 6〉ボタンのいずれかに [C.TEMP] を設定し、設定が有効になっているときの色温度を設定します。 **[2000K] … [15000K]** • 工場出荷値：[3200K]
		[R GAIN] U SR	色温度に対して赤色の補正レベルを設定します。 **[–400] … [+400]** • 工場出荷値：[0]
		[B GAIN] U SR	色温度に対して青色の補正レベルを設定します。 **[–400] … [+400]** • 工場出荷値：[0]
		[G AXIS] U SR	色温度に対して緑色の補正レベルを設定します。 **[–400] … [+400]** • 工場出荷値：[0]
[RGB GAIN CONTROL SETTING]			
	[G GAIN REL CONTROL SW] USR		Gch ゲインの相対値制御の有効 / 無効を設定します。 **[OFF]、[ON]** • 工場出荷値：[OFF]
	[RGB GAIN PRESET]		—
		[R GAIN] USR	Rch ゲインのプリセット値を設定します。 **[–1000] … [+1000]** • 工場出荷値：[0]
		[G GAIN] USR	Gch ゲインのプリセット値を設定します。 **[–1000] … [+1000]** • 工場出荷値：[0]
		[B GAIN] USR	Bch ゲインのプリセット値を設定します。 **[–1000] … [+1000]** • 工場出荷値：[0]
	[RGB GAIN ACH/BCH]		CCU に接続しているときは、[R GAIN ACH]/[G GAIN ACH]/[B GAIN ACH]/[GAIN OFFSET ACH] のみ設定できます。
		[R GAIN ACH] USR	ゲインに対して赤色の補正レベルを設定します。 **[–1000] … [+1000]** • 工場出荷値：[0]
		[G GAIN ACH] USR	ゲインに対して緑色の補正レベルを設定します。 **[–1000] … [+1000]** • 工場出荷値：[0]
		[B GAIN ACH] USR	ゲインに対して青色の補正レベルを設定します。 **[–1000] … [+1000]** • 工場出荷値：[0]
		[GAIN OFFSET ACH] USR	オートホワイトバランスを調整したときの Rch、Gch、Bch のゲインレベルを保持するかどうかを設定します。 **[ON]**：[R GAIN ACH]、[G GAIN ACH]、[B GAIN ACH] で設定した値を保持したままにします。 **[OFF]**：[R GAIN ACH]、[G GAIN ACH]、[B GAIN ACH] で設定を [0] にします。 • 工場出荷値：[OFF]
		[R GAIN BCH] USR	ゲインに対して赤色の補正レベルを設定します。 **[–1000] … [+1000]** • 工場出荷値：[0]
		[G GAIN BCH] USR	ゲインに対して緑色の補正レベルを設定します。 **[–1000] … [+1000]** • 工場出荷値：[0]
		[B GAIN BCH] USR	ゲインに対して青色の補正レベルを設定します。 **[–1000] … [+1000]** • 工場出荷値：[0]
		[GAIN OFFSET BCH] USR	オートホワイトバランスを調整したときの Rch、Gch、Bch のゲインレベルを保持するかどうかを設定します。 **[ON]**：[R GAIN BCH]、[G GAIN BCH]、[B GAIN BCH] で設定した値を保持したままにします。 **[OFF]**：[R GAIN BCH]、[G GAIN BCH]、[B GAIN BCH] で設定を [0] にします。 • 工場出荷値：[OFF]
[FLARE]		[FLARE] USR	フレア補正の有効 / 無効を設定します。 **[OFF]、[ON]** • 工場出荷値：[ON]
		[MASTER FLARE] USR	マスターフレアを調整します。 **[–200] … [+200]** • 工場出荷値：[0]
		[R FLARE] USR	Rch フレアを調整します。 **[–200] … [+200]** • 工場出荷値：[0]
		[G FLARE] USR	Gch フレアを調整します。 **[–200] … [+200]** • 工場出荷値：[0]
		[B FLARE] USR	Bch フレアを調整します。 **[–200] … [+200]** • 工場出荷値：[0]

項目		設定内容
[GAMMA/BLACK GAMMA]	[GAMMA] U**S**R	ガンマ補正の有効 / 無効を設定します。 HDR モードのときは設定できません。 **[OFF]**、**[ON]** • 工場出荷値：[ON]
	[GAMMA MODE SELECT] U**S**R	ガンマの種類を選択します。 **[HD]**：当社製の放送機器に準じたビデオガンマ特性です。 **[NORMAL]**：フェイストーンを持ち上げるガンマ特性です。 **[CINEMA1]**：コントラストが強めのガンマ特性です。 **[CINEMA2]**：落ち着いた調子のガンマ特性です。 • 工場出荷値：[HD]
	[MASTER GAMMA] U**S**R	ガンマ特性を調整します。 **[0.15]** … **[0.75]**（0.01 ステップ） • 工場出荷値：[0.45]
	[OFFSET GAMMA] U**S**R	ガンマ特性を微調整します。 **[–10]** … **[+10]** • 工場出荷値：[0]
	[R GAMMA] U**S**R	マスターガンマに対して赤色のガンマ特性を調整します。 **[–75]** … **[+75]** • 工場出荷値：[0]
	[B GAMMA] U**S**R	マスターガンマに対して青色のガンマ特性を調整します。 **[–75]** … **[+75]** • 工場出荷値：[0]
	[BLACK GAMMA] U**S**R	ブラックガンマの有効 / 無効を設定します。 [V-LOG] が [ON]、または、[HDR] が [ON] のときは設定できません。 **[OFF]**、**[ON]** • 工場出荷値：[OFF]
	[MASTER BLACK GAMMA] U**S**R	黒付近のガンマ特性を調整します。 **[–48]** … **[+48]** • 工場出荷値：[0]
	[R BLACK GAMMA] U**S**R	マスターガンマに対して黒付近の赤色のガンマ特性を調整します。 **[–20]** … **[+20]** • 工場出荷値：[0]
	[B BLACK GAMMA] U**S**R	マスターガンマに対して黒付近の青色のガンマ特性を調整します。 **[–20]** … **[+20]** • 工場出荷値：[0]
	[BLACK GAMMA RANGE] U**S**R	暗部のガンマカーブの圧縮 / 伸張を行う上限レベルを設定します。 **[1]**：20%程度 **[2]**：30% 程度 **[3]**：40%程度 • 工場出荷値：[3]
	[INITIAL GAMMA] U**S**R	ガンマの立ち上がり傾きを設定します。 [GAMMA MODE SELECT] が [HD] のとき：**[4.0]**/**[4.5]**/**[5.0]** [GAMMA MODE SELECT] が [NORMAL]、[CINEMA1]、[CINEMA2] のときは設定できません。 • 工場出荷値：[4.5]
[KNEE]	[KNEE] U**S**R	ニー機能の有効 / 無効を設定します。 HDR モードのときは設定できません。[DRS] を有効にしているときは、[KNEE] の設定が無効になります。 **[OFF]**、**[ON]** • 工場出荷値：[ON]
	[KNEE MASTER POINT] U**S**R	ニーポイントの位置を設定します。 **[80.00%]** … **[110.00%]**（0.25% ステップ） • 工場出荷値：[95.00%]
	[KNEE R POINT] U**S**R	[KNEE MASTER POINT] に対して赤色のニーポイントを調整します。 **[–25.00%]** … **[25.00%]**（0.25% ステップ） • 工場出荷値：[0.00%]
	[KNEE B POINT] U**S**R	[KNEE MASTER POINT] に対して青色のニーポイントを調整します。 **[–25.00%]** … **[25.00%]**（0.25% ステップ） • 工場出荷値：[0.00%]
	[KNEE MASTER SLOPE] U**S**R	ニーの傾きを設定します。 **[0]** … **[199]** • 工場出荷値：[130]
	[KNEE R SLOPE] U**S**R	[KNEE MASTER SLOPE] に対して赤色のニーの傾きを調整します。 **[–99]** … **[+99]** • 工場出荷値：[0]
	[KNEE B SLOPE] U**S**R	[KNEE MASTER SLOPE] に対して青色のニーの傾きを調整します。 **[–99]** … **[+99]** • 工場出荷値：[0]

項目		設定内容
[WHITE CLIP]	[WHITE CLIP] USR	ホワイトクリップ機能の有効 / 無効を設定します。 HDR モードのときは設定できません。 **[OFF]、[ON]** • 工場出荷値：[ON]
	[MASTER WHITE CLIP LEVEL] USR	ホワイトクリップレベルを設定します。 **[80%] … [109%]** • 工場出荷値：[109%]
	[R WHITE CLIP LEVEL] USR	[MASTER WHITE CLIP LEVEL] に対して赤色を調整します。 **[–15%] … [+15%]** • 工場出荷値：[0%]
	[B WHITE CLIP LEVEL] USR	[MASTER WHITE CLIP LEVEL] に対して青色を調整します。 **[–15%] … [+15%]** • 工場出荷値：[0%]
	[HI-COLOR] USR	高輝度部分の色再現性を改善させるかどうかを設定します。[DRS] を有効にしているときは、[HI-COLOR] の設定が無効になります。 **[OFF]、[ON]** • 工場出荷値：[OFF]
	[HI-COLOR LEVEL] USR	色のダイナミックレンジを拡大するモードのレベルを設定します。 **[1] … [32]** • 工場出荷値：[32]
[DRS]	[BASIC CONFIG] – [FORMAT] が 100fps/120fps 以外の HS モードのときは設定できません。	
	[DRS] USR	ダイナミックレンジストレッチャー機能の有効 / 無効を設定します。[ON] にするとコントラストを自動調整します。 [V-LOG] が [ON] のときは設定できません。 **[OFF]、[ON]** • 工場出荷値：[OFF]
	[EFFECT DEPTH] USR	ダイナミックレンジストレッチャー機能の高輝度部の圧縮レベルを設定します。数値が大きいほど、高輝度部の圧縮レベルが大きくなります。 **[1] … [5]** • 工場出荷値：[5]
[DETAIL SETTING]	[DETAIL] USR	全ディテール機能の有効 / 無効を設定します。 **[OFF]、[ON]** • 工場出荷値：[ON]
	[MASTER DETAIL] USR	マスターディテールを設定します **[–31] … [+31]** • 工場出荷値：[0]
	[PEAK FREQUENCY] USR	水平ディテールのピーク周波数を設定します。 **[1] … [8]** • 工場出荷値：[6]
	[CRISP] USR	ディテール信号のノイズ除去レベルを設定します。 **[0] … [63]** • 工場出荷値：[0]
	[DETAIL GAIN(+)] USR	ディテールの +（上）方向のレベルを設定します。 **[–31] … [+31]** • 工場出荷値：[0]
	[DETAIL GAIN(–)] USR	ディテールの –（下）方向のレベルを設定します。 **[–31] … [+31]** • 工場出荷値：[0]
	[DETAIL CLIP(+)] USR	ディテールの付きすぎによるぎらつきを抑えるため、ディテールクリップを調整します。 **[0] … [63]** • 工場出荷値：[0]
	[DETAIL CLIP(–)] USR	ディテールエッジ成分のアンダーシュート部分の長さを調整します。 **[0] … [63]** • 工場出荷値：[0]
	[KNEE APERTURE LEVEL] USR	ニーの開口部のレベルを調整します。 **[0] … [39]** • 工場出荷値：[0]
	[DETAIL KNEE] USR	ニーのディテール成分を調整します。 **[0] … [15]** • 工場出荷値：[0]
	[LEVEL DEPENDENT SW] USR	暗部のディテールを除去する機能の有効 / 無効を設定します。 **[OFF]、[ON]** • 工場出荷値：[OFF]
	[LEVEL DEPENDENT] USR	暗部のディテールを除去するレベルを設定します。 **[0] … [15]** • 工場出荷値：[8]
	[DARK DETAIL SW] USR	暗部のディテールを強調する機能の有効 / 無効を設定します。 **[OFF]、[ON]** • 工場出荷値：[OFF]
	[DARK DETAIL] USR	暗部のディテールを強調するレベルを設定します。 **[0] … [7]** • 工場出荷値：[3]

項目			設定内容
[DOWNCON SETTING]	HD モードのときは設定できません。		
	[CHROMA]	[CHROMA LEVEL SW] USR	クロマのゲイン調整の有効 / 無効を設定します。 **[OFF]、[ON]** • 工場出荷値：[OFF]
		[CHROMA LEVEL] USR	クロマのゲイン調整を設定します。 **[–100%] … [+80%]** • 工場出荷値：[0%]
	[DETAIL SETTING]	[DETAIL] USR	全ディテール機能の有効 / 無効を設定します。 **[OFF]、[ON]** • 工場出荷値：[ON]
		[MASTER DETAIL] USR	マスターディテールを設定します **[–31] … [+31]** • 工場出荷値：[0]
		[H DETAIL LEVEL] USR	水平ディテール補正レベルを設定します。 **[0] … [63]** • 工場出荷値：[15]
		[V DETAIL LEVEL] USR	垂直ディテール補正レベルを設定します。 **[0] … [63]** • 工場出荷値：[15]
		[PEAK FREQUENCY] USR	水平ディテールのピーク周波数を設定します。 **[12.4MHz]、[12.5MHz]、[12.7MHz]、[12.9MHz]、[13.0MHz]、[13.3MHz]、[13.6MHz]、[13.9MHz]、[14.2MHz]、[14.6MHz]、[15.0MHz]、[15.5MHz]、[16.1MHz]、[16.7MHz]、[17.3MHz]、[18.3MHz]、[18.6MHz]、[18.8MHz]、[19.0MHz]、[19.2MHz]、[19.5MHz]、[19.9MHz]、[20.3MHz]、[20.9MHz]、[21.5MHz]、[22.4MHz]、[23.6MHz]、[25.4MHz]、[28.6MHz]、[37.1MHz]** • 工場出荷値：[15.0MHz]
		[V DETAIL FREQUENCY] USR	垂直ディテール周波数を設定します。 **[0] … [31]** • 工場出荷値：[10]
		[CRISP] USR	ディテール信号のノイズ除去レベルを設定します。 **[0] … [63]** • 工場出荷値：[10]
		[DETAIL CLIP(+)] USR	ディテールの付きすぎによるぎらつきを抑えるため、ディテールクリップを調整します。 **[0] … [63]** • 工場出荷値：[0]
		[DETAIL CLIP(–)] USR	ディテールエッジ成分のアンダーシュート部分の長さを調整します。 **[0] … [63]** • 工場出荷値：[0]
		[KNEE APERTURE LEVEL] USR	ニーの開口部のレベルを調整します。 **[0] … [39]** • 工場出荷値：[0]
		[DETAIL KNEE] USR	ニーのディテール成分を調整します。 **[0] … [15]** • 工場出荷値：[0]
		[LEVEL DEPENDENT SW] USR	暗部のディテールを除去する機能の有効 / 無効を設定します。 **[OFF]、[ON]** • 工場出荷値：[OFF]
		[LEVEL DEPENDENT] USR	暗部のディテールを除去するレベルを設定します。 **[0] … [15]** • 工場出荷値：[8]
		[DARK DETAIL SWITCH] USR	暗部のディテールを強調する機能の有効 / 無効を設定します。 **[OFF]、[ON]** • 工場出荷値：[OFF]
		[DARK DETAIL] USR	暗部のディテールを強調するレベルを設定します。 **[0] … [7]** • 工場出荷値：[2]
	[SKIN TONE DETAIL SETTING]	[SKIN TONE DETAIL] USR	スキントールディテール機能の有効 / 無効を設定します。 **[OFF]、[ON]** • 工場出荷値：[OFF]
		[SKIN GET] USR	カーソル位置から自動で彩度と色相情報を取得するかどうか選択します。 **[NO]、[YES]**
		[MEMORY SELECT] USR	スキントーンテーブルを効かせる被写体の肌色テーブルを選択します。 **[A]、[B]、[C]** • 工場出荷値：[A]
		[CURSOR] USR	画面中央のボックスカーソルの表示 / 非表示を設定します。 **[OFF]、[ON]** • 工場出荷値：[OFF]
		[H POSITION] USR	カーソルの水平位置を調整します。 **[0%] … [100%]**（0.25% ステップ） • 工場出荷値：[50%]

項目			設定内容
		[V POSITION] USR	カーソルの垂直位置を調整します。 **[0%]** … **[100%]**（0.25% ステップ） • 工場出荷値：[50%]
		[ZEBRA] USR	ゼブラ表示の有効 / 無効を設定します。 **[OFF]**、**[ON]** • 工場出荷値：[OFF]
		[ZEBRA EFFECT MEMORY] USR	ゼブラ表示のテーブルを選択します。 **[A]**、**[B]**、**[C]**、**[A+B]**、**[A+C]**、**[B+C]**、**[A+B+C]** • 工場出荷値：[A+B+C]
		[SKIN TONE EFFECT MEMORY] USR	スキントーンディテールを効かせる肌色テーブルを選択します。 **[A]**、**[B]**、**[C]**、**[A+B]**、**[A+C]**、**[B+C]**、**[A+B+C]** • 工場出荷値：[A+B+C]
		[SKIN TONE CRISP] USR	スキントーンディテールを調整します。 **[0]** … **[8]** • 工場出荷値：[8]
		[I CENTER] USR	I 軸上の中心位置（スキントーンを効かせるエリア）を設定します。 **[0]** … **[255]** • 工場出荷値：[65]
		[I WIDTH] USR	[I CENTER] を中心とした I 軸上のスキントーンを効かせるエリア幅を設定します。 **[0]** … **[255]** • 工場出荷値：[63]
		[Q WIDTH] USR	[I CENTER] を中心とした Q 軸上のスキントーンを効かせるエリア幅を設定します。 **[0]** … **[255]** • 工場出荷値：[32]
		[Q PHASE] USR	Q 軸を基準としたスキントーンを効かせるエリアの位相を設定します。 **[0]** … **[359]** • 工場出荷値：[90]
[SKIN TONE DETAIL SETTING]		[SKIN TONE DETAIL] USR	スキントーンディテール機能の有効 / 無効を設定します。 [ALL MENU] → [PAINT] → [DETAIL SETTING] → [DETAIL] → [OFF] のときは設定できません。 **[OFF]**、**[ON]** • 工場出荷値：[OFF]
		[SKIN GET] USR	カーソル位置から自動で彩度と色相情報を取得するかどうか選択します。 **[NO]**、**[YES]**
		[MEMORY SELECT] USR	スキントーンテーブルを効かせる被写体の肌色テーブルを選択します。 **[A]**、**[B]**、**[C]** • 工場出荷値：[A]
		[CURSOR] USR	画面中央のボックスカーソルの表示 / 非表示を設定します。 **[OFF]**、**[ON]** • 工場出荷値：[OFF]
		[H POSITION] USR	カーソルの水平位置を調整します。 **[0%]** … **[100%]**（0.25% ステップ） • 工場出荷値：[50%]
		[V POSITION] USR	カーソルの垂直位置を調整します。 **[0%]** … **[100%]**（0.25% ステップ） • 工場出荷値：[50%]
		[ZEBRA] USR	ゼブラ表示の有効 / 無効を設定します。 **[OFF]**、**[ON]** • 工場出荷値：[OFF]
		[ZEBRA EFFECT MEMORY] USR	ゼブラ表示のテーブルを選択します。 **[A]**、**[B]**、**[C]**、**[A+B]**、**[A+C]**、**[B+C]**、**[A+B+C]** • 工場出荷値：[A+B+C]
		[SKIN TONE EFFECT MEMORY] USR	スキントーンディテールを効かせる肌色テーブルを選択します。 **[A]**、**[B]**、**[C]**、**[A+B]**、**[A+C]**、**[B+C]**、**[A+B+C]** • 工場出荷値：[A+B+C]
		[SKIN TONE CRISP] USR	スキントーンディテールを調整します。 **[–63]** … **[+63]** • 工場出荷値：[+63]
		[I CENTER] USR	I 軸上の中心位置（スキントーンを効かせるエリア）を設定します。 **[0]** … **[255]** • 工場出荷値：[65]
		[I WIDTH] USR	[I CENTER] を中心とした I 軸上のスキントーンを効かせるエリア幅を設定します。 **[0]** … **[255]** • 工場出荷値：[63]
		[Q WIDTH] USR	[I CENTER] を中心とした Q 軸上のスキントーンを効かせるエリア幅を設定します。 **[0]** … **[255]** • 工場出荷値：[32]
		[Q PHASE] USR	Q 軸を基準としたスキントーンを効かせるエリアの位相を設定します。 **[0]** … **[359]** • 工場出荷値：[90]

項目		設定内容
[LINEAR MATRIX]	[PRESET MATRIX] USR	プリセットマトリックスを設定します。 **[HD]**：当社製の放送機器に準じたマトリクス設定です。 [GAMMA] を [HD] に設定して使用してください。 **[NORMAL]**：屋外環境を重視したマトリクス設定です。 [GAMMA] を [NORMAL] に設定して使用してください。 **[STD1]**：当社製スタジオカメラ AK-UC4000（NORM-NORMAL）に準じたマトリクス設定です。 [GAMMA] を [HD] に設定して使用してください。 **[STD2]**：当社製スタジオカメラ AK-UC4000（NORM-0E.11）に準じたマトリクス設定です。 [GAMMA] を [HD] に設定して使用してください。 **[CINEMA1]**：コントラストが強めのマトリクス設定です。 [GAMMA] を [CINEMA1] に設定して使用してください。 **[CINEMA2]**：落ち着いた調子のマトリクス設定です。 [GAMMA] を [CINEMA2] に設定して使用してください。 **[EBU]**：当社製スタジオカメラ AK-UC4000（EBU-NORMAL）に準じたマトリクス設定です。 [GAMMA] を [HD] に設定して使用してください。 **[USER]**：当社製リモートカメラ AW-UE150 に準じたマトリクス設定です。 [GAMMA] を [HD] に設定して使用してください。 • 工場出荷値：[STD1]
	[MATRIX] USR	マトリックス機能（リニアマトリックス、12 軸色補正）の有効 / 無効を設定します。 **[OFF]、[ON]** • 工場出荷値：[OFF]
	[LINEAR MATRIX] USR	リニアマトリックス機能の有効 / 無効を設定します。 **[OFF]、[ON]** • 工場出荷値：[OFF]
	[LINEAR TABLE] USR	リニアマトリックスのテーブルを選択します。 **[A]、[B]** • 工場出荷値：[A]
	[COLOR CORRECT] USR	12 軸色補正機能の有効 / 無効を設定します。 **[OFF]、[ON]** • 工場出荷値：[OFF]
	[COLOR CORRECT TABLE] USR	色補正テーブルを選択します。 **[A]、[B]** • 工場出荷値：[A]
	[MATRIX (R-G)_N] USR	赤と緑の間のリニアマトリックスを調整します。 [MATRIX] が [OFF] のときは使用できません。 **[–31] … [+31]** • 工場出荷値：[0]
	[MATRIX (R-G)_P] USR	赤と緑の間のリニアマトリックスを調整します。 [MATRIX] が [OFF] のときは使用できません。 **[–31] … [+31]** • 工場出荷値：[0]
	[MATRIX (R-B)_N] USR	赤と青の間のリニアマトリックスを調整します。 [MATRIX] が [OFF] のときは使用できません。 **[–31] … [+31]** • 工場出荷値：[0]
	[MATRIX (R-B)_P] USR	赤と青の間のリニアマトリックスを調整します。 [MATRIX] が [OFF] のときは使用できません。 **[–31] … [+31]** • 工場出荷値：[0]
	[MATRIX (G-R)_N] USR	緑と赤の間のリニアマトリックスを調整します。 [MATRIX] が [OFF] のときは使用できません。 **[–31] … [+31]** • 工場出荷値：[0]
	[MATRIX (G-R)_P] USR	緑と赤の間のリニアマトリックスを調整します。 [MATRIX] が [OFF] のときは使用できません。 **[–31] … [+31]** • 工場出荷値：[0]
	[MATRIX (G-B)_N] USR	緑と青の間のリニアマトリックスを調整します。 [MATRIX] が [OFF] のときは使用できません。 **[–31] … [+31]** • 工場出荷値：[0]
	[MATRIX (G-B)_P] USR	緑と青の間のリニアマトリックスを調整します。 [MATRIX] が [OFF] のときは使用できません。 **[–31] … [+31]** • 工場出荷値：[0]
	[MATRIX (B-R)_N] USR	青と赤の間のリニアマトリックスを調整します。 [MATRIX] が [OFF] のときは使用できません。 **[–31] … [+31]** • 工場出荷値：[0]
	[MATRIX (B-R)_P] USR	青と赤の間のリニアマトリックスを調整します。 [MATRIX] が [OFF] のときは使用できません。 **[–31] … [+31]** • 工場出荷値：[0]

項目		設定内容
	[MATRIX (B-G)_N] USR	青と緑の間のリニアマトリックスを調整します。 [MATRIX] が [OFF] のときは使用できません。 **[–31] … [+31]** • 工場出荷値：[0]
	[MATRIX (B-G)_P] USR	青と緑の間のリニアマトリックスを調整します。 [MATRIX] が [OFF] のときは使用できません。 **[–31] … [+31]** • 工場出荷値：[0]
[COLOR CORRECTION]	[PRESET MATRIX] USR	プリセットマトリックスを設定します。 **[HD]**：当社製の放送機器に準じたマトリクス設定です。 [GAMMA] を [HD] に設定して使用してください。 **[NORMAL]**：屋外環境を重視したマトリクス設定です。 [GAMMA] を [NORMAL] に設定して使用してください。 **[STD1]**：当社製スタジオカメラ AK-UC4000（NORM-NORMAL）に準じたマトリクス設定です。 [GAMMA] を [HD] に設定して使用してください。 **[STD2]**：当社製スタジオカメラ AK-UC4000（NORM-0E.11）に準じたマトリクス設定です。 [GAMMA] を [HD] に設定して使用してください。 **[CINEMA1]**：コントラストが強めのマトリクス設定です。 [GAMMA] を [CINEMA1] に設定して使用してください。 **[CINEMA2]**：落ち着いた調子のマトリクス設定です。 [GAMMA] を [CINEMA2] に設定して使用してください。 **[EBU]**：当社製スタジオカメラ AK-UC4000（EBU-NORMAL）に準じたマトリクス設定です。 [GAMMA] を [HD] に設定して使用してください。 **[USER]**：当社製リモートカメラ AW-UE150 に準じたマトリクス設定です。 [GAMMA] を [HD] に設定して使用してください。 • 工場出荷値：[STD1]
	[MATRIX] USR	マトリックス機能（リニアマトリックス、12 軸色補正）の有効 / 無効を設定します。 **[OFF]、[ON]** • 工場出荷値：[OFF]
	[LINEAR MATRIX] USR	リニアマトリックス機能の有効 / 無効を設定します。 **[OFF]、[ON]** • 工場出荷値：[OFF]
	[LINEAR TABLE] USR	リニアマトリックスのテーブルを選択します。 **[A]、[B]** • 工場出荷値：[A]
	[COLOR CORRECT] USR	12 軸色補正機能の有効 / 無効を設定します。 **[OFF]、[ON]** • 工場出荷値：[OFF]
	[COLOR CORRECT TABLE] USR	色補正テーブルを選択します。 **[A]、[B]** • 工場出荷値：[A]
	[G SAT] USR	緑の色飽和度を調整します。 **[–127] … [+126]** • 工場出荷値：[0]
	[G PHASE] USR	緑の色相を調整します。 **[–127] … [+126]** • 工場出荷値：[0]
	[G_CY SAT] USR	緑とシアンの間の色飽和度を調整します。 **[–127] … [+126]** • 工場出荷値：[0]
	[G_CY PHASE] USR	緑とシアンの間の色相を調整します。 **[–127] … [+126]** • 工場出荷値：[0]
	[CY SAT] USR	シアンの色飽和度を調整します。 **[–127] … [+126]** • 工場出荷値：[0]
	[CY PHASE] USR	シアンの色相を調整します。 **[–127] … [+126]** • 工場出荷値：[0]
	[CY_B SAT] USR	シアンと青の間の色飽和度を調整します。 **[–127] … [+126]** • 工場出荷値：[0]
	[CY_B PHASE] USR	シアンと青の間の色相を調整します。 **[–127] … [+126]** • 工場出荷値：[0]
	[B SAT] USR	青の色飽和度を調整します。 **[–127] … [+126]** • 工場出荷値：[0]
	[B PHASE] USR	青の色相を調整します。 **[–127] … [+126]** • 工場出荷値：[0]
	[B_MG SAT] USR	青とマゼンタの間の色飽和度を調整します。 **[–127] … [+126]** • 工場出荷値：[0]

項目			設定内容
	[B_MG PHASE] USR		青とマゼンタの間の色相を調整します。 **[–127] … [+126]** • 工場出荷値：[0]
	[MG_SAT] USR		マゼンタの色飽和度を調整します。 **[–127] … [+126]** • 工場出荷値：[0]
	[MG_PHASE] USR		マゼンタの色相を調整します。 **[–127] … [+126]** • 工場出荷値：[0]
	[MG_R SAT] USR		マゼンタと赤の間の色飽和度を調整します。 **[–127] … [+126]** • 工場出荷値：[0]
	[MG_R PHASE] USR		マゼンタと赤の間の色相を調整します。 **[–127] … [+126]** • 工場出荷値：[0]
	[R SAT] USR		赤の色飽和度を調整します。 **[–127] … [+126]** • 工場出荷値：[0]
	[R PHASE] USR		赤の色相を調整します。 **[–127] … [+126]** • 工場出荷値：[0]
	[R_YE SAT] USR		赤と黄の間の色飽和度を調整します。 **[–127] … [+126]** • 工場出荷値：[0]
	[R_YE PHASE] USR		赤と黄の間の色相を調整します。 **[–127] … [+126]** • 工場出荷値：[0]
	[YE SAT] USR		黄の色飽和度を調整します。 **[–127] … [+126]** • 工場出荷値：[0]
	[YE PHASE] USR		黄の色相を調整します。 **[–127] … [+126]** • 工場出荷値：[0]
	[YE_G SAT] USR		黄と緑の間の色飽和度を調整します。 **[–127] … [+126]** • 工場出荷値：[0]
	[YE_G PHASE] USR		黄と緑の間の色相を調整します。 **[–127] … [+126]** • 工場出荷値：[0]
[DNR]	[DNR] USR		ノイズリダクション機能の有効 / 無効を設定します。 **[OFF]、[ON]** • 工場出荷値：[ON]
		[DNR LEVEL] USR	ノイズリダクションのレベルを設定します。 **[1] … [5]** • 工場出荷値：[3]
[ROP CONTROL]	[CONTROL ROTATION MODE] USR		ROP のボリューム回転モードを設定します。 **[MODE1]、[MODE2]** • 工場出荷値：[MODE2]
[V-LOG PAINT]	[BASIC CONFIG] – [V-LOG] が [ON] かつ [V-LOG PAINT SW] が [OFF] のときに設定します。		
[COLOR TEMP SETTING]	[COLOR TEMP PRESET]		—
		[COLOR TEMP PRE SWITCH] USR	色温度の調整の有効 / 無効を設定します。 **[OFF]、[ON]** • 工場出荷値：[OFF]
		[COLOR TEMP] USR	[COLOR TEMP PRE SWITCH] が [ON] の時の色温度を設定します。 **[2000K] … [15000K]** • 工場出荷値：[3200K]
		[R GAIN] USR	色温度に対して赤色の補正レベルを設定します。 **[–400] … [+400]** • 工場出荷値：[0]
		[B GAIN] USR	色温度に対して青色の補正レベルを設定します。 **[–400] … [+400]** • 工場出荷値：[0]
		[G AXIS] USR	色温度に対して緑色の補正レベルを設定します。 **[–400] … [+400]** • 工場出荷値：[0]
	[COLOR TEMP ACH/BCH]		—
		[COLOR TEMP ACH] USR	[COLOR TEMP PRE SWITCH] が [ON] の時の色温度を設定します。 **[2000K] … [15000K]** • 工場出荷値：[3200K]

項目			設定内容
		[R GAIN ACH] USR	色温度に対して赤色の補正レベルを設定します。 **[–400] … [+400]** • 工場出荷値：[0]
		[B GAIN ACH] USR	色温度に対して青色の補正レベルを設定します。 **[–400] … [+400]** • 工場出荷値：[0]
		[G AXIS ACH] USR	色温度に対して緑色の補正レベルを設定します。 **[–400] … [+400]** • 工場出荷値：[0]
		[COLOR TEMP BCH] USR	COLOR TEMP PRE SWITCH] が [ON] の時の色温度を設定します。 **[2000K] … [15000K]** • 工場出荷値：[3200K]
		[R GAIN BCH] USR	色温度に対して赤色の補正レベルを設定します。 **[–400] … [+400]** • 工場出荷値：[0]
		[B GAIN BCH] USR	色温度に対して青色の補正レベルを設定します。 **[–400] … [+400]** • 工場出荷値：[0]
		[G AXIS BCH] USR	色温度に対して緑色の補正レベルを設定します。 **[–400] … [+400]** • 工場出荷値：[0]
		[COLOR TEMP USER SW]	—
		[COLOR TEMP SW] USR	[COLOR TEMP USER SW] 項目の有効 / 無効を設定します。 **[OFF]、[ON]** • 工場出荷値：[OFF]
		[COLOR TEMP] USR	〈USER 1〉/〈USER 2〉/〈USER 3〉/〈USER 4〉/〈USER 5〉/〈USER 6〉ボタンのいずれかに [C.TEMP] を設定し、設定が有効になっているときの色温度を設定します。 **[2000K] … [15000K]** • 工場出荷値：[3200K]
		[R GAIN] USR	色温度に対して赤色の補正レベルを設定します。 **[–400] … [+400]** • 工場出荷値：[0]
		[B GAIN] USR	色温度に対して青色の補正レベルを設定します。 **[–400] … [+400]** • 工場出荷値：[0]
		[G AXIS] USR	色温度に対して緑色の補正レベルを設定します。 **[–400] … [+400]** • 工場出荷値：[0]
	[DNR]	[DNR] USR	ノイズリダクション機能の有効 / 無効を設定します。 **[OFF]、[ON]** • 工場出荷値：[ON]
		[DNR LEVEL] USR	ノイズリダクションのレベルを設定します。 **[1] … [5]** • 工場出荷値：[3]
[HDR PAINT]		[BASIC CONFIG] – [HDR] が [ON] のときに設定します。	
	[HLG MODE] USR		HLG のモードを設定します。 **[FIX]**：固定モード **[VAR]**：可変モード • 工場出荷値：[FIX]
	[SDR CONVERT MODE] USR		SDR に変換するモードを選択します。 **[FIX]**：固定モード（ゲイン –10dB 固定） **[VAR]**：可変モード • 工場出荷値：[FIX]
	[GAMMA/BLACK GAMMA]	[HLG MODE] が [FIX] のときは設定できません。	
		[BLACK GAMMA] USR	ブラックガンマの有効 / 無効を設定します。 **[OFF]、[ON]** • 工場出荷値：[OFF]
		[MASTER BLACK GAMMA] USR	黒付近のガンマ特性を調整します。 **[–32] … [+32]** • 工場出荷値：[0]
		[R BLACK GAMMA] USR	マスターガンマに対して黒付近の赤色のガンマ特性を調整します。 **[–32] … [+32]** • 工場出荷値：[0]
		[B BLACK GAMMA] USR	マスターガンマに対して黒付近の青色のガンマ特性を調整します。 **[–32] … [+32]** • 工場出荷値：[0]

項目			設定内容
	[KNEE]	[HLG MODE] が [FIX] のときは設定できません。	
		[KNEE] USR	ニーの有効 / 無効を設定します。 **[OFF]、[ON]** • 工場出荷値：[ON]
		[KNEE POINT] USR	ニーポイントの位置を設定します。 **[60.00] … [100.00]**（0.25 ステップ） • 工場出荷値：[100.00]
		[KNEE SLOPE] USR	ニーの傾きを設定します。 **[0] … [199]** • 工場出荷値：[0]
	[SDR CONVERT]	[SDR CONVERT MODE] が [FIX] のときは設定できません。	
		[GAIN] USR	SDR のゲインを設定します。 **[–12dB]、[–11dB]、[–10dB]、[–9dB]、[–8dB]、[–7dB]、[–6dB]、[–5dB]、[0dB]** • 工場出荷値：[–6dB]
		[POINT] USR	SDR 映像用に圧縮を開始する映像レベルを設定します。 **[0] … [100]** • 工場出荷値：[100]
		[SLOPE] USR	映像信号を圧縮する傾きを設定します。 **[0] … [127]** • 工場出荷値：[0]
		[BLACK OFFSET] USR	SDR 映像の黒レベルのオフセットを調整します。 **[-100] … [+100]** • 工場出荷値：[0]
[HD SDR PAINT(CCU)]			
	[COLOR ADJUSTMENT]	[COLOR ADJUSTMENT SW] USR	COLOR ADJUSTMENT 機能の有効 / 無効を設定します。 **[OFF]、[ON]** • 工場出荷値：[OFF]
		[R SAT] USR	赤の色飽和度を調整します。 **[–127] … [+127]** • 工場出荷値：[0]
		[R PHASE] USR	赤の色相を調整します。 **[–127] … [+127]** • 工場出荷値：[0]
		[R_R_MG SAT] USR	赤と「赤、マゼンダ間」の間の色飽和度を調整します。 **[–127] … [+127]** • 工場出荷値：[0]
		[R_R_MG PHASE] USR	赤と「赤、マゼンダ間」の間の色相を調整します。 **[–127] … [+127]** • 工場出荷値：[0]
		[R_MG SAT] USR	赤とマゼンダの間の色飽和度を調整します。 **[–127] … [+127]** • 工場出荷値：[0]
		[R_MG PHASE] USR	赤とマゼンダの間の色相を調整します。 **[–127] … [+127]** • 工場出荷値：[0]
		[R_MG_MG SAT] USR	「赤、マゼンダ間」とマゼンダの間の色飽和度を調整します。 **[–127] … [+127]** • 工場出荷値：[0]
		[R_MG_MG PHASE] USR	「赤、マゼンダ間」とマゼンダの間の色相を調整します。 **[–127] … [+127]** • 工場出荷値：[0]
		[MG SAT] USR	マゼンダの色飽和度を調整します。 **[–127] … [+127]** • 工場出荷値：[0]
		[MG PHASE] USR	マゼンダの色相を調整します。 **[–127] … [+127]** • 工場出荷値：[0]
		[MG_MG_B SAT] USR	マゼンダと「マゼンダ、青間」の間の色飽和度を調整します。 **[–127] … [+127]** • 工場出荷値：[0]
		[MG_MG_B PHASE] USR	マゼンダと「マゼンダ、青間」の間の色相を調整します。 **[–127] … [+127]** • 工場出荷値：[0]
		[MG_B SAT] USR	マゼンダと青の間の色飽和度を調整します。 **[–127] … [+127]** • 工場出荷値：[0]
		[MG_B PHASE] USR	マゼンダと青の間の色相を調整します。 **[–127] … [+127]** • 工場出荷値：[0]

項目	設定内容
[MG_B_B SAT] USR	「マゼンダ、青間」と青の間の色飽和度を調整します。 [–127] … [+127] • 工場出荷値：[0]
[MG_B_B PHASE] USR	「マゼンダ、青間」と青の間の色相を調整します。 [–127] … [+127] • 工場出荷値：[0]
[B SAT] USR	青の色飽和度を調整します。 [–127] … [+127] • 工場出荷値：[0]
[B PHASE] USR	青の色相を調整します。 [–127] … [+127] • 工場出荷値：[0]
[B_B_CY SAT] USR	青と「青、シアン間」の間の色飽和度を調整します。 [–127] … [+127] • 工場出荷値：[0]
[B_B_CY PHASE] USR	青と「青、シアン間」の間の色相を調整します。 [–127] … [+127] • 工場出荷値：[0]
[B_CY SAT] USR	青とシアンの間の色飽和度を調整します。 [–127] … [+127] • 工場出荷値：[0]
[B_CY PHASE] USR	青とシアンの間の色相を調整します。 [–127] … [+127] • 工場出荷値：[0]
[B_CY_CY SAT] USR	「青、シアン間」とシアンの間の色飽和度を調整します。 [–127] … [+127] • 工場出荷値：[0]
[B_CY_CY PHASE] USR	「青、シアン間」とシアンの間の色相を調整します。 [–127] … [+127] • 工場出荷値：[0]
[CY SAT] USR	シアンの色飽和度を調整します。 [–127] … [+127] • 工場出荷値：[0]
[CY PHASE] USR	シアンの色相を調整します。 [–127] … [+127] • 工場出荷値：[0]
[CY_CY_G SAT] USR	シアンと「シアン、緑間」の間の色飽和度を調整します。 [–127] … [+127] • 工場出荷値：[0]
[CY_CY_G PHASE] USR	シアンと「シアン、緑間」の間の色相を調整します。 [–127] … [+127] • 工場出荷値：[0]
[CY_G SAT] USR	シアンと緑の間の色飽和度を調整します。 [–127] … [+127] • 工場出荷値：[0]
[CY_G PHASE] USR	シアンと緑の間の色相を調整します。 [–127] … [+127] • 工場出荷値：[0]
[CY_G_G SAT] USR	「シアン、緑間」と緑の間の色飽和度を調整します。 [–127] … [+127] • 工場出荷値：[0]
[CY_G_G PHASE] USR	「シアン、緑間」と緑の間の色相を調整します。 [–127] … [+127] • 工場出荷値：[0]
[G SAT] USR	緑の色飽和度を調整します。 [–127] … [+127] • 工場出荷値：[0]
[G PHASE] USR	緑の色相を調整します。 [–127] … [+127] • 工場出荷値：[0]
[G_G_YL SAT] USR	緑と「緑、黄間」の間の色飽和度を調整します。 [–127] … [+127] • 工場出荷値：[0]
[G_G_YL PHASE] USR	緑と「緑、黄間」の間の色相を調整します。 [–127] … [+127] • 工場出荷値：[0]
[G_YL SAT] USR	緑と黄の間の色飽和度を調整します。 [–127] … [+127] • 工場出荷値：[0]
[G_YL PHASE] USR	緑と黄の間の色相を調整します。 [–127] … [+127] • 工場出荷値：[0]

項目			設定内容
		[G_YL_YL SAT] USR	「青緑、黄間」と黄の間の色飽和度を調整します。 **[–127] … [+127]** • 工場出荷値：[0]
		[G_YL_YL PHASE] USR	「青緑、黄間」と黄の間の色相を調整します。 **[–127] … [+127]** • 工場出荷値：[0]
		[YL SAT] USR	黄の色飽和度を調整します。 **[–127] … [+127]** • 工場出荷値：[0]
		[YL PHASE] USR	黄の色相を調整します。 **[–127] … [+127]** • 工場出荷値：[0]
		[YL_YL_R SAT] USR	黄と「黄、赤間」の間の色飽和度を調整します。 **[–127] … [+127]** • 工場出荷値：[0]
		[YL_YL_R PHASE] USR	黄と「黄、赤間」の間の色相を調整します。 **[–127] … [+127]** • 工場出荷値：[0]
		[YL_R SAT] USR	黄と赤の間の色飽和度を調整します。 **[–127] … [+127]** • 工場出荷値：[0]
		[YL_R PHASE] USR	黄と赤の間の色相を調整します。 **[–127] … [+127]** • 工場出荷値：[0]
		[YL_R_R SAT] USR	「黄、赤間」と赤の間の色飽和度を調整します。 **[–127] … [+127]** • 工場出荷値：[0]
		[YL_R_R PHASE] USR	「黄、赤間」と赤の間の色相を調整します。 **[–127] … [+127]** • 工場出荷値：[0]
	[NON-LINEAR MATRIX]	[NON-LINEAR MATRIX SW] USR	NON-LINEAR MATRIX 機能の有効 / 無効を設定します。 **[OFF]、[ON]** • 工場出荷値：[OFF]
		[(R-G)_N] USR	赤と緑のマトリックスを調整します。 **[–31] … [+31]** • 工場出荷値：[0]
		[(R-G)_P] USR	赤と緑のマトリックスを調整します。 **[–31] … [+31]** • 工場出荷値：[0]
		[(R-B)_N] USR	赤と青のマトリックスを調整します。 **[–31] … [+31]** • 工場出荷値：[0]
		[(R-B)_P] USR	赤と青のマトリックスを調整します。 **[–31] … [+31]** • 工場出荷値：[0]
		[(G-R)_N] USR	緑と赤のマトリックスを調整します。 **[–31] … [+31]** • 工場出荷値：[0]
		[(G-R)_P] USR	緑と赤のマトリックスを調整します。 **[–31] … [+31]** • 工場出荷値：[0]
		[(G-B)_N] USR	緑と青のマトリックスを調整します。 **[–31] … [+31]** • 工場出荷値：[0]
		[(G-B)_P] USR	緑と青のマトリックスを調整します。 **[–31] … [+31]** • 工場出荷値：[0]
		[(B-R)_N] USR	青と赤のマトリックスを調整します。 **[–31] … [+31]** • 工場出荷値：[0]
		[(B-R)_P] USR	青と赤のマトリックスを調整します。 **[–31] … [+31]** • 工場出荷値：[0]
		[(B-G)_N] USR	青と緑のマトリックスを調整します。 **[–31] … [+31]** • 工場出荷値：[0]
		[(B-G)_P] USR	青と緑のマトリックスを調整します。 **[–31] … [+31]** • 工場出荷値：[0]
[PAINT SWITCH]		[FLARE] USR	フレアの有効 / 無効を設定します。 **[OFF]、[ON]** • 工場出荷値：[ON]

項目		設定内容
	[GAMMA] USR	ガンマの有効 / 無効を設定します。 **[OFF]、[ON]** • 工場出荷値：[ON]
	[BLACK GAMMA] USR	ブラックガンマの有効 / 無効を設定します。 **[OFF]、[ON]** • 工場出荷値：[OFF]
	[KNEE] USR	ニーの有効 / 無効を設定します。 **[OFF]、[ON]** • 工場出荷値：[ON]
	[WHITE CLIP] USR	ホワイトクリップの有効 / 無効を設定します。 **[OFF]、[ON]** • 工場出荷値：[ON]
	[DRS] USR	ダイナミックレンジストレッチャーの有効 / 無効を設定します。 **[OFF]、[ON]** • 工場出荷値：[OFF]
	[DETAIL] USR	ディテールの有効 / 無効を設定します。 **[OFF]、[ON]** • 工場出荷値：[ON]
	[SKIN TONE DETAIL] USR	肌色ディテールの有効 / 無効を設定します。 **[OFF]、[ON]** • 工場出荷値：[OFF]
	[MATRIX] USR	マトリックス（リニアマトリックス /12 軸色補正）の有効 / 無効を設定します。 **[OFF]、[ON]** • 工場出荷値：[OFF]
	[LINEAR MATRIX] USR	リニアマトリックスの有効 / 無効を設定します。 **[OFF]、[ON]** • 工場出荷値：[OFF]
	[COLOR CORRECT] USR	12 軸色補正の有効 / 無効を設定します。 **[OFF]、[ON]** • 工場出荷値：[OFF]

[FOCUS SETTING]

項目	設定内容
[FOCUS MODE]	フォーカス調整（ピント合わせ）機能の自動 / 手動を設定します。 **[MANUAL]、[AUTO]** • 工場出荷値：[MANUAL] ***NOTE*** • PF レンズが有効のときは、[MANUAL］固定です。 • [DIGITAL EXTENDER］が [× 1.4]、[× 2.0］のときは、[MANUAL］固定です。 • [FORMAT］が [2160/120fps]、[1080/240fps]、[1080/180fps]、[1080/120fps]、[2160/100fps]、[1080/200fps]、[1080/150fps]、[1080/100fps] のときは、[MANUAL］固定です。 • オートフォーカス未対応レンズのときは、[AUTO］を設定しても自動でフォーカス調整ができません。
[FOCUS DEMAND MODE]	フォーカスデマンドの制御方法を設定します。 **[DIRECT]**：デマンドの絶対位置でフォーカス制御するモード **[SEAMLESS]**：デマンドの相対位置でフォーカス制御するモード **[INTERLOCK]**：デマンドの相対位置でフォーカス制御するモード（絶対位置と一致するまでフォーカスを維持） • 工場出荷値：[DIRECT] ***NOTE*** • 一部のフォーカスデマンドは [SEAMLESS]、[INTERLOCK] に対応していません。フォーカスデマンドの制御が効かない場合は、[DIRECT] でお使いください。

項目	設定内容
[AF AREA MARKER]	オートフォーカスエリアマーカーの表示を設定します。 **[OFF]、[VF ONLY]、[VF+CCU/ST2110]** エリアマーカーのイメージは次のようになります。 FOCUS MODE: AUTO　FOCUS MODE: MANUAL  • 工場出荷値：[OFF] ***NOTE*** • PF レンズのオートフォーカスが有効のときは、[OFF] 固定です。 • [DIGITAL EXTENDER] が [× 1.4]、[× 2.0] のときは、[OFF] 固定です。 • [FORMAT] が [2160/120fps]、[1080/240fps]、[1080/180fps]、[1080/120fps]、[2160/100fps]、[1080/200fps]、[1080/150fps]、[1080/100fps] のときは、[OFF] 固定です。 • オートフォーカス未対応レンズのときは FOCUS MODE に関わらず MANUAL 用のマーカー表示となりますが、一部、オートフォーカス未対応レンズでも AUTO 用のマーカー表示になる場合があります。 • [VF+CCU/ST2110] 設定時は、VF、CCU の PM、ST2110 SUB VIDEO TX にマーカーを表示します。
[FRAME COLOR]	オートフォーカスエリアマーカーの線の色を設定します。 **[WHITE]、[RED]、[GREEN]、[BLUE]** • 工場出荷値：[WHITE]
[FRAME WIDTH]	オートフォーカスエリアマーカーの線の太さを設定します。 **[NORMAL]、[BOLD]** • 工場出荷値：[NORMAL]
[AF PRESET SELECT]	オートフォーカス機能の各種設定を保存するプリセットメモリー番号を設定します。 **[PRESET1]、[PRESET2]、[PRESET3]、[PRESET4]、[PRESET5]** • 工場出荷値：[PRESET1] ***NOTE*** • [AF PRESET1] が [DISABLE] のときは、[PRESET1] は選択できません。 • [AF PRESET2] が [DISABLE] のときは、[PRESET2] は選択できません。 • [AF PRESET3] が [DISABLE] のときは、[PRESET3] は選択できません。 • [AF PRESET4] が [DISABLE] のときは、[PRESET4] は選択できません。 • [AF PRESET5] が [DISABLE] のときは、[PRESET5] は選択できません。 • [AF PRESET1] ～ [AF PRESET5] がすべて [DISABLE] のときは、[PRESET1] が自動で設定されます。
[AF SPEED]	オートフォーカスの速度を設定します。 **[1] … [10]** • 工場出荷値：[8]
[AF AREA SIZE]	オートフォーカスエリアサイズを設定します。 **[SMALL]、[MID]、[LARGE]** • 工場出荷値：[SMALL]
[AF AREA POSITION]	オートフォーカスエリア位置を設定します。 **[U.LEFT]、[U.CENTER]、[U.RIGHT]、[LEFT]、[CENTER]、[RIGHT]、[B.LEFT]、[B.CENTER]、[B.RIGHT]** • 工場出荷値：[CENTER] ***NOTE*** • [AF AREA SIZE] が [SMALL] 以外のときは、[CENTER] 固定です。
[AF PRESET1]	オートフォーカス設定 (PRESET1) の有効 / 無効を設定します。 **[DISABLE]、[ENABLE]** • 工場出荷値：[ENABLE]
[AF PRESET2]	オートフォーカス設定 (PRESET2) の有効 / 無効を設定します。 **[DISABLE]、[ENABLE]** • 工場出荷値：[ENABLE]
[AF PRESET3]	オートフォーカス設定 (PRESET3) の有効 / 無効を設定します。 **[DISABLE]、[ENABLE]** • 工場出荷値：[DISABLE]
[AF PRESET4]	オートフォーカス設定 (PRESET4) の有効 / 無効を設定します。 **[DISABLE]、[ENABLE]** • 工場出荷値：[DISABLE]
[AF PRESET5]	オートフォーカス設定 (PRESET5) の有効 / 無効を設定します。 **[DISABLE]、[ENABLE]** • 工場出荷値：[DISABLE]

[LENS]

項目	設定内容
[DIGITAL EXTENDER] UO	デジタルエクステンダーの倍率を設定します。 **[OFF]、[× 1.4]、[× 2.0]** • 工場出荷値：[OFF]
[IRIS]	—
[LENS EXT COMP SW] UO	レンズエクステンダーが有効のとき ALC 補正を設定します。 **[OFF]、[ON]** • 工場出荷値：[OFF]
[EXTENDER1] UOR	レンズエクステンダー 1 の倍率を設定します。 **[NONE]、[0.1] … [9.9]** • 工場出荷値：[2.0]
[LENS EXT COMP LEVEL] UO	レンズエクステンダー 1 が有効のときアイリス補正量を設定します。 **[–100] … [+100]** • 工場出荷値：[0]
[EXTENDER2] UOR	レンズエクステンダー 2 の倍率を設定します。 **[NONE]、[0.1] … [9.9]** • 工場出荷値：[NONE]
[LENS EXT COMP LEVEL] UO	レンズエクステンダー 2 が有効のときアイリス補正量を設定します。 **[–100] … [+100]** • 工場出荷値：[0]
[EXTENDER3] UOR	レンズエクステンダー 3 の倍率を設定します。 **[NONE]、[0.1] … [9.9]** • 工場出荷値：[NONE]
[LENS EXT COMP LEVEL] UO	レンズエクステンダー 3 が有効のときアイリス補正量を設定します。 **[–100] … [+100]** • 工場出荷値：[0]
[EXTENDER4] UOR	レンズエクステンダー 4 の倍率を設定します。 **[NONE]、[0.1] … [9.9]** • 工場出荷値：[NONE]
[LENS EXT COMP LEVEL] UO	レンズエクステンダー 4 が有効のときアイリス補正量を設定します。 **[–100] … [+100]** • 工場出荷値：[0]

[SUB DISPLAY]

項目		設定内容
[FOCUS ASSIST]	[FOCUS ASSIST SW] UO	フォーカスアシストの有効 / 無効を設定します。 **[OFF]、[ON]** • 工場出荷値：[OFF]
	[FOCUS ASSIST MODE] UO	フォーカスアシストの解除をスイッチで行うか時間で行うかを設定します。 **[SW]、[INSTANT]** • 工場出荷値：[SW]
	[CANCEL TIME] UO	[INSTANT] を選択したときに解除までの時間を設定します。 **[1sec]、[3sec]、[5sec]、[10sec]、[20sec]** • 工場出荷値：[5sec]
	[IN RED SW] UO	インレッドの有効 / 無効を設定します。 **[OFF]、[ON]** • 工場出荷値：[OFF]
	[IN RED COLOR] UO	インレッドのカラーを設定します。 **[RED]、[GREEN]、[BLUE]、[WHITE]** • 工場出荷値：[RED]
	[SQUARE SW] UO	スクエアの有効 / 無効を設定します。 **[OFF]、[ON]** • 工場出荷値：[OFF]
	[SQUARE COLOR] UO	スクエアのカラーを設定します。 **[RED]、[GREEN]** • 工場出荷値：[GREEN]
	[BAR SW] UO	バーの有効 / 無効を設定します。 **[OFF]、[ON]** • 工場出荷値：[OFF]
	[BAR MODE] UO	フォーカスバーの形を切り替えます。 **[NORMAL]、[THICK]** • 工場出荷値：[NORMAL]
	[BAR COLOR] UO	BAR MODE = THICK 時の BAR の色を設定します。 **[WHITE]、[RED]、[BLUE]、[GREEN]** • 工場出荷値：[WHITE]

項目		設定内容
	[BAR POSITION] UO	BAR MODE = THICK 時の BAR の表示位置を設定します。 **[UPPER]、[UNDER]、[RIGHT]、[LEFT]** • 工場出荷値：[UNDER]
	[MAG SW] UO	拡大表示機能の有効 / 無効を設定します。 **[OFF]、[ON]** • 工場出荷値：[OFF]
[EXPOSURE ASSIST]	[ZEBRA] UO	輝度ゼブラの有効 / 無効を設定します。 **[OFF]、[ON]** • 工場出荷値：[OFF]
	[ZEBRA1 LEVEL] UO	輝度ゼブラ 1 のレベルを設定します。 **[0%] … [109%]** • 工場出荷値：[80%]
	[ZEBRA2 LEVEL] UO	輝度ゼブラ 2 のレベルを設定します。 **[0%] … [109%]** • 工場出荷値：[100%]
	[ZEBRA PATTERN] UO	輝度ゼブラのパターンを設定します。 **[1]、[1+2]、[SPOT]** • 工場出荷値：[1]
[MARKER]	[MARKER LEVEL] UO	マーカーおよびオンスクリーン表示の明るさを設定します。 **[50%] …[100%]** • 工場出荷値：[100%]
	[CENTER MARK] UO	センターマーカーの表示 / 非表示を設定します。 **[OFF]、[ON]** • 工場出荷値：[OFF]
	[CENTER MARK SELECT] UO	センターマーカーの大きさを設定します。 **[1] … [8]** • 工場出荷値：[1]
	[LINE WIDTH] UO	センターマーカーの枠の太さを設定します。 **[1] … [3]** • 工場出荷値：[2]
	[SAFETY MARK1 SWITCH] UO	セーフティーマーカー 1 の表示 / 非表示を設定します。 **[OFF]、[ON]** • 工場出荷値：[OFF]
	[SAFETY MARK1] UO	セーフティーマーカー 1 の画角を設定します。 **[16:9]、[15:9]、[14:9]、[13:9]、[4:3]** • 工場出荷値：[16:9]
	[SAFETY AREA1] UO	セーフティーエリア 1 の大きさを設定します。 **[80%] … [100%]** • 工場出荷値：[80%]
	[SAFETY MARK2 SWITCH] UO	セーフティーマーカー 2 の表示 / 非表示を設定します。 **[OFF]、[ON]** • 工場出荷値：[OFF]
	[SAFETY MARK2] UO	セーフティーマーカー 2 の画角を設定します。 **[16:9]、[15:9]、[14:9]、[13:9]、[4:3]** • 工場出荷値：[16:9]
	[SAFETY AREA2] UO	セーフティーマーカー 2 の大きさを設定します。 **[80%] … [100%]** • 工場出荷値：[80%]
	[FRAME LEVEL SWITCH] UO	フレームマーカーの外側に表示するレベルの表示 / 非表示を設定します。 **[OFF]、[ON]** • 工場出荷値：[OFF]
	[FRAME LEVEL] UO	フレームマーカーの外側に表示するレベルを設定します。 **[0] … [31]** • 工場出荷値：[31]
	[FRAME MARK SWITCH] UO	フレームマーカーの表示 / 非表示を設定します。 **[OFF]、[ON]** • 工場出荷値：[OFF]
	[FRAME SIG] UO	フレームマーカーの画角を設定します。 **[4:3]、[13:9]、[14:9]、[15:9]、[16:9]、[CINEMA]、[VISTA]** • 工場出荷値：[4:3]
	[EFFECTIVE AREA MARK] UO	有効エリアマーカーの表示 / 非表示を設定します。 **[OFF]、[ON]** • 工場出荷値：[OFF]
	[PF LENS AREA MARK] UO	PF レンズのオートフォーカスエリアマーカーの表示 / 非表示を設定します。 **[OFF]、[AUTO]** • 工場出荷値：[OFF]
	[USER BOX] UO	ユーザーボックスの表示 / 非表示を設定します。 **[OFF]、[ON]** • 工場出荷値：[OFF]
	[MEMORY SELECT] UO	ユーザーボックスのメモリーを設定します。 **[1]、[2]、[3]** • 工場出荷値：[1]

項目		設定内容
	[H POSITION] UO	ユーザーボックスの水平位置を調整します。 **[–50] … [50]** • 工場出荷値：[0]
	[H OFFSET] UO	ユーザーボックスの水平位置オフセットを微調整します。 **[–10] … [10]** • 工場出荷値：[0]
	[V POSITION] UO	ユーザーボックスの垂直位置を調整します。 **[–50] … [50]** • 工場出荷値：[0]
	[V OFFSET] UO	ユーザーボックスの垂直位置オフセットを微調整します。 **[–10] … [10]** • 工場出荷値：[0]
	[WIDTH] UO	ユーザーボックスの幅を調整します。 **[0] … [100]** • 工場出荷値：[50]
	[HEIGHT] UO	ユーザーボックスの高さを調整します。 **[0] … [100]** • 工場出荷値：[50]
	[BOX/CROSS] UO	ユーザーボックスの形を設定します。 **[BOX]、[CROSS]** • 工場出荷値：[BOX]
	[EFFECT MEMORY1] UO	ユーザーボックスの有効メモリーを設定します。 **[OFF]、[ON]** • 工場出荷値：[OFF]
	[EFFECT MEMORY2] UO	ユーザーボックスの有効メモリーを設定します。 **[OFF]、[ON]** • 工場出荷値：[OFF]
	[EFFECT MEMORY3] UO	ユーザーボックスの有効メモリーを設定します。 **[OFF]、[ON]** • 工場出荷値：[OFF]
[VIEW FINDER DETAIL]	[VIEW FINDER DETAIL] UO	ビューファインダーのディテールを調整します。 **[0] … [23]** • 工場出荷値：[7]
	[ZOOM LINK] UO	ズーム連動ビューファインダーのディテールの有効 / 無効を設定します。 **[OFF]、[ON]** • 工場出荷値：[OFF]
	[ZOOM LINK LEVEL] UO	ズーム連動ビューファインダーのディテールレベルを調整します。 **[1] … [5]** • 工場出荷値：[3]
	[RETURN SIGNAL]	—
	[DTL PEAK FREQUENCY] UO	リターン信号のピーク周波数を調整します。 **[LOW]、[MID]、[HIGH]** • 工場出荷値：[LOW]
	[DTL OFFSET GAIN] UO	リターン信号のディテールオフセットゲインを調整します。 **[0] … [5]** • 工場出荷値：[0]
	[CRISP] UO	リターン信号のディテールクリスプレベルを調整します。 **[0] … [63]** • 工場出荷値：[0]
[VIEW FINDER DARK GAIN]	[DARK GAIN LEVEL] UO	VF の暗部を持ち上げるレベルを設定します。 **[1] … [3]** • 工場出荷値：[2]
[STATUS INDICATOR]		[ON] に設定した項目に対して、本機が変則動作状態になると、ビューファインダー内の LED（⚠）が点灯します。
	[F NUMBER] UO	アイリス表示（F 値）の表示 / 非表示を設定します。 **[OFF]、[ON]** • 工場出荷値：[OFF] 位置情報を出力するレンズを使用したとき表示されます。
	[ZOOM] UO	ズーム位置表示の表示 / 非表示を設定します。 **[OFF]、[ON]** • 工場出荷値：[OFF] 位置情報を出力するレンズを使用したとき表示されます。
	[FOCUS] UO	フォーカス位置表示の表示 / 非表示を設定します。 **[OFF]、[ON]** • 工場出荷値：[OFF] 位置情報を出力するレンズを使用したとき表示されます。
	[FOCUS CONDITION] UO	ピント情報表示の表示 / 非表示を設定します。 **[OFF]、[ON]** • 工場出荷値：[OFF]

項目		設定内容
	[FOCUS OFFSET] UO	フォーカスオフセット量の表示 / 非表示を設定します。 **[OFF]、[ON]** • 工場出荷値：[OFF]
	[EXTENDER] UO	エクステンダー表示の表示 / 非表示を設定します。 **[OFF]、[ON]** • 工場出荷値：[OFF]
	[FILTER] UO	フィルターポジション表示の表示 / 非表示を設定します。 **[OFF]、[ON]** • 工場出荷値：[OFF]
	[MASTER GAIN] UO	マスターゲイン表示の表示 / 非表示を設定します。 **[OFF]、[ON]** • 工場出荷値：[OFF]
	[OFFSET GAIN] UO	オフセットゲイン表示の表示 / 非表示を設定します。 **[OFF]、[ON]** • 工場出荷値：[OFF]
	[VF DARK GAIN] UO	VIEW FINDER DARK GAIN 表示の表示 / 非表示を設定します。 **[OFF]、[ON]** • 工場出荷値：[OFF]
	[SHUTTER] UO	電子シャッター表示の表示 / 非表示を設定します。 **[OFF]、[ON]** • 工場出荷値：[OFF]
	[AUDIO LEVEL] UO	オーディオレベル（レベルメーター）表示の表示 / 非表示を設定します。 **[OFF]、[ON]** • 工場出荷値：[OFF]
	[DIGITAL EXTENDER] UO	デジタルエクステンダー表示の表示 / 非表示を設定します。 **[OFF]、[ON]** • 工場出荷値：[OFF]
	[WHITE CHANNEL] UO	ホワイトバランスメモリー表示の表示 / 非表示を設定します。 **[OFF]、[ON]** • 工場出荷値：[OFF]
	[DRS] UO	ダイナミックレンジストレッチャー表示の表示 / 非表示を設定します。 **[OFF]、[ON]** • 工場出荷値：[OFF]
	[CAC] UO	色収差補正表示（CAC）の表示 / 非表示を設定します。 **[OFF]、[ON]** • 工場出荷値：[OFF]
	[FVC] UO	F ドロップ・周辺光量落ち補正表示（FVC）の表示 / 非表示を設定します。 **[OFF]、[ON]** • 工場出荷値：[OFF]
	[OPT LEVEL] UO	本機が受信する光信号レベルの表示 / 非表示を設定します。 **[OFF]、[ON]** • 工場出荷値：[OFF]
	[RETURN SELECT] UO	リターン ID 表示の表示 / 非表示を設定します。 **[OFF]、[ON]** • 工場出荷値：[OFF]
	[STATUS] UO	機能選択時に現れる表示の表示 / 非表示を設定します。 **[OFF]、[ON]** • 工場出荷値：[OFF]
	[STATUS(AUTO)] UO	AWB/ABB 開始時または終了時に現れる表示の表示 / 非表示を設定します。 **[OFF]、[ON]** • 工場出荷値：[OFF]
	[VOLTAGE] UO	電源供給表示の表示 / 非表示を設定します。 **[OFF]、[ON]** • 工場出荷値：[OFF]
	[FORMAT] UO	システム周波数 / 解像度表示の表示 / 非表示を設定します。 **[OFF]、[ON]** • 工場出荷値：[OFF]
	[SENSOR RATE] UO	センサー撮像レート表示の表示 / 非表示を設定します。 **[OFF]、[ON]** • 工場出荷値：[OFF]
	[FAN OFF] UO	ファン切時の状態表示の表示 / 非表示を設定します。 **[OFF]、[ON]** • 工場出荷値：[OFF]
	[COLOR TEMP] UO	色温度表示の表示 / 非表示を設定します。 **[OFF]、[ON]** • 工場出荷値：[OFF]
	[SHOOTING MODE] UO	感度モード表示の表示 / 非表示を設定します。 **[OFF]、[ON]** • 工場出荷値：[OFF]

項目		設定内容
	[MAG] UO	フォーカスアシスト拡大表示機能有効時の状態表示の表示 / 非表示を設定します。 **[OFF]、[ON]** • 工場出荷値：[ON]
	[MENU DISP WARNING] UO	メニューのワーニング表示の表示 / 非表示を設定します。 **[OFF]、[ON]** • 工場出荷値：[ON]
	[F DROP ADJUST] UO	F ドロップ表示の表示 / 非表示を設定します。 **[OFF]、[ON]** • 工場出荷値：[OFF]
	[HDR] UO	HDR 表示の表示 / 非表示を設定します。 **[OFF]、[ON]** • 工場出荷値：[OFF]
	[V-LOG] UO	V-LOG 表示の表示 / 非表示を設定します。 **[OFF]、[ON]** • 工場出荷値：[OFF]
	[TALLY CHAR] UO	TALLY に文字表示の表示 / 非表示を設定します。 **[OFF]、[ON]** • 工場出荷値：[OFF]
	[TALK SW] UO	TALK SW ON 時の文字表示の表示 / 非表示を設定します。 **[OFF]、[ON]** • 工場出荷値：[OFF]
	[FOCUS DISP] UO	フォーカス値の単位表示を切り替えます。 **[FEET]、[METER]、[NUMBER]** • 工場出荷値：[NUMBER]
[MODE CHECK IND]	[AUDIO] UO	モードチェック時の [AUDIO] 画面の表示 / 非表示を設定します。 **[OFF]、[ON]** • 工場出荷値：[ON]
	[USER SW STATUS] UO	モードチェック時の [USER SW STATUS] 画面の表示 / 非表示を設定します。 **[OFF]、[ON]** • 工場出荷値：[ON]
	[!LED] UO	モードチェック時の [!LED] 画面の表示 / 非表示を設定します。 **[OFF]、[ON]** • 工場出荷値：[ON]
	[SDI OUT] UO	モードチェック時の [SDI OUT] 画面の表示 / 非表示を設定します。 **[OFF]、[ON]** • 工場出荷値：[ON]
	[CAC] UO	モードチェック時の [CAC] 画面の表示 / 非表示を設定します。 **[OFF]、[ON]** • 工場出荷値：[ON]
	[FVC] UO	モードチェック時の [FVC] 画面の表示 / 非表示を設定します。 **[ON]、[OFF]** • 工場出荷値：[ON]
[!LED]		[ON] に設定した項目に対して、本機が変則動作状態になると、ビューファインダー内の LED（⚠）が点灯します。
	[!LED MODE] UO	FrontVF の !LED ランプを Yellow TALLY 機能としての有効 / 無効を設定します。 **[NORMAL]、[YELLOW TALLY]** • 工場出荷値：[NORMAL]
	[GAMMA OFF] UO	ガンマ無効時の状態表示の表示 / 非表示を設定します。 **[OFF]、[ON]** • 工場出荷値：[OFF]
	[SHUTTER] UO	電子シャッター有効時の状態表示の表示 / 非表示を設定します。 **[OFF]、[ON]** • 工場出荷値：[OFF]
	[EXTENDER] UO	レンズエクステンダー有効時の状態表示の表示 / 非表示を設定します。 **[OFF]、[ON]** • 工場出荷値：[OFF]
	[FAN OFF] UO	ファン切時の状態表示の表示 / 非表示を設定します。 **[OFF]、[ON]** • 工場出荷値：[OFF]
	[MASTER GAIN] UO	ゲインが 0 dB 以外の状態表示の表示 / 非表示を設定します。 **[OFF]、[ON]** • 工場出荷値：[OFF]
	[BLACK GAMMA] UO	ブラックガンマ有効時の状態表示の表示 / 非表示を設定します。 **[OFF]、[ON]** • 工場出荷値：[OFF]
[RETURN MIX]	[RETURN MIX SW] UO	CAM 映像とリターン映像の合成機能の有効 / 無効を設定します。 **[OFF]、[ON]** • 工場出荷値：[OFF]
	[MIX RATIO] UO	CAM 映像とリターン映像の合成機能の合成割合を設定します。 **[1]** … **[99]** • 工場出荷値：[50]

[TRACKING DATA OUTPUT]

バーチャルスタジオのシステムなどで利用するトラッキングデータの出力に関する設定を行います。

項目	設定内容
[IP] U R	IP 出力から、Zoom 情報などのトラッキングデータを、GENLOCK 信号に同期して UDP で出力する機能の有効 / 無効を設定します。 **[OFF]、[ON]** • 工場出荷値：[OFF]
[CAMERA ID] U R	トラッキングデータの CAMERA ID を設定します。 **[0x00] … [0xFF]** • 工場出荷値：[0xFF] WEB 画面では [0] ～ [255] で設定できます。

[SWITCH ASSIGN]

項目		設定内容
[USER SWITCH]	[GRIP RET] U O	グリップの〈RET〉スイッチの機能を選択します。 **[A]、[B]、[C]、[PTT]、[FOCUS MODE]、[AF PRESET]、[ONE PUSH AF]** • 工場出荷値：[A]
	[GRIP PTT] U O	グリップの〈PTT〉スイッチの機能を選択します。 **[PTT]、[A]、[B]、[C]、[FOCUS MODE]、[AF PRESET]、[ONE PUSH AF]** • 工場出荷値：[PTT]
	[LENS VTR] U O	ハンディレンズの〈VTR〉スイッチの機能を選択します。 **[A]、[B]、[C]、[PTT]、[DISP]、[MARK OFF]、[LENS EXT]、[D.EXT] 、[C.TEMP]、[CENTER]、[ASSIST]、[FA_INRED]、[FA_SQ]、[FA_BAR]、[FA_MAG]、[RETURN MIX]、[FOCUS GUIDE]、[VF DARK GAIN]、[INH]、[FOCUS MODE]、[AF PRESET]、[ONE PUSH AF]** • 工場出荷値：[B]
	[LENS RET1] U O	標準レンズの〈RET1〉スイッチの機能を選択します。 **[A]、[B]、[C]、[PTT]、[DISP]、[MARK OFF]、[LENS EXT]、[D.EXT] 、[C.TEMP]、[CENTER]、[ASSIST]、[FA_INRED]、[FA_SQ]、[FA_BAR]、[FA_MAG]、[RETURN MIX]、[FOCUS GUIDE]、[VF DARK GAIN]、[FOCUS MODE]、[AF PRESET]、[ONE PUSH AF]** • 工場出荷値：[A]
	[LENS RET2] U O	標準レンズの〈RET2〉スイッチの機能を選択します。 **[A]、[B]、[C]、[PTT]、[DISP]、[MARK OFF]、[LENS EXT]、[D.EXT] 、[C.TEMP]、[CENTER]、[ASSIST]、[FA_INRED]、[FA_SQ]、[FA_BAR]、[FA_MAG]、[RETURN MIX]、[FOCUS GUIDE]、[VF DARK GAIN]、[FOCUS MODE]、[AF PRESET]、[ONE PUSH AF]** • 工場出荷値：[B]
	[LENS RET3] U O	標準レンズの〈RET3〉スイッチの機能を選択します。 **[A]、[B]、[C]、[PTT]、[DISP]、[MARK OFF]、[LENS EXT]、[D.EXT] 、[C.TEMP]、[CENTER]、[ASSIST]、[FA_INRED]、[FA_SQ]、[FA_BAR]、[FA_MAG]、[RETURN MIX]、[FOCUS GUIDE]、[VF DARK GAIN]、[FOCUS MODE]、[AF PRESET]、[ONE PUSH AF]** • 工場出荷値：[C]
	[EXTERNAL RET1] U O	外部リターンコントロールスイッチ 1 の機能を選択します。 **[A]、[B]、[C]、[D.EXT]、[FOCUS MODE]、[AF PRESET]、[ONE PUSH AF]** • 工場出荷値：[A]
	[EXTERNAL RET2] U O	外部リターンコントロールスイッチ 2 の機能を選択します。 **[A]、[B]、[C]、[D.EXT]、[FOCUS MODE]、[AF PRESET]、[ONE PUSH AF]** • 工場出荷値：[B]
	[EXTERNAL RET3] U O	外部リターンコントロールスイッチ 3 の機能を選択します。 **[A]、[B]、[C]、[D.EXT]、[FOCUS MODE]、[AF PRESET]、[ONE PUSH AF]** • 工場出荷値：[B]
	[USER SWITCH1] U O	〈USER 1〉スイッチの機能を選択します。 **[RETURN A]、[RETURN B]、[RETURN C]、[PTT]、[DISP]、[MARK OFF]、[D.EXT]、[C.TEMP]、[ASSIST]、[CALL]、[FA_INRED]、[FA_SQ]、[FA_BAR]、[FA_MAG]、[RETURN MIX]、[FOCUS GUIDE]、[VF DARK GAIN]、[FOCUS MODE]、[AF PRESET]、[ONE PUSH AF]** • 工場出荷値：[RETURN A]
	[USER SWITCH2] U O	〈USER 2〉スイッチの機能を選択します。 **[RETURN A]、[RETURN B]、[RETURN C]、[PTT]、[DISP]、[MARK OFF]、[D.EXT]、[C.TEMP]、[ASSIST]、[CALL]、[FA_INRED]、[FA_SQ]、[FA_BAR]、[FA_MAG]、[RETURN MIX]、[FOCUS GUIDE]、[VF DARK GAIN]、[FOCUS MODE]、[AF PRESET]、[ONE PUSH AF]** • 工場出荷値：[PTT]
	[USER SWITCH3] U O	〈USER 3〉スイッチの機能を選択します。 **[RETURN A]、[RETURN B]、[RETURN C]、[PTT]、[DISP]、[MARK OFF]、[D.EXT]、[C.TEMP]、[ASSIST]、[CALL]、[FA_INRED]、[FA_SQ]、[FA_BAR]、[FA_MAG]、[RETURN MIX]、[FOCUS GUIDE]、[VF DARK GAIN]、[FOCUS MODE]、[AF PRESET]、[ONE PUSH AF]** • 工場出荷値：[PTT]
	[USER SWITCH4] U O	〈USER 4〉スイッチの機能を選択します。 **[RETURN A]、[RETURN B]、[RETURN C]、[PTT]、[DISP]、[MARK OFF]、[D.EXT]、[C.TEMP]、[ASSIST]、[CALL]、[FA_INRED]、[FA_SQ]、[FA_BAR]、[FA_MAG]、[RETURN MIX]、[FOCUS GUIDE]、[VF DARK GAIN]、[FOCUS MODE]、[AF PRESET]、[ONE PUSH AF]** • 工場出荷値：[PTT]

項目		設定内容
	[USER SWITCH5] UO	〈USER 5〉スイッチの機能を選択します。 **[RETURN A]、[RETURN B]、[RETURN C]、[PTT]、[DISP]、[MARK OFF]、[D.EXT]、[C.TEMP]、[ASSIST]、[CALL]、[FA_INRED]、[FA_SQ]、[FA_BAR]、[FA_MAG]、[RETURN MIX]、[FOCUS GUIDE]、[VF DARK GAIN]、[FOCUS MODE]、[AF PRESET]、[ONE PUSH AF]** • 工場出荷値：[PTT]
	[USER SWITCH6] UO	〈USER 6〉スイッチの機能を選択します。 **[RETURN A]、[RETURN B]、[RETURN C]、[PTT]、[DISP]、[MARK OFF]、[D.EXT]、[C.TEMP]、[ASSIST]、[CALL]、[FA_INRED]、[FA_SQ]、[FA_BAR]、[FA_MAG]、[RETURN MIX]、[FOCUS GUIDE]、[VF DARK GAIN]、[FOCUS MODE]、[AF PRESET]、[ONE PUSH AF]** • 工場出荷値：[PTT]
	[USER B/U SWITCH1] UO	ビルドアップユニットのユーザースイッチ 1 の機能を選択します。 **[RETURN A]、[RETURN B]、[RETURN C]、[PTT]、[DISP]、[MARK OFF]、[LENS EXT]、[D.EXT]、[C.TEMP]、[CENTER]、[ASSIST]、[FA_INRED]、[FA_SQ]、[FA_BAR]、[FA_MAG]、[RETURN MIX]、[FOCUS GUIDE]、[VF DARK GAIN]、[FOCUS MODE]、[AF PRESET]、[ONE PUSH AF]** • 工場出荷値：[LENS EXT]
	[USER B/U SWITCH2] UO	ビルドアップユニットのユーザースイッチ 2 の機能を選択します。 **[RETURN A]、[RETURN B]、[RETURN C]、[PTT]、[DISP]、[MARK OFF]、[LENS EXT]、[D.EXT]、[C.TEMP]、[CENTER]、[ASSIST]、[FA_INRED]、[FA_SQ]、[FA_BAR]、[FA_MAG]、[RETURN MIX]、[FOCUS GUIDE]、[VF DARK GAIN]、[FOCUS MODE]、[AF PRESET]、[ONE PUSH AF]** • 工場出荷値：[CENTER]
	[USER B/U SWITCH3] UO	ビルドアップユニットのユーザースイッチ 3 の機能を選択します。 **[RETURN A]、[RETURN B]、[RETURN C]、[PTT]、[DISP]、[MARK OFF]、[LENS EXT]、[D.EXT]、[C.TEMP]、[CENTER]、[ASSIST]、[FA_INRED]、[FA_SQ]、[FA_BAR]、[FA_MAG]、[RETURN MIX]、[FOCUS GUIDE]、[VF DARK GAIN]、[FOCUS MODE]、[AF PRESET]、[ONE PUSH AF]** • 工場出荷値：[PTT]

NOTE

• [ONE PUSH AF] をフォーカスモードがマニュアルのときに押すと、一度だけ自動でフォーカス（焦点）を調整します。
オートのときに押すと、フォーカス（焦点）を再調整します。

[W/B BAL SETTING]	[W/B BAL SW] UO	ホワイトバランススイッチの起動条件を設定します。 **[NORMAL]**：単体で動作させるときのみスイッチを有効にします。 **[ALWAYS]**：常にスイッチを有効にします。 • 工場出荷値：[NORMAL]
	[ABB SW MODE] UO	ブラックバランスのスイッチを設定します。 **[NORMAL]、[PTT]** • 工場出荷値：[NORMAL]

[FILES]

項目		設定内容
[SCENE FILE]	[MODE]	動作モードを選択します。 **[LOAD]、[STORE]** • 工場出荷値：[LOAD]
	[FILE NO.]	ファイル番号を選択します。 [MODE] が [LOAD] のとき：**[OFF]、[1] … [8]** [MODE] が [STORE] のとき：**[1] … [8]** • 工場出荷値：[OFF]
	[FILE NAME] USR	ファイル名を入力します。（15 文字以内） • 工場出荷値：[SCENE1]
	[LIST]	設定されている SCENE ファイルのファイル名をリスト表示します。同時にリスト表示できるのは 3 つまでで、スクロール表示します。
	[EXECUTE]	設定した内容で動作させるかどうか選択します。 **[NO]、[YES]**
[USER FILE]	[MODE]	動作モードを選択します。 **[LOAD]、[STORE]** • 工場出荷値：[LOAD]
	[FILE NO.]	ファイルを選択します。 **[1]、[2]、[3]** • 工場出荷値：[1]
	[FILE NAME] UR	ファイル名を入力します。（15 文字以内） • 工場出荷値：[USER1]
	[LIST]	設定されている SCENE ファイルのファイル名をリスト表示します。同時にリスト表示できるのは 3 つまでで、スクロール表示します。
	[EXECUTE]	設定した内容で動作させるかどうか選択します。 **[NO]、[YES]**

項目			設定内容
[REFFERENCE FILE]			
	[MODE]		動作モードを選択します。 **[LOAD]、[STORE]** • 工場出荷値：[LOAD]
	[FILE NO.]		ファイルを選択します。 **[1]、[2]、[3]** • 工場出荷値：[1]
	[FILE NAME] UR		ファイル名を入力します。（15 文字以内） • 工場出荷値：[REFERENCE1]
	[LIST]		設定されている REFERENCE ファイルのファイル名をリスト表示します。同時にリスト表示できるのは 3 つまでで、スクロール表示します。
	[EXECUTE]		設定した内容で動作させるかどうか選択します。 **[NO]、[YES]**
[USB MEDIA]			
	[MEDIA SELECT]		[MEDIA NO] で選択されているメディア情報を表示します。
		[MEDIA NO]	現在接続選択されているメディア番号を表示します。 項目を切り替えることで接続先を切り替えることができます。 **[1]、[2]、[3]、[4]、[5]** … • 工場出荷値：[1]
		[VOL LABEL]	[MEDIA NO] で選択されているメディアのボリュームラベルを表示します。
		[PRODUCT]	[MEDIA NO] で選択されているメディアのプロダクト情報を表示します。
		[No.1]	メディア No.1 の情報を表示します。
		[No.2]	メディア No.2 の情報を表示します。
		[No.3]	メディア No.3 の情報を表示します。
		[No.4]	メディア No.4 の情報を表示します。
		[No.5]	メディア No.5 の情報を表示します。
		[RELOAD]	リロード動作させるかどうか選択します。 **[NO]、[YES]**
	[MODE]		動作モードを選択します。 **[FORMAT]、[LOAD]、[STORE]** • 工場出荷値：[LOAD]
	[FILE SEL]		ファイルを選択します。 **[ALL]、[ALL SCENE]、[ALL USER]、[ALL LENS]、[SCENE]、[USER]、[LENS]、[OPERATION]、[NETWORK]、[EVENT/ERROR]** • 工場出荷値：[SCENE]
	[INTERNAL FILE NO]		本機内のファイル番号を選択します。 **[CURRENT]、[1]** … **[8]**（シーンファイル） **[1]** … **[3]**（ユーザーファイル） **[1]** … **[32]**（レンズファイル） **[CURRENT]**（オペレーションファイル） **[CURRENT]**（ネットワークファイル） **[CURRENT]**（イベント / エラーファイル） • 工場出荷値：[1]
	[FILE NAME] UR		[MODE] が [LOAD] のとき：本機内のファイル名を表示します。 [MODE] が [STORE] のとき：本機内 /USB メモリに書き込むファイル名を入力します。（15 文字以内）
	[USB MEM FILE NO]		USB メモリに格納されたファイル番号を選択します。 **[1]** … **[32]**
	[LIST]		USB メモリのファイル名をリスト表示します。同時にリスト表示できるのは 3 つまでで、日付の新しいものからスクロール表示します。
	[EXECUTE]		設定した内容で動作させるかどうか選択します。 **[NO]、[YES]**
[ACCOUNT SETTING]			
	[ROP]		–
	[LOAD]		ユーザーアカウント情報を外部メモリから読み込みます。
		[EXECUTE]	設定した内容で動作させるかどうか選択します。 **[NO]、[YES]**
		[NO.（1）]	外部メモリ内のアカウント名が表示されます。
		[NO.（2）]	外部メモリ内のアカウント名が表示されます。
		[NO.（3）]	外部メモリ内のアカウント名が表示されます。
	[DELETE]		本機内に記憶しているアカウント情報を削除します。
		[EXECUTE]	実行するか選択します。削除する場合には [Yes] を選択後に〈USER 4〉ボタンを押すと実行します。 **[YES]、[NO]**
		[DELETE NO.(1)]	削除するリスト番号を設定します。 **[NONE]、[1]** … **[12]** • 工場出荷値：[NONE]
		[USER NAME]	選択されたリスト番号の USER NAME を表示します。

項目			設定内容
		[DELETE NO.(2)]	削除するリスト番号を設定します。 **[NONE]、[1] … [12]** • 工場出荷値：[NONE]
		[USER NAME]	選択されたリスト番号の USER NAME を表示します。
		[DELETE NO.(3)]	削除するリスト番号を設定します。 **[NONE]、[1] … [12]** • 工場出荷値：[NONE]
		[USER NAME]	選択されたリスト番号の USER NAME を表示します。
	[LIST]		〈SELECT〉ダイヤルボタンを押して、機器内部に記憶しているアカウント一覧を表示します。
	[HTTP]		–
	[USER AUTH. DELETE]		本機内に記憶しているアカウント情報を削除します。
		[EXECUTE]	実行するか選択します。削除する場合には [Yes] を選択後に〈USER 4〉ボタンを押すと実行します。 **[YES]、[NO]**
	[HOST AUTH. DELETE]		本機内に記憶しているホスト情報を削除します。
		[EXECUTE]	実行するか選択します。削除する場合には [Yes] を選択後に〈USER 4〉ボタンを押すと実行します。 **[YES]、[NO]**

NOTE

• [FILE NAME] に本機で使用できない文字が使われている場合は “_” に置き換えて表示します。

[MAINTENANCE]

項目		設定内容
[CAC ADJUST]	[CAC CONTROL] UR	色収差補正の有効 / 無効を設定します。 **[OFF]、[ON]** • 工場出荷値：[ON]
[LENS FILE ADJUST]		
	[LENS FILE SW]	レンズファイルの有効 / 無効を切り替えます。 **[OFF]、[ON]** • 工場出荷値：[OFF]
	[LENS FILE MODE]	動作モードを選択します。 **[LOAD]、[STORE]、[CANCEL]** • 工場出荷値：[LOAD]
	[FILE NO.]	ファイルを選択します。 [LENS FILE MODE] が [LOAD] のとき： **[1] … [32]** [LENS FILE MODE] が [STORE] のとき： **[1] … [32]** • 工場出荷値：[1]
	[FILE NAME]	ファイル名を入力します。（15 文字以内） • 工場出荷値：[LENS FILE 1]
	[EXECUTE]	動作させるかどうか選択します。 **[NO]、[YES]**
	[FLARE R] UR	[FILE NO.] で選択したデータの Rch フレアを調整します。 **[–100] … [+100]** • 工場出荷値：[0]
	[FLARE G] UR	[FILE NO.] で選択したデータの Gch フレアを調整します。 **[–100] … [+100]** • 工場出荷値：[0]
	[FLARE B] UR	[FILE NO.] で選択したデータの Bch フレアを調整します。 **[–100] … [+100]** • 工場出荷値：[0]
	[GAIN R] UR	[FILE NO.] で選択したデータの Rch ゲインを調整します。 **[–100] … [+100]** • 工場出荷値：[0]
	[GAIN B] UR	[FILE NO.] で選択したデータの Bch ゲインを調整します。 **[–100] … [+100]** • 工場出荷値：[0]
	[W H SAW R] UR	[FILE NO.] で選択したデータの Rch ホワイトシェーディングをノコギリ歯状波形を使って水平方向に調整します。 **[–100] … [+100]** • 工場出荷値：[0]
	[W H SAW G] UR	[FILE NO.] で選択したデータの Gch ホワイトシェーディングをノコギリ歯状波形を使って水平方向に調整します。 **[–100] … [+100]** • 工場出荷値：[0]
	[W H SAW B] UR	[FILE NO.] で選択したデータの Bch ホワイトシェーディングをノコギリ歯状波形を使って水平方向に調整します。 **[–100] … [+100]** • 工場出荷値：[0]

項目		設定内容
	[W H PARA R] UR	[FILE NO.] で選択したデータの Rch ホワイトシェーディングをパラボラ波形を使って水平方向に調整します。 **[–100] … [+100]** • 工場出荷値：[0]
	[W H PARA G] UR	[FILE NO.] で選択したデータの Gch ホワイトシェーディングをパラボラ波形を使って水平方向に調整します。 **[–100] … [+100]** • 工場出荷値：[0]
	[W H PARA B] UR	[FILE NO.] で選択したデータの Bch ホワイトシェーディングをパラボラ波形を使って水平方向に調整します。 **[–100] … [+100]** • 工場出荷値：[0]
	[W V SAW R] UR	[FILE NO.] で選択したデータの Rch ホワイトシェーディングをノコギリ歯状波形を使って垂直方向に調整します。 **[–100] … [+100]** • 工場出荷値：[0]
	[W V SAW G] UR	[FILE NO.] で選択したデータの Gch ホワイトシェーディングをノコギリ歯状波形を使って垂直方向に調整します。 **[–100] … [+100]** • 工場出荷値：[0]
	[W V SAW B] UR	[FILE NO.] で選択したデータの Bch ホワイトシェーディングをノコギリ歯状波形を使って垂直方向に調整します。 **[–100] … [+100]** • 工場出荷値：[0]
	[W V PARA R] UR	[FILE NO.] で選択したデータの Rch ホワイトシェーディングをパラボラ波形を使って垂直方向に調整します。 **[–100] … [+100]** • 工場出荷値：[0]
	[W V PARA G] UR	[FILE NO.] で選択したデータの Gch ホワイトシェーディングをパラボラ波形を使って垂直方向に調整します。 **[–100] … [+100]** • 工場出荷値：[0]
	[W V PARA B] UR	[FILE NO.] で選択したデータの Bch ホワイトシェーディングをパラボラ波形を使って垂直方向に調整します。 **[–100] … [+100]** • 工場出荷値：[0]
	[EXTENDER1] UOR	レンズエクステンダー 1 の倍率を設定します。 **[NONE]、[0.1] … [9.9]** • 工場出荷値：[2.0]
	[EXTENDER2] UOR	レンズエクステンダー 2 の倍率を設定します。 **[NONE]、[0.1] … [9.9]** • 工場出荷値：[NONE]
	[EXTENDER3] UOR	レンズエクステンダー 3 の倍率を設定します。 **[NONE]、[0.1] … [9.9]** • 工場出荷値：[NONE]
	[EXTENDER4] UOR	レンズエクステンダー 4 の倍率を設定します。 **[NONE]、[0.1] … [9.9]** • 工場出荷値：[NONE]
[F DROP ADJUST]	[F DROP RANGE] UR	レンズの F ドロップの判定基準値を設定します。 **[1] … [40]** • 工場出荷値：[10]
[FVC ADJUST]	[FVC CONTROL]	F ドロップ・周辺光量落ち補正の有効 / 無効を設定します。 **[OFF]、[ON]** • 工場出荷値：[OFF]
[FAN SETTING]	[FAN] UR	空冷ファンの動作モードを設定します。 **[NORMAL]、[POWERFUL]** • 工場出荷値：[NORMAL]
[B/U LIGHT ADJUST]	[BOX SW(PUSH SW)] UR	ビルドアップユニットのボックススイッチの輝度を設定します。 **[1] … [10]** • 工場出荷値：[5]
	[LED(POWER)] UR	ビルドアップユニットのランプ（〈POWER〉）の輝度を設定します。 **[1] … [10]** • 工場出荷値：[5]
	[LED(ND/CC)] UR	ビルドアップユニットのランプ（〈ND〉/〈CC〉）の輝度を設定します。 **[1] … [10]** • 工場出荷値：[5]
	[CAM NO.(REAR)] UR	ビルドアップユニットのリア側カメラナンバーの輝度を設定します。 **[1] … [10]** • 工場出荷値：[5]
	[CAM NO.(FRONT)] UR	ビルドアップユニットのフロント側カメラナンバーの輝度を設定します。 **[1] … [10]** • 工場出荷値：[5]

項目		設定内容
[DATE/TIME]	[PRESENT]	現在日時を表示します。
	[DATE YY]	年を設定します。 **[00] … [99]** • 工場出荷値：[24]
	[DATE MM]	月を設定します。 **[01] … [12]** • 工場出荷値：[01]
	[DATE DD]	日を設定します。 **[01] … [31]** • 工場出荷値：[01]
	[TIME HH]	時間を設定します。 **[00] … [23]** • 工場出荷値：[00]
	[TIME MM]	分を設定します。 **[00] … [59]** • 工場出荷値：[00]
	[TIME SS]	秒を設定します。 **[00] … [59]** • 工場出荷値：[00]
	[SET EXECUTE]	設定した内容を保存するかどうかを選択します。 **[NO]、[YES]**
	[RESET]	設定をもとに戻すかどうかを選択します。 **[NO]、[YES]**

NOTE

• 出荷時は時計は設定されていません。本項目で時計を設定の上、ご利用ください。

[INITIALIZE]	[MENU INITIALIZE]	[ALL MENU] の値を工場出荷値に戻します。 **[NO]、[YES]**
	[ALL DATA INITIALIZE]	[ALL MENU] およびシーンファイル、ユーザーファイルの値を工場出荷値に戻します。 **[NO]、[YES]**
	[READ FACTORY ALL DATA]	[ALL MENU] およびシーンファイル、ユーザーファイル、工場調整値を工場出荷値に戻します。 **[NO]、[YES]**
[UPDATE] 電源を入れた直後は、本機が起動中のため [UPDATE] を選択できません。異常ではありません。しばらく待ってから操作してください。		ソフトをアップデートします。 • アップデート用のイメージファイルを USB メモリに格納した状態で、ソフトのアップデートを実施してください。 • ソフトのアップデート実施中は、バックタリーランプが点滅します。 ***NOTE*** • 本機の〈USB3.0 HOST〉端子に、USB メモリ（Type C）を直接接続してご使用ください。USB ハブや SD カード変換アダプターを使用すると、正しく動作しないことがあります。 • 本機は、exFAT/FAT32 に対応しています。対応フォーマット以外は認識できません。 **[NO]、[YES]**
[VERSION]	[SYSTEM VERSION]	本機のシステム全体のバージョンを表示します。
[HOUR METER]	[OPERATION]	本機の累計の稼働時間を表示します。
	[FAN]	冷却ファンの累計の稼働時間を表示します。
[ERROR STATUS]	[FAN]	冷却ファンのエラー状態を表示します。
	[TEMPERATURE]	温度関連のエラー状態を表示します。 **[HIGH TEMPERATURE]**：高温状態を表示します。 **[SENSOR ERROR]**：温度センサーの異常を表示します。
[WHITE SHADING]	[CORRECT] UR	ホワイトシェーディング（ノコギリ歯状波形またはパラボラ波形）の補正の有効 / 無効を設定します。 **[OFF]、[ON]** • 工場出荷値：[ON]
	[W H SAW R] UR	Rch に対して、ノコギリ歯状波形を使って水平方向にホワイトシェーディングのゲインを調整します。 **[–100] … [+100]** • 工場出荷値：[0]
	[W H SAW G] UR	Gch に対して、ノコギリ歯状波形を使って水平方向にホワイトシェーディングのゲインを調整します。 **[–100] … [+100]** • 工場出荷値：[0]
	[W H SAW B] UR	Bch に対して、ノコギリ歯状波形を使って水平方向にホワイトシェーディングのゲインを調整します。 **[–100] … [+100]** • 工場出荷値：[0]
	[W H PARA R] UR	Rch に対して、パラボラ波形を使って水平方向にホワイトシェーディングのゲインを調整します。 **[–100] … [+100]** • 工場出荷値：[0]
	[W H PARA G] UR	Gch に対して、パラボラ波形を使って水平方向にホワイトシェーディングのゲインを調整します。 **[–100] … [+100]** • 工場出荷値：[0]

項目		設定内容
	[W H PARA B] UR	Bch に対して、パラボラ波形を使って水平方向にホワイトシェーディングのゲインを調整します。 **[–100] … [+100]** • 工場出荷値：[0]
	[W V SAW R] UR	Rch に対して、ノコギリ歯状波形を使って垂直方向にホワイトシェーディングのゲインを調整します。 **[–100] … [+100]** • 工場出荷値：[0]
	[W V SAW G] UR	Gch に対して、ノコギリ歯状波形を使って垂直方向にホワイトシェーディングのゲインを調整します。 **[–100] … [+100]** • 工場出荷値：[0]
	[W V SAW B] UR	Bch に対して、ノコギリ歯状波形を使って垂直方向にホワイトシェーディングのゲインを調整します。 **[–100] … [+100]** • 工場出荷値：[0]
	[W V PARA R] UR	Rch に対して、パラボラ波形を使って垂直方向にホワイトシェーディングのゲインを調整します。 **[–100] … [+100]** • 工場出荷値：[0]
	[W V PARA G] UR	Gch に対して、パラボラ波形を使って垂直方向にホワイトシェーディングのゲインを調整します。 **[–100] … [+100]** • 工場出荷値：[0]
	[W V PARA B] UR	Bch に対して、パラボラ波形を使って垂直方向にホワイトシェーディングのゲインを調整します。 **[–100] … [+100]** • 工場出荷値：[0]
[BLACK SHADING]	[CORRECT] UR	ブラックシェーディング（ノコギリ歯状波形またはパラボラ波形）の補正の有効 / 無効を設定します。 **[OFF]、[ON]** • 工場出荷値：[ON]
	[B H SAW R] UR	Rch に対して、ノコギリ歯状波形を使って水平方向にブラックシェーディングのゲインを調整します。 **[–100] … [+100]** • 工場出荷値：[0]
	[B H SAW G] UR	Gch に対して、ノコギリ歯状波形を使って水平方向にブラックシェーディングのゲインを調整します。 **[–100] … [+100]** • 工場出荷値：[0]
	[B H SAW B] UR	Bch に対して、ノコギリ歯状波形を使って水平方向にブラックシェーディングのゲインを調整します。 **[–100] … [+100]** • 工場出荷値：[0]
	[B H PARA R] UR	Rch に対して、パラボラ波形を使って水平方向にブラックシェーディングのゲインを調整します。 **[–100] … [+100]** • 工場出荷値：[0]
	[B H PARA G] UR	Gch に対して、パラボラ波形を使って水平方向にブラックシェーディングのゲインを調整します。 **[–100] … [+100]** • 工場出荷値：[0]
	[B H PARA B] UR	Bch に対して、パラボラ波形を使って水平方向にブラックシェーディングのゲインを調整します。 **[–100] … [+100]** • 工場出荷値：[0]
	[B V SAW R] UR	Rch に対して、ノコギリ歯状波形を使って垂直方向にブラックシェーディングのゲインを調整します。 **[–100] … [+100]** • 工場出荷値：[0]
	[B V SAW G] UR	Gch に対して、ノコギリ歯状波形を使って垂直方向にブラックシェーディングのゲインを調整します。 **[–100] … [+100]** • 工場出荷値：[0]
	[B V SAW B] UR	Bch に対して、ノコギリ歯状波形を使って垂直方向にブラックシェーディングのゲインを調整します。 **[–100] … [+100]** • 工場出荷値：[0]
	[B V PARA R] UR	Rch に対して、パラボラ波形を使って垂直方向にブラックシェーディングのゲインを調整します。 **[–100] … [+100]** • 工場出荷値：[0]
	[B V PARA G] UR	Gch に対して、パラボラ波形を使って垂直方向にブラックシェーディングのゲインを調整します。 **[–100] … [+100]** • 工場出荷値：[0]
	[B V PARA B] UR	Bch に対して、パラボラ波形を使って垂直方向にブラックシェーディングのゲインを調整します。 **[–100] … [+100]** • 工場出荷値：[0]
[T-BAR CONNECT] UR		T-BAR ユニットを接続するかどうかを設定します。 **[OFF]、[ON]** • 工場出荷値：[OFF]
[B/U LENS] UR		ビルドアップユニットのレンズタイプを設定します。 **[PORTABLE]、[BOX]** • 工場出荷値：[BOX]
[LENS I/F] UR		レンズインターフェースを設定します。 **[ANALOG]、[SERIAL]** • 工場出荷値：[SERIAL]

項目	設定内容
[DC OUT MODE] U O	外部機器への電源供給モードを設定します。 **[DCOUT/USB]**：<DC OUT 12V 1A> 端子、<DC OUT 12V 2.5A> 端子、<USB3.0 HOST> 端子（最大 7.5 W）から電源供給可能です。 **[USB PD]**：<USB3.0 HOST> 端子（最大 27 W）から電源供給可能です。 • 工場出荷値：[DCOUT/USB] ***NOTE*** • [USB PD] は <POWER> スイッチが <CCU> のときに選択可能です。CCU との接続またはカメラファイバーアダプターとの接続のいずれも使用可能です。 • 本機は USB Power Delivery 27 W までの電力供給に対応していますが、市販されているすべての機器との動作を保証するものではありません。接続する機器や使用するケーブルの仕様によっては、正常に動作しない場合があります。
[LOCAL/REMOTE MODE] U O R	ROP や MSU の接続／非接続時のカメラの動作モードを設定します。 **[AUTO]**：ROP 接続時に REMOTE、切断時に LOCAL 状態となるモードです。 **[REMOTE HOLD]**：ROP 接続後から電源 OFF まで REMOTE 状態を保持するモードです。 **[FORCED REMOTE]**：ROP 接続 / 切断のいずれも常時 REMOTE 状態で動作するモードです。 • 工場出荷値：[REMOTE HOLD] ***NOTE*** • REMOTE 状態では ROP や MSU からの操作を有効とし、本体スイッチの <SHUTTER ON/OFF/SEL>、<GAIN>、<OUTPUT>、<WHITE BAL※> スイッチによる操作は無効となります。 • LOCAL 状態では本体のスイッチの操作が有効となります。 ※ <MENU> の [SWITCH ASSIGN] → [W/B BAL SETTING] → [W/B BAL SW] が [ALWAYS] の場合は REMOTE 状態でも本体スイッチからの操作が可能となります。 • CCU と接続時、または WEB 画面の [Web Ctrl] 有効時は本メニューの設定や ROP 接続状態と関係なく REMOTE 状態となります。

第5章　Web画面

パーソナルコンピューターからの設定方法について説明します。

ユーザーアカウントの設定

本機とROPを接続するためには、ROPに登録されているアカウントを本機に登録する必要があります。
下記手順に従って登録してください

ソフトウェアについて

ユーザーアカウント設定ソフトウェア（Account Gen）を次のWebサイトよりダウンロードし、インストールしてください。（Windows）
https://connect.panasonic.com/jp-ja/products-services_proav

■ **ユーザーアカウント設定ソフトウェア（Account Gen）**
本機のユーザーアカウントを設定するソフトウェアです。

ユーザーアカウント設定ソフトウェアを使用して本機にユーザーアカウントを設定する

本機のユーザーアカウント設定は、ユーザーアカウント設定ソフトウェアを使って行うことができます。

NOTE

- ユーザーアカウント設定ソフトウェアは USB メモリのユーザーアカウント情報を保存するため、事前に USB メモリを挿入しておく必要があります。
- ユーザーアカウントのパスワードは、8 文字以上かつ大文字、小文字、数字、特殊記号の中から 3 種類以上を含むパスワードを推奨します。
- ユーザーアカウントは本機の Web 画面からも設定可能です。（162 ページ）

ユーザーアカウント設定ソフトウェアでの設定手順

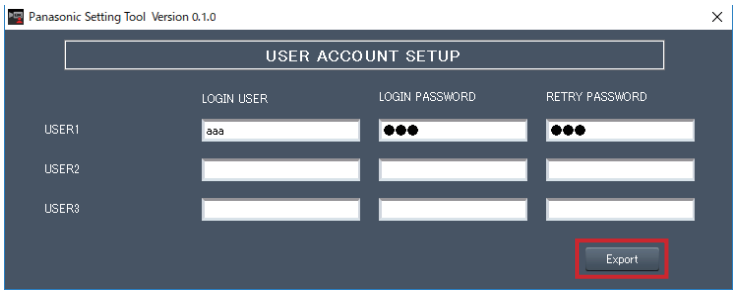


図 1

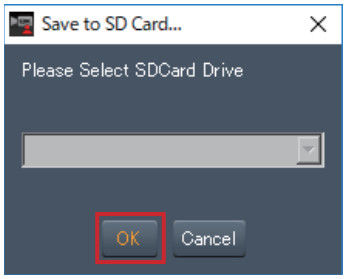


図 2

1 ユーザーアカウント設定ソフトウェアを起動する。

2 LOGIN USERにアカウント名、LOGIN PASSWORDとRETRY PASSWORDにパスワードを入力する。
最大 3 名までのユーザーアカウントを登録することができます。（図 1）

3 [Export] ボタンをクリックする。（図 1）

4 保存するUSBメモリを選択し [OK] をクリックする。（図 2）

本機での設定手順

1 ユーザーアカウント情報を保存したUSBメモリを本機に挿入する。

2 [ALL MENU] → [FILES] で [ACCOUNT SETTING] を選択する。

3 [LOAD] を選択する。

4 [EXECUTE] を選択する。

5 [YES] を選択する。

ネットワークの設定

ソフトウェアについて

[EasyIP Setup Tool Plus]を次のWebサイトよりダウンロードし、インストールしてください。(Windows)
https://connect.panasonic.com/jp-ja/products-services_proav

■ EasyIP Setup Tool Plus
本機のネットワーク設定をするソフトウェアです。(107ページ)

EasyIP Setup Tool Plusを使用して本機の設定をする

本機のネットワークに関する設定は、EasyIP Setup Tool Plusを使って行うことができます。
本機を複数台設定する場合は、カメラごとに設定する必要があります。
EasyIP Setup Tool Plusを使って設定できない場合は、[ALL MENU]→[NETWORK]で個別に本機とパーソナルコンピューターの設定をします。

NOTE

- ネットワークの設定後、同じネットワーク内に存在する他の機器と IP アドレスが重複すると、正しく動作しません。IP アドレスが重複しないように設定してください。
- 1 台のカメラに対して複数の EasyIP Setup Tool Plus から同時にネットワーク設定しないでください。
- EasyIP Setup Tool Plus は、ルーターを経由した異なるサブネットからは使用できません。
- EasyIP Setup Tool Plus を使用した本機の設定変更は、Web 画面のアカウントによる認証を行うため、Web 画面の初期アカウントが未設定の場合は使用できません。(109 ページ)

設定手順

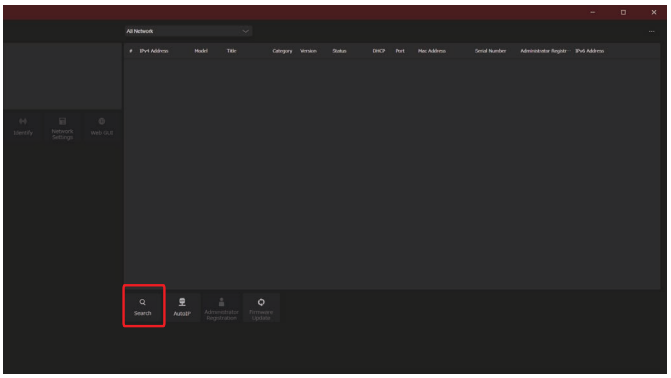


図1

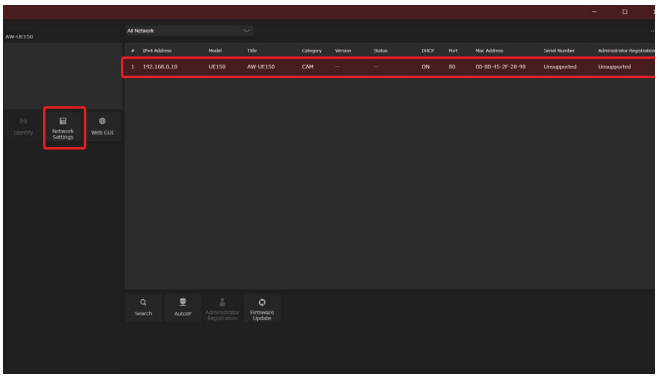


図2

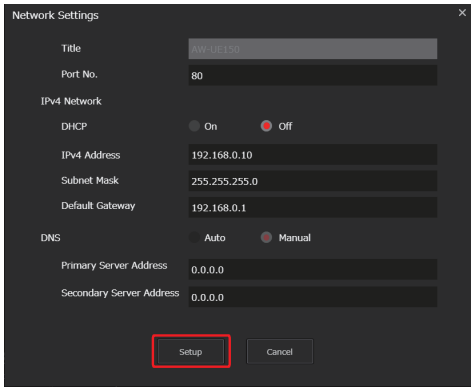


図3

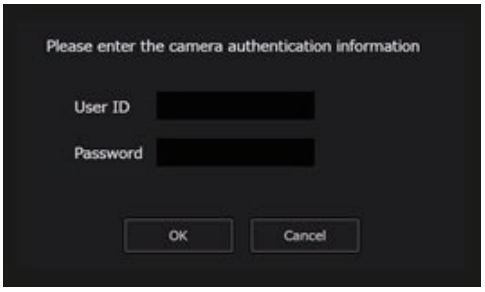


図4

1 EasyIP Setup Tool Plusを起動する。

2 [Search]ボタンをクリックする。(図1)
- 画面上部のプルダウンにて、検索に使用する Network を設定することができます。

3 設定するカメラを選択し、[Network Settings]ボタンをクリックする。(図2)
- [Web GUI] ボタンをクリックすると、選択したカメラの Web 画面が表示されます。

4 ネットワークの各項目を入力し、[Setup]ボタンをクリックする。(図3)
- Port No. の設定には対応していないので設定しないでください。

5 Web画面で登録したユーザー名とパスワードを入力し、[OK] ボタンをクリックする（図4）

- ユーザー名とパスワードは、初期アカウントの設定または Web 画面のユーザー管理画面 [Access mng.] で設定したものを入力してください。（109 ページ、160 ページ）
- [OK] ボタンをクリック後、本機への設定が完了するまで約 2 分かかります。設定が完了する前に本機の電源を切ったり、LAN ケーブルを抜いたりすると、設定内容が無効になります。再度設定をやり直してください。

NOTE

- ファイアウォール（ソフトを含む）を導入している場合、UDP の全ポートに対してアクセスを許可してください。

Web画面の表示

本機とパーソナルコンピューターをつないで、Webブラウザーからカメラのip映像を見たり、各種の設定をしたりすることができます。

本機のIP制御用LAN端子とパーソナルコンピューターを直接接続する場合はLANクロスケーブルを使用します。

スイッチングハブなどを介して接続する場合はLANストレートケーブルを使用します。

Web画面に関するお知らせ

IP アドレスとサブネットマスクについて

パーソナルコンピューターのIPアドレスは、プライベートアドレスの範囲内で本機と違うアドレスを設定し、サブネットマスクは本機と同じアドレスに設定します。

本機のIPアドレスとサブネットマスク（工場出荷値）

<LAN>

- IP アドレス：192,168,0,30
- サブネットマスク：255.255.255.0
- プライベートアドレスの範囲：192.168.0.0 ～ 192.168.0.255

<SFP 1>

- IP アドレス：192.168.1.30
- サブネットマスク：255.255.255.0
- プライベートアドレスの範囲：192.168.1.0 ～ 192.168.1.255

<SFP 2>

- IP アドレス：192.168.2.30
- サブネットマスク：255.255.255.0
- プライベートアドレスの範囲：192.168.2.0 ～ 192.168.2.255

<USB 3.0 HOST>

- IP アドレス：192.168.3.30
- サブネットマスク：255.255.255.0
- プライベートアドレスの範囲：192.168.3.0 ～ 192.168.3.255

Web 画面の表示に必要なパーソナルコンピューターの環境

Web画面の表示に必要なパーソナルコンピューターの環境については、「必要なパーソナルコンピューターの環境」（10ページ）をご参照ください。

Web設定画面における一部の機能は、Windows搭載パーソナルコンピューターからのみ利用できます。macOS搭載のパーソナルコンピューター（Mac）からは利用できません。

Windowsのみ利用できる機能には、（Windows）を付けて記載しています。

パーソナルコンピューターによるWeb画面の表示

本書では、Windows（Microsoft Edge）の画面をもとに説明しています。Mac（Safari）の場合も同様の手順となります。画面上の表示は、一部異なります。

1 パーソナルコンピューターのWebブラウザーを起動する。

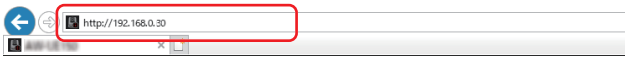
パーソナルコンピューターに搭載されている OS に応じて、それぞれ次の Web ブラウザーを使用してください。

- Windows：Microsoft Edge（最新版）
  Google Chrome
- macOS：Safari

2 EasyIP Setup Tool Plusで設定したIPアドレスを、Webブラウザーのアドレスボックスに入力する。

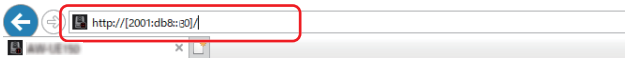
IPv4 アドレスの入力例：

http://[IPv4 アドレスで登録した URL]
http://192.168.0.30/



IPv6 アドレスの入力例：

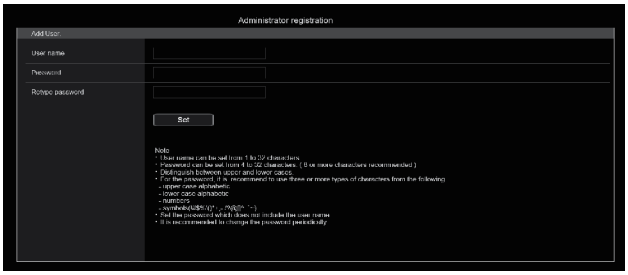
http://[IPv6 アドレスで登録した URL]
http://[2001:db8::30]/



- HTTP ポート番号が「80」から変更されている場合は、「http://カメラの IP アドレス : ポート番号」をアドレスボックスに入力してください。
  例：192.168.0.30:8080（ポート番号が 8080 に設定されている場合）
- 本機がローカルネットワーク内にある場合、ローカルアドレスに対してプロキシーサーバーを使用しないように、Web ブラウザー（メニューバーの [ツール] − [インターネットオプション]）からプロキシーサーバーの設定をしてください。
- ネットワーク設定画面 [Network] の [Advanced] の [HTTPS] − [Connection]（169 ページ）で [HTTPS] を設定している場合については、「HTTPS でカメラにアクセスする」（177 ページ）を参照してください。

3 初期アカウントを設定する。

初期状態で Web 画面を表示する場合、初期アカウント設定画面が表示されます。
ユーザー名とパスワードを設定してください。



NOTE

- 第三者に容易に推測されやすい文字列は設定しないでください。
- パスワードは定期的に変更してください。
- パスワードは下記 4 つの文字種類から少なくとも 3 つを含めて 8 文字以上で設定してください。
  アルファベット大文字
  アルファベット小文字
  数字
  特殊記号（ ! $ % ' ( ) * + , - . / ? @ [ ] ^ _ ` ~ ）

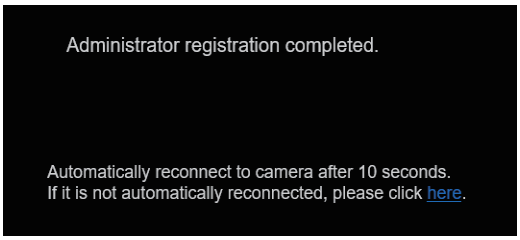
- 上記ポリシーを守らないパスワードを設定する場合、設置環境などのセキュリティ上のリスクを十分考慮したうえ、使用者の責任のもと運用してください。
- 設定したパスワードが推奨設定ポリシーに反する場合は、警告が表示されます。パスワードを変更する場合は [Back] ボタンをクリックして再度パスワードを設定してください。
  セキュリティリスクを理解の上、設定を継続する場合は [Continue] をクリックして設定を完了してください。



4 初期アカウントの登録完了

初期アカウントの登録が完了後、以下のような登録完了画面が表示されます。
完了画面表示後 10 秒程度経過すると自動でライブ画面 [Live] が表示されます。10 秒以上経過してもライブ画面 [Live] に移行しない場合は、“please click here” のリンクからライブ画面 [Live] に手動で移動してください。

以上で初期アカウント登録操作は完了となります。

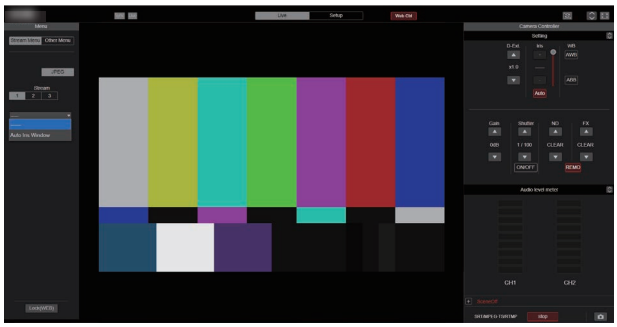


NOTE

- ROP とネットワーク接続する場合、初期アカウント設定が必要です。初期アカウントが未設定の場合、ROP から本機を認識することは可能ですが、制御はできません。

5 ライブ画面 [Live] を表示する。

Web 画面が表示されます。
初期画面は、ライブ画面 [Live] が表示されます。必要に応じて Web 設定画面 [Setup] に切り替えてください。（111 ページ）



NOTE

- ご使用のパーソナルコンピューターのファイアウォールの設定によって、配信画像が表示されないことがあります。この場合は、ファイアウォールの設定を変更し、ご使用の Web ブラウザーの通信を許可する設定を行ってください。
- 1 台のパーソナルコンピューターで複数の IP 映像を表示しようとすると、パーソナルコンピューターの性能によっては、IP 映像が表示されないことがあります。（Windows）
- 本機に同時にアクセスできるユーザーは、IP 映像を受信しているユーザーと合わせて最大 14 人までです。
  ただし、本機が使用するネットワーク通信帯域に応じて、アクセスできるユーザー数が 14 人未満に制限されることがあります。
  アクセスできる最大ユーザー数 14 人を超えた場合は、アクセス超過メッセージが表示されます。
  [H.264] および [H.265] の [Transmission type] を [Multicast port] に設定したとき、H.264 および H.265 画像を受信している 2 人目以降のユーザーはアクセス数にカウントされません。
- JPEG 画像の画像更新速度はネットワークの環境、パーソナルコンピューターの性能、被写体、アクセス数により遅くなることがあります。
- IP 映像配信（H.264/H.265/M-JPEG のストリーミング）を行っていると、OSD メニューの描画タイミングが遅れる場合があります。
  [IP SIGNAL] − [STREAMING COMMON] − [CHAR] の設定を [OFF] にすることで、スムーズな OSD メニュー描画が可能となります。

ライブ画面[Live]/Web設定画面[Setup]の切り替え

ライブ画面[Live] 

を表示しているときに、ライブ画面[Live]上部の[Setup]ボタン 

をクリックします。

Web設定画面[Setup]についての詳細は、「Web設定画面[Setup]」（116ページ）を参照してください。

Web設定画面[Setup] 

を表示しているときに、Web設定画面[Setup]上部の[Live]ボタン 

をクリックします。

ライブ画面[Live]についての詳細は、「ライブ画面[Live]」（112ページ）を参照してください。

Web画面へのログイン

ユーザー認証有効時

ライブ画面 [Live] を表示するとき
Camera control または Administrator 権限のアカウント情報の入力が必要となります。

Web 設定画面 [Setup] を表示するとき
Administrator 権限のアカウント情報の入力が必要となります。

ユーザー認証無効時

ライブ画面 [Live] を表示するとき
アカウント情報の入力は必要ありません。

Web 設定画面 [Setup] を表示するとき
Administrator 権限のアカウント情報の入力が必要となります。

NOTE

- アカウント入力画面は Web ブラウザーからポップアップウィンドウで表示されます。
- あらかじめ登録したユーザー名とパスワードを正しく入力してください。
- パスワードは定期的に変更することをお勧めします。

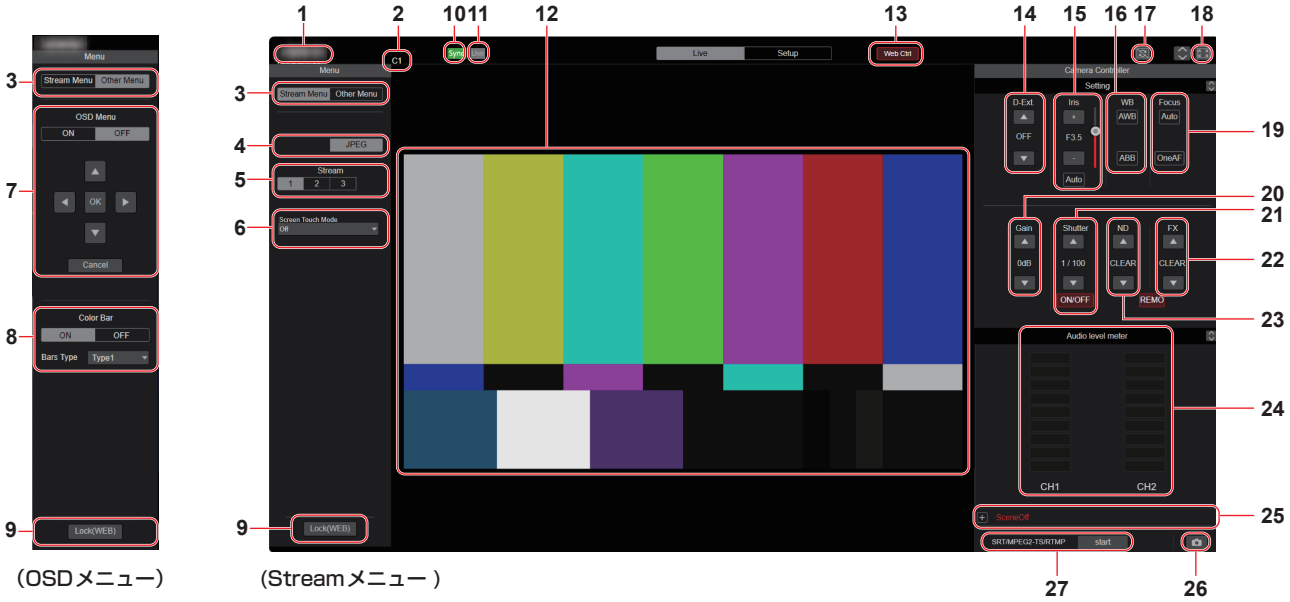
Web画面からの操作

ライブ画面 [Live]

パーソナルコンピューターから、カメラ画像の表示や、カメラに対してアイリス、シャッターなどの制御を行います。

操作画面表示ボタン
操作ボタンを拡大した画面を表示します。

拡張パネル表示ボタン
（115ページ）



（OSDメニュー）　（Streamメニュー ）

1.カメラタイトル表示部

システム画面[System]の[Live page]内の [Camera title]（122ページ）で設定した本機の名称が表示されます。

2.カメラ番号表示部

システム画面[System]の[Basic Config]内の [CAMERA NUMBER]で設定したカメラ番号を表示します。
例）CAMERA NUMBERが10の場合C10と表示されます（カメラ番号の先頭にC表示）

3.メニュー切り替え [Stream Menu]/[Other Menu]

メニュー表示を切り替えます。
Streamメニューを表示しているときに[Other Menu]をクリックすると、Otherメニューが表示されます。
Otherメニューを表示しているときに[Stream Menu]をクリックすると、Streamメニューが表示されます。

4.Compressionボタン [Compression]

JPEG [JPEG]	JPEG画像が表示されます。

5.Streamボタン [Stream]

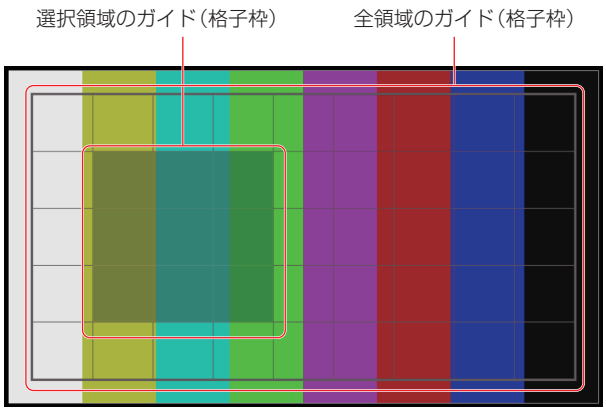
1 [1]	ボタンが灰色に変わり、メインエリアの画像が、[JPEG(1)]で設定した内容（126ページ）に従って表示されます。
2 [2]	ボタンが灰色に変わり、メインエリアの画像が、[JPEG(2)]で設定した内容（126ページ）に従って表示されます。
3 [3]	ボタンが灰色に変わり、メインエリアの画像が、[JPEG(3)]で設定した内容（126ページ）に従って表示されます。

NOTE

- [Video over IP] – [JPEG]の[JPEG(1)]、[JPEG(2)]、[JPEG(3)]（126ページ）で選択している解像度で表示されます。
- 解像度が[1920×1080]または[1280×720]の場合、Webブラウザーの画面の大きさによって、実際のサイズよりも縮小される場合があります。
- 次のような場合、[Image Capture Size]ボタンの選択状態は、[Video over IP] – [Initial display setting]の[Stream]（125ページ）での設定に戻ります。
  - いったん、別の画面に移動した場合
  - 画面を更新した場合

6. Auto Iris Window

[PAINT] − [IRIS] − [WINDOW SELECT]が[5]のときに有効です。



7. OSDメニュー操作 [OSD Menu]

ON OFF [ON] [OFF]	カメラのOSDメニューの表示・非表示を切り替えます。
Cancel [Cancel]	設定変更中の選択をキャンセルします。変更前の設定に戻ります。
 [▲] [▼] [◀] [▶] [OK]	メニュー操作を行います。 [▲][▼][◀][▶]ボタンで項目の選択を行います。 選択した項目にサブメニューがあるときは、[OK]ボタンを押すとサブメニューが表示されます。 最下層の設定画面で、任意の項目にカーソルを合わせて[OK]ボタンを押すと、選択した項目の設定値が点滅します。 通常のメニューは、点滅表示状態で設定値を変更したらすぐに設定が反映されますが、[OK]ボタンを押して点滅が止まり設定が確定された時点で反映されるメニューもあります。

NOTE

- IP映像配信時（H.264/H.265/M-JPEG）に、OSDメニュー操作が遅れる場合があります。[IP SIGNAL] − [STREAMING COMMON] − [CHAR]の設定を[OFF]にすることで、スムーズなOSDメニュー操作が可能となります。

8. カラーバーボタン [Color Bar]

ON OFF [ON] [OFF]	カラーバー信号の表示・非表示を切り替えます。
Bars Type SMPTE [SMPTE] [FULL] [ARIB FHD] [ARIB UHD] [ARIB 2020/HLG]	表示するカラーバーのTYPE1:SMPTE、TYPE2:FULL、TYPE3:ARIB(FHD)、TYPE4:ARIB(UHD)、TYPE5:ARIB(2020/HLG)を切り替えます。 [Color Bar]が[ON]のときに有効です。

9. 操作ロックボタン [Lock]

Lock(WEB) [Lock(WEB)]	ライブ画面[Live]のアイリス・ゲイン・シャッターなどの操作をロックし、誤動作を防止することができます。ロック中はボタンが赤色に変わり、再度ボタンをクリックすることでロックを解除できます。
Lock(CAM) [Lock(CAM)]	ROPのカメラロック機能により、本機がロック状態となった場合に表示され、クリックすることでカメラロック状態を解除することができます。

NOTE

- [Lock（WEB）]機能によるロック状態は実行したWebブラウザーで状態を保持しているため、Webブラウザーを再表示するとロック状態は解除されます。
- [Lock（CAM）]機能によるロック状態はカメラ本体に保持しているため、ROPでカメラロック機能を解除するか、ロック中にWebブラウザーから[Lock（CAM）]を解除する必要があります。
- Webブラウザーから[Lock（CAM）]機能を有効にすることはできません。

10. SYNCステータス表示 [Sync]

Sync	本機は、REF SIGNALで外部の同期源に対し同期しています。
Sync	本機は、外部の同期源に対し非同期状態です。

NOTE

- 本機の時刻設定によっては、外部の同期源を入力してから、本機が同期するまで数分かかることがあります。

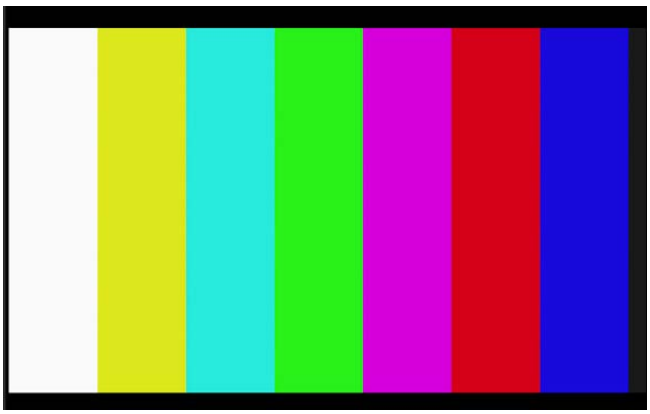
11. ストリーミング配信ステータス表示 [Live]

Live	本機は、外部機器（ソフト）に対して、IPでのストリーミング配信中です。
Live	本機は、外部機器（ソフト）に対して、IPでのストリーミング配信をしていません。

NOTE

- M-JPEG、ST2110の配信状態は含まれません。

12. メインエリア（IP映像表示エリア）



接続中のカメラのIP 映像が表示されます。
カメラのタリーランプが点灯中の場合、映像の上部に赤と緑のラインが表示されます。赤タリー信号受信時には赤のライン、緑タリー信号受信時には緑のライン、黄タリー信号受信時には黄のラインが表示されます。
タリーランプが消灯すると、元に戻ります。

NOTE

- お使いのパーソナルコンピューターによっては、撮影シーンが大きく変わる際に、搭載OSの描画処理（GDI）の制約により、ティアリング（画面の一部がずれて表示される現象）が発生することがあります。
- JPEG画像の画像更新速度は、ネットワークの環境、お使いのパーソナルコンピューターの性能、被写体、アクセス数により遅くなることがあります。
- 本機に同時にアクセスできるユーザーは、IP映像を受信しているユーザーを合計した14人までです。
  ただし、IP映像の通信帯域が上限に達した場合は、アクセスできるユーザー数が14人以下に制限される場合があります。
- [Tracking Data Output]の[IP(UDP)]が[On]のとき、IP配信映像に遅延またはフレーム欠落が発生する場合があります。（158ページ）
  IP配信映像の遅延およびフレーム欠落を避けたい場合は、[Tracking Data Output]の[IP(UDP)]を[Off]にすることを推奨します。
- IP映像配信時（H.264/H.265/M-JPEG）に、OSDメニュー操作が遅れる場合があります。[IP SIGNAL] − [STREAMING COMMON] − [CHAR]の設定を[OFF]にすることで、スムーズなOSDメニュー操作が可能となります。

13. Web Ctrl

Web Ctrl	操作ロックを解除します。
Web Ctrl	ライブ画面[Live]のとき： [Live]ボタン/[Setup]ボタン以外のすべての操作をロックします。 Web設定画面[Setup]のとき： [Paint]/[Lens]などの操作をロックします。

14. デジタルエクステンダー[D-Ext]

×1.0 [× 1.0]	ズーム（倍率）を1.0 倍にします。
D-Ext.(x1.4) [D-Ext.(× 1.4)]	デジタルエクステンダー x1.4の有効/無効を切り替えます。
D-Ext.(x2.0) [D-Ext.(× 2.0)]	デジタルエクステンダー x2.0の有効/無効を切り替えます。

15. 明るさ[Iris]

Iris + F9.10 - [+] [−]	[+]：アイリスを開く方向に段階的に動作します。オート時は無効です。 [−]：アイリスを閉じる方向に段階的に動作します。オート時は無効です。 中央にF値が表示されます。
Auto [Auto]	アイリス調整のオート／マニュアルを切り替えます。オート（Auto）の場合は、画像の明るさ調整を自動で行います。

16. フォーカス[Focus]

Focus Auto [Auto]	フォーカスのオート／マニュアルを切り替えます。
OneAF [OneAF]	フォーカス（焦点）がマニュアルのときに押すと、一度だけ自動でフォーカス（焦点）を調整します。オートのときに押すと、フォーカス（焦点）を再調整します。

17. リアルタイム更新切替ボタン

	Webブラウザーを動作させるパーソナルコンピューターの動作性能によっては、映像がコマ落ちして見える場合があります。このボタンを押してリアルタイム更新機能を無効化することで、問題が改善する場合があります。 リアルタイム更新対象データは以下の通りです。 - Iris - WB - Gain - Shutter - ND - FX

NOTE

- ボタンが有効のときはセンタークリック機能が無効化されます。
- ボタンが有効のときはAudio Level Meter機能が無効化されます。

18. 全画面表示ボタン

	画像が全画面で表示されます。 ライブ画面[Live]に戻るには、全画面で表示されているときにパーソナルコンピューターのキーボードの[Esc]キーを押します。 表示される画面のアスペクト比は、モニターに合わせて調整されます。

19. ホワイトバランス [WB]

 [AWB]	自動ホワイトバランス(AWB)を行い、ホワイトバランスがセットされます。
 [ABB]	自動ブラックバランス(ABB)を行い、ブラックバランスがセットされます。

20. ゲイン [Gain]

	映像のゲインを上げます。
	映像のゲインを下げます。

NOTE

- ボタンの間には、現在の設定が表示されます。

21. シャッター [Shutter]

	シャッターモードを[Off]→[Step]→[Synchro]→[Auto]の順に切り替えます。
	シャッターモードを[Auto]→[Synchro]→[Step]→[Off]の順に切り替えます。

NOTE

- ボタンの間には、現在の設定が表示されます。

22. FX フィルター [FX]

	FXフィルターを[CLEAR]→[CLEAR(OP)]→[CROSS]→[DFO]→[CAP]の順に切り替えます。
	FXフィルターを[CAP]→[DFO]→[CROSS]→[CLEAR(OP)]→[CLEAR]の順に切り替えます。

NOTE

- ボタンの間には、現在の設定が表示されます。

23. NDフィルター [ND]

	NDフィルターの透過率を[CLEAR]→[1/2 ND]→[1/4 ND]→[1/16 ND]→[1/64 ND]の順に切り替えます。
	NDフィルターの透過率を[1/64 ND]→[1/16 ND]→[1/4 ND]→[1/2 ND]→[CLEAR]の順に切り替えます。

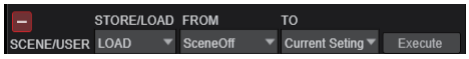
NOTE

- ボタンの間には、現在の設定が表示されます。

24. Audio Level Meter

CH1およびCH2のオーディオレベルを表示します。

25. シーン/ユーザー [Scene/User]



[Scene1]～[Scene8]、[User1]～[User3]

[Scene1]～[Scene8]もしくは[User1]～[User3]を選択して、撮影モードを切り替えます。

	**Scene/User用拡張パネル表示ボタン** シーン/ユーザーファイル切り替え用のプルダウンを表示します。 表示中は[－]ボタンに表示が変わり、再度ボタンを押すと非表示となります。

NOTE

- ライブ画面[Live]表示直後、シーン/ユーザーファイル切り替え用のプルダウンは表示されていません。[Scene/User用拡張パネル表示ボタン]を押すと表示されます。

26. スナップショットボタン

	スナップショット(静止画1枚)を取得し、その画像が別ウィンドウで表示されます。

NOTE

- ネットワーク環境などにより、スナップショットの取得に一定の時間以上かかる場合には、画像が表示されないことがあります。
- [JPEG transmission(1)]～[JPEG transmission(3)](126ページ)のすべてを[Off]に設定している場合、スナップショットボタンで取得できる画像は黒画像となります。

27. SRT/MPEG2-TS/RTMP

 (配信停止中)  (配信中)	あらかじめ登録した配信先にストリーミングを開始します。 配信中はボタンが赤色に変わり、再度ボタンをクリックすると配信が停止します。

NOTE

- [Streaming mode]が[RTMP]、[SRT(H.264)]、[SRT(H.264 UHD)]、[SRT(H.265)]、[SRT(H.265 UHD)]、[MPEG2-TS over UDP]のときのみ、このボタンは操作できます。
- [Streaming mode]が[SRT(H.264)]、[SRT(H.264 UHD)]、[SRT(H.265)]、[SRT(H.265 UHD)]のときは、Client(Caller)モードに設定されているときのみこのボタンをクリックすることで配信を開始することができます。

Web画面からの設定

Web設定画面 [Setup]

本機に対して各種設定を行います。

NOTE

- 設定メニューは、アクセスレベルが「1.Administrator」のユーザーのみ操作できます。
  アクセスレベルの設定方法については、160ページを参照してください。
- 設定メニュー表示中に、OSDメニューや他のWebブラウザーから設定値を変更した場合、設定値と表示値が一致しないことがあります。その場合、Webブラウザーの設定メニュー表示画面を更新してください。



1.設定状態 [Setting status]

ボタンをクリックすると、設定状態画面[Setting status]が表示されます。(118ページ)

2.システム設定 [System]

ベーシック設定ボタン [Basic Config]

ボタンをクリックすると、ベーシック設定画面[Basic Config]が表示されます。(118ページ)

時計設定ボタン [Date&Time]

ボタンをクリックすると、時計設定画面[Date&Time]が表示されます。(122ページ)

ライブページ設定ボタン [Live page]

ボタンをクリックすると、ライブページ画面[Live page]が表示されます。(122ページ)

3.シグナル設定 [Signals]

アウトプット設定ボタン [Output]

ボタンをクリックすると、アウトプット設定画面[Output]が表示されます。(123ページ)

リターン設定ボタン [Return]

ボタンをクリックすると、リターン設定画面[Return]が表示されます。(124ページ)

4.カメラ画面 [Image/Audio]

IP映像設定ボタン [Video over IP]

ボタンをクリックすると、IP映像設定画面[Video over IP]が表示されます。(124ページ)

MoIP設定ボタン [Media over IP]

ボタンをクリックすると、MoIP設定画面[Media over IP]が表示されます。(134ページ)

音声設定ボタン [Audio]

ボタンをクリックすると、音声設定画面[Audio]が表示されます。(140ページ)

ペイント設定ボタン [Paint]

ボタンをクリックすると、ペイント設定画面[Paint]が表示されます。(142ページ)

モニターディスプレイ設定ボタン [Monitor Display]

ボタンをクリックすると、モニターディスプレイ設定画面[Monitor Display]が表示されます。(156ページ)

レンズ設定ボタン [Lens]

ボタンをクリックすると、レンズ設定画面[Lens]が表示されます。(157ページ)

5.連携機能 [Linkage]

トラッキングデータ出力設定ボタン [Tracking Data Output]
ボタンをクリックすると、トラッキングデータ出力設定画面[Tracking Data Output]が表示されます。（158ページ）

6.ユーザー管理設定 [Access mng.]

ユーザー認証設定ボタン [User auth.]
ボタンをクリックすると、ユーザー認証設定画面[User auth.]が表示されます。（160ページ）

ホスト認証設定ボタン [Host auth.]
ボタンをクリックすると、ホスト認証設定画面[Host auth.]が表示されます。（161ページ）

ROP認証設定ボタン [Rop]
ボタンをクリックすると、ROP認証設定画面[Rop]が表示されます。（162ページ）

7.ネットワーク設定 [Network]

ネットワーク設定ボタン [Network]
ボタンをクリックすると、ネットワーク設定画面[Network]が表示されます。（163ページ）

ネットワーク詳細設定ボタン [Advanced]
ボタンをクリックすると、ネットワーク詳細設定画面[Advanced]が表示されます。（168ページ）

8.メンテナンス設定 [Maintenance]

システムログボタン [System log]
ボタンをクリックすると、システムログ画面[System log]が表示されます。（180ページ）

メンテナンスボタン [Maintenance]
ボタンをクリックすると、メンテナンス画面[Maintenance]が表示されます。（181ページ）

製品情報確認ボタン [Product info.]
ボタンをクリックすると、製品情報確認画面[Product info.]が表示されます。（181ページ）

バックアップボタン [Backup]
ボタンをクリックすると、バックアップ画面[Backup]が表示されます。（182ページ）

9.メインエリア
メニュー画面が表示されます。

設定状態画面 [Setting status]



Model no.
本機の品番が表示されます。

Firmware Version
本機のファームウェアバージョンが表示されます。
バージョン詳細情報は製品情報確認画面 [Product info.] を参照してください。

System Frequency
本機のフレーム周波数が表示されます。

System Format
本機の映像フォーマットが表示されます。

Streaming mode
本機のストリーミングモードが表示されます。

システム画面 [System]

ベーシック設定画面 [Basic Config]

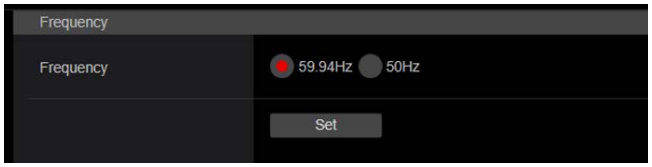
■Setting status



Frequency
フレーム周波数の設定を表示します。

Format
映像フォーマットの設定を表示します。

■ Frequency

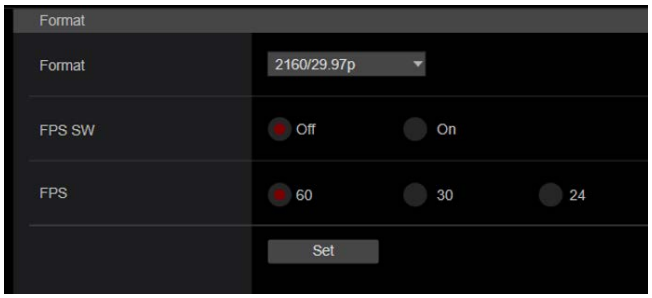


Frequency [59.94Hz、50Hz]
フレーム周波数を切り替えます。
設定は [Set] ボタンで確定します。
工場出荷時の設定：59.94Hz

NOTE

- フレーム周波数の切り替えを行った場合、本機は自動的に再起動します。

■ Format
設定は [Set] ボタンで確定します。



Format
[59.94Hz] のとき
2160/59.94p、2160/29.97p、2160/23.98p、
2160/120fps、1080/59.94p、1080/29.97p、
1080/23.98p、1080/240fps、1080/180fps、
1080/120fps
[50Hz] のとき
2160/50p、2160/25p、2160/100fps、1080/50p、
1080/25p、1080/200fps , 1080/150fps , 1080/100fps

映像フォーマットを変更します。

NOTE

- システムフォーマット変更時にストリーミングが停止します。
- [Video over IP]の[Streaming mode]で[H.264(UHD)]、[H.265(UHD)]、[JPEG(UHD)]、[RTMP(UHD)]、[SRT(H.264 UHD)]、[SRT(H.265 UHD)]を選択するためには、ここで4Kフォーマットを選択する必要があります。

FPS SW [Off、On]

FPS機能の有効/無効を設定します。

工場出荷時の設定：Off

NOTE

- [Basic Config]－[Format] が [2160/59.94p]または[1080/59.94p]のときのみ設定できます。

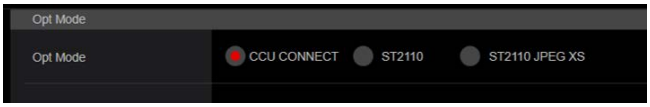
FPS [60、30、24]

[FPS SW]が[ON]のときに、MOSセンサーのフレームレートを設定します。

工場出荷時の設定：60

■ Opt Mode

Opt端子の動作モードを設定します。



Opt Mode [CCU CONNECT、ST2110、ST2110 JPEG XS]

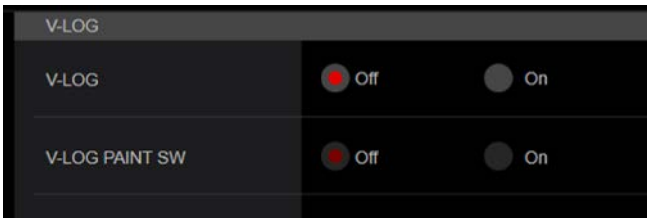
OPTモードを設定します。

工場出荷時の設定：CCU CONNECT

NOTE

- [Opt Mode]を変更すると、本機は自動的に再起動します。
- [ST2110 JPEG XS]を選択しているときは、以下の各機能は利用できません。
  - NDI High Bandwidth（133ページ）

■ V-LOG



V-LOG [Off、On]

V-LOGモードの設定をします。

Off	カメラで詳細な画質調整を行う設定にします。
On	幅広い階調と広いラティチュード（露光範囲）が得られるガンマカーブに設定します。 撮影後のグレーディング処理が必要です。

工場出荷時の設定：Off

NOTE

- [Basic Config]－[HDR]が[On]のときは、設定できません。
- [Basic Config]－[V-LOG]が[On]のときは、画質調整機能が制限されます。

V-LOG PAINT SW [Off、On]

[Basic Config]－[V-LOG]が[On]のときに、[PAINT]メニューを設定可能にするかどうかを選択します。

工場出荷時の設定：Off

NOTE

- [Basic Config]－[V-LOG]が[Off]のときは、設定できません。

■ HDR



HDR [On、Off]

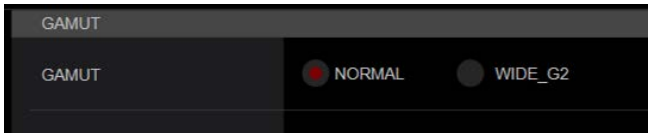
HDR モードの有効/無効を設定します。

工場出荷時の設定：Off

NOTE

- [Basic Config]－[V-LOG]が[On]のときは、設定できません。

■ GAMUT



GAMUT [NORMAL、WIDE_G2]

色域を設定します。

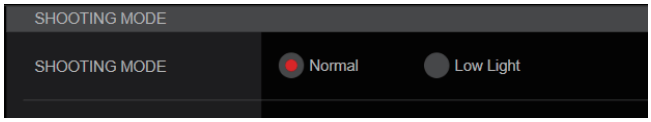
NORMAL	BT.709相当の色域です。
WIDE_G2	BT.2020相当の色域ですV

工場出荷時の設定：WIDE_G2

NOTE

- [Basic Config]－[HDR]が[Off]のときは、設定できません。

■SHOOTING MODE



SHOOTING MODE [Normal、Low Light]

撮影環境に応じた撮影モードを選択します。

Normal	通常の明るさの環境で撮影するときに選択します。
Low Light	高感度撮影を選択します。（暗い環境での撮影に適しています）

工場出荷時の設定：Normal

■ BAR



Bar [Off、On]

Off	カメラ映像を出力します。
On	カラーバーを出力します。

工場出荷時の設定：Off

Color Bar Type
[TYPE1:SMPTE、TYPE2:FULL、TYPE3:ARIB(FHD)、TYPE4:ARIB(UHD)、TYPE5:ARIB(2020/HLG)]

表示するカラーバーのタイプを選択します。

工場出荷時の設定：TYPE1:SMPTE

NOTE

- [Bar]が[On]のときは、HDR/GAMUT/V-LOGの各種設定値にかかわらず、すべての[HDR]が[Off]/[V-LOG]が[Off]のカラーバーを出力します。
- IP配信系（H.264/H.265/M-JPEG）のカラーバーは、SMPTE準拠しません。
- [TYPE4:ARIB(UHD)]/[TYPE5:ARIB(2020/HLG)]では、709設定時は709が出力されます。
- IP配信系（H.264/H.265/M-JPEG）では、TYPE3:ARIB(FHD)/TYPE4:ARIB(UHD)/TYPE5:ARIB(2020/HLG)は出力されません。

■ TALLY



Tally Guard [Off、On]

Rタリー信号が入力中に限り、以下の機能を抑止します。

- オートホワイトバランス、オートブラックバランスの動作
- OSDメニュー表示
- OSDステータス表示

工場出荷時の設定：Off

■ SYNC SIGNAL

映像/音声出力信号の同期をとるための設定を行います。



REF SIGNAL

BBS/TRI-LEVEL SYNC	G/L端子からのアナログ基準信号で同期をとります。
PTP	SFP 1/SFP 2端子からのPTPにより同期をとります。

工場出荷時の設定：BBS/TRI-LEVEL SYNC

NOTE

- [Basic Config]－[Opt Mode]が[CCU CONNECT]のときは、[PTP]は選択できません。
- [IP Signal]－[ST2110]－[MoIP Mode]が[Off]のときは、[PTP]は選択できません。

GENLOCK

位相調整を行います。

H PHASE-COARSE [-100～100]

ゲンロック時の水平位相の粗調整を行います。

工場出荷時の設定：0

H PHASE-FINE [-100～100]

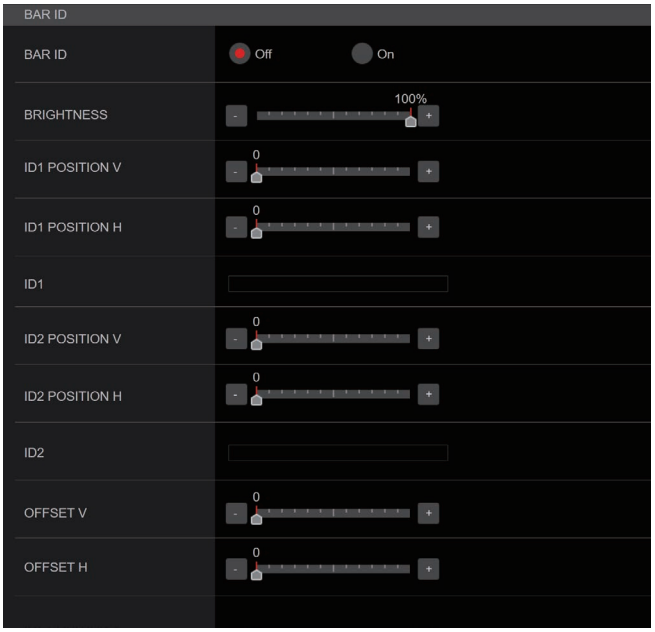
ゲンロック時の水平位相の微調整を行います。

工場出荷時の設定：0

NOTE

- [Basic Config]－[Sync Signal]－[Ref Signal]が[PTP]のときは、設定できません。

■ BAR ID



BAR ID [Off、On]

カラーバー上のID表示のOff/Onを選択します。
工場出荷時の設定：Off

BRIGHTNESS [0～100%]

カラーバー上のカメラIDの文字色を設定します。
工場出荷時の設定：100%

ID1 POSITION V [0～5]

カラーバー上のカメラID1の表示開始位置（V方向：行番号）をフォント単位で指定します。
工場出荷時の設定：0

ID1 POSITION H [0～15]

カラーバー上のカメラID1の表示開始位置（H方向：列番号）をフォント単位で指定します。
工場出荷時の設定：0

ID1

[BAR ID]の文字列を設定します。
最大16文字
（半角英数字、空白、! # % & ' ( ) * + , - . / : ; < = > ? [ ] _ ~ $ @ |）

ID2 POSITION V [0～5]

カラーバー上のカメラID2の表示開始位置（V方向：行番号）をフォント単位で指定します。
工場出荷時の設定：1

ID2 POSITION H [0～15]

カラーバー上のカメラID2の表示開始位置（H方向：列番号）をフォント単位で指定します。
工場出荷時の設定：0

ID2

[BAR ID]の文字列を設定します。
最大16文字
（半角英数字、空白、! # % & ' ( ) * + , - . / : ; < = > ? [ ] _ ~ $ @ |）

OFFSET V [0～89]

[BAR ID]の表示位置（フォント内の画素オフセット位置：V方向）を微調整します。
工場出荷時の設定：0

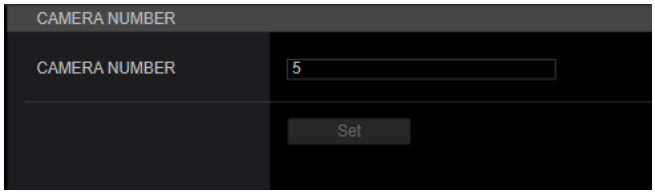
OFFSET H [0～79]

[BAR ID]の表示位置（フォント内の画素オフセット位置：H方向）を微調整します。
工場出荷時の設定：0

NOTE

- BAR IDは、SDI、SMPTE ST2110、NDI High Bandwidthの各出力にのみ表示し、IP配信（H.264/H.265/M-JPEG）には表示されません。

■ CAMERA NUMBER



CAMERA NUMBER [1～99]

本機のカメラ番号を設定します。
工場出荷時の設定：1

NOTE

- CCUと接続時にはCCUに登録されたカメラ番号がCAMERA NUMBERに反映されます。

時計設定画面 [Date&Time]

時計の設定を行います。
[PC Synchronization]、[NTP]、[Manual]の3種類の方法を設定できます。
設定は[Set]ボタンで確定します。



Auto

PC Synchronization

[Execute]ボタンをクリックすると、接続しているパーソナルコンピューターの日付時刻に本機を同期させて設定します。

NOTE

- パーソナルコンピューターのタイムゾーンは、本機に反映されません。

NTP

[NTP >>]をクリックするとNTPサーバーの設定画面を表示します。（168ページ）

Manual

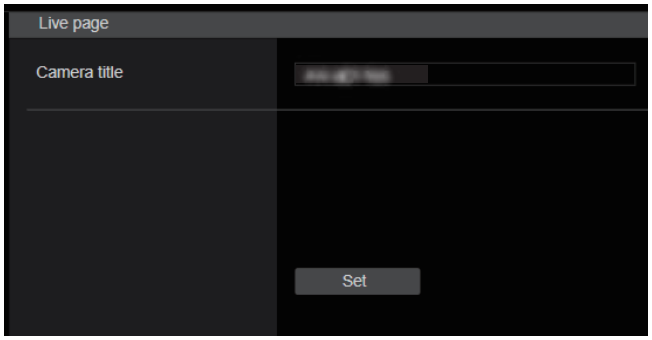
Date/Time

「月」、「日」、「年」の設定と「時」、「分」、「秒」の設定を行います。

NOTE

- 時刻は、24時間表示です。
- 出荷時は時計は設定されていません。本項目で時計を設定の上、ご利用ください。

ライブページ画面 [Live page]



Camera title

本機の名称を入力します。
[Set]ボタンをクリックすると、入力した名称がカメラタイトル表示部に表示されます。

- 工場出荷時の設定は本機の製品品番です。
- 半角0～20文字を入力できます。
- 使用可能な文字は次の通りです。

半角数字	0123456789
半角英字 （大文字／小文字）	ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ abcdefghijklmnopqrstuvwxyz
半角記号	! #$%´()*+,-./:;<=>?@[]^_`{|}~\

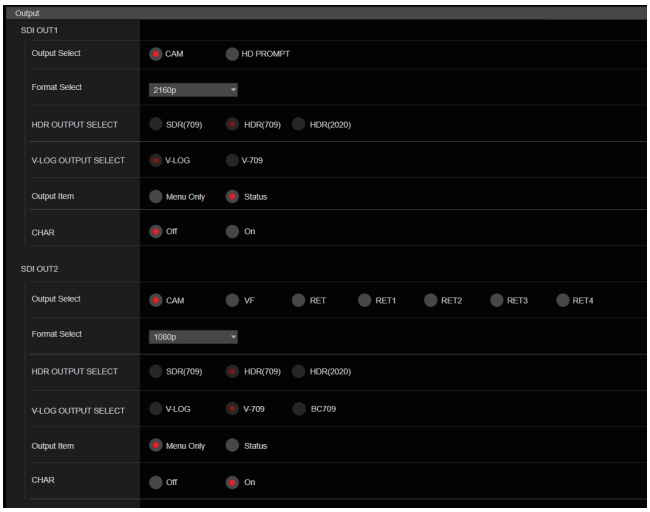
NOTE

- NDI High Bandwidthでクライアントに表示されるカメラ名にも対応します。

信号設定画面 [Signals]

出力設定画面 [Output]

■ Output



SDI OUT1

SDI OUT1 端子の出力設定を行います。

Output Select [CAM、HD PROMPT]

CAM	カメラ映像を出力します。
HD PROMPT	HDのプロンプター映像を出力します。

工場出荷時の設定：CAM

Format Select [2160p、1080p、1080i]

出力フォーマットを設定します。

工場出荷時の設定：2160p

NOTE

- [2160p]は、[Output Select]が[CAM]のときのみ選択できます。

HDR OUTPUT SELECT [SDR(709)、HDR(709)、HDR(2020)]

[HDR]が[On]のときに出力する信号を選択します。

SDR(709)	SDR出力信号を選択します。
HDR(709)	HDR出力（BT.709相当の色域）信号を選択します。
HDR(2020)	HDR出力（BT.2020相当の色域）信号を選択します。

工場出荷時の設定：HDR(2020)

NOTE

- [Basic Config] – [HDR]が[Off]のときは、設定できません。
- [HDR(2020)]は、[Basic Config] – [GAMUT]が[WIDE_G2]のときのみ選択できます。

V-LOG OUTPUT SELECT [V-LOG、V-709、BC709]

[V-LOG]が[On]のときに出力する信号を選択します。

V-LOG	幅広い階調とラティチュード（露光範囲）が得られるガンマカーブで出力されます。
V-709	プレビューするのに適した映像に変換し出力します。
BC709	放送に適した映像に変換して出力します。

工場出荷時の設定：V-LOG

NOTE

- [Basic Config] – [V-LOG]が[Off]のときは、設定できません。

Output Item [Menu Only、Status]

出力映像の重畳する、OSDの種類を選択します。

Menu Only	OSDメニューのみを表示します。
Status	OSDメニューおよびOSDステータスを表示します。

工場出荷時の設定：Menu Only

CHAR [Off、On]

OSDを重畳させるかどうかを設定します。

工場出荷時の設定：On

SDI OUT2

SDI OUT2端子の出力設定を行います。

Output Select [CAM、VF、RET、RET1、RET2、RET3、RET4]

CAM	カメラ映像を出力します。
VF	ビューファインダー映像を出力します。
RET	リターン映像を出力します。
RET1 RET2 RET3 RET4	固定のリターン映像を出力します。

工場出荷時の設定：VF

Format Select [2160p、1080p、1080i]

出力フォーマットを設定します。

工場出荷時の設定：1080i

NOTE

- [2160p]は、[OPT MODE]が[CCU CONNECT]かつ[Output Select]が[CAM]のときのみ選択できます。

HDR OUTPUT SELECT [SDR(709)、HDR(709)、HDR(2020)]

[HDR]が[On]のときに出力する信号を選択します。

SDR(709)	SDR出力信号を選択します。
HDR(709)	HDR出力（BT.709相当の色域）信号を選択します。
HDR(2020)	HDR出力（BT.2020相当の色域）信号を選択します。

工場出荷時の設定：HDR(2020)

NOTE

- [Basic Config] – [HDR]が[Off]のときは、設定できません。
- [HDR(2020)]は、[Basic Config] – [GAMUT]が[WIDE_G2]のときのみ選択できます。

V-LOG OUTPUT SELECT [V-LOG、V-709、BC709]

[V-LOG]が[On]のときに出力する信号を選択します。

V-LOG	幅広い階調とラティチュード（露光範囲）が得られるガンマカーブで出力されます。
V-709	プレビューするのに適した映像に変換し出力します。
BC709	放送に適した映像に変換して出力します。

工場出荷時の設定：V-LOG

NOTE

- [Basic Config] – [V-LOG]が[Off]のときは、設定できません。

Output Item [Menu Only、Status]

出力映像の重畳する、OSDの種類を選択します。

Menu Only	OSDメニューのみを表示します。
Status	OSDメニューおよびOSDステータスを表示します。

工場出荷時の設定：Menu Only

CHAR [Off、On]

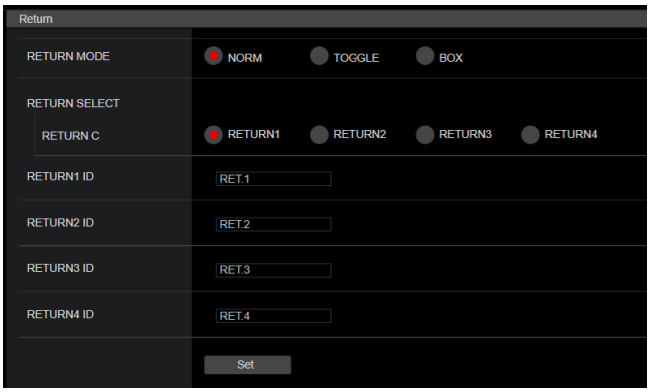
OSDを重畳させるかどうかを設定します。

工場出荷時の設定：On

リターン設定画面 [Return]

■ Return

設定は[Set]ボタンで確定します。



RETURN MODE [NORM、TOGGLE、BOX]

〈RET〉スイッチの操作モードを設定します。

工場出荷時の設定：NORM

RETURN SELECT

RETURN C [RETURN1、RETURN2、RETURN3、RETURN4]

リターンC に割り当てる信号を設定します。

工場出荷時の設定：RETURN1

RETURN1 ID
RETURN2 ID
RETURN3 ID
RETURN4 ID

リターン映像に名称を設定することができます。

5文字を設定できます。

半角英数字、空白、! # % & ' ( ) * + , - . / : ; < = > ? [ ] _ ~ $ @ |

工場出荷時の設定：

RETURN1 ID：RET.1
RETURN2 ID：RET.2
RETURN3 ID：RET.3
RETURN4 ID：RET.4

カメラ画面 [Image/Audio]

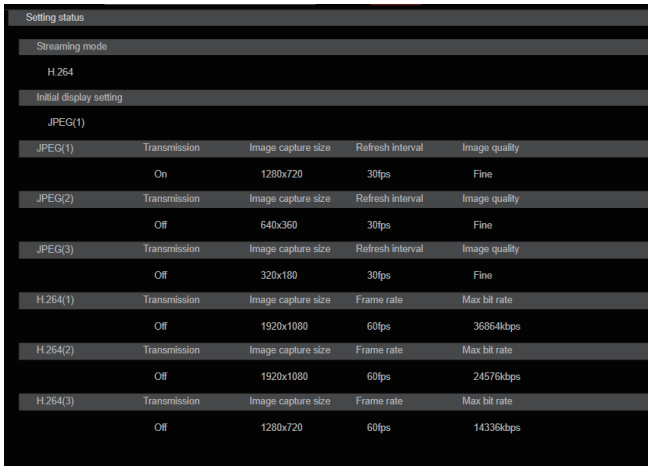
IP 映像設定画面 [Video over IP]

JPEG画像、H.264画像の設定や、画質に関する設定を行います。

NOTE

- IP制御は行うがIP映像を配信したくない場合は、[JPEG transmission]、[H.264 transmission]、[H.265 transmission]、[RTMP transmission]、[SRT transmission]および[Ts Transmission]を[Off]にしてください。
- IP映像を配信中に、本機に接続しているネットワークケーブルを抜いたり、ネットワーク設定を変更すると、配信が停止する場合があります。

■ Setting status



Streaming mode

ストリーミングモードの設定を表示します。

Initial display setting

ライブ画面[Live]を開いたときに表示する画像の設定を表示します。

JPEG

JPEGの配信設定を表示します。

H.264

H.264の配信設定を表示します。

[Streaming mode]が[H.265]、[H.265(UHD)]、[SRT(H.265)]、[SRT(H.265 UHD)]の場合は表示されません。

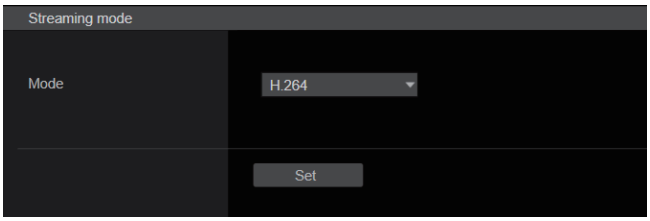
H.265

H.265の配信設定を表示します。

[Streaming mode]が[H.265]、[H.265(UHD)]、[SRT(H.265)]、[SRT(H.265 UHD)]の場合に表示されます。

■ Streaming mode

本機は、[Streaming mode]の切り替えによって、用途に合わせたIP配信動作が可能です。
設定は[Set]ボタンで確定します。



Mode [H.264(UHD)、H.264、H.265(UHD)、H.265、JPEG(UHD)、RTMP、RTMP(UHD)、SRT(H.264)、SRT(H.264 UHD)、SRT(H.265)、SRT(H.265 UHD)、MPEG2-TS over UDP、NDI High Bandwidth]

H.264(UHD)	マルチチャンネルでIP映像の配信が可能です。H.264形式で4K画像のIP配信を行います。 ・本機のライブ画面[Live]には、H.264形式の4K画像を表示できません。 4K画像を表示するには、4K画像対応の外部機器や外部ソフトウェアをお使いください。
H.264	マルチチャンネルでIP映像の配信が可能です。H.264形式でFull HD画像のIP配信を行います。
H.265(UHD)	マルチチャンネルでIP映像の配信が可能です。H.265形式で4K画像のIP配信を行います。 ・本機のライブ画面[Live]には、H.265形式の4K画像を表示できません。 4K画像を表示するには、4K画像対応の外部機器や外部ソフトウェアをお使いください。
H.265	マルチチャンネルでIP映像の配信が可能です。H.265形式でFull HD画像のIP配信を行います。
JPEG(UHD)	マルチチャンネルでIP映像の配信が可能です。JPEG形式で4K画像のIP配信を行います。
RTMP	RTMP/RTMPSサーバーにH.264形式でFull HD画像のIP配信を行います。
RTMP(UHD)	RTMP/RTMPSサーバーにH.264形式で4K画像のIP配信を行います。
SRT(H.264)	SRT対応デコーダーやサービスにH.264形式でFull HD画像のIP配信を行います。
SRT(H.264 UHD)	SRT対応デコーダーやサービスにH.264形式で4K画像のIP配信を行います。
SRT(H.265)	SRT対応デコーダーやサービスにH.265形式でFull HD画像のIP配信を行います。
SRT(H.265 UHD)	SRT対応デコーダーやサービスにH.265形式で4K画像のIP配信を行います。
MPEG2-TS over UDP	マルチチャンネルでIP映像の配信が可能です。H.264形式でFull HD画像のIP配信を行います。
NDI High Bandwidth	ネットワーク上でのNDI High Bandwidthと互換性のあるソフトウェアアプリケーションやハードウェアに対して映像を送ります。

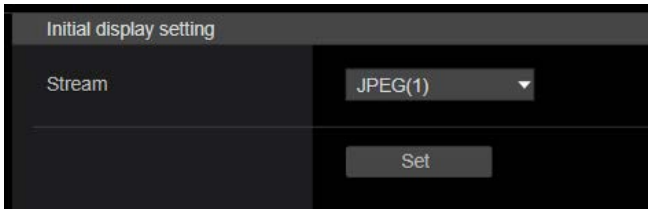
工場出荷時の設定: H.264

NOTE

- [Tracking Data Output]の[IP(UDP)]が[On]のとき、IP配信映像に遅延またはフレーム欠落が発生する場合があります。(158ページ)
  IP配信映像の遅延およびフレーム欠落を避けたい場合は、[Tracking Data Output]の[IP(UDP)]を[Off]にすることを推奨します。
- [Opt Mode]が[ST2110 JPEG XS]のときは、NDI High Bandwidthは選択できません。
- [Format]がUHDのときのみUHDストリーミングモードを選択できます。
- HSモードおよびLOW SKEWモード時は設定できません。

■ Initial display setting

ライブ画面[Live]に表示する初期設定を行います。
設定は[Set]ボタンで確定します。



Stream [JPEG(1)、JPEG(2)、JPEG(3)]

ライブ画面[Live]に表示する画像を選択します。

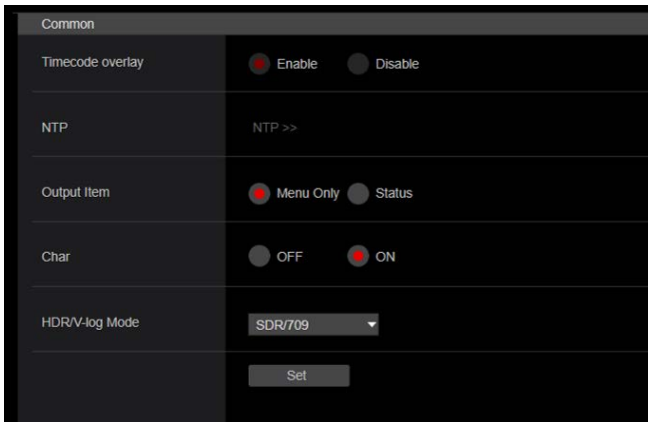
JPEG(1)	静止画(JPEG(1))を表示します。
JPEG(2)	静止画(JPEG(2))を表示します。
JPEG(3)	静止画(JPEG(3))を表示します。

工場出荷時の設定: JPEG(1)

NOTE

- [Streaming mode]に応じて設定が自動で切り替わる場合があります。

■ Common



Timecode overlay [Enable、Disable]

IP配信データにタイムコード情報を重畳するか設定します。
工場出荷時の設定: Disable

NOTE

- 本機能は、NTPが有効時のみ設定可能です。
- 本機能は、NTP同期した時刻情報を重畳します。

NTP

[NTP >>]をクリックするとNTPサーバーの設定画面を表示します。
(168ページ)

Output Item [Menu Only、Status]

出力映像に重畳するキャラクターの内容を設定します。

Menu Only	メニューのときのみ表示
Status	ビューファインダーに表示しているキャラクターと同じものを全て表示

工場出荷時の設定: Menu Only

Char [OFF、ON]

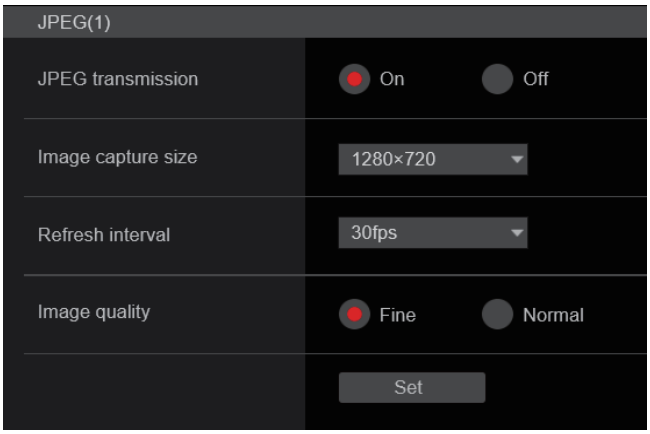
出力映像にキャラクターを重畳するかどうかを設定します。
工場出荷時の設定: ON

HDR/V-log Mode [V-LOG、V709、SDR/709、HDR/709、HDR/2020]

HDR / V-logモードを設定します。
工場出荷時の設定: HDR ON時SDR/709、V-LOG ON時V709

■ JPEG

JPEGの画像設定を行います。
設定は[Set]ボタンで確定します。
JPEG画像の設定は全部で3chあります。



NOTE

- [Streaming mode]が[JPEG(UHD)]または[NDI High Bandwidth]のとき、[JPEG(2)]と[JPEG(3)]の設定はできません。

JPEG transmission [On、Off]

JPEG画像を配信するかどうかを設定します。
工場出荷時の設定: On

Image capture size [3840×2160、1920×1080、1280×720、640×360、320×180]

JPEG画像を表示する際、表示する画像解像度を以下から選択します。

JPEG(1)	3840×2160、1920×1080、1280×720、640×360、320×180
JPEG(2)	640×360、320×180
JPEG(3)	640×360、320×180

工場出荷時の設定:
JPEG(1): 1280×720
JPEG(2): 640×360
JPEG(3): 320×180

NOTE

- [3840×2160]は[Streaming mode]が[JPEG(UHD)]のときに選択できます。

Refresh interval [1fps、4fps、5fps、12fps、12.5fps、15fps、24fps、25fps、30fps]

JPEG画像を更新する速度を以下から選択します。

59.94Hzのとき	1fps/5fps/15fps/30fps
50Hzのとき	1fps/5fps/12.5fps/25fps
23.98Hzのとき	1fps/4fps/12fps/24fps

工場出荷時の設定:
59.94Hzのとき:
JPEG(1): 30fps
JPEG(2): 5fps
JPEG(3): 30fps
50Hzのとき:
JPEG(1): 25fps
JPEG(2): 5fps
JPEG(3): 25fps
23.98Hzのとき:
JPEG(1): 24fps
JPEG(2): 4fps
JPEG(3): 24fps

NOTE

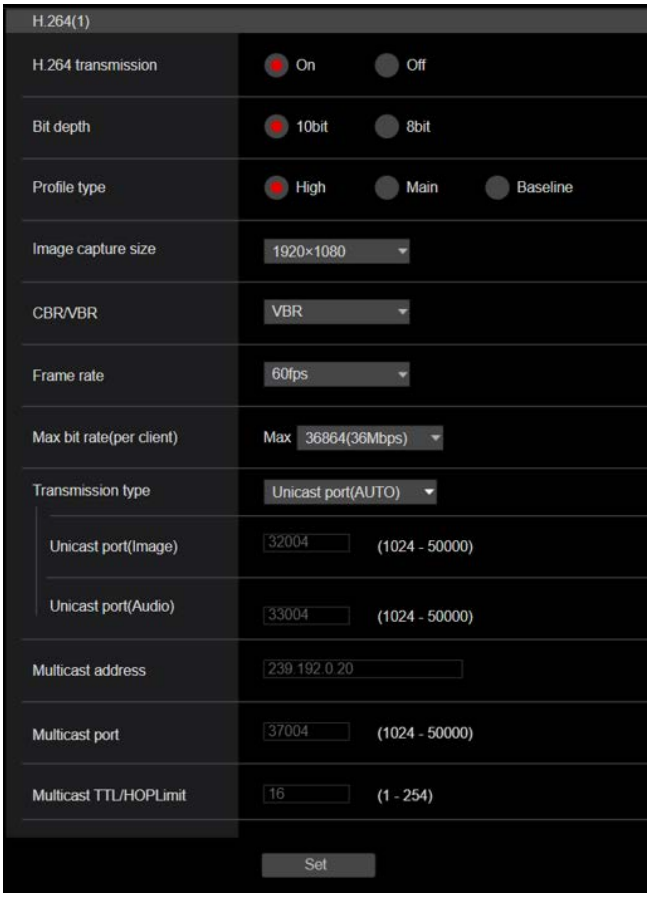
- ネットワークの環境や解像度、画質、同時アクセス数などによっては、設定した値よりも画像更新速度が低下することがあります。
- 設定した画像更新速度で配信されない場合は、解像度や画質を下げることで設定した値に近づけることができます。

Image quality [Fine、Normal]

それぞれの解像度におけるJPEG画像の画質を設定します。
工場出荷時の設定: Fine

■ H.264

H.264の画像設定を行います。
設定は[Set]ボタンで確定します。



NOTE

- [Streaming mode]が[H.264(UHD)]のとき、[H.264(1)]のみ設定が可能です。
- [Streaming mode]が[H.265(UHD)]、[H.265]、[SRT(H.265)]、[SRT(H.265 UHD)]または[NDI High Bandwidth]のとき、H.264の設定はできません。
- RTSP/RTP配信を開始する場合は、以下のURLをデコーダーおよびびアプリケーションに設定してください。
  - H.264(1)の場合：
    rtsp://[本機のIPアドレス]/MediaInput/h264/stream_1
  - H.264(2)の場合：
    rtsp://[本機のIPアドレス]/MediaInput/h264/stream_2
  - H.264(3)の場合：
    rtsp://[本機のIPアドレス]/MediaInput/h264/stream_3

  [/MediaInput/h264/stream_*]は[Advanced]の[RTSP]にて変更することができます。(170ページ)

H.264 transmission [On、Off]

H.264画像を配信するかどうかを設定します。
工場出荷時の設定: On

Bit depth [10bit、8bit]

H.264画像のbit数を設定します。
工場出荷時の設定: 10bit

Profile type [High、Main、Baseline]

H.264画像を配信するときのプロファイルを設定します。
工場出荷時の設定: High

NOTE

- [Bit depth]が[10bit]または[Image capture size]が[3840×2160]の場合、[High]のみが選択可能となります。

Image capture size [3840×2160、1920×1080、1280×720、640×360]

H.264画像の解像度を選択します。
選択している解像度によっては、選択に制限がある場合があります。

H.264(1)	3840×2160、1920×1080、1280×720
H.264(2)	1920×1080、1280×720、640×360
H.264(3)	1280×720、640×360

工場出荷時の設定:
H.264(1): 1920×1080
H.264(2): 1280×720
H.264(3): 640×360

NOTE

- [3840×2160]は[Streaming mode]が[H.264(UHD)]のときに選択できます。

CBR/VBR [CBR、VBR]

H.264画像の配信モードを設定します。

CBR	H.264画像を設定したビットレートで配信します。
VBR	H.264画像を設定したビットレート並びに撮像画に応じてビットレートを可変して配信します。

工場出荷時の設定: VBR

Frame rate [24fps、25fps、30fps、50fps、60fps]

H.264画像のフレームレートを設定します。

59.94Hzのとき	30fps/60fps
50Hzのとき	25fps/50fps
23.98Hzのとき	24fps

工場出荷時の設定:
59.94Hzのとき: 30fps
50Hzのとき: 25fps
23.98Hzのとき: 24fps

NOTE

- 映像フォーマットが[29.97p(25p)]の場合、[60fps(50fps)]を選択することはできません。

Max bit rate(per client) [2048kbps、4096kbps、8192kbps、10240kbps、12800kbps、14336kbps、20480kbps、24576kbps、25600kbps、51200kbps、76800kbps]

1クライアントに対するH.264ビットレートを選択します。

工場出荷時の設定:

H.264(1): 14336kbps
H.264(2): 8192kbps
H.264(3): 4096kbps

NOTE

- 解像度によって設定可能な範囲が異なります。

Transmission type [Unicast port(AUTO)、Unicast port(MANUAL)、Multicast]

H.264画像の配信方式を以下から選択します。

Unicast port(AUTO)	1台のカメラに最大14人まで同時にアクセスできます。 カメラから画像・音声を送信する場合、[Unicast port(Image)]、[Unicast port(Audio)] が自動的に設定されます。 ネットワーク内で使用する場合など、H.264画像を配信するポート番号を固定する必要のない場合は、[Unicast port(AUTO)]に設定することをお勧めします。
Unicast port(MANUAL)	1台のカメラに最大14人まで同時にアクセスできます。 カメラから画像・音声を送信する場合、[Unicast port(Image)]、[Unicast port(Audio)]を手動で設定する必要があります。 インターネット経由でH.264画像を配信する場合、ブロードバンドルーター(以下、ルーター)に設定する通信許可ポート番号を固定して使用してください(163ページ)。詳しくは使用するルーターの取扱説明書をお読みください。
Multicast	1台のカメラに人数の制限なしに同時にアクセスできます。 マルチキャストでH.264画像を送信する場合は、[Multicast address]、[Multicast port]、[Multicast TTL/HOPLimit] を入力します。

工場出荷時の設定: Unicast port(AUTO)

NOTE

- 最大同時アクセス数については、110ページの「***NOTE***」をご参照ください。

Unicast port(Image) [1024～50000]

ユニキャストポート番号(本機から画像を送信するときに使用)を入力します。
偶数のみ設定可能です。
10670はポート番号に設定できません。

工場出荷時の設定:

H.264(1) : 32004
H.264(2) : 32014
H.264(3) : 32024

Unicast port(Audio) [1024～50000]

偶数のみ設定可能です。
10670はポート番号に設定できません。

工場出荷時の設定:

H.264(1) : 33004
H.264(2) : 33014
H.264(3) : 33024

NOTE

- [Transmission type]の[Unicast port(MANUAL)] が選択されている場合、ユニキャストポート番号を設定する必要があります。

Multicast address [IPv4：224.0.0.0～239.255.255.255 IPv6：FFから始まるマルチキャストアドレス]

マルチキャストのIPアドレスを入力します。
指定したIPアドレスに画像と音声を送信します。

工場出荷時の設定:

H.264(1) : 239.192.0.20
H.264(2) : 239.192.0.21
H.264(3) : 239.192.0.22

NOTE

- 使用可能なマルチキャストIPアドレスをご確認のうえ入力してください。
- リンクローカルスコープのマルチキャストアドレスでは動作しません。

Multicast port [1024～50000]

マルチキャストポート番号(本機から画像を送信するときに使用)を入力します。
偶数のみ設定可能です。
10670はポート番号に設定できません。

工場出荷時の設定: 37004

NOTE

- 本機から音声を送信する場合、マルチキャストポート番号に「1000」を足したポート番号が使用されます。

Multicast TTL/HOPLimit [1～254]

マルチキャストのTTL/HOPLimit値を入力します。

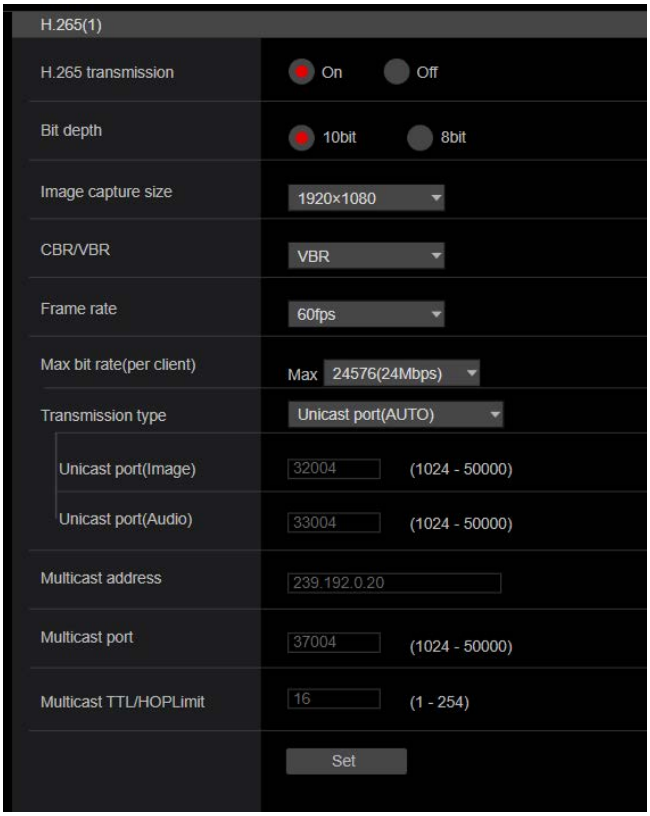
工場出荷時の設定: 16

NOTE

- インターネット経由でH.264画像を配信する場合は、プロキシサーバーやファイアウォールなどの設定によっては、配信画像が表示されないことがあります。この場合は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
- 複数のLANカードが入っているパーソナルコンピューターを使用してマルチキャスト画像を表示する場合は、受信で使用しないLANカードを無効にしてください。

■ H.265

H.265の画像設定を行います。
設定は[Set]ボタンで確定します。



NOTE

- H.265画像を表示するには、H.265画像対応の外部機器や外部ソフトウェアをお使いください。
- RTSP/RTP配信を開始する場合は、以下のURLをデコーダーおよびアプリケーションに設定してください。
  - H.265(1)の場合：
    rtsp://[本機のIPアドレス]/MediaInput/h265/stream_1
  - H.265(2)の場合：
    rtsp://[本機のIPアドレス]/MediaInput/h265/stream_2

  [/MediaInput/h265/stream_*]は[Advanced]の[RTSP]にて変更することができます。(170ページ)

H.265 transmission [On、Off]

H.265画像を配信するかどうかを設定します。
工場出荷時の設定: On

Bit depth [10bit、8bit]

H.265画像のbit数を設定します。
工場出荷時の設定: 10bit

Image capture size [3840×2160、1920×1080、1270×720、640×360]

H.265画像の解像度を選択します。
選択している解像度によっては、選択に制限がある場合があります。

H.265(1)	3840×2160、1920×1080、1270×720
H.265(2)	1920×1080、1270×720、640×360

工場出荷時の設定:
H.265(1)：1920×1080
H.265(2)：1280×720

NOTE

- [3840×2160]は[Streaming mode]が[H.265(UHD)]のときに選択できます。

CBR/VBR [CBR、VBR]

H.265画像の配信モードを設定します。

CBR	H.265画像を設定したビットレートで配信します。
VBR	H.265画像を設定したビットレート並びに撮像画に応じてビットレートを可変して配信します。

工場出荷時の設定: VBR

Frame rate [24fps、25fps、30fps、50fps、60fps]

H.265画像のフレームレートを設定します。

59.94Hzのとき	30fps、60fps
50Hzのとき	25fps、50fps
23.98Hzのとき	24fps

工場出荷時の設定:
59.94Hzのとき：30fps
50Hzのとき：25fps
23.98Hzのとき：24fps

NOTE

- 映像フォーマットが[29.97p(25p)]の場合、[60fps(50fps)]を選択することはできません。

Max bit rate(per client) [2048kbps、4096kbps、8192kbps、10240kbps、12800kbps、14336kbps、20480kbps、24576kbps、25600kbps、51200kbps、76800kbps]

1クライアントに対するH.265ビットレートを選択します。
工場出荷時の設定:
H.265(1)：14336kbps
H.265(2)：8192kbps

Transmission type

[H.264]の[Transmission type](128ページ)と同等です。

Unicast port(Image)	[H.264]の[Unicast port(Image)](128ページ)と同等です。
Unicast port(Audio)	[H.264]の[Unicast port(Audio)](128ページ)と同等です。

Multicast address

[H.264]の[Multicast address](128ページ)と同等です。

Multicast port

[H.264]の[Multicast port](128ページ)と同等です。

Multicast TTL/HOPLimit

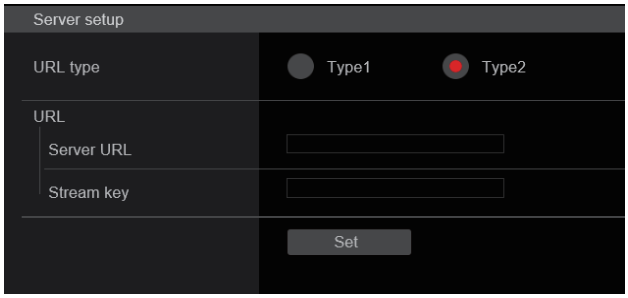
[H.264]の[Multicast TTL/HOPLimit](128ページ)と同等です。

■ RTMP

RTMP/RTMPS配信の設定を行います。

Server setup

設定は[Set]ボタンで確定します。



NOTE

- RTMP/RTMPS配信サーバー情報の登録方式は、使用するRTMP/RTMPS配信サーバーから通知される設定情報に応じて、適切な方式に切り替えて使用してください。
- Stream Key設定欄は、[Type2]に設定したときだけ表示されます。
- RTMP配信を行う場合は外部アプリケーションより取得したServer URLおよびStream keyを設定し、ライブ画面[Live]の[SRT/MPEG2-TS/RTMP]の[start]ボタンをクリックしてください。
- RTMP配信を行うときは[Network]画面にてネットワークに接続できるように設定してください。

URL type [Type1、Type2]

RTMP/RTMPS配信サーバー情報の登録方式を選択します。

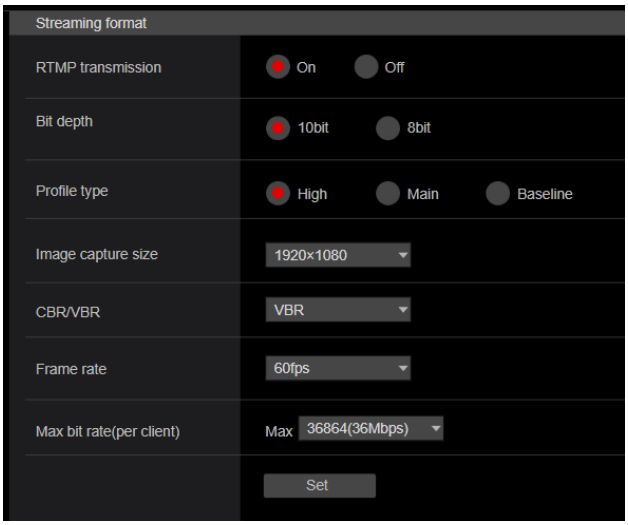
Type1	サーバーURLとRTMP/RTMPSストリームキーを[Server URL]に連結して設定する場合に指定します。
Type2	サーバーURLとRTMP/RTMPSストリームキーを[Server URL]と[Stream Key]に個別に設定する場合に指定します。

URL

Server URL	配信先のRTMP/RTMPSサーバーURLを設定します。
Stream key	サービスが[Type2]に設定している場合のみ、配信時にRTMP/RTMPSサーバーから取得したストリームキーを設定します。

Streaming format

RTMP/RTMPS配信用のH.264画像の設定を行います。
設定は[Set]ボタンで確定します。
[Profile type]、[Image capture size]、[CBR/VBR]、[Frame rate]、[Max bit rate(per client)]については、[H.264]の説明（127ページ）を参照してください。



NOTE

- RTMP/RTMPS配信中は[Streaming format]設定は変更できません。
- [Streaming format]は、配信先サーバーの推奨値を設定してください。推奨値については配信先のサイトまたは窓口にお問い合わせください。
- [Tracking Data Output]の[IP(UDP)]が[On]のとき、IP配信映像に遅延またはフレーム欠落が発生する場合があります。（158ページ）
  RTMP/RTMPS配信中は、[Tracking Data Output]の[IP(UDP)]を[Off]にすることを推奨します。

■ SRT

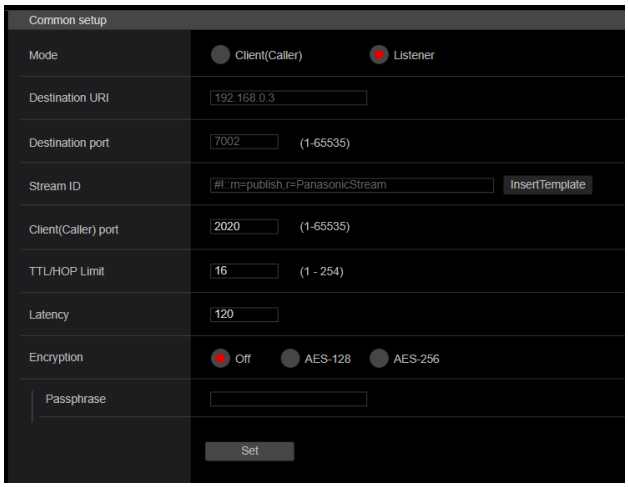
SRT配信の設定を行います。

NOTE

- [Listener]モード時にSRT配信を行う場合は、デコーダーおよびアプリケーションを[Client(Caller)]モードに設定し、以下のURLを設定してください。
  srt://[本機のIPアドレス]:[Client(Caller) portで設定した値]
- [Client(Caller)]モード時にSRT配信を行う場合、デコーダーおよびアプリケーションのIPアドレスおよびポート番号を[Destination URI]、[Destination port]に設定し、ライブ画面[Live]の[SRT/MPEG2-TS/RTMP]の[start]ボタンをクリックしてください。

Common setup

設定は[Set]ボタンで確定します。



Mode [Client(Caller)、Listener]

SRT対応デコーダーまたはサービスへの接続方法を選択します。

Client(Caller)	配信先のIPアドレス、ポート番号を指定し本機から配信を開始する場合に指定します。
Listener	待ち受けポートを指定し、外部からの配信開始要求を待ち受ける場合に指定します。

工場出荷時の設定: Listener

Destination URI

[Mode]で[Client(Caller)]が設定されているときに、IPアドレスを入力します。
指定したIPアドレスに画像と音声を送信します。
工場出荷時の設定: 192.168.0.3

NOTE

- IP AddressにはIPv4のみ設定できます。

Destination port [1～65535]

[Mode]で[Client(Caller)]が設定されているときに、ポート番号(本機から画像を送信するときに使用)を入力します。
指定したポート番号に接続します。
工場出荷時の設定: 7002

Stream ID

[Mode]で[Client(Caller)]が設定されているときに、Stream IDを入力します。
入力された情報はSRT配信開始時に接続先に通知されます。
[InsertTemplate]ボタンをクリックした場合は以下のテンプレートが入力欄に自動挿入されます。
#!::m=publish,r=PanasonicStream

- 使用可能な文字は次の通りです。

半角数字	0123456789
半角英字 (大文字／小文字)	ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ abcdefghijklmnopqrstuvwxyz
半角記号	!"#$%'()=-~^|\`@[]{}*:+;<>,.?/_

工場出荷時の設定: #!::m=publish,r=PanasonicStream

Client(Caller) port [1～65535]

[Mode]で[Listener]が設定されているときに、ポート番号(本機が接続を待ち受けるときに使用)を入力します。
以下のポート番号は、本機で使用していますので設定できません。
20、21、23、25、42、53、67、68、69、80、110、123、161、162、443、546、547、554、995、5960～5985、7960～8060、10669、10670、11900、59000～61000
工場出荷時の設定: 2020

TTL/HOP Limit

[H.264]の[Multicast TTL/HOPLimit](128ページ)と同等です。
工場出荷時の設定: 254

Latency

映像・音声が送信されてから、受信側で再生されるまでの時間(ms)を0～65535の範囲で設定します。
工場出荷時の設定: 120

NOTE

- ネットワークの帯域によっては設定された時間が保証されない場合もあります。

Encryption [Off、AES-128、AES-256]

配信されるIP映像を暗号化するか設定します。(10～24文字)

Off	非暗号でIP映像を配信します。
AES-128	AES-128方式でIP映像を暗号化し、配信します。
AES-256	AES-256方式でIP映像を暗号化し、配信します。

工場出荷時の設定: Off

- 使用可能な文字は次の通りです。

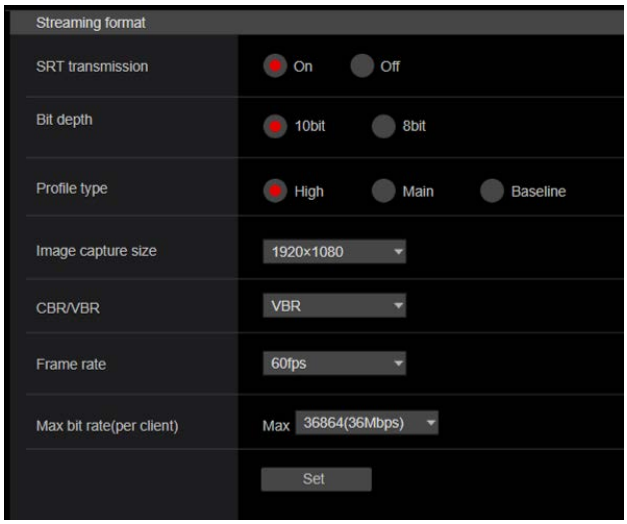
半角数字	0123456789
半角英字 (大文字／小文字)	ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ abcdefghijklmnopqrstuvwxyz
半角記号	!"#$%'()=-~^|\`@[]{}*:+;<>,.?/_

Passphrase

暗号化されたIP映像を復号化するためのフレーズを設定します。

Streaming format

SRT配信用のH.264またはH.265画像の設定を行います。
設定は[Set]ボタンで確定します。
[Profile type]、[Image capture size]、[CBR/VBR]、[Frame rate]、[Max bit rate(per client)]については、[H.264]の説明（127ページ）または[H.265]の説明（129ページ）を参照してください。



NOTE

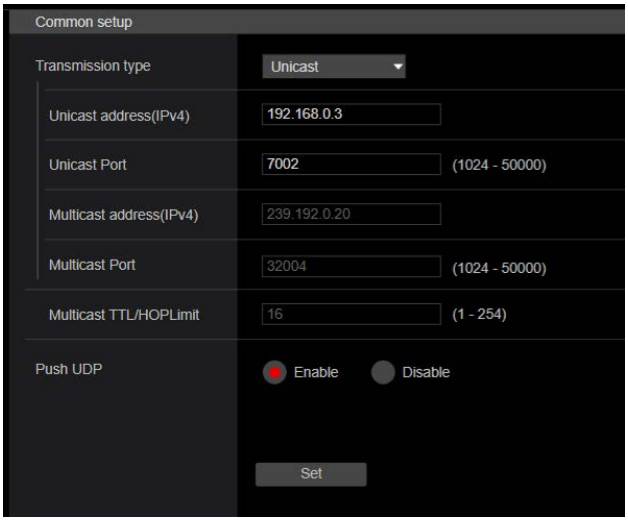
- SRT配信中は[Streaming format]設定は変更できません。
- [Tracking Data Output]の[IP(UDP)]が[On]のとき、IP配信映像に遅延またはフレーム欠落が発生する場合があります。（158ページ）
  SRT配信中は、[Tracking Data Output]の[IP(UDP)]を[Off]にすることを推奨します。
- フレーム周波数が23.98Hzのときは、SRT(H.264)、SRT(H.264 UHD)、SRT(H.265)、SRT(H.265 UHD)モードに設定できません。

■ MPEG2-TS over UDP

MPEG2-TS over UDP配信の設定を行います。

NOTE

- カメラが配信している映像を受信するためには、アプリケーションやサービスで以下のURLを入力してください。
  - Unicastの場合
    udp://@[unicast ipaddress]:[unicast port]
  - Multicastの場合
    udp://@[multicast ipaddress]:[multicast port]



Transmission type [Unicast、Multicast]
MPEG2-TS over UDP配信を[Unicast]と[Multicast]のどちらで行うか設定します。
工場出荷時の設定: Unicast

Unicast address(IPv4)
MPEG2-TS over UDP配信を行うUnicastアドレスを設定します。受信するアプリケーション・サービスはこのIPアドレスを指定します。
工場出荷時の設定: 192.168.0.3

Unicast Port [1024～50000]
MPEG2-TS over UDP配信を行うUnicastポート番号を設定します。受信するアプリケーション・サービスはこのポート番号を指定します。
工場出荷時の設定: 7002

Multicast address(IPv4)
MPEG2-TS over UDP配信を行うMulticastアドレスを設定します。受信するアプリケーション・サービスはこのIPアドレスを指定します。
工場出荷時の設定: 239.192.0.20

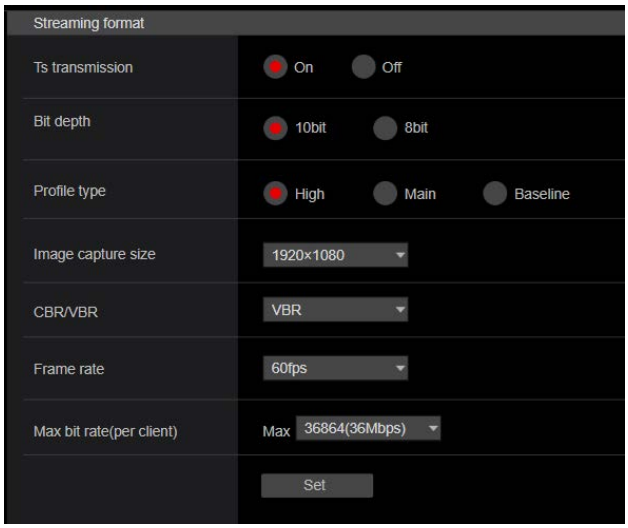
Multicast Port [1024～50000]
MPEG2-TS over UDP配信を行うMulticastポート番号を設定します。受信するアプリケーション・サービスはこのポート番号を指定します。
工場出荷時の設定: 32004

Multicast TTL/HOPLimit
[H.264]の[Multicast TTL/HOP Limit]（128ページ）と同等です。

Push UDP [Enable、Disable]
[Push UDP]が[Enable]に設定されている場合、カメラ起動時に自動的にMPEG2-TS over UDP配信が開始されます。
工場出荷時の設定: Enable

Streaming format

MPEG2-TS over UDP配信用のH.264画像の設定を行います。
設定は[Set]ボタンで確定します。
[Profile type]、[Image capture size]、[CBR/VBR]、[Frame rate]、[Max bit rate(per client)]については、[H.264]の説明（127ページ）を参照してください。



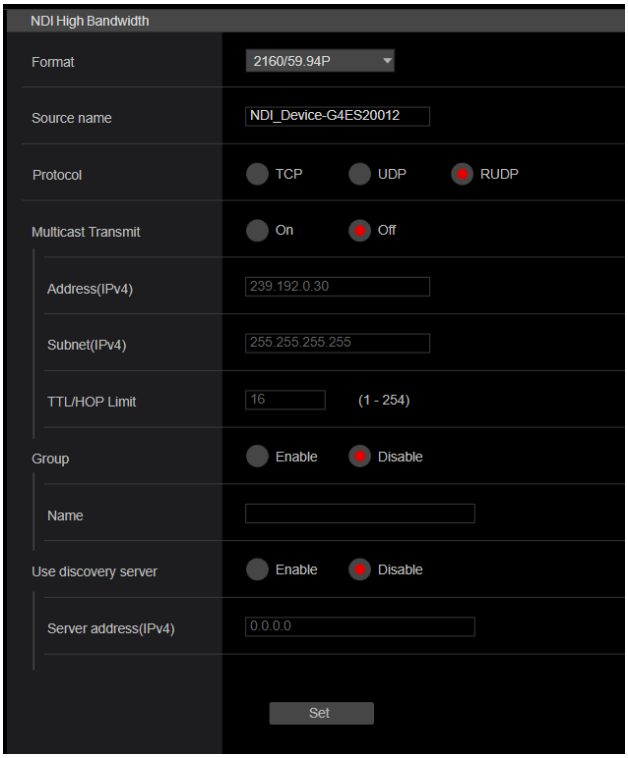
NOTE

- MPEG2-TS over UDP配信中は[Streaming format]設定は変更できません。
- [Tracking Data Output]の[IP(UDP)]が[On]のとき、IP配信映像に遅延またはフレーム欠落が発生する場合があります。（158ページ）
  MPEG2-TS over UDP配信中は、[Tracking Data Output]の[IP(UDP)]を[Off]にすることを推奨します。

■ NDI High Bandwidth

NDI配信の設定を行います。
設定は[Set]ボタンで確定します。

NDI High Bandwidth



Format

NDI画像の解像度を表示します。

Source name

本機がNDIと互換性のあるソフトウェアアプリケーションやハードウェアから検知された際に、表示される映像ソース名を設定します。
工場出荷時の設定: NDI Device [本機のシリアルナンバー]

Protocol [TCP、UDP、RUDP]

ユニキャスト配信する際の方式を設定します。
工場出荷時の設定: RUDP

Multicast Transmit [On、Off]

NDIと互換性のあるソフトウェアアプリケーションやハードウェアに対して映像をマルチキャスト配信するか設定します。
工場出荷時の設定: Off

Address(IPv4)
[IPv4 : 224.0.0.0 ～ 239.255.255.255]

マルチキャストのIPアドレスを入力します。
指定したIPアドレスに画像と音声を送信します。
工場出荷時の設定: 239.192.0.30

NOTE

- 使用可能なマルチキャストIPアドレスをご確認のうえ入力してください。

Subnet(IPv4)
サブネットマスクを入力します。
工場出荷時の設定: 255.255.255.255

NOTE

- [Address(IPv4)]と[Subnet(IPv4)]は、マルチキャスト配信時にランダムに設定されるマルチキャストアドレスの範囲を明確にします。
- [Address(IPv4)]を[239.255.0.0]、[Subnet(IPv4)]を[255.255.0.0]に設定した場合は、[239.255.0.0]～[239.255.255.252]の範囲からランダムに複数割り当てられます。

TTL/HOP Limit
[H.264]の[Multicast TTL/HOPLimit]（128ページ）と同等です。

Group [Enable、Disable]
NDI配信を行うときにグルーピング機能を使用するかどうか設定します。
工場出荷時の設定: Disable

Name
グルーピング機能を使用するときのグループ名を設定します。

Use discovery server
NDI配信を行うときにディスカバリーサーバーを使用するかどうか設定します。

Server address(IPv4)
ディスカバリーサーバーを使用するときに、サーバーのIPv4アドレスを設定します。

NOTE

- [Opt Mode]が[ST2110 JPEG XS]のときは、NDI High Bandwidthは選択できません。

MoIP 設定画面 [Media over IP]

MoIP(SMPTE ST2110/ST2110 JPEG XS/NMOS/PTP)に関する設定を行います。

■ Setting status



ST2110
SMPTE ST2110機能のOff/On状態およびJPEG XSのOff/Onの状態や、SMPTE ST2110の送信で使用するポート番号を表示します。

Main video TX
[Main video TX]（非圧縮）の配信設定を表示します。
JPEG XSがOffのときのみ表示されます。

Main Jpeg XS video TX
[Main Jpeg XS video TX]（圧縮）の配信設定を表示します。
JPEG XSがOnのときのみ表示されます。

Sub video TX
[Sub video TX]（非圧縮）の配信設定を表示します。

TRUNK video TX
[TRUNK video TX]の配信設定を表示します。

Mic1 audio TX
[Mic1 audio TX]の配信設定を表示します。

Mic2 audio TX
[Mic2 audio TX]の配信設定を表示します。

Mix audio TX
[Mix audio TX]の配信設定を表示します。

TRUNK audio TX
[TRUNK audio TX]の配信設定を表示します。

Incom1 audio TX (ENG)
[Incom1 audio TX (ENG)]の配信設定を表示します。

Incom2 audio TX (PROD)
[Incom2 audio TX (PROD)]の配信設定を表示します。

Return1 video RX
[Return1 video RX]（非圧縮）の配信設定を表示します。

Return2 video RX
[Return2 video RX]（非圧縮）の配信設定を表示します。

Return3 video RX
[Return3 video RX]（非圧縮）の配信設定を表示します。

Return4 video RX
[Return4 video RX]（非圧縮）の配信設定を表示します。

PROMPTER video RX
[PROMPTER video RX]の配信設定を表示します。

PGM1 audio RX
[PGM1 audio RX]の配信設定を表示します。

PGM2 audio RX
[PGM2 audio RX]の配信設定を表示します。

PROMPTER audio RX
[PROMPTER audio RX]の配信設定を表示します。

Incom1 audio RX (ENG)
[Incom1 audio RX (ENG)]の配信設定を表示します。

Incom2 audio RX (PROD)
[Incom2 audio RX (PROD)]の配信設定を表示します。

PTP
[PTP]の設定を表示します。

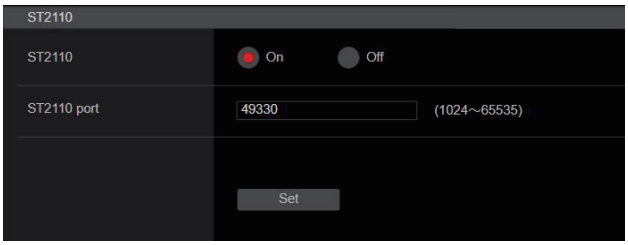
NMOS
[NMOS]の設定を表示します。

NMOS Master Enable
[NMOS Master Enable]の設定を表示します。
この設定はカメラと同じネットワーク上にあるNMOSのコントローラーから切り替えが可能です。SMPTE ST2110の送受信の有効/無効の設定です。

NOTE

- カメラ起動時は[On]の状態で起動します。設定値の保存はできません。

■ ST2110
本機は、〈SFP 1〉、〈SFP 2〉端子からSMPTE ST2110の送受信が可能です。
設定は[Set]ボタンで確定します。



ST2110 [On、Off]
SMPTE ST2110の送受信のOn/Offを設定します。
工場出荷時の設定: Off

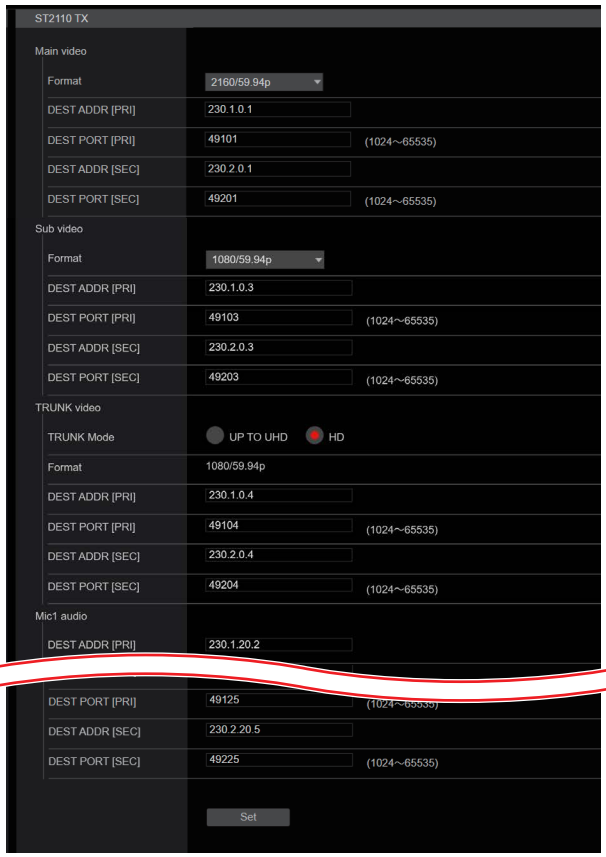
ST2110 port [1024～65535]
SMPTE ST2110用ポート番号（本機からSMPTE ST2110を送信するときに使用）を入力します。
10670はポート番号に設定できません。
工場出荷時の設定: 49330

■ ST2110 TX

SMPTE ST2110（非圧縮）の送信設定を行います。
設定は[Set]ボタンで確定します。

NOTE

- [ST2110]が[Off]のときは、このメニューは非表示です。



Main video
Sub video
TRUNK video

NOTE

- [ST2110]が[Off]のときは、出力されません。
- [Main video]からはOSDメニューなどを重畳していないカメラ映像が出力されます。
- [Opt Mode]が[ST2110 JPEG XS]のときは[Main video]は出力されません。
- [Sub video]からは〈SDI OUT 2〉端子のCAM出力と同じ映像が出力されます。12G SDIは出力されません。
- [Opt mode]が[ST2110 JPEG XS]のときも、[Sub video]からは非圧縮の映像データが出力されます。
- 下記はPrimaryの工場出荷値です。Secondaryの工場出荷値は、[230.1.xx.x]は[230.2.xx.x]に、[491xx]は[492xx]に、読み替えてください。

TRUNK Mode [UP TO UHD、HD]

TRUNKモードを設定します。
工場出荷時の設定: HD

NOTE

- [UP TO UHD]は[Opt Mode]が[ST2110]と[ST2110 JPEG XS]のときに設定できます。
- [UP TO UHD]時はTRUNK入力端子に入力された 2160p信号を2160p/1080p/1080i信号としてTRUNK VIDEO出力できます。([Format]で設定。1080i出力が選択できるのは59.94p、50p時のみ。)
- [HD]時は TRUNK入力端子に入力された1080p信号のみTRUNK VIDEO出力できます。

Format

出力フォーマットを設定/表示します。

DEST ADDR

配信先IPアドレスを入力します。
次の範囲のIPアドレスが設定できます。

第1オクテット	0～239
第2オクテット	0～255
第3オクテット	0～255
第4オクテット	0～255

0.0.0.0、224.0.0.0～224.0.1.255、第1オクテットが127のIPアドレスは設定できません。
工場出荷時の設定:
Primary
Main video : 230.1.0.1
Sub video : 230.1.0.3
TRUNK video : 230.1.0.4

DEST PORT [1024～65535]

配信先ポート番号を入力します。
10670はポート番号に設定できません。
工場出荷時の設定:
Main video: 49101
Sub video: 49103
TRUNK video: 49104

Mic1 audio
Mic2 audio
Mix audio
Incom1 audio
Incom2 audio

DEST ADDR

配信先IPアドレスを入力します。
設定可能範囲は[Main video]と同じです。
工場出荷時の設定:
Mic1 audio: 230.1.20.2
Mic2 audio: 230.1.20.3
Mix audio: 230.1.20.6
TRUNK audio : 230.1.20.1
Incom1 audio: 230.1.20.4
Incom2 audio: 230.1.20.5

DEST PORT [1024～65535]

配信先ポート番号を入力します。
設定可能範囲は[Main video]と同じです。
工場出荷時の設定:
Mic1 audio: 49122
Mic2 audio: 49123
Mix audio: 49126
TRUNK audio : 49121
Incom1 audio: 49124
Incom2 audio: 49125

■ ST2110 RX

SMPTE ST2110（非圧縮）の受信設定を行います。
設定は[Set]ボタンで確定します。

NOTE

- [ST2110]が[Off]のときは、このメニューは非表示です。



Return video Format

Format

入力フォーマットを設定/表示します。

Return1 video
Return2 video
Return3 video
Return4 video
Prompter video

NOTE

- [Opt Mode]が[ST2110 JPEG XS]のときも、Return videoはJPEG XS(圧縮)配信の入力はできません。非圧縮の映像のみ入力できます。
- 下記はPrimaryの工場出荷値です。Secondaryの工場出荷値は、[230.1.xx.x]は[230.2.xx.x]に、[491xx]は[492xx]に、読み替えてください。

DEST ADDR

[Main video]として受信するストリームのマルチキャストアドレスを入力します。
次の範囲のIPアドレスが設定できます。

第1オクテット	224～239
第2オクテット	0～255
第3オクテット	0～255
第4オクテット	0～255

0.0.0.0、224.0.0.0～224.0.1.255のIPアドレスは設定できません。

工場出荷時の設定:

Return1 video: 230.1.30.1
Return2 video: 230.1.30.2
Return3 video: 230.1.30.3
Return4 video: 230.1.30.4
Prompter video：230.1.40.1

SRC ADDR

[Main video]として受信するストリームの送信元機器のIPアドレスを入力します。
次の範囲のIPアドレスが設定できます。

第1オクテット	0～223
第2オクテット	0～255
第3オクテット	0～255
第4オクテット	0～255

第1オクテットが127のIPアドレスは設定できません。

工場出荷時の設定:

Return1 video: 0.0.0.0
Return2 video: 0.0.0.0
Return3 video: 0.0.0.0
Return4 video: 0.0.0.0
Prompter video：0.0.0.0

NOTE

- 0.0.0.0を設定した場合、送信元アドレスによるフィルタリングを行いません。
- 使用しているネットワークスイッチがIGMPv3に対応していない場合、送信元アドレスによるフィルタリングはできません。

DEST PORT [1024～65535]

[Main video]として受信するストリームのポート番号を入力します。
10669、10670はポート番号に設定できません。

工場出荷時の設定:

Return1 video: 49131
Return2 video: 49132
Return3 video: 49133
Return4 video: 49134
Prompter video：49141

PGM1 audio
PGM2 audio
Prompter audio
Incom1 audio
Incom2 audio

DEST ADDR
[Main video]として受信するストリームのマルチキャストアドレスを入力します。
次の範囲のIPアドレスが設定できます。

第1オクテット	224～239
第2オクテット	0～255
第3オクテット	0～255
第4オクテット	0～255

0.0.0.0、224.0.0.0～224.0.1.255のIPアドレスは設定できません。
工場出荷時の設定:
PGM1 audio: 230.1.90.2
PGM2 audio: 230.1.90.3
Prompter audio: 230.1.90.1
Incom1 audio: 230.1.90.4
Incom2 audio: 230.1.90.5

SRC ADDR
[Main video]として受信するストリームの送信元機器のIPアドレスを入力します。
次の範囲のIPアドレスが設定できます。

第1オクテット	0～223
第2オクテット	0～255
第3オクテット	0～255
第4オクテット	0～255

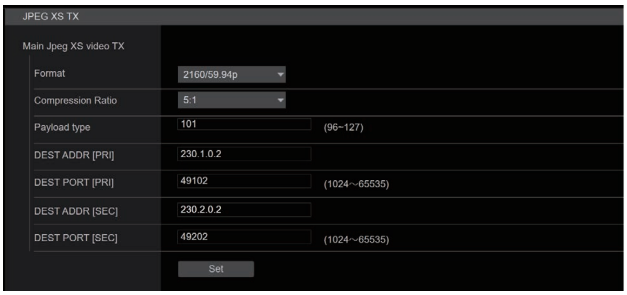
第1オクテットが127のIPアドレスは設定できません。
工場出荷時の設定:
PGM1 audio: 0.0.0.0
PGM2 audio: 0.0.0.0
Prompter audio: 0.0.0.0
Incom1 audio: 0.0.0.0
Incom2 audio: 0.0.0.0

NOTE
- 0.0.0.0を設定した場合、送信元アドレスによるフィルタリングを行いません。
- 使用しているネットワークスイッチがIGMPv3に対応していない場合、送信元アドレスによるフィルタリングはできません。

DEST PORT [1024～65535]
[Main video]として受信するストリームのポート番号を入力します。
10670はポート番号に設定できません。
工場出荷時の設定:
PGM1 audio: 49192
PGM2 audio: 49193
Prompter audio: 49191
Incom1 audio: 49194
Incom2 audio: 49195

■ JPEG XS TX
SMPTE ST2110 JPEG XS（圧縮）の送信設定を行います。
設定は[Set]ボタンで確定します。

NOTE
- [ST2110]が[Off]のときは、このメニューは非表示です。



JPEG XS TX
Format
出力フォーマットを設定/表示します。

Compression Ratio
圧縮率を設定します。

Format	Compression Ratio
2160/60p、2160/59.94p、2160/50p、2160/29.97p、2160/25p、2160/23.98p	5:1、8:1、12:1、20:1
1080/60p、1080/59.94p、1080/50p、1080/29.97p、1080/25p、1080/23.98p	4:1、6:1、10:1、15:1

工場出荷時の設定: 5:1

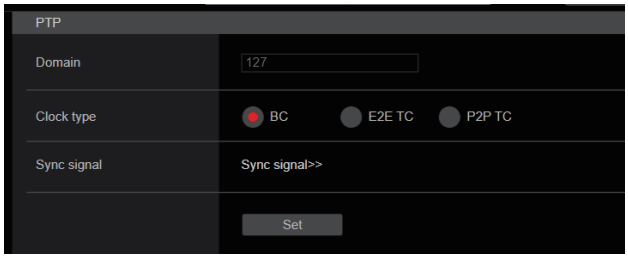
Payload type [96～127]
JPEG XS TXのパケットに設定されるPayload typeを入力します。
工場出荷時の設定: 101

DEST ADDR
配信先IPアドレスを入力します。
設定可能範囲は[Main video]と同じです。
工場出荷時の設定: 230.1.0.2

DEST PORT [1024～65535]
配信先ポート番号を入力します。
設定可能範囲は[Main video]と同じです。
工場出荷時の設定: 49102

■ PTP

PTPの設定を行います。



Domain

PTPのドメイン番号を入力します。

工場出荷時の設定: 127

NOTE

- ドメイン番号はグランドマスターと設定を合わせる必要があります。グランドマスターの設定についてはネットワーク管理者にお問い合わせください。
- [Sync signal]が[PTP]のときのみ設定可能です。
- [Opt Mode]が[ST2110 JPEG XS]のとき、ST2110 JPEG XS（圧縮）映像の出力タイミングは、基準信号（PTP）に対して約12ライン遅れて出力されます。

Clock type [BC、E2E TC、P2P TC]

PTP のCLOCK TYPE を設定します。

工場出荷時の設定: BC

Sync signal

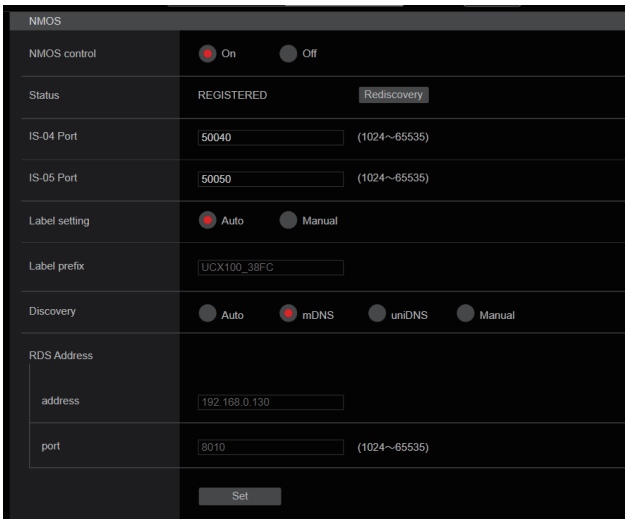
[Sync signal >>]をクリックすると、映像/音声の同期信号の設定画面を表示します。（120ページ）

■ NMOS

NMOSの設定を行います。

NOTE

- [ST2110]が[Off]のときは、このメニューは非表示です。



NMOS control [On、Off]

NMOSの機能をOff/Onを設定します。

工場出荷時の設定: Off

Status

NMOSのRDSサーバーとの接続状況を表示します。

UNREGISTERED	未接続状態
REGISTERING	RDSサーバーの検索中
REGISTERED	RDSサーバーに登録済み
P2P MODE	NMOSのコントローラーとP2Pで接続済み

IS-04 Port [1024～65535]

NMOSのIS-04用ポート番号を入力します。

工場出荷時の設定: 50040

IS-05 Port [1024～65535]

NMOSのIS-05用ポート番号を入力します。

工場出荷時の設定: 50050

Label setting

NMOSで使用するラベル名の自動/手動を選択します。

Auto	ラベル名を固定値とします。
Manual	ラベル名をユーザーが手動で入力します。

工場出荷時の設定: Auto

NOTE

- Auto設定時のラベル名は、「UCX100_****（****はMACアドレスの下4桁）」になります。

Label prefix

NMOSで使用するラベル名を入力します。

Label settingがAutoの場合は、変更できません。

工場出荷時の設定: UCX100_****（****はMACアドレスの下4桁）

Discovery

RDSサーバーの探索方法を設定します。

Auto	uniDNS/mDNSで順番に自動で探索します。
mDNS	mDNSで探索します。
uniDNS	unicast DNSで探索します。
Manual	手動で探索します。

工場出荷時の設定: Auto

NOTE

- 全モードにおいて、RDSサーバーが見つからなかった場合、自動でP2Pモードに切り替わります。

RDS Address

RDSアドレスを指定する場合入力を行います。

address	接続したいRDSのアドレスを設定します。
port	接続したいRDSのポートを設定します。

工場出荷時の設定: address:192.168.0.130/port:8010

音声設定画面 [Audio]

音声に関する設定を行います。

NOTE

- 画像と音声は同期しません。そのため、画像と音声に若干のずれが生じる場合があります。
- ネットワークの環境によっては、音声が途切れる場合があります。

■ Setting status



Input1 Setting

MIC入力1の設定状態を表示します。

Input2 Setting

MIC入力2の設定状態を表示します。

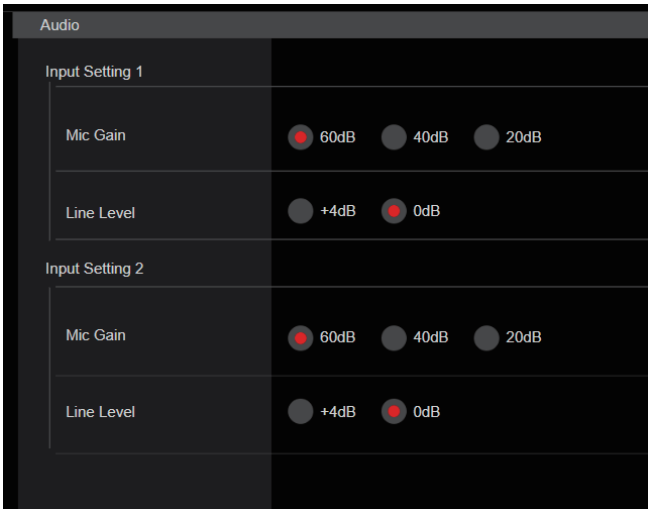
Audio over IP

Audio transmission	音声データのIP配信の設定状態を表示します。
Audio bit rate	音声データをIP配信するときのビットレート設定状態を表示します。

Audio over ST2110

音声データのSMPTE ST2110配信の設定状態を表示します。

■ Audio



Input Setting 1

Mic Gain [60dB、40dB、20dB]

Audio Input1 マイク入力のマイクアンプGAINを設定します。
[Audio] − [Input1 Setting] − [Input Select] が [MIC] または [MIC+48V] のときのみ有効です。
工場出荷時の設定: 60dB

Line Level [+4dB、0dB]

Audio Input1 ライン入力の入力レベルを設定します。
[Audio] − [Input1 Setting] − [Input Select] が [LINE] のときのみ有効です。
工場出荷時の設定: 0dB

Input Setting 2

Mic Gain [60dB、40dB、20dB]

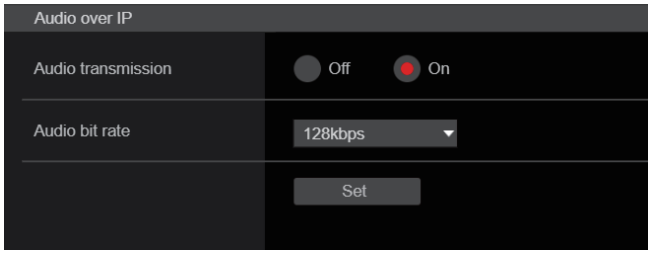
Audio Input2 マイク入力のマイクアンプGAINを設定します。
[Audio] − [Input2 Setting] − [Input Select] が [MIC] または [MIC+48V] のときのみ有効です。
工場出荷時の設定: 60dB

Line Level [+4dB、0dB]

Audio Input2 ライン入力の入力レベルを設定します。
[Audio] − [Input2 Setting] − [Input Select] が [LINE] のときのみ有効です。
工場出荷時の設定: 0dB

■ Audio over IP

設定は [Set] ボタンで確定します。



Audio transmission [Off、On]

パーソナルコンピューターなどに音声データの配信を行うときの通信モードを設定します。

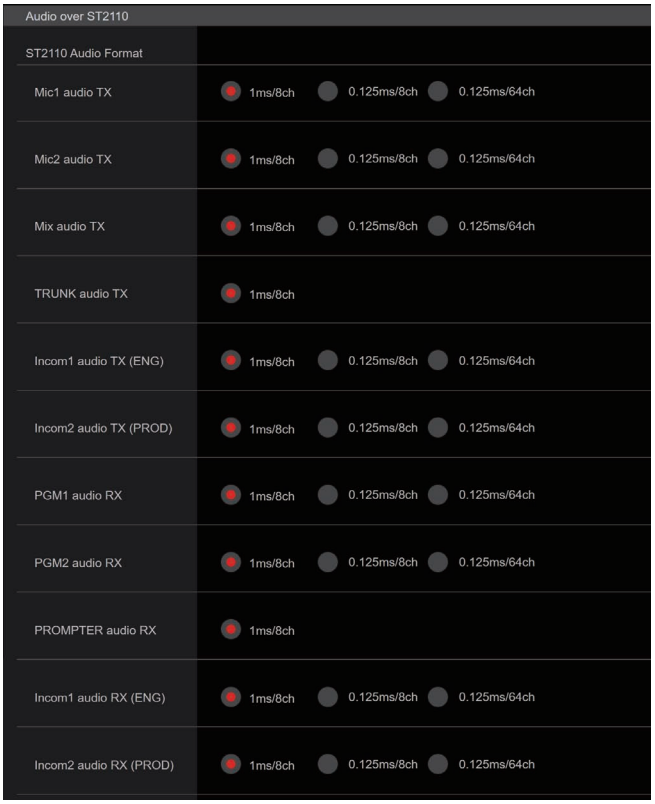
Off	本機から音声データの配信を行いません。従って、音声に関する設定や制御がすべて無効となります。
On	本機から音声データの配信を行います。 パーソナルコンピューターで画像と共に音声を聞くことができます。

工場出荷時の設定: On

Audio bit rate [64kbps、96kbps、128kbps、256kbps]

音声を配信するときのビットレートを設定します。
工場出荷時の設定: 128kbps

■ Audio over ST2110



ST2110 Audio Format

Mic1 audio TX [1ms/8ch、0.125ms/8ch、0.125ms/64ch]
Mic2 audio TX [1ms/8ch、0.125ms/8ch、0.125ms/64ch]
Mix audio TX [1ms/8ch、0.125ms/8ch、0.125ms/64ch]
TRUNK audio TX [1ms/8ch]
Incom1 audio TX (ENG) [1ms/8ch、0.125ms/8ch、0.125ms/64ch]
Incom2 audio TX (PROD) [1ms/8ch、0.125ms/8ch、0.125ms/64ch]
PGM1 audio RX [1ms/8ch、0.125ms/8ch、0.125ms/64ch]
PGM2 audio RX [1ms/8ch、0.125ms/8ch、0.125ms/64ch]
PROMPTER audio RX [1ms/8ch]
Incom1 audio RX (ENG) [1ms/8ch、0.125ms/8ch、0.125ms/64ch]
Incom2 audio RX (PROD) [1ms/8ch、0.125ms/8ch、0.125ms/64ch]

SMPTE ST2110のAUDIOのフォーマットを設定します。
工場出荷時の設定: 1ms/8ch

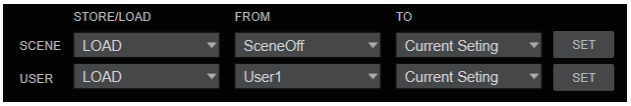
NOTE

- [BASIC CONFIG] – [OPT MODE]が[CCU CONNECT]以外のときは、[Incom1 audio RX (ENG)]はインターカム1およびインターカム2の〈PROD〉/〈BOTH〉/〈ENG〉スイッチの〈ENG〉に、[Incom2 audio RX (PROD)]はインターカム1およびインターカム2の〈PROD〉/〈BOTH〉/〈ENG〉スイッチの〈PROD〉に通話先が設定されています。

ペイント設定画面 [Paint]

画質の調整を行います。
この画面の項目は、[Scene]と[Matrix]を除き、設定内容がすぐに反映されます。[Scene]と[Matrix]は設定内容を選択した後、[Set]ボタンを押して実行する必要があります。

SCENE [Scene1～Scene8]
USER [User1～User3]



撮影状況に合わせて、撮影モードの切り替えを行います。
撮影条件やお好みに合わせて、撮影モードを選択してください。
プルダウンメニューから撮影モードを選択し、[SET]ボタンをクリックすると選択中の撮影モードに切り替わります。

Scene1～Scene8、User1～User3	撮影条件や好みに合わせて、詳細な設定調整をマニュアル操作で行うモードです。

Camera control/Setup Menuボタン



[Camera control]ボタンをクリックすることで、カメラ制御画面を表示することができます。
画質調整をしながらカメラの制御も行えるようになります。

BRIGHTNESS



■ GAIN SETTING

GAIN/ISO MODE [dB、ISO]

ゲイン値の単位を設定します。

工場出荷時の設定: dB

GAIN/ISO

映像のゲイン調整を行います。

工場出荷時の設定:

－6～18（dB）

400～12800（ISO）

■ IRIS

AUTO IRIS [OFF、ON]

自動アイリス調整のOFF/ONを選択します。

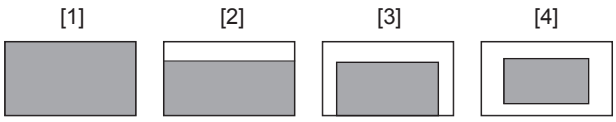
OFF	自動でアイリス調整を行いません。
ON	自動でアイリス調整を行います。

工場出荷時の設定: OFF

WINDOW SELECT [1～4]

[AUTO IRIS]時の測光範囲を設定します。

[1]～[4]を選択したときのウィンドウイメージは、次のようになります。



[5]を選択したときは、任意のウィンドウ（領域）を指定できます。

領域の指定は、Webブラウザーから設定可能です。（113ページ）

工場出荷時の設定: 1

IRIS LEVEL [0～100]

自動露出補正の目標映像レベルを設定します。

工場出荷時の設定：50

PEAK RATIO [0～100]

[AUTO IRIS]時の測光のピーク値と平均値の割合を設定します。

設定値の数値が大きいほど、アイリス検出ウィンドウ内のピークに対して反応します。

設定値の数値が小さいほど、アイリス検出ウィンドウ内の平均値に対して反応します。

工場出荷時の設定: 0

IRIS SPEED [1～25]

アイリス機能の制御スピードを設定します。

工場出荷時の設定: 15

■ SHUTTER SPEED

SHUTTER SW [Off、On]

シャッター機能のOn/Offを設定します。

SHUTTER DISP [sec、deg]

シャッターの表示を設定します。

工場出荷時の設定: sec

SHUTTER MODE [STEP、SYNCHRO]

シャッターモードを選択します。

STEP	ステップシャッターの設定（段階可変）を行います。
SYNCHRO	シンクロシャッターの設定（連続可変）を行います。

SHUTTER SPEED

[SHUTTER MODE]が[STEP]のときのシャッタースピードを設定します。[SHUTTER DISP]を[sec]に設定しているときは時間（分数）、[deg]に設定しているときは開角度で表示します。

[sec]表示の場合

59.94i/59.94pモード	1/100、1/120、1/125、1/250、1/500、1/1000、1/1500、1/2000
50i/50pモード	1/60、1/100、1/125、1/250、1/500、1/1000、1/1500、1/2000
29.97pモード	1/48、1/50、1/60、1/96、1/100、1/120、1/125、1/250、1/500、1/1000、1/1500、1/2000
25pモード	1/48、1/50、1/60、1/96、1/100、1/125、1/250、1/500、1/1000、1/1500、1/2000
23.98pモード	1/48、1/50、1/60、1/96、1/100、1/120、1/125、1/250、1/500、1/1000、1/1500、1/2000
120p/100pモード	1/125、1/250、1/500、1/1000、1/1500、1/2000
180p/150pモード	1/250、1/500、1/1000、1/1500、1/2000
240p/200pモード	1/250、1/500、1/1000、1/1500、1/2000

[deg]表示の場合

HALF SHUTTER、11.5d、22.5d、45.0d、90.0d、120.0d、144.0d、172.8d、180.0d、270.0d、357.0d

工場出荷時の設定: [1/100]

SYNCHRO SCAN

[SHUTTER MODE]が[SYNCHRO]のときのシャッタースピードを設定します。[SHUTTER DISP]を[sec]に設定しているときは時間（分数）、[deg]に設定しているときは開角角度で表示します。シャッター速度を速くすると、動きの速い被写体でもぼけにくくなりますが、映像は暗くなります。

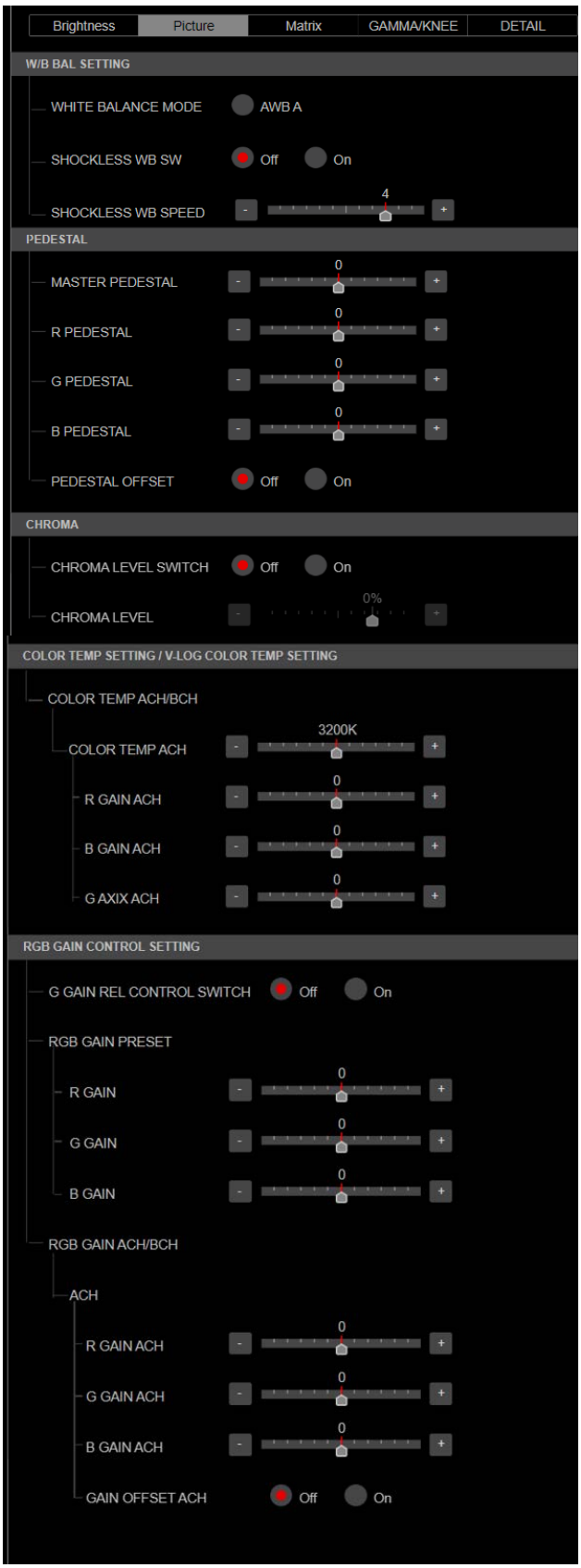
[sec]表示の場合

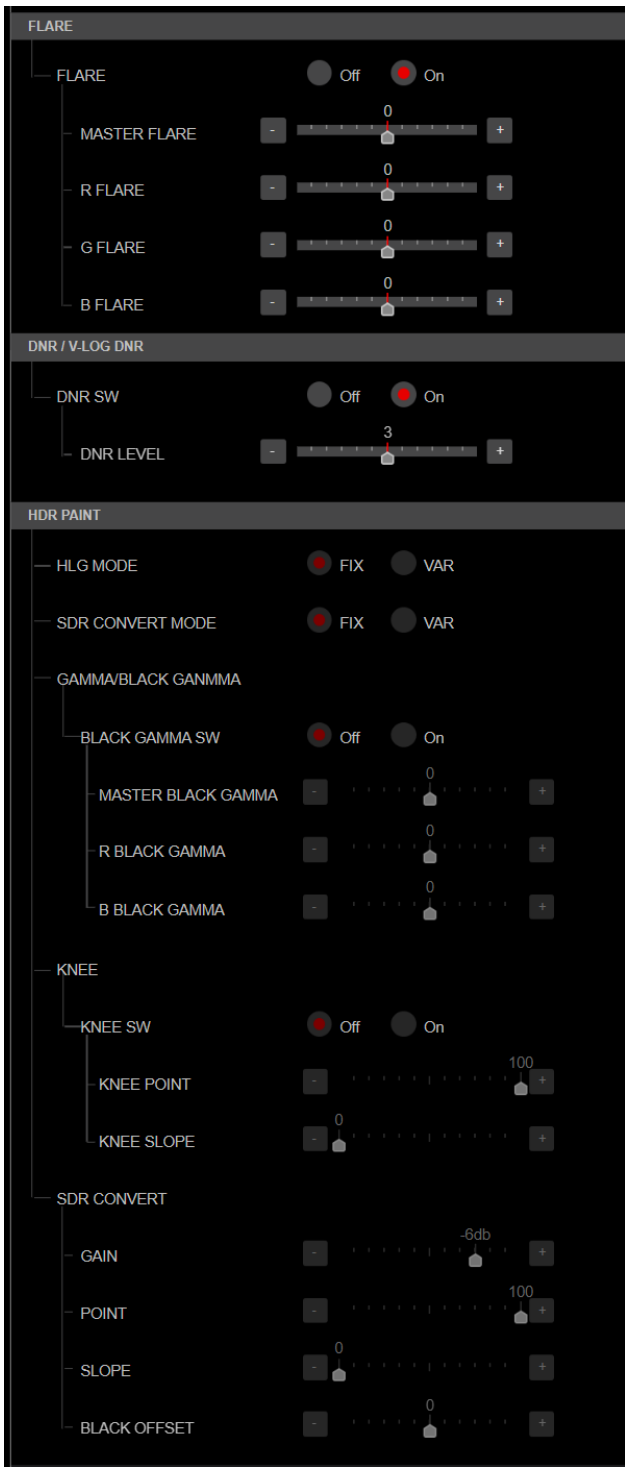
59.94i/59.94pモード	60.0Hz～7200Hz
50i/50pモード	50.0Hz～7200Hz
29.97pモード	30.0Hz～7200Hz
25pモード	25.0Hz～7200Hz
23.98pモード	24.0Hz～7200Hz
120pモード	120.1Hz～7200Hz
180pモード	180.2Hz～7200Hz
240pモード	241.1Hz～7200Hz
100pモード	100.1Hz～7200Hz
150pモード	150.3Hz～7200Hz
200pモード	200.5Hz～7200Hz

[deg]表示の場合

3.0 deg～357.0 deg

PICTURE


Brightness
Picture
Matrix
GAMMA/KNEE
DETAIL
W/B BAL SETTING
WHITE BALANCE MODE
AWB A
SHOCKLESS WB SW
Off
On
SHOCKLESS WB SPEED
4
PEDESTAL
MASTER PEDESTAL
R PEDESTAL
G PEDESTAL
B PEDESTAL
PEDESTAL OFFSET
CHROMA
CHROMA LEVEL SWITCH
CHROMA LEVEL
0%
COLOR TEMP SETTING / V-LOG COLOR TEMP SETTING
COLOR TEMP ACH/BCH
COLOR TEMP ACH
3200K
R GAIN ACH
B GAIN ACH
G AXIX ACH
RGB GAIN CONTROL SETTING
G GAIN REL CONTROL SWITCH
RGB GAIN PRESET
R GAIN
G GAIN
B GAIN
RGB GAIN ACH/BCH
ACH
R GAIN ACH
G GAIN ACH
B GAIN ACH
GAIN OFFSET ACH


FLARE
FLARE
Off
On
MASTER FLARE
R FLARE
G FLARE
B FLARE
DNR / V-LOG DNR
DNR SW
DNR LEVEL
HDR PAINT
HLG MODE
FIX
VAR
SDR CONVERT MODE
GAMMA/BLACK GANMMA
BLACK GAMMA SW
MASTER BLACK GAMMA
R BLACK GAMMA
B BLACK GAMMA
KNEE
KNEE SW
KNEE POINT
KNEE SLOPE
SDR CONVERT
GAIN
-6db
POINT
SLOPE
BLACK OFFSET

■ W/B BAL SETTING

WHITE BALANCE MODE [AWB A]

工場出荷時の設定: AWB A

SHOCKLESS WB SW [Off、On]

[WHITE BALANCE MODE]を切り替えたときに、瞬時に移行するか、緩やかに移行するかの制御を設定します。

工場出荷時の設定: Off

SHOCKLESS WB SW SPEED [1～5]

[WHITE BALANCE MODE]を切り替えたとき、移行するまでのスピードを設定します。

工場出荷時の設定: 4

■ PEDESTAL

NOTE

- PEDESTALのすべての項目において、[V-LOG]が[On]で[V-LOG PAINT SW]が[Off]のときは設定できません。

MASTER PEDESTAL [-200～+200]

黒レベルの調整（ペデスタル調整）を行います。

マイナス方向にすると黒くなり、プラス方向にすると白っぽくなります。

工場出荷時の設定: 0

R PEDESTAL [-800～+800]

Rペデスタルを調整できます。

工場出荷時の設定: 0

G PEDESTAL [-800～+800]

Gペデスタルを調整できます。

工場出荷時の設定: 0

B PEDESTAL [-800～+800]

Bペデスタルを調整できます。

工場出荷時の設定: 0

PEDESTAL OFFSET [Off、On]

オートブラックバランスの調整を行ったときの、Rch、Gch、Bchのペデスタルレベルを設定します。

Off	[R PEDESTAL]、[G PEDESTAL]、[B PEDESTAL]のペデスタルレベルを[0]にします。
On	[R PEDESTAL]、[G PEDESTAL]、[B PEDESTAL]の各項目で設定した値を保持したままにします。

工場出荷時の設定: Off

■ CHROMA

NOTE

- CHROMAのすべての項目において、[V-LOG]が[On]で[V-LOG PAINT SW]が[Off]のときは設定できません。

CHROMA LEVEL SWITCH [Off、On]

映像の色の濃淡設定のOff/Onを選択します。

Off	映像の色の濃淡設定をOffにします。
On	映像の色の濃淡設定をOnにします。

CHROMA LEVEL [-100%～40%]

映像の色の濃淡を設定します。

工場出荷時の設定: 0%

■ COLOR TEMP SETTING / V-LOG COLOR TEMP SETTING

NOTE

- COLOR TEMP SETTING / V-LOG COLOR TEMP SETTINGのすべての項目において、[V-LOG]が[On]で[V-LOG PAINT SW]が[Off]のときは設定できません。

COLOR TEMP ACH/BCH

[WHITE BALANCE MODE]が[AWB A]または[AWB B]のときの色温度を表示します。

AchとBchの出力バランスを変化させることにより、色温度を変化させることができます。

COLOR TEMP ACH [2000K ～15000K]

[WHITE BALANCE MODE]が[AWB A]のときの色温度を設定します。

工場出荷時の設定: 3200K

R GAIN ACH [-400～+400]

[WHITE BALANCE MODE]が[AWB A]のときのRゲインを調整できます。

工場出荷時の設定: 0

B GAIN ACH [-400～+400]

[WHITE BALANCE MODE]が[AWB A]のときのBゲインを調整できます。

工場出荷時の設定: 0

G AXIS ACH [-400～+400]

[WHITE BALANCE MODE]が[AWB A]のときのG-Mg方向のゲインを調整できます。

工場出荷時の設定: 0

■ RGB GAIN CONTROL SETTING

NOTE

- RGB GAIN CONTROL SETTINGのすべての項目において、[V-LOG]が[On]で[V-LOG PAINT SW]が[Off]のときは設定できません。

G GAIN REL CONTROL SWITCH [Off、On]

Gゲインの相対値制御のOn/Offを設定します。
工場出荷時の設定: Off

RGB GAIN PRESET

[WHITE BALANCE MODE]が[3200K]、[5600K]、[VAR]のときのゲインを設定します。

R GAIN [-1000～+1000]

Rゲインを調整できます。
工場出荷時の設定: 0

G GAIN [-1000～+1000]

Gゲインを調整できます。
工場出荷時の設定: 0

B GAIN [-1000～+1000]

Bゲインを調整できます。
工場出荷時の設定: 0

RGB GAIN ACH/BCH

[WHITE BALANCE MODE]が[AWB A]、[AWB B]のときのゲインを設定します。

ACH

R GAIN ACH [-1000～+1000]

[WHITE BALANCE MODE]が[AWB A]のときのRゲインを調整できます。
工場出荷時の設定: 0

G GAIN ACH [-1000～+1000]

[WHITE BALANCE MODE]が[AWB A]のときのGゲインを調整できます。
工場出荷時の設定: 0

B GAIN ACH [-1000～+1000]

[WHITE BALANCE MODE]が[AWB A]のときのBゲインを調整できます。
工場出荷時の設定: 0

GAIN OFFSET ACH [Off、On]

[WHITE BALANCE MODE]を[AWB A]にしてオートホワイトバランスを行ったときの、Rゲインと Bゲインの値を設定します。

Off	[R GAIN ACH]と[B GAIN ACH]の値を[0]にします。
On	[R GAIN ACH]と[B GAIN ACH]で設定した値を保持したままにします。

工場出荷時の設定: Off

■ FLARE

NOTE

- FLAREのすべての項目において、[V-LOG]が[On]で[V-LOG PAINT SW]が[Off]のときは設定できません。

FLARE [Off、On]

フレア補正のOff/Onを設定します。
工場出荷時の設定: Off

MASTER FLARE [-200～0～+200]

マスターフレアを調整します。
工場出荷時の設定: 0

R FLARE [-200～0～+200]

Rchフレアを調整します。
工場出荷時の設定: 0

G FLARE [-200～0～+200]

Gchフレアを調整します。
工場出荷時の設定: 0

B FLARE [-200～0～+200]

Bchフレアを調整します。
工場出荷時の設定: 0

DNR / V-LOG DNR

NOTE

- DNR / V-LOG DNRのすべての項目において、[V-LOG]が[On]で[V-LOG PAINT SW]が[Off]のときは設定できません。

DNR SW [Off、On]

夜間など低照度の環境でも、明るくノイズのない鮮明な映像を出力するために、デジタルノイズリダクション効果のOFF/ONを選択します。
工場出荷時の設定: Off

DNR LEVEL [1～5]

デジタルノイズリダクションのレベルを設定します。
工場出荷時の設定: 3

■ HDR PAINT

HLG MODE [FIX、VAR]

HDR時の画質設定のモードを選択します。

工場出荷時の設定: FIX

NOTE

- [V-LOG]が[On]のときは無効です。

SDR CONVERT MODE [FIX、VAR]

SDRに変換するモードを選択します。

FIX	固定モード(ゲイン -10dB固定)
VAR	可変モード

工場出荷時の設定: FIX

GAMMA/BLACK GAMMA

BLACK GAMMA SW [Off、On]

暗部のガンマカーブのOn/Offを選択します。

工場出荷時の設定: Off

MASTER BLACK GAMMA [-32～+32]

マスターブラックガンマ補正レベルの調整を行います。

工場出荷時の設定: 0

R BLACK GAMMA [-32～+32]

Rchのブラックガンマ補正レベルの調整を行います。

工場出荷時の設定: 0

B BLACK GAMMA [-32～+32]

Bchのブラックガンマ補正レベルの調整を行います。

工場出荷時の設定: 0

KNEE

NOTE

- KNEEのすべての項目において、[V-LOG]が[On]で[V-LOG PAINT SW]が[Off]のときは設定できません。
- KNEEのすべての項目において、[HDR]が[On]のときは設定できません。
- [DRS]を有効にしているときは、ニーの設定が無効になります。

KNEE SW [Off、On]

階調圧縮(ニー)の動作モードのOn/Offを設定します。

工場出荷時の設定: On

KNEE POINT [-25.00% ～25.00% (0.25%ステップ)]

高輝度映像信号の圧縮レベル(ニーポイント)の位置設定を行います。

[KNEE SW]が[On]のときに有効です。

工場出荷時の設定: 0

KNEE SLOPE [-25.00% ～25.00% (0.25%ステップ)]

ニーの傾きを設定します。

[KNEE SW]が[On]のときに有効です。

工場出荷時の設定: 0

SDR CONVERT

[SDR CONVERT MODE]で[FIX]を選択した場合は、設定は無効になり設定できません。

GAIN [0dB、-5dB、-6dB、-7dB、-8dB、-9dB、-10dB、-11dB、-12dB]

SDR映像のゲインを設定します。

工場出荷時の設定: -6

POINT [0～100]

SDR映像に圧縮を開始する映像レベルを設定します。

工場出荷時の設定: 0

SLOPE [0～127]

SDR映像を圧縮する傾きを設定します。

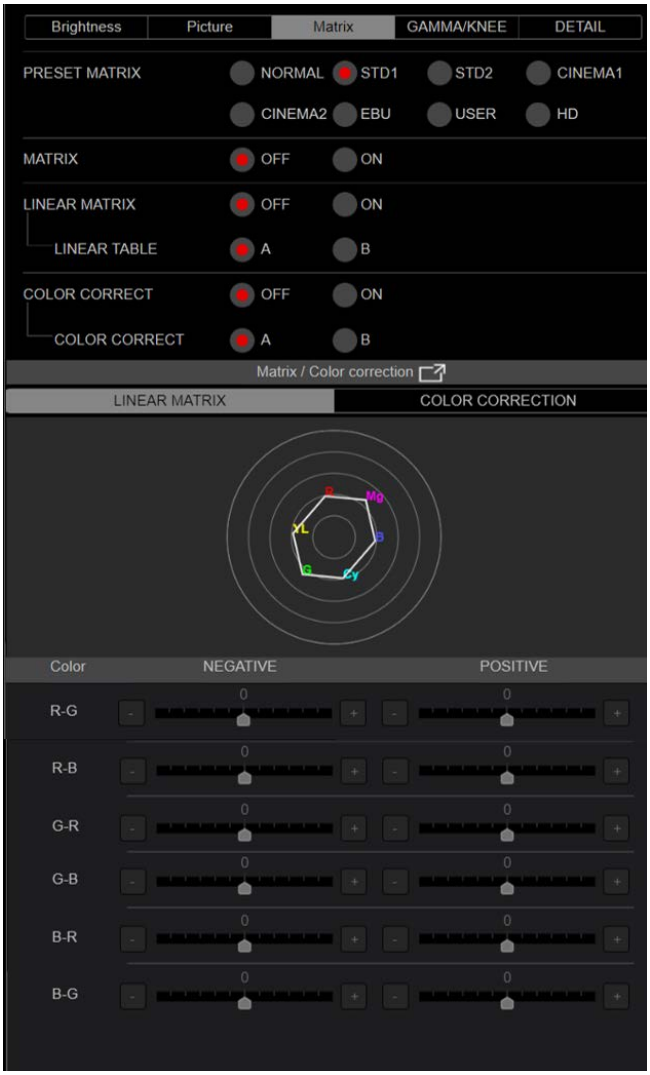
工場出荷時の設定: 0

BLACK OFFSET [-100～+100]

SDR映像の黒レベルオフセットを調整します。

工場出荷時の設定: 0

MATRIX



NOTE

- [Matrix / Color correction]横のアイコンをクリックすると[LINEAR MATRIX]、[COLOR CORRECTION]の設定画面が別ウィンドウで表示されます。

PRESET MATRIX [NORMAL、STD1、STD2、CINEMA1、CINEMA2、EBU、USER、HD]

マトリクスのタイプを選択します。

NORMAL	屋外環境を重視したマトリクス設定です。 [GAMMA]を[NORMAL]に設定して使用してください。
STD1	当社製スタジオカメラAK-UC4000（NORM-NORMAL）に準じたマトリクス設定です。 [GAMMA]を[HD]に設定して使用してください。
STD2	当社製スタジオカメラAK-UC4000（NORM-OE.11）に準じたマトリクス設定です。 [GAMMA]を[HD]に設定して使用してください。
CINEMA1	コントラストが強めのマトリクス設定です。 [GAMMA]を[CINEMA1]に設定して使用してください。
CINEMA2	落ち着いた調子のマトリクス設定です。 [GAMMA]を[CINEMA2]に設定して使用してください。
EBU	当社製スタジオカメラAK-UC4000（EBU-NORMAL）に準じたマトリクス設定です。 [GAMMA]を[HD]に設定して使用してください。
USER	当社製リモートカメラAW-UE150に準じたマトリクス設定です。 [GAMMA]を[HD]に設定して使用してください。
HD	当社製の放送機器に準じたマトリクス設定です。 [GAMMA]を[HD]に設定して使用してください。

工場出荷時の設定: HD

MATRIX [OFF、ON]

マトリクス（リニアマトリクス/カラーコレクション）のON/OFF設定をします。

工場出荷時の設定: OFF

LINEAR MATRIX [OFF、ON]

リニアマトリクス機能のON/OFFを設定します。

工場出荷時の設定: OFF

LINEAR TABLE [A、B]

リニアマトリクスのテーブルを選択します。

工場出荷時の設定: A

COLOR CORRECT [OFF、ON]

カラーコレクション機能のON/OFFを設定します。

工場出荷時の設定: OFF

COLOR CORRECT [A、B]

カラーコレクションのテーブルを選択します。

工場出荷時の設定: A

LINEAR MATRIX

リニアマトリクスの調整を行います。

NOTE

- LINEAR MATRIXのすべての項目において、[V-LOG]が[On]で[V-LOG PAINT SW]が[Off]のときは設定できません。

COLOR R-G

NEGATIVE [-31～+31]	R-GのN方向を設定します。
POSITIVE [-31～+31]	R-GのP方向を設定します。

COLOR R-B

NEGATIVE [-31～+31]	R-BのN方向を設定します。
POSITIVE [-31～+31]	R-BのP方向を設定します。

COLOR G-R

NEGATIVE [-31～+31]	G-RのN方向を設定します。
POSITIVE [-31～+31]	G-RのP方向を設定します。

COLOR G-B

NEGATIVE [-31～+31]	G-BのN方向を設定します。
POSITIVE [-31～+31]	G-BのP方向を設定します。

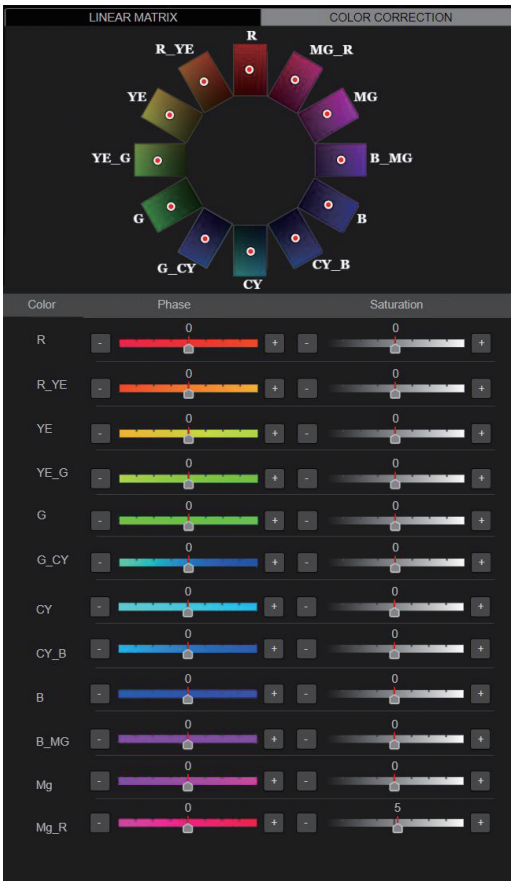
COLOR B-R

NEGATIVE [-31～+31]	B-RのN方向を設定します。
POSITIVE [-31～+31]	B-RのP方向を設定します。

COLOR B-G

NEGATIVE [-31～+31]	B-GのN方向を設定します。
POSITIVE [-31～+31]	B-GのP方向を設定します。

工場出荷時の設定: 0



COLOR CORRECTION

色飽和度と色相の調整を行います。

NOTE

- COLOR CORRECTIONのすべての項目において、[V-LOG]が[On]で[V-LOG PAINT SW]が[Off]のときは設定できません。

COLOR R

PHASE [-127～0～+126]	赤の色相を調整します。

COLOR R_YE

PHASE [-127～0～+126]	赤と黄の間の色相を調整します。

COLOR YE

PHASE [-127～0～+126]	黄の色相を調整します。

COLOR YE_G

PHASE [-127～0～+126]	黄と緑の間の色相を調整します。

COLOR G

PHASE [-127～0～+126]	緑の色相を調整します。

COLOR G_CY

PHASE [-127～0～+126]	緑とシアンの間の色相を調整します。

COLOR CY

PHASE [-127～0～+126]	シアンの色相を調整します。

COLOR CY_B

PHASE [-127～0～+126]	シアンと青の間の色相を調整します。

COLOR B

PHASE [-127～0～+126]	青の色相を調整します。

COLOR B_MG

PHASE [-127～0～+126]	青とマゼンタの間の色相を調整します。

COLOR MG

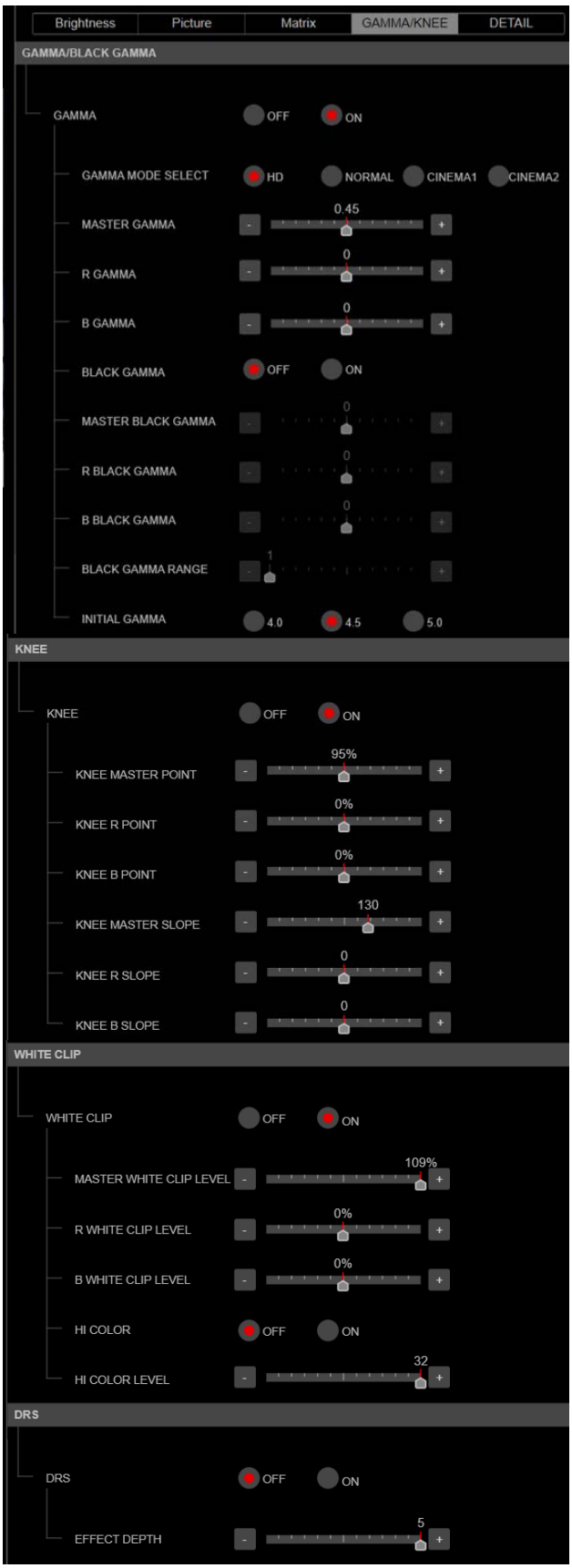
PHASE [-127～0～+126]	マゼンタの色相を調整します。

COLOR MG_R

PHASE [-127～0～+126]	マゼンタと赤の間の色相を調整します。

工場出荷時の設定: 0

GAMMA/KNEE



■ GAMMA/BLACK GAMMA

NOTE

- GAMMA/BLACK GAMMAのすべての項目において、[V-LOG]が[On]で[V-LOG PAINT SW]が[Off]のときは設定できません。
- GAMMA/BLACK GAMMAのすべての項目において、[HDR]が[On]のときは設定できません。

GAMMA [OFF、ON]

ガンマモードのON/OFFを選択します。

工場出荷時の設定: OFF

GAMMA MODE SELECT [HD、NORMAL、CINEMA1、CINEMA2]

ガンマカーブのタイプを選択します。

HD	当社製の放送機器に準じたビデオガンマ特性です。
NORMAL	フェイストーンを持ち上げるガンマ特性です。
CINEMA1	コントラストが強めのガンマ特性です。
CINEMA2	落ち着いた調子のマトリクス設定です。

工場出荷時の設定: HD

MASTER GAMMA [0.15～0.75]

マスターガンマ補正レベルの調整を行います。

工場出荷時の設定: 0.45

R GAMMA [-75～+75]

Rchのガンマを設定します。

工場出荷時の設定: 0

B GAMMA [-75～+75]

Bchのガンマを設定します。

工場出荷時の設定: 0

BLACK GAMMA [OFF、ON]

暗部のガンマカーブのON/OFFを選択します。

工場出荷時の設定: OFF

MASTER BLACK GAMMA [-48～+48]

マスターブラックガンマ補正レベルの調整を行います。

-48～-1	暗部を圧縮します。
+1～+48	暗部を伸張します。

工場出荷時の設定: 0

R BLACK GAMMA [-20～+20]

Rchのブラックガンマ補正レベルの調整を行います。

工場出荷時の設定: 0

B BLACK GAMMA [-20～+20]

Bchのブラックガンマ補正レベルの調整を行います。

工場出荷時の設定: 0

BLACK GAMMA RANGE [1～3]

暗部のガンマカーブの圧縮/伸張を行う上限レベルを設定します。

1	20%程度
2	30%程度
3	40%程度

工場出荷時の設定: 3

INITIAL GAMMA [4.0、4.5、5.0]

ガンマカーブの立ち上がり傾きを設定します。

[GAMMA MODE SELECT]が[HD]の時のみ設定可能です。

工場出荷時の設定: 4.0

■ KNEE

NOTE

- KNEEのすべての項目において、[V-LOG]が[On]で[V-LOG PAINT SW]が[Off]のときは設定できません。
- KNEEのすべての項目において、[HDR]が[On]のときは設定できません

KNEE [OFF、ON]

階調圧縮（ニー）の動作モードのON/OFFを設定します。
工場出荷時の設定: ON

KNEE MASTER POINT
[80.00%～110.00% (0.25%ステップ)]
高輝度映像信号の圧縮レベル（ニーポイント）の位置設定を行います。
[KNEE MODE]が[MANUAL]のときに有効です。
工場出荷時の設定: 0.95

KNEE R POINT
[-25.00%～25.00% (0.25%ステップ)]
[KNEE MASTER POINT]に対してRchの圧縮レベル（ニーポイント）の位置設定を行います。
[KNEE MODE]が[MANUAL]のときに有効です。
工場出荷時の設定: 0

KNEE B POINT
[-25.00%～25.00% (0.25%ステップ)]
[KNEE MASTER POINT]に対してBchの圧縮レベル（ニーポイント）の位置設定を行います。
[KNEE MODE]が[MANUAL]のときに有効です。
工場出荷時の設定: 0

KNEE MASTER SLOPE [0～199]
ニーの傾きを設定します。
[KNEE MODE]が[MANUAL]のときに有効です。
工場出荷時の設定: 130

KNEE R SLOPE [-99～+99]
[KNEE MASTER SLOPE]に対してRchの傾きを設定します。
[KNEE MODE]が[MANUAL]のときに有効です。
工場出荷時の設定: 0

KNEE B SLOPE [-99～+99]
[KNEE MASTER SLOPE]に対してBchの傾きを設定します。
[KNEE MODE]が[MANUAL]のときに有効です。
工場出荷時の設定: 0

■ WHITE CLIP

NOTE

- WHITE CLIPのすべての項目において、[V-LOG]が[On]で[V-LOG PAINT SW]が[Off]のときは設定できません。
- WHITE CLIPのすべての項目において、[HDR]が[On]のときは設定できません。

WHITE CLIP [OFF、ON]

ホワイトクリップ機能のOFF/ONを設定します。
工場出荷時の設定: OFF

MASTER WHITE CLIP LEVEL [80%～109%]
マスターホワイトクリップレベルを設定します。
工場出荷時の設定: 1.09

R WHITE CLIP LEVEL [-15%～+15%]
[MASTER WHITE CLIP LEVEL]に対してRchのホワイトクリップレベルを設定します。
[WHITE CLIP]が[ON]のときに有効です。
工場出荷時の設定: 0

B WHITE CLIP LEVEL [-15%～+15%]
[MASTER WHITE CLIP LEVEL]に対してBchのホワイトクリップレベルを設定します。
[WHITE CLIP]が[ON]のときに有効です。
工場出荷時の設定: 0

HI COLOR [OFF、ON]
色のダイナミックレンジを拡大するモードの制御を設定します。
高輝度部分の色再現性を改善します。
工場出荷時の設定: OFF

HI COLOR LEVEL [1～32]
色のダイナミックレンジを拡大するモードのレベルを設定します。
工場出荷時の設定: 32

■ DRS

NOTE

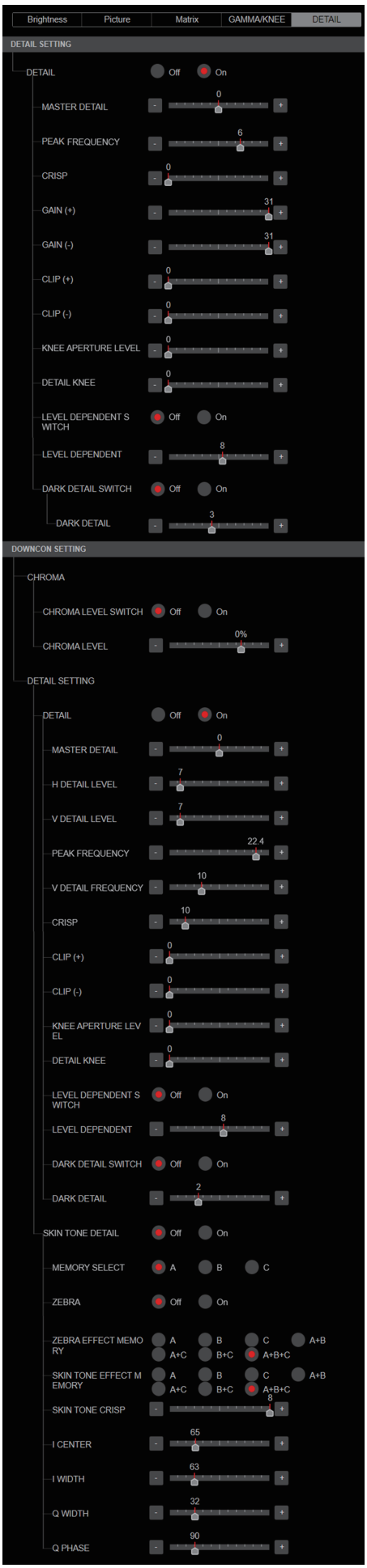
- DRSのすべての項目において、[V-LOG]が[On]で[V-LOG PAINT SW]が[Off]のときは設定できません。

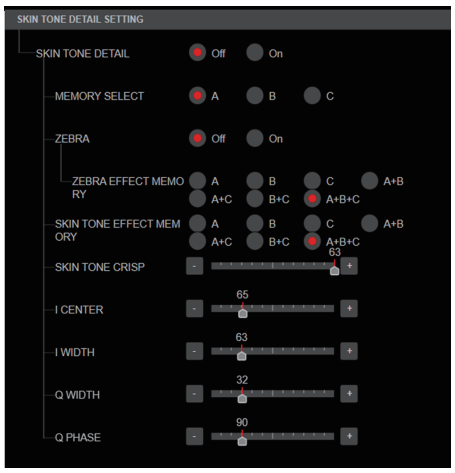
DRS [OFF、ON]

明暗差の大きな映像を映したときに、適正に補正を行うDRS機能のON/OFFを設定します。
工場出荷時の設定: OFF

EFFECT DEPTH [1～5]
DRS機能の効果レベルを設定します。数値が大きいほど効果レベルが大きくなります。
工場出荷時の設定: 5

DETAIL





■ DETAIL SETTING

NOTE

- DETAIL SETTINGのすべての項目において、[V-LOG]が[On]で[V-LOG PAINT SW]が[Off]のときは設定できません。

DETAIL [Off、On]

映像の輪郭（映像のシャープさ）の調整のOn/Offを設定します。
工場出荷時の設定: On

MASTER DETAIL [-31～+31]

輪郭補正レベル（マスター）の調整を行います。
[DETAIL]が[On]のときに有効です。
工場出荷時の設定: 0

PEAK FREQUENCY [1～8]

ディテールのブースト周波数を設定します。
[DETAIL]が[On]のときに有効です。
工場出荷時の設定: 6

CRISP [0～63]

ディテール信号のノイズ除去レベルを設定します。
[DETAIL]が[On]のときに有効です。
工場出荷時の設定: 0

GAIN(+) [-31～+31]

プラス方向（明るくする方向）のディテール信号レベルを設定します。
[DETAIL]が[On]のときに有効です。
工場出荷時の設定: 0

GAIN(-) [-31～+31]

マイナス方向（暗くする方向）のディテール信号レベルを設定します。
[DETAIL]が[On]のときに有効です。
工場出荷時の設定: 0

CLIP(+) [0～63]

プラス方向（明るくする方向）のディテール信号をクリップするレベルを設定します。
[DETAIL]が[On]のときに有効です。
工場出荷時の設定: 0

CLIP(-) [0～63]

マイナス方向（暗くする方向）のディテール信号をクリップするレベルを設定します。
[DETAIL]が[On]のときに有効です。
工場出荷時の設定: 0

KNEE APERTURE LEVEL [0～39]
高輝度部のディテールのレベルを調整します。
[DETAIL]が[On]のときに有効です。
工場出荷時の設定: 0

DETAIL KNEE [0～15]
ニーのディテール成分を調整します。
[DETAIL]が[On]のときに有効です。
工場出荷時の設定: 0

LEVEL DEPENDENT SWITCH [Off、On]
暗部ディテールを除去するレベルのOn/Offを設定します。
[DETAIL]が[On]のときに有効です。
工場出荷時の設定: Off

LEVEL DEPENDENT [0～15]
暗部ディテールを除去するレベルを設定します。
[DETAIL]が[On]のときに有効です。
工場出荷時の設定: 0

DARK DETAIL SWITCH [Off、On]
暗部ディテールを付加する制御のOn/Offを設定します。
[DETAIL]が[On]のときに有効です。
工場出荷時の設定: Off

DARK DETAIL [0～7]
暗部ディテールのレベルを設定します。
[DETAIL]が[On]のときに有効です。
工場出荷時の設定: 3

■ DOWNCON SETTING

4KからHDへダウンコンバートした映像の輪郭や色を調整します。
[Format]が以下のときに有効です。
2160/59.94p、2160/29.97p、2160/23.98p、
2160/50p、2160/25p

NOTE

- DOWNCON SETTINGのすべての項目において、[V-LOG]が[On]で[V-LOG PAINT SW]が[Off]のときは設定できません。

CHROMA

CHROMA LEVEL SWITCH [Off、On]
クロマレベル制御のOn/Offを設定します。
工場出荷時の設定: Off

CHROMA LEVEL [-100%～80%]
映像の色の濃淡を設定します。
工場出荷時の設定: 0

DETAIL SETTING

DETAIL [Off、On]
映像の輪郭（映像のシャープさ）の調整のOn/Offを設定します。
工場出荷時の設定: On

MASTER DETAIL [-31～+31]
輪郭補正レベル（マスター）の調整を行います。
[DETAIL]が[On]のときに有効です。
工場出荷時の設定: 0

H DETAIL LEVEL [0～63]
水平方向の輪郭補正レベルの調整を行います。
[DETAIL]が[On]のときに有効です。
工場出荷時の設定: 7

V DETAIL LEVEL[0～63]
垂直方向の輪郭補正レベルの調整を行います。
[DETAIL]が[On]のときに有効です。
工場出荷時の設定: 7

PEAK FREQUENCY [12.4MHz～37.1MHz]
ディテールのブースト周波数を設定します。
[DETAIL]が[On]のときに有効です。
工場出荷時の設定: 22.4MHz

V DETAIL FREQUENCY [0～31]
垂直方向ディテールのブースト周波数を設定します。

0：低周波数
〈
31：高周波数

高周波数にすると、より細かい被写体にディテール効果がつきます。
[DETAIL]が[On]のときに有効です。
工場出荷時の設定: 10

CRISP [0～63]
ディテール信号のノイズ除去レベルを設定します。
[DETAIL]が[On]のときに有効です。
工場出荷時の設定: 10

CLIP(+) [0～63]
プラス方向(明るくする方向)のディテール信号をクリップするレベルを設定します。
[DETAIL]が[On]のときに有効です。
工場出荷時の設定: 0

CLIP(-) [0～63]
マイナス方向(暗くする方向)のディテール信号をクリップするレベルを設定します。
[DETAIL]が[On]のときに有効です。
工場出荷時の設定: 0

KNEE APERTURE LEVEL [0～39]
高輝度部のディテールのレベルを調整します。
[DETAIL]が[On]のときに有効です。
工場出荷時の設定: 0

DETAIL KNEE [0～15]
ニーのディテール成分を調整します。
[DETAIL]が[On]のときに有効です。
工場出荷時の設定: 0

LEVEL DEPENDENT SWITCH [Off、On]
暗部ディテールを除去する制御のOn/Offを設定します。
[DETAIL]が[On]のときに有効です。
工場出荷時の設定: Off

LEVEL DEPENDENT [0～15]
暗部ディテールを除去するレベルを設定します。
[DETAIL]が[On]のときに有効です。
工場出荷時の設定: 8

DARK DETAIL SWITCH [Off、On]
暗部ディテールを付加する制御のOn/Offを設定します。
[DETAIL]が[On]のときに有効です。
工場出荷時の設定: Off

DARK DETAIL [0～7]
暗部ディテールのレベルを設定します。
工場出荷時の設定: 2

SKIN TONE DETAIL [Off、On]
人の肌を滑らかに、よりきれいに映す機能です。
スキントーンディテール機能のOn/Offを設定します。
工場出荷時の設定: Off

MEMORY SELECT [A、B、C]
スキントーンを効かせる被写体の肌色テーブルを選択します。
工場出荷時の設定: A

ZEBRA [Off、On]
スキントーンエリアのゼブラ表示のOn/Offを設定します。
ゼブラパターンは、SDI OUT2端子に接続した機器のみに表示されます。
工場出荷時の設定: Off

NOTE

- [SKIN TONE DETAIL SETTING]の[ZEBRA]が[On]のときは、設定できません。

ZEBRA EFFECT MEMORY
[A、B、C、A+B、A+C、B+C、A+B+C]
ゼブラ表示する肌色テーブルを選択します。
工場出荷時の設定: A+B+C

SKIN TONE EFFECT MEMORY
[A、B、C、A+B、A+C、B+C、A+B+C]
スキントーンを効かせる肌色テーブルを選択します。
工場出荷時の設定: A+B+C

SKIN TONE CRISP [0～8]
スキントーンディテールを調整します。
工場出荷時の設定: 8

I CENTER [0～255]
I軸上の中心位置(スキントーンを効かせるエリア)を設定します。
工場出荷時の設定: 65

I WIDTH [0～255]
[I CENTER]を中心としたI軸上のスキントーンを効かせるエリア幅を設定します。
工場出荷時の設定: 63

Q WIDTH [0～127]
[I CENTER]を中心としたQ軸上のスキントーンを効かせるエリア幅を設定します。
工場出荷時の設定: 32

Q PHASE [0～359]
Q軸を基準としたスキントーンを効かせるエリアの位相を設定します。
工場出荷時の設定: 90

■ SKIN TONE DETAIL SETTING

NOTE

- SKIN TONE DETAIL SETTINGのすべての項目において、[V-LOG]が[On]で[V-LOG PAINT SW]が[Off]のときは設定できません。

SKIN TONE DETAIL [Off、On]

人の肌を滑らかに、よりきれいに映す機能です。
スキントーンディテール機能のOn/Offを設定します。
工場出荷時の設定: Off

MEMORY SELECT [A、B、C]

スキントーンを効かせる被写体の肌色テーブルを選択します。
工場出荷時の設定: A

ZEBRA [Off、On]

スキントーンエリアのゼブラ表示のOn/Offを設定します。
ゼブラパターンは、SDI OUT2端子に接続した機器のみに表示されます。
工場出荷時の設定: Off

NOTE

- [DOWNCON SETTING]の[ZEBRA]が[On]のときは、設定できません。

ZEBRA EFFECT MEMORY [A、B、C、A+B、A+C、B+C、A+B+C]

ゼブラ表示する肌色テーブルを選択します。
工場出荷時の設定: A+B+C

SKIN TONE EFFECT MEMORY [A、B、C、A+B、A+C、B+C、A+B+C]

スキントーンを効かせる肌色テーブルを選択します。
工場出荷時の設定: A+B+C

SKIN TONE CRISP [-63～0～+63]

スキントーンディテールを調整します。
工場出荷時の設定: 63

I CENTER [0～255]

I軸上の中心位置(スキントーンを効かせるエリア)を設定します。
工場出荷時の設定: 65

I WIDTH [0～255]

[I CENTER]を中心としたI軸上のスキントーンを効かせるエリア幅を設定します。
工場出荷時の設定: 63

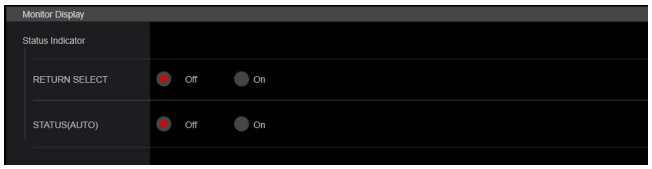
Q WIDTH [0～255]

[I CENTER]を中心としたQ軸上のスキントーンを効かせるエリア幅を設定します。
工場出荷時の設定: 32

Q PHASE [0～359]

Q軸を基準としたスキントーンを効かせるエリアの位相を設定します。
工場出荷時の設定: 90

モニターディスプレイ設定画面 [Monitor Display]



Status Indicator

[On]に設定した項目に対して、所定のステータスになると、[CHAR]が[ON]かつ、[OUTPUT ITEM]が[STATUS]に設定されている端子映像に各ステータスが表示されます。

RETURN SELECT [Off、On]

[On]のとき、[RETURN] - [RETURN1 ID]で設定した文字列を、画面上部中央領域にOSD表示します。
RETURN SELECTの文字列は、SDI OUT2端子に接続した機器のみに表示されます。

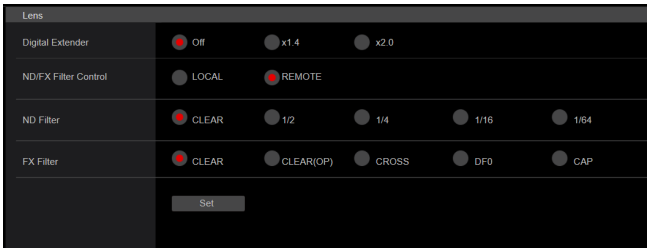
STATUS(AUTO) [Off、On]

[On]のとき、OSDにて以下のステータス表示を行います。
- オートホワイトバランスを実施した後の結果表示
- オートブラックバランスを実施した後の結果表示
- エラーが発生した時のエラー表示

工場出荷時の設定: Off

レンズ設定画面 [Lens]

設定は[Set]ボタンで確定します。



Digital Extender [Off、×1.4、×2.0]

デジタルエクステンダー機能の設定を行います。

Off	デジタルエクステンダーの機能をOffにします。
×1.4	常にデジタルズームが1.4倍として動作します。
×2.0	常にデジタルズームが2.0倍として動作します。

工場出荷時の設定: Off

ND/FX Control [LOCAL、REMOTE]

〈ND〉フィルターや〈FX〉フィルターを手動調整するかリモート調整するかを設定します。

工場出荷時の設定: LOCAL

ND Filter [CLEAR、1/2、1/4、1/16、1/64]

被写体の明るさに合わせてフィルターを選択します。

CLEAR	ND フィルターを使用しません。
1/2	MOS センサーに入る光の量を1/2にします。
1/4	MOS センサーに入る光の量を1/4にします。
1/16	MOS センサーに入る光の量を1/16にします。
1/64	MOS センサーに入る光の量を1/64にします。

工場出荷時の設定: CLEAR

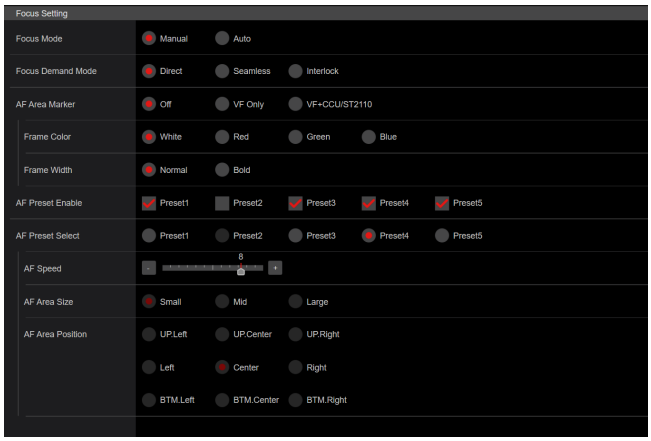
FX Filter [CLEAR、CLEAR(OP)、CROSS、DF0、CAP]

求める効果に合わせてフィルターを選択します。

CLEAR	NDフィルターを使用しません。
CLEAR(OP)	NDフィルターを使用しません。
CROSS	クロスフィルターに設定します。
DF0	ディフュージョンフィルターに設定します。
CAP	MOSセンサーに入る光を遮光します。

工場出荷時の設定: CLEAR

フォーカス設定画面 [Focus Setting]



Focus Mode [Manual、Auto]

フォーカス調整（ピント合わせ）機能の自動/手動を設定します。

工場出荷時の設定: Manual

NOTE

- PFレンズが有効のときは、[Manual] 固定です。
- [Digital Extender] が [× 1.4]、[×2.0] のときは、[Manual] 固定です。
- [Format] が [2160/120fps]、[1080/240fps]、[1080/180fps]、[1080/120fps]、[2160/100fps]、[1080/200fps]、[1080/150fps]、[1080/100fps] のときは、[Manual] 固定です。
- オートフォーカス未対応レンズのときは、[Auto] を設定しても自動でフォーカス調整ができません。

Focus Demand Mode [Direct、Seamless、Interlock]

フォーカスデマンドの制御方法を設定します。

Direct	デマンドの絶対位置でフォーカス制御するモード
Seamless	デマンドの相対位置でフォーカス制御するモード
Interlock	デマンドの相対位置でフォーカス制御するモード（絶対位置と一致するまでフォーカスを維持）

工場出荷時の設定: Direct

NOTE

- 一部のフォーカスデマンドは[Seamless]、[Interlock]に対応していません。フォーカスデマンドの制御が効かない場合は、[Direct]でお使いください。

AF Area Marker [Off、VF Only、VF+CCU/ST2110]

オートフォーカスエリアマーカーの表示を設定します。

Off	マーカー表示なし
VF Only	VFにのみ表示
VF+CCU/ST2110	VF、CCU PM、ST2110 SUB VIDEO TXに表示

工場出荷時の設定: Off

NOTE

- PFレンズのオートフォーカスが有効のときは、[Off] 固定です。
- [Digital Extender] が [× 1.4]、[×2.0] のときは、[Off] 固定です。
- [Format] が [2160/120fps]、[1080/240fps]、[1080/180fps]、[1080/120fps]、[2160/100fps]、[1080/200fps]、[1080/150fps]、[1080/100fps] のときは、[Off] 固定です。
- オートフォーカス未対応レンズのときはFocus Modeに関わらずManual用のマーカー表示となりますが、一部、オートフォーカス未対応レンズでもAuto用のマーカー表示になる場合があります。

Frame Color [White、Red、Green、Blue]
オートフォーカスエリアマーカーの線の色を設定します。
工場出荷時の設定: White

Frame Width [Normal、Bold]
オートフォーカスエリアマーカーの線の太さを設定します。
工場出荷時の設定: Normal

AF Preset Enable
オートフォーカス設定のプリセットの有効/無効を選択します。
工場出荷時の設定:
Preset1：有効
Preset2：有効
Preset3：無効
Preset4：無効
Preset5：無効

AF Preset Select [Preset1～Preset5]
オートフォーカス機能の各種設定を保存するプリセットメモリー番号を設定します。
工場出荷時の設定: Preset1

AF Speed [1～10]
オートフォーカスの速度を設定します。
工場出荷時の設定: 8

AF Area Size [Small、Mid、Large]
オートフォーカスエリアサイズを設定します。
工場出荷時の設定: Small

AF Area Position [UP.Left、UP.Center、UP.Right、Left、Center、Right、BTM.Left、BTM.Center、BTM.Right]
オートフォーカスエリア位置を設定します。

UP.Left	上段左
UP.Center	上段中央
UP.Right	上段右
Left	中段左
Center	中段中央
Right	中段右
BTM.Left	下段左
BTM.Center	下段中央
BTM.Right	下段右

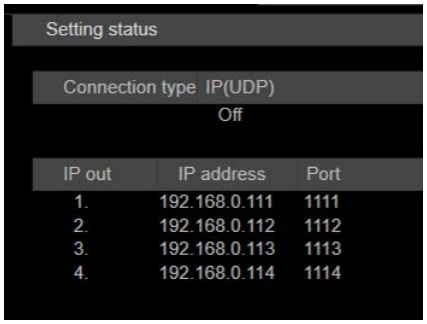
工場出荷時の設定: Center

NOTE
- [AF Area Size] が [Small] 以外のときは、[Center] 固定です。

連携機能 [Linkage]

トラッキングデータ出力設定画面 [Tracking Data Output]
トラッキングデータ出力モードと、IPモード時の通信先を設定します。
IPモード有効時の通知先は最大で4つまで設定できます。

■Setting status
IPモード時の宛先を表示します。



■Connection type

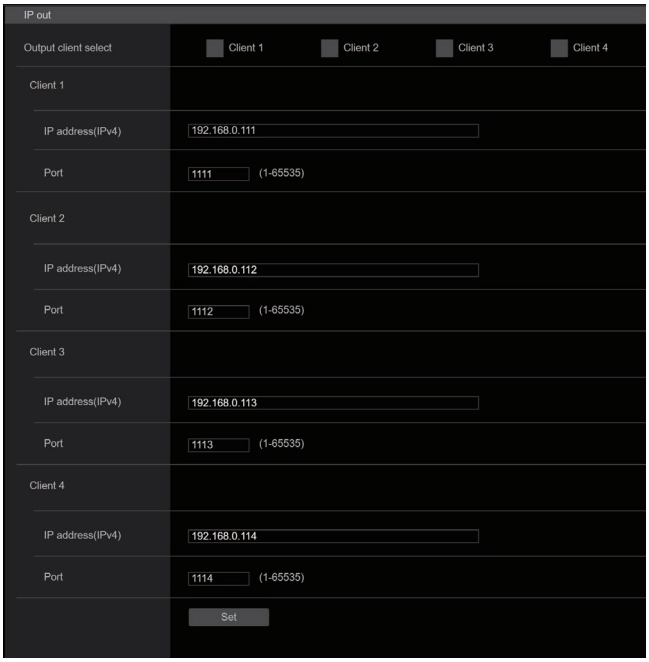


Camera ID [0～255]
トラッキングデータのCamera IDを設定します。
設定は[Set]ボタンで確定します。
工場出荷時の設定: 255

IP(UDP) [On、Off]
IP出力から、Zoom情報等のトラッキングデータを、Genlock信号に同期してUDPで出力する機能のOn/Offを設定します。(97ページ)
[On]設定時に警告メッセージが出ますので、設定を有効にする場合は[OK]ボタンをクリックしてください。
工場出荷時の設定: Off

NOTE
- [IP(UDP)]が[On]のとき、IP配信映像に遅延またはフレーム欠落が発生する場合があります。
  IP配信映像の遅延およびフレーム欠落を避けたい場合は、[IP(UDP)]を[Off]にすることを推奨します。
- 以下のとき、トラッキングデータの出力が遅延したり、値が更新されない場合があります。
  - IP配信（M-JPEG/H.264/H.265/RTMP/RTMPS/NDI/SRT）を実施しているとき
  - Web画面（ライブ画面[Live]/Web設定画面[Setup]）を開いているとき
  - OSDメニューの表示中
  - AWB/ABBを実行したとき
  - 赤タリーまたは緑タリー信号入力のOff/Onが変わったとき
  - [SCENE]を切り替えたとき
  - [IRIS]を切り替えたとき
  - [WHITE BALANCE MODE]を切り替えたとき
  - [COLOR TEMP SETTING]の各項目を切り替えたとき
  - [Gamma]を切り替えたとき
  - [MATRIX]を切り替えたとき
  - [DIGITAL EXTENDER]を切り替えたとき
  - [FAN SETTING]を切り替えたとき
  - [Maintenance]の[Reset to the default (Except the network settings)]を行ったとき

■ IP out



Output client select [Client 1～4]

[IP(UDP)]が[On]のときにトラッキングデータを通知する4つのクライアントの有効/無効を切り替えます。
ここで有効に設定したクライアントに対し、Zoom情報等のトラッキングデータをUDPで通知します。
設定は[Set]ボタンで確定します。

工場出荷時の設定:

Client1: 無効
Client2: 無効
Client3: 無効
Client4: 無効

NOTE

- 有効なクライアントに対しシステム周波数の間隔でUDPパケットが送信されるため、通知が不要なクライアントは無効に設定してください。
- 複数のクライアントが有効になっている場合、2つ目以降のクライアントへのUDPパケットの送信タイミングは、Genlock信号に対して遅延が定常的に発生します。
（1クライアントごとに、約200～300 μsecの遅延が発生します。遅延量は本機のシステムの状態およびネットワーク環境によっては増加する場合があります。）

Client1～4

IP address(IPv4)

Zoom情報等のトラッキングデータをUDPで通知する宛先のIPアドレスを設定します。
設定は[Set]ボタンで確定します。

工場出荷時の設定:

Client1: 192.168.0.111
Client2: 192.168.0.112
Client3: 192.168.0.113
Client4: 192.168.0.114

NOTE

- トラッキングデータ通知先のアドレスはIPv4のみ設定できます。
- 通知先にマルチキャストアドレスは指定できません。

Port

Zoom情報等のトラッキングデータをUDPで通知する宛先のポート番号を設定します。
設定は[Set]ボタンで確定します。
以下のポート番号は、本機で使用していますので設定できません。
20、21、23、25、42、53、67、68、69、80、110、123、161、162、443、554、995、10669、10670、59000～61000

工場出荷時の設定:

Client1: 1111
Client2: 1112
Client3: 1113
Client4: 1114

NOTE

- IP Addressとポートの組み合わせが2つ以上のクライアントで重複した場合は設定できません。

ユーザー管理画面 [Access mng.]

ユーザー管理画面 [Access mng.] では、パーソナルコンピューターや携帯端末から本機にアクセスできるユーザーやパーソナルコンピューター (IPアドレス) を制限する認証登録を行います。
ユーザー管理画面 [Access mng.] は、[User auth.]、[Host auth.]、[Rop] で構成されています。

ユーザー認証設定画面 [User auth.]

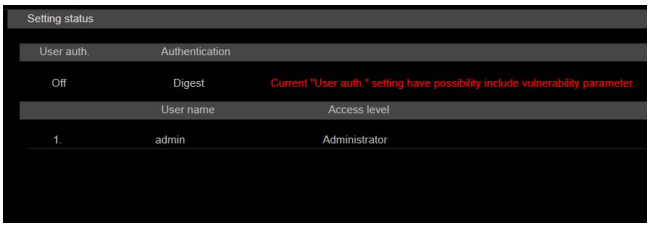
ユーザー管理画面 [Access mng.] の [User auth.] をクリックします。
パーソナルコンピューターや携帯端末から本機にアクセスできるユーザーを制限する認証設定を行います。
最大9ユーザーまで登録できます。

NOTE

- 同じIPアドレスのパーソナルコンピューターから30秒間に8回以上、ユーザー認証に失敗 (認証エラー) した場合、しばらくの間、本機にアクセスできなくなります。

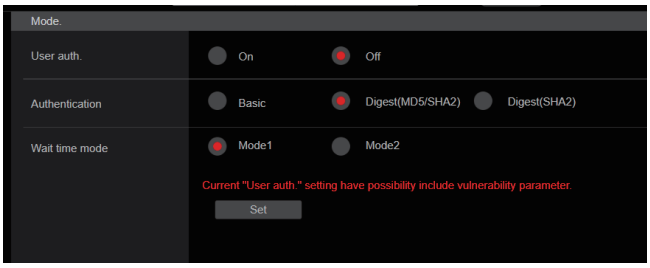
■ Setting status

現状のユーザー認証の設定とユーザー認証方式の設定を表示します。また、現在登録されているアカウント情報を表示します。



■ Mode

設定は [Set] ボタンで確定します。



User auth. [On、Off]

ユーザー認証を行うかどうかをOn/Offで設定します。
工場出荷時の設定: Off

Authentication [Basic、Digest(MD5/SHA2)、Digest(SHA2)]

ユーザー認証で利用する認証方式を設定します。

Basic	ベーシック認証を使用します。
Digest(MD5/SHA2)	MD5/SHA2どちらでも接続可能なダイジェスト認証を使用します。
Digest(SHA2)	SHA2のみのダイジェスト認証を使用します。

工場出荷時の設定: Digest(MD5/SHA2)

Wait time mode [Mode1、Mode2]

パーソナルコンピューターや当社製コントローラーから本機を制御する際に、ユーザー認証で認証に失敗した場合、再入力するまでの待ち時間のモードを設定します。

Mode1	[Mode2] に比べ再入力までの待ち時間が長くなります。セキュリティ面を優先される場合に推奨の設定です。
Mode2	再入力までの待ち時間が短くなります。操作性を優先される場合に推奨の設定です。

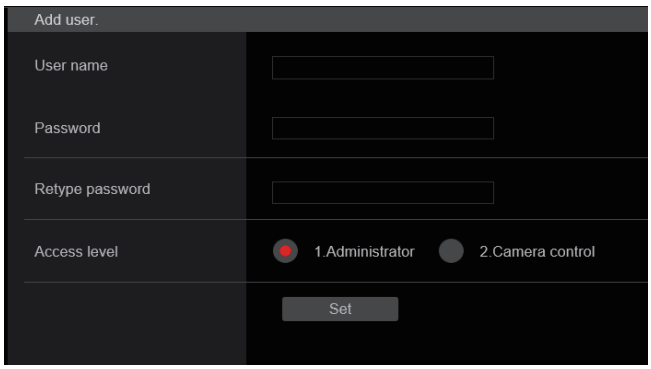
工場出荷時の設定: Mode1

NOTE

- ROPを使用する場合、ダイジェスト認証のときは [Wait time mode] を [Mode2] に設定してご利用ください。
  [Wait time mode] を [Mode1] に設定している場合、スムーズな操作性が損なわれる可能性があります。
- ご使用のWebブラウザーによっては、ダイジェスト認証を使用して正しくアクセスできない場合があります。

■ Add user

設定は [Set] ボタンで確定します。



User name [半角1～32文字]

ユーザー名を入力します。

- 使用可能な文字は次の通りです。

半角数字	0123456789
半角英字 (大文字/小文字)	ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ abcdefghijklmnopqrstuvwxyz
半角記号	! $ % ' ( ) * + , - . / ? @ [ ] ^ _ ` ~

Password
Retype password [半角4～32文字]

パスワードを入力します。

Access level [1.Administrator、2.Camera control]

ユーザーのアクセスレベルを設定します。

1.Administrator	本機のすべての操作を行うことができます。
2.Camera control	ライブ画面 [Live] での操作のみ行うことができます。

工場出荷時の設定: 1.Administrator

■ Delete user

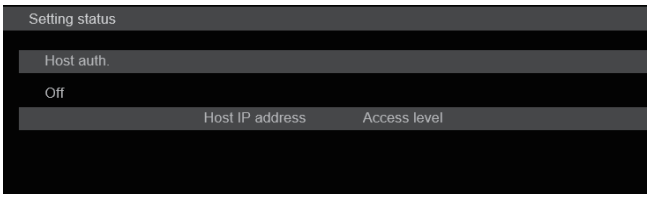
本機に登録されているユーザーアカウントを削除します。
右の [Delete] ボタンをクリックすると、選択したユーザーを削除できます。



ホスト認証設定画面 [Host auth.]

ユーザー管理画面[Access mng.]の[Host auth.]をクリックします。
本機にアクセスできるパーソナルコンピューター(IPアドレス)を制限するホスト認証設定を行います。

■Setting status

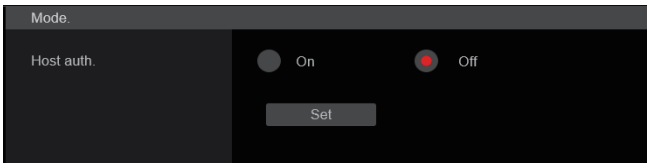


Host auth.
ホスト認証の設定を表示します。

Host IP address
ホストのIPアドレスを表示します。

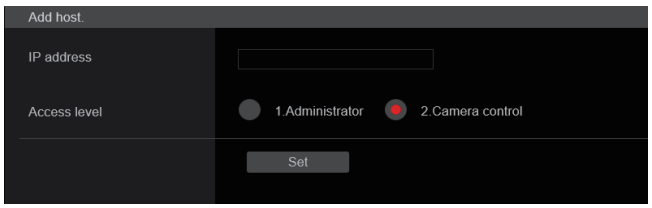
Access level
ホストのアクセスレベルを表示します。

■ Mode



Host auth. [On、Off]
ホスト認証をするかどうかをOn/Offで設定します。
設定は[Set]ボタンで確定します。
工場出荷時の設定: Off

■ Add host



IP address
本機へのアクセスを許可するパーソナルコンピューターのIPアドレスを入力します。ホスト名をIPアドレスとして入力することはできません。

NOTE

- 「IPアドレス／サブネットのマスク長」を入力すると、サブネットごとにアクセスできるパーソナルコンピューターを制限できます。たとえば、「192.168.0.1/24」と入力し、[Access level] で[2.Camera control]を選択した場合は、「192.168.0.1」～「192.168.0.254」のパーソナルコンピューターが[2.Camera control] のアクセスレベルで本機へアクセスできます。
- 登録済みのIPアドレスを入力し、[Set]ボタンをクリックすると、ホスト情報が上書きされます。

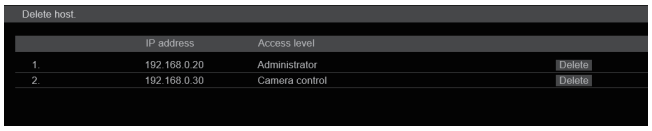
Access level [1.Administrator、2.Camera control]
ホストのアクセスレベルを選択します。
設定は[Set]ボタンで確定します。

1.Administrator	本機のすべての操作ができます。
2.Camera control	画像表示、本機の操作ができます。本機の設定はできません。

工場出荷時の設定: 2.Camera control

■ Delete host

本機に登録されているホスト情報を削除します。
右の[Delete]ボタンをクリックすると、選択したホスト情報を削除できます。



ROP 認証設定画面 [Rop]

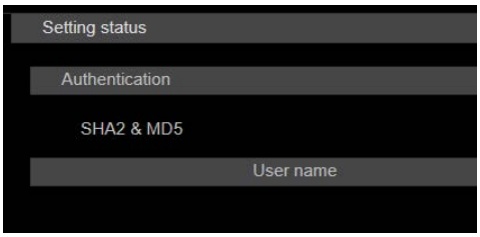
ユーザー管理画面[Access mng.]の[Rop]をクリックします。
ROPから本機にアクセスできるユーザーを制限する認証設定を行います。
最大9ユーザーまで登録できます。

NOTE

- 同じIPアドレスのパーソナルコンピューターから30秒間に8回以上、ユーザー認証に失敗(認証エラー)した場合、しばらくの間、本機にアクセスできなくなります。

■ Setting status

現状のユーザー認証の設定とユーザー認証方式の設定を表示します。また、現在登録されているアカウント情報を表示します。



■ Mode



Rop auth. [SHA2 & MD5、SHA2]

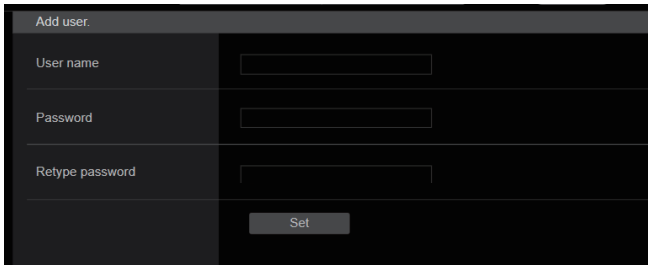
ユーザー認証で利用する認証方式を設定します。
設定は[Set]ボタンで確定します。

SHA2 & MD5	SHA2/MD5どちらでもアクセス可能な設定です。
SHA2	SHA2のみアクセス可能な設定です。

工場出荷時の設定: SHA2 & MD5

■ Add user

設定は[Set]ボタンで確定します。



User name
[半角1～8文字]

ユーザー名を入力します。

- 使用可能な文字は次の通りです。

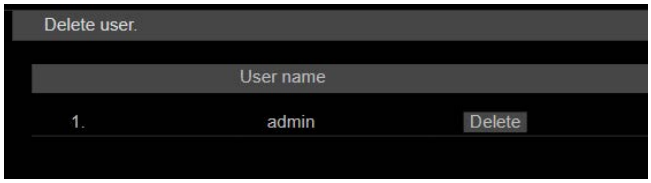
半角数字	0123456789
半角英字(大文字/小文字)	ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ abcdefghijklmnopqrstuvwxyz
半角記号	- _ #

Password
Retype password
[半角1～31文字]

パスワードを入力します。

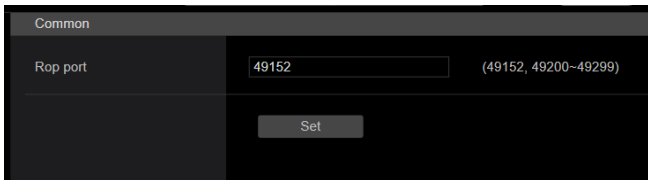
■ Delete user

本機に登録されているユーザーアカウントを削除します。
右の[Delete]ボタンをクリックすると、選択したユーザーを削除できます。



■ Common

ROPのアクセスを受け付けるポート番号を設定します。



Rop port [49152、49200～49299]

設定は[Set]ボタンで確定します。
工場出荷時の設定: 49152

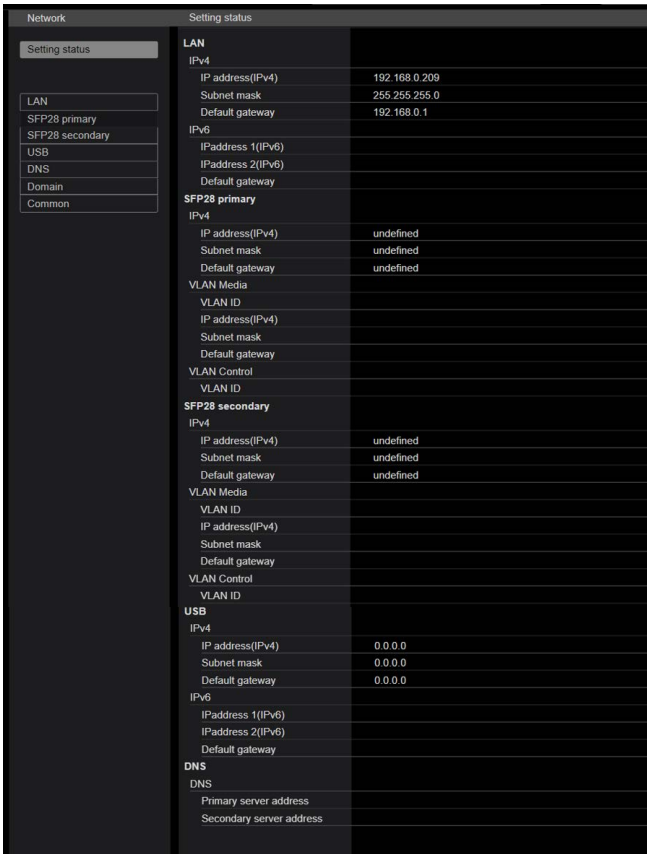
ネットワーク設定画面 [Network]

ネットワーク設定画面[Network]では、ネットワークに関する設定を行います。
ネットワーク設定画面[Network]は、[Network]、[Advanced]で構成されています。

ネットワーク設定画面 [Network]

ネットワーク設定画面[Network]の[Network]をクリックします。
設定は各項目のページにて行います。
以降の情報は、ネットワークの設定を行うために必要です。ネットワーク管理者またはインターネットサービスプロバイダーにご確認ください。

- IPアドレス
- サブネットマスク
- デフォルトゲートウェイ（ゲートウェイサーバー・ルーターを使用する場合）
- HTTPポート
- DNS用プライマリーサーバーアドレス、セカンダリーサーバーアドレス（DNSを使用する場合）、ドメイン



NOTE

- LAN/SFP28 Primary/SFP28 Secondary/USBで設定されているIPアドレスのサブネットが重複している場合、本機のネットワーク接続性の保証はできませんので、マニュアルで設定するIPアドレス、DHCPで割り当てられるIPアドレスに注意してください。
- サブネットが異なるIPアドレスへの接続を行う場合は、使用するインターフェースのメトリックが最小値となるように設定してください。
  例）ドメイン名を名前解決したときのIPアドレスと接続する場合は、使用するインターフェースのメトリックを最小に設定してください。
- マルチキャスト通信を行う場合には、使用するインターフェースのメトリックを最小に設定してください。
- SFP28 Primary/SFP28 Secondaryインターフェースを使用したMedia over IP機能以外のマルチキャスト通信は、行うことができません。
- 同一サブネットを設定してしまい本機へのアクセスができなくなった場合は、EasyIP Setup toolにて異なるサブネットのIPアドレスを設定し、再度Webページより設定の見直しをしてください。
- 各インターフェースのメトリック値を同じ値に設定している場合、本機のネットワーク接続性の保証はできませんので、マニュアルで設定するIPアドレス、DHCPで割り当てられるIPアドレスに注意してください。

■ LAN



IPv4 network

DHCP [On、Off]
IPアドレスの設定方法を選択します。
工場出荷時の設定: Off

NOTE

- [DHCP]を[On]に設定している場合、ROPからのIPアドレス自動設定（AUTO IP）を利用できません。

IP address(IPv4)
DHCP機能を使用しない場合、本機のIPアドレスを入力します。パーソナルコンピューターや他のネットワークカメラに設定したIPアドレスと重複しないように入力してください。
工場出荷時の設定: 192.168.0.10

NOTE

- DHCP機能を使用する場合でも、複数のIPアドレスは使用できません。DHCPサーバーの設定についてはネットワーク管理者にお問い合わせください。

Subnet mask
DHCP機能を使用しない場合、本機のサブネットマスクを入力します。
工場出荷時の設定: 255.255.255.0

Default gateway
DHCP機能を使用しない場合、本機のデフォルトゲートウェイを入力します。
工場出荷時の設定: 192.168.0.1

NOTE

- DHCP機能を使用する場合でも、デフォルトゲートウェイに複数のIPアドレスは使用できません。
  DHCPサーバーの設定についてはネットワーク管理者にお問い合わせください。

IPv6 network

Manual [On、Off]

IPv6アドレスを手動で設定するかどうかをOn／Offで設定します。

On	手動でIPv6アドレスを入力します。
Off	IPv6アドレスの手動入力ができません。

工場出荷時の設定: Off

IP address(IPv6)

[Manual]を[On]に設定した場合、IPv6アドレスを手動で入力する必要があります。
他の機器と重複しないよう入力してください。

NOTE

- 手動設定したIPアドレスでルーターを越えて接続する場合には、IPv6互換のルーターを使用し、IPv6アドレスの自動設定機能を有効にしてください。また、IPv6互換のルーターから付与されるプレフィックス情報を含むIPv6アドレスを設定してください。詳しくは、ルーターの取扱説明書をお読みください。
- リンクローカルアドレスは設定できません。

Default gateway

[IPv6 network]の[Manual]が[On]のとき、本機のIPv6ネットワークのデフォルトゲートウェイを入力します。

工場出荷時の設定: 空欄

NOTE

- [DHCPv6]が[On]の場合はデフォルトゲートウェイの設定を行うことはできません。

DHCPv6 [On、Off]

IPv6のDHCP機能を使用するかどうかをOn/Offで設定します。
DHCP機能を使用しないパーソナルコンピューターと他のネットワークカメラが同じIPアドレスにならないように、DHCPサーバーを設定してください。サーバーの設定については、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

On	IPv6のDHCP機能を使用します。
Off	IPv6のDHCP機能を使用しません。

工場出荷時の設定: Off

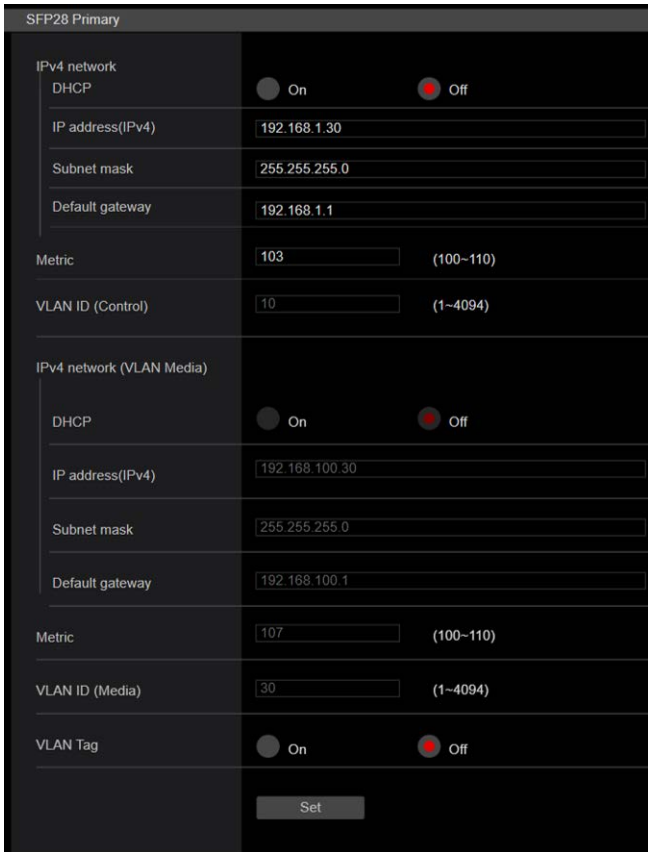
Metric [100～110]

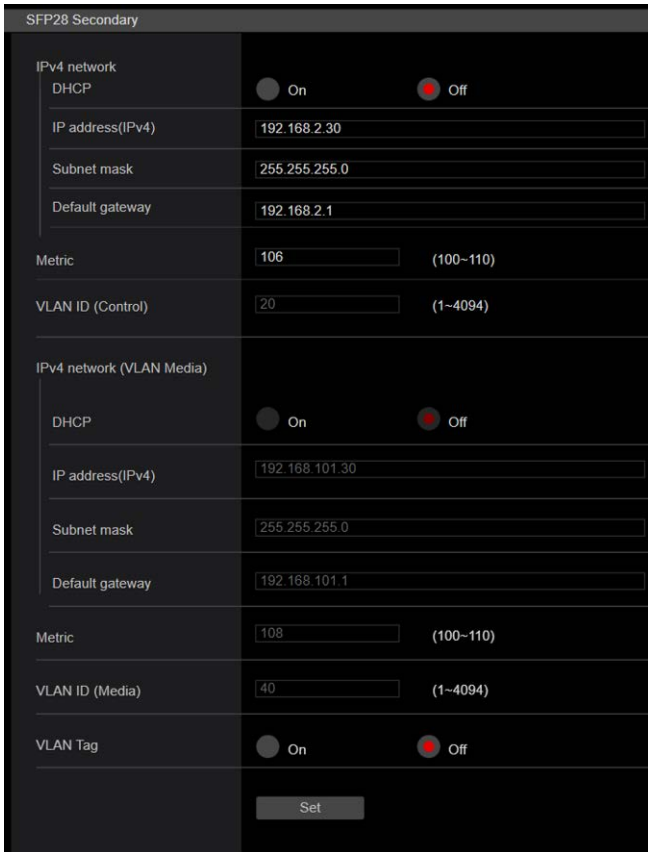
本機のLANインターフェースの優先度を設定します。
[SFP 1]/[SFP 2]/[USB]で設定した値と比較し、数値が低いインターフェースに優先的にパケットが出力されます。

工場出荷時の設定: 100

■ SFP28 Primary/SFP28 Secondary

設定は[Set]ボタンで確定します。





NOTE

- [Basic Config] – [Opt Mode]が[CCU CONNECT]のときは、設定できません。

IPv4 network

DHCP [On、Off]

IPアドレスの設定方法を選択します。

工場出荷時の設定: Off

NOTE

- [DHCP]を[On]に設定している場合、ROPからのIPアドレス自動設定（AUTO IP）を利用できません。

IP address(IPv4)

DHCP機能を使用しない場合、本機のIPアドレスを入力します。パーソナルコンピューターや他のネットワークカメラに設定したIPアドレスと重複しないように入力してください。

工場出荷時の設定: 192.168.0.10

NOTE

- DHCP機能を使用する場合でも、複数のIPアドレスは使用できません。DHCPサーバーの設定についてはネットワーク管理者にお問い合わせください。

Subnet mask

DHCP機能を使用しない場合、本機のサブネットマスクを入力します。

工場出荷時の設定: 255.255.255.0

Default gateway

DHCP機能を使用しない場合、本機のデフォルトゲートウェイを入力します。

工場出荷時の設定: 192.168.0.1

NOTE

- DHCP機能を使用する場合でも、デフォルトゲートウェイに複数のIPアドレスは使用できません。
  DHCPサーバーの設定についてはネットワーク管理者にお問い合わせください。

Metric [100～110]

本機のSFP28Primary用インターフェースの優先度を設定します。[LAN]/[SFP28Primary/Secondary]/[USB]で設定した値と比較し、数値が低いインターフェースに優先的にパケットが出力されます。

工場出荷時の設定: 103

VLAN ID (Control) [1～4094]

コントロール用のVLAN IDを設定します。

工場出荷時の設定: 10

IPv4 network (VLAN Media)

DHCP [On、Off]

IPアドレスの設定方法を選択します。

工場出荷時の設定: Off

NOTE

- [DHCP]を[On]に設定している場合、ROPからのIPアドレス自動設定（AUTO IP）を利用できません。

IP address(IPv4)

DHCP機能を使用しない場合、本機のIPアドレスを入力します。パーソナルコンピューターや他のネットワークカメラに設定したIPアドレスと重複しないように入力してください。

工場出荷時の設定: 192.168.0.10

NOTE

- DHCP機能を使用する場合でも、複数のIPアドレスは使用できません。DHCPサーバーの設定についてはネットワーク管理者にお問い合わせください。

Subnet mask

DHCP機能を使用しない場合、本機のサブネットマスクを入力します。

工場出荷時の設定: 255.255.255.0

Default gateway

DHCP機能を使用しない場合、本機のデフォルトゲートウェイを入力します。

工場出荷時の設定: 192.168.0.1

NOTE

- DHCP機能を使用する場合でも、デフォルトゲートウェイに複数のIPアドレスは使用できません。
  DHCPサーバーの設定についてはネットワーク管理者にお問い合わせください。

Metric [100～110]

本機のSFP28インターフェースの優先度を設定します。[LAN]/[SFP28Primary/Secondary]/[USB]で設定した値と比較し、数値が低いインターフェースに優先的にパケットが出力されます。

工場出荷時の設定: 103

VLAN ID (Media) [1～4094]

メディア配信用のVLAN IDを設定します。

工場出荷時の設定: 30

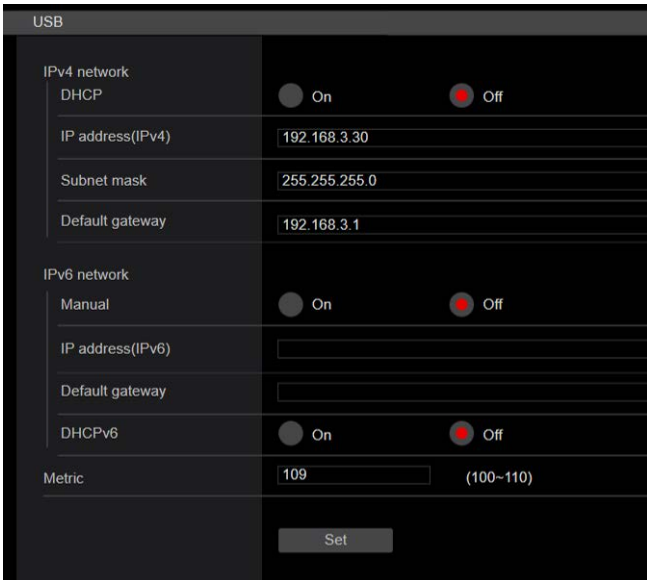
VLAN Tag [On、Off]

同インターフェース内でコントロール系/メディア系でVLANを設定する場合に[On]に設定してください。

工場出荷時の設定: Off

■ USB

設定は[Set]ボタンで確定します。



IPv4 network

DHCP [On、Off]

IPアドレスの設定方法を選択します。

工場出荷時の設定: Off

NOTE

- [DHCP]を[On]に設定している場合、ROPからのIPアドレス自動設定(AUTO IP)を利用できません。

IP address(IPv4)

DHCP機能を使用しない場合、本機のIPアドレスを入力します。パーソナルコンピューターや他のネットワークカメラに設定したIPアドレスと重複しないように入力してください。

工場出荷時の設定: 192.168.3.10

NOTE

- DHCP機能を使用する場合でも、複数のIPアドレスは使用できません。DHCPサーバーの設定についてはネットワーク管理者にお問い合わせください。

Subnet mask

DHCP機能を使用しない場合、本機のサブネットマスクを入力します。

工場出荷時の設定: 255.255.255.0

Default gateway

DHCP機能を使用しない場合、本機のデフォルトゲートウェイを入力します。

工場出荷時の設定: 192.168.3.1

NOTE

- DHCP機能を使用する場合でも、デフォルトゲートウェイに複数のIPアドレスは使用できません。
  DHCPサーバーの設定についてはネットワーク管理者にお問い合わせください。

IPv6 network

Manual [On、Off]

IPv6アドレスを手動で設定するかどうかをOn／Offで設定します。

On	手動でIPv6アドレスを入力します。
Off	IPv6アドレスの手動入力ができません。

工場出荷時の設定: Off

IP address(IPv6)

[Manual]を[On]に設定した場合、IPv6アドレスを手動で入力する必要があります。
他の機器と重複しないよう入力してください。

NOTE

- 手動設定したIPアドレスでルーターを越えて接続する場合には、IPv6互換のルーターを使用し、IPv6アドレスの自動設定機能を有効にしてください。また、IPv6互換のルーターから付与されるプレフィックス情報を含むIPv6アドレスを設定してください。詳しくは、ルーターの取扱説明書をお読みください。
- リンクローカルアドレスは設定できません。

Default gateway

[IPv6 network]の[Manual]が[On]のとき、本機のIPv6ネットワークのデフォルトゲートウェイを入力します。

工場出荷時の設定: 空欄

NOTE

- [DHCPv6]が[On]の場合はデフォルトゲートウェイの設定を行うことはできません。

DHCPv6 [On、Off]

IPv6のDHCP機能を使用するかどうかをOn/Offで設定します。
DHCP機能を使用しないパーソナルコンピューターと他のネットワークカメラが同じIPアドレスにならないように、DHCPサーバーを設定してください。サーバーの設定については、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

On	IPv6のDHCP機能を使用します。
Off	IPv6のDHCP機能を使用しません。

工場出荷時の設定: Off

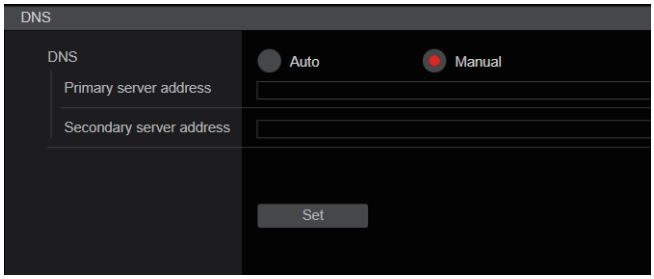
Metric [100～110]

本機のUSBインターフェースの優先度を設定します。
[LAN]/[SFP 1]/[SFP 2]で設定した値と比較し、数値が低いインターフェースに優先的にパケットが出力されます。

工場出荷時の設定: 109

■ DNS

設定は[Set]ボタンで確定します。



DNS [Auto、Manual]

DNSサーバーの設定方法を選択します。
設定についてはシステム管理者にお問い合わせください。
工場出荷時の設定: Manual

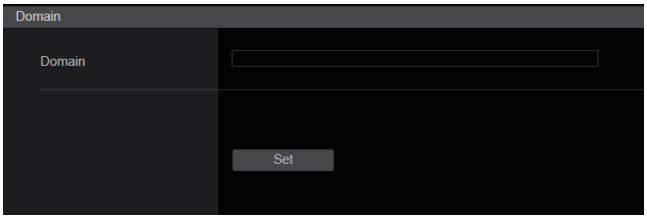
Primary server address

Secondary server address

DNSサーバーのIPv4/IPv6アドレスを入力します。
DNSサーバーのIPv4/IPv6アドレスについては、システム管理者にお問い合わせください。

■ Domain

設定は[Set]ボタンで確定します。

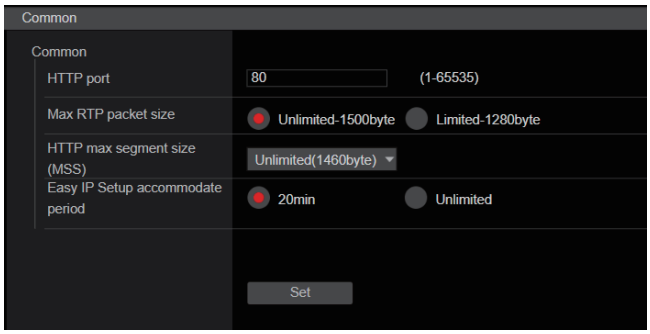


Domain

本機が所属するドメインを設定します。

■ Common (IPv6/IPv4共通)

設定は[Set]ボタンで確定します。



HTTP port [1～65535]

ポート番号を個別に割り当てます。
以下のポート番号は、本機で使用していますので設定できません。
20、21、23、25、42、53、67、68、69、110、123、161、162、443、546、547、554、995、5960～5985、7960～8060、10669、10670、11900、59000～61000
工場出荷時の設定: 80

Max RTP packet size [Unlimited-1500byte、Limited-1280byte]

RTPを使用してカメラの画像を見る場合に、カメラから送信するRTPパケットサイズを制限するかどうかを設定します。

Unlimited-1500byte	制限なし（1500 byte）
Limited-1280byte	制限あり（1280 byte）

工場出荷時の設定: Unlimited-1500byte

通常は、[Unlimited-1500byte]のまま使用することをお勧めします。
使用する通信回線のパケットサイズが制限されている場合は、[Limited-1280byte]を選択してください。通信回線の最大パケットサイズについては、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

HTTP max segment size (MSS) [Unlimited(1460byte)、Limited(1280byte)、Limited(1024byte)]

HTTPを使用してカメラの画像を見る場合に、カメラから送信する最大セグメントサイズ（MSS）を制限するかどうかを設定します。

Unlimited(1460byte)	制限なし（1460 byte）
Limited(1280byte)	制限あり（1280 byte）
Limited(1024byte)	制限あり（1024 byte）

工場出荷時の設定: Unlimited(1460byte)

通常は、初期設定のまま使用することをお勧めします。
使用する通信回線の最大セグメントサイズ（MSS）が制限されている場合は、[Limited(1024byte)]／[Limited(1280byte)]を選択してください。通信回線の最大セグメントサイズ（MSS）については、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

Easy IP Setup accommodate period [20min、Unlimited]

EasyIP Setup Tool Plusからネットワーク設定の操作を有効にする時間を、本機が起動してから[20min] / [Unlimited]のどちらかに設定します。

20min	EasyIP Setup Tool Plusでのカメラ設定操作を、本機起動後20分間のみ有効にします。
Unlimited	EasyIP Setup Tool Plusでのカメラ設定操作を常時有効にします。

工場出荷時の設定: 20min

NOTE

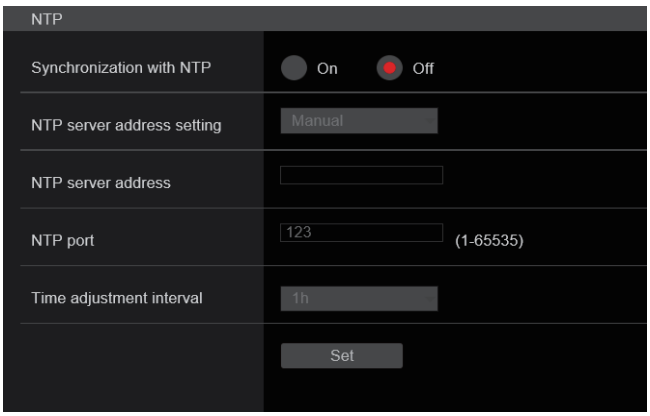
- EasyIP Setup Tool Plusでのカメラ表示は常時有効で、カメラ画面を開くことができます。
- 各サーバーのアドレス設定については、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
- ポートフォワーディング機能とは、グローバルIPアドレスをプライベートIPアドレスに変換するための機能で、「静的IPマスカレード」や「ネットワークアドレス変換（NAT）」などがあります。この機能はルーターに設定します。
- ルーターにカメラを接続してインターネット経由でカメラとアクセスするには、ネットワークカメラごとに個別のHTTPポート番号を設定し、さらにルーターのポートフォワーディング機能を用いてアドレス変換を行う必要があります。詳しくは、ルーターの取扱説明書をお読みください。

ネットワーク詳細設定画面 [Advanced]

ネットワーク設定画面[Network]の[Advanced]をクリックします。
ここでは、NTP、HTTPS機能について設定します。
各項目へのリンクをクリックすると、それぞれの設定ページに移動します。

■NTP

ここでは、NTPサーバーのアドレスおよびポート番号など、NTPサーバーに関する設定を行います。
設定は[Set]ボタンで確定します。



Synchronization with NTP [On、Off]

On	NTPサーバーとの同期により自動的に調整された時刻が、本機の標準時間として使用されます。
Off	時計設定画面[Date&Time]で設定した時刻が、本機の標準時間として使用されます。

工場出荷時の設定: Off

NTP server address setting [Auto、Manual]

NTPサーバーアドレスの取得方法を選択します。

Auto	DHCPサーバーからNTPサーバーアドレスを取得します。
Manual	NTPサーバーアドレスを[NTP server address]に入力して設定します。

工場出荷時の設定: Manual

NOTE

- NTPサーバーアドレスをDHCPサーバーから取得する場合は、ネットワーク設定画面[Network]の[Network]で、[DHCP]または[DHCPv6]を[On]に設定する必要があります。(163ページ)

NTP server address

[NTP server address setting]で[Manual]を選択した場合は、NTPサーバーのIPアドレスまたはホスト名を入力します。

入力可能文字数	1～128文字
入力可能文字	半角英数字、半角記号：. __ −

工場出荷時の設定: 空欄

NOTE

- [NTP server address]のホスト名を入力するには、ネットワーク設定画面[Network]の[Network]で[DNS]の設定を行う必要があります。(163ページ)
- [NTP server address]にリンクローカルアドレスを設定した場合は動作しません。

NTP port [1～65535]

NTPサーバーのポート番号を入力します。
以下のポート番号は、本機で使用していますので設定できません。
20、21、23、25、42、53、67、68、69、80、110、161、162、443、546、547、554、995、5960～5985、7960～8060、10669、10670、11900、59000～61000

工場出荷時の設定: 123

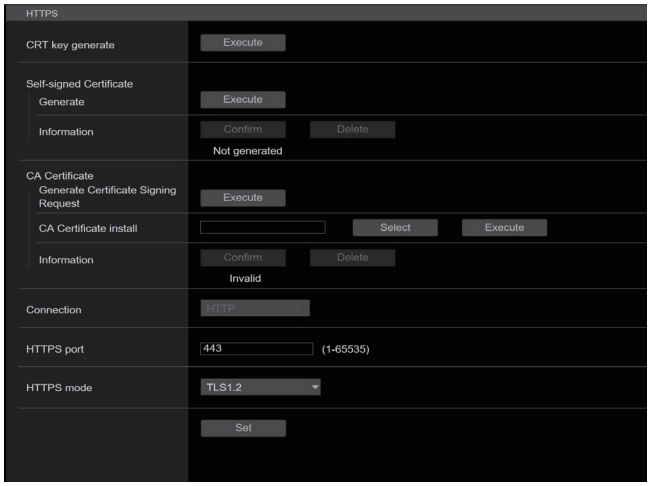
Time adjustment interval [1h～24h]

NTPサーバーから時刻を取得する間隔(1～24時間で1時間単位)を選択します。

工場出荷時の設定: 1h

■ HTTPS

HTTPS機能を使用することで、カメラへのアクセスを暗号化することができ、通信の安全性を高めることができます。
設定は[Set]ボタンで確定します。
HTTPSの設定方法については、174ページを参照してください。



CRT key generate

HTTPSで使用するCRT鍵(SSL暗号化キー)を生成します。
CRT鍵の生成は、[Execute]ボタンをクリックすると表示される「CRT key generate」ダイアログで行います。
詳細は「CRT鍵(SSL暗号化キー)の生成」(175ページ)を参照してください。

Self-signed Certificate - Generate

HTTPSで使用するセキュリティ証明書を本機自身で生成します。(自己証明書)
自己証明書(セキュリティ証明書)の生成は、[Execute]ボタンをクリックすると表示される、「Self-signed Certificate - Generate」ダイアログで行います。
詳細は「自己証明書(セキュリティ証明書)の生成」(175ページ)を参照してください。

Self-signed Certificate - Information

自己証明書(セキュリティ証明書)の情報が表示されます。
[Confirm]ボタンをクリックすると、生成した自己証明書(セキュリティ証明書)の登録内容が、「Self-signed Certificate - Confirm」ダイアログに表示されます。
[Delete]ボタンをクリックすると、生成した自己証明書(セキュリティ証明書)を削除します。

CA Certificate - Generate Certificate Signing Request

HTTPSで使用するセキュリティ証明書として、認証機関（CA：Certificate Authority）によって発行されたセキュリティ証明書を使用する場合に、認証機関に申請するための署名リクエスト（CSR：Certificate Signing Request）を生成します。
署名リクエスト（CSR）の生成は、[Execute]ボタンをクリックすると表示される、「CA Certificate - Generate Certificate Signing Request」ダイアログで行います。
詳細は「署名リクエスト（CSR）の生成」（176ページ）を参照してください。

CA Certificate - CA Certificate install

認証機関から発行されたサーバー証明書（セキュリティ証明書）のインストールおよびインストールされたサーバー証明書（セキュリティ証明書）の情報表示を行います。
[Select]ボタンをクリックすると表示される[ファイルを開く]ダイアログで、認証機関から発行されたサーバー証明書（セキュリティ証明書）のファイルを選択し、[Execute]ボタンをクリックするとサーバー証明書（セキュリティ証明書）のインストールが実行されます。
サーバー証明書（セキュリティ証明書）がインストールされている場合は、インストールしたサーバー証明書のファイル名を表示します。
詳細は「サーバー証明書のインストール」（177ページ）を参照してください。

CA Certificate - Information

サーバー証明書（セキュリティ証明書）の情報が表示されます。
[Confirm]ボタンをクリックすると、インストールしたサーバー証明書（セキュリティ証明書）の登録内容が、「サーバー証明書確認」ダイアログに表示されます。サーバー証明書（セキュリティ証明書）をインストールしていない場合は、生成した署名リクエスト（CSR）の内容が表示されます。
[Delete]ボタンをクリックすると、インストールしたサーバー証明書（セキュリティ証明書）を削除します。

NOTE

- 有効なサーバー証明書（セキュリティ証明書）を削除する場合は、パーソナルコンピューター、記録メディアなどにサーバー証明書（セキュリティ証明書）のバックアップがあることを確認してください。再度インストールする場合に、サーバー証明書（セキュリティ証明書）が必要になります。

Connection [HTTP、HTTPS]

本機への接続方法を設定します。

HTTP	HTTP接続のみ可能になります。
HTTPS	HTTPS接続のみ可能になります。

工場出荷時の設定: HTTP
詳細は「接続方法の設定」（177ページ）を参照してください。

NOTE

- HTTPS接続の場合、ROPをネットワークで接続できません。

HTTPS port [1～65535]

HTTPSで使用するポート番号を設定します。
以下のポート番号は、本機で使用していますので設定できません。
20、21、23、25、42、53、67、68、69、80、110、123、161、162、546、547、554、995、5960～5985、7960～8060、10669、10670、11900、59000～61000
工場出荷時の設定: 443

NOTE

- 接続方法の設定が変更された場合、本機は再起動します。
- 自己証明書を使用する場合:
  HTTPSでカメラにアクセスした場合、初回は警告画面が表示されます。画面に従って、自己証明書（セキュリティ証明書）をパーソナルコンピューターにインストールしてください。（178ページ）
- サーバー証明書を使用する場合:
  あらかじめご使用のWebブラウザーに認証機関のルート証明書、中間証明書をインストールしてください。
  ルート証明書、中間証明書の取得方法、インストール方法は、認証機関の手順に従ってください。
- HTTPSでカメラにアクセスする場合は、画面の表示速度と動画のフレームレートが低下することがあります。
- HTTPSでカメラにアクセスする場合、画像が表示されるまで時間がかかることがあります。
- HTTPSでカメラにアクセスしたときに、画像が乱れたり、音声が途切れたりすることがあります。
- カメラに同時に接続できる最大数は最大画像サイズと配信フォーマットにより異なります。

HTTPS mode [TLS1.0/1.1/1.2/1.3、TLS1.2、TLS1.3]

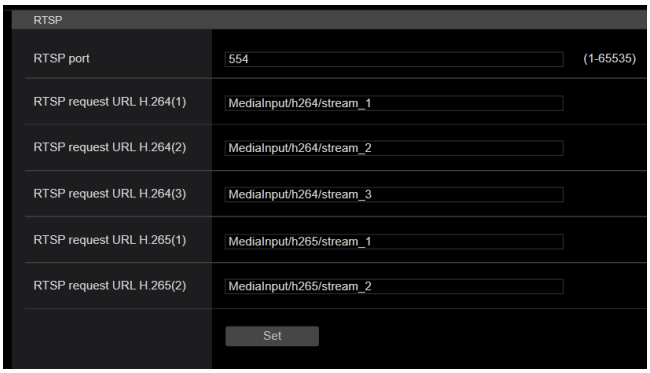
HTTPSでカメラにアクセスする際の暗号プロトコルを設定します。

TLS1.0/1.1/1.2/1.3	HTTPS有効時にTLS1.0/1.1/1.2/1.3での接続を許可します。
TLS1.2	HTTPS有効時にTLS1.2での接続を許可します。
TLS 1.3	HTTPS有効時にTLS1.3での接続を許可します。

工場出荷時の設定: TLS1.2

■ RTSP

RTSP機能に関する設定を行います。RTSP機能ではIP映像配信で使用するRTSPの通信ポートおよびRTSP request URLを設定します。
設定は[Set]ボタンで確定します。



RTSP port [1～65535]

RTSP受信ポート番号を設定します。
以下のポート番号は、本機で使用していますので設定できません。
20、21、23、25、42、53、67、68、69、80、110、123、161、162、443、546、547、995、5960～5985、7960～8060、10669、10670、11900、59000～61000

工場出荷時の設定: 554

RTSP request URL

IP映像配信要求を本機に対して行う場合に、RTSPで指定するURLの設定を行います。

RTSP request URL H.264(1)	H.264(1) 映像配信用RTSP URL
RTSP request URL H.264(2)	H.264(2) 映像配信用RTSP URL
RTSP request URL H.264(3)	H.264(3) 映像配信用RTSP URL
RTSP request URL H.265(1)	H.265(1) 映像配信用RTSP URL
RTSP request URL H.265(2)	H.265(2) 映像配信用RTSP URL

工場出荷時の設定:

RTSP request URL H.264(1)	MediaInput/h264/stream_1
RTSP request URL H.264(2)	MediaInput/h264/stream_2
RTSP request URL H.264(3)	MediaInput/h264/stream_3
RTSP request URL H.265(1)	MediaInput/h265/stream_1
RTSP request URL H.265(2)	MediaInput/h265/stream_2

- 入力可能な文字数は255文字です。
- 使用可能な文字は次の通りです。

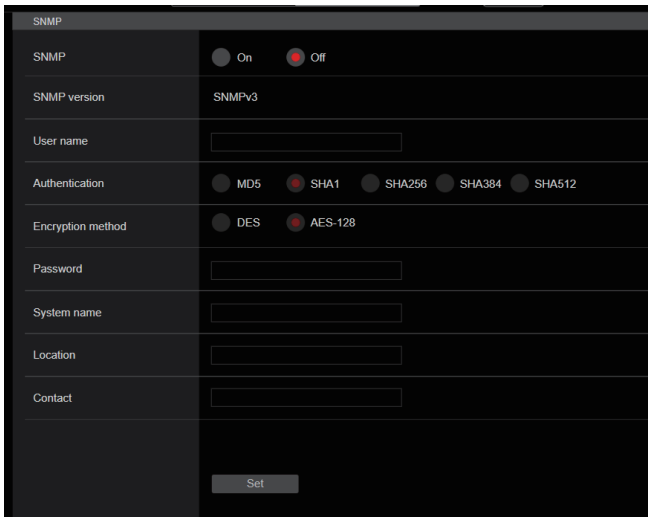
半角数字	0123456789
半角英字 （大文字／小文字）	ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ abcdefghijklmnopqrstuvwxyz
半角記号	/ - _

NOTE

- RTSP request URLに同じURLを指定することはできません。

■ SNMP

SNMP機能に関する設定を行います。SNMPマネージャーを使用して接続すると、本機の状態を確認できます。
設定は[Set]ボタンで確定します。



SNMP [On、Off]

SNMP機能を使用するか設定を行います。

工場出荷時の設定: Off

User name

ユーザー認証用のユーザー名を設定します。
ここで設定したユーザー名と同じものを、SNMPv3マネージャーで指定する必要があります。

入力可能文字数	0～32文字
入力不可文字	全角

Authentication

ユーザー認証で使用するアルゴリズムを設定します。

MD5	ユーザー認証のアルゴリズムにMD5を使用します。
SHA1	ユーザー認証のアルゴリズムにSHA1を使用します。
SHA256	ユーザー認証のアルゴリズムにSHA256を使用します。
SHA384	ユーザー認証のアルゴリズムにSHA384を使用します。
SHA512	ユーザー認証のアルゴリズムにSHA512を使用します。

工場出荷時の設定: SHA1

Encryption method

通信で使用する暗号方式を設定します。

DES	SNMPv3の暗号通信方式にDESを使用します。
AES-128	SNMPv3の暗号通信方式にAES-128を使用します。

工場出荷時の設定: AES-128

Password

ユーザー認証で使用するパスワードを設定します。
ここで指定したパスワードと同じものを、SNMPv3マネージャーで指定する必要があります。

入力可能文字数	[Authentication]を[MD5]に設定した場合： 8～16文字 [Authentication]を[SHA1]に設定した場合： 8～20文字
入力不可文字	全角

System name

SNMP機能を使用して本機を管理するための機器名を入力します。

入力可能文字数	0～32文字
入力不可文字	全角

Location

本機を設置した場所を設定します。

入力可能文字数	0～32文字
入力不可文字	全角

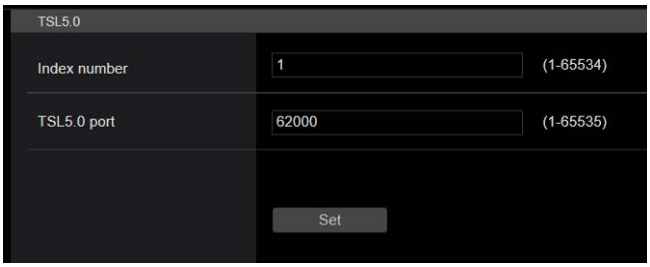
Contact

管理者のメールアドレスまたは電話番号を入力します。

入力可能文字数	0～255文字
入力不可文字	全角

■ TSL5.0

TSLプロトコルバージョン5.0に関する設定を行います。TSL5.0機能ではTSL5.0プロトコルに対応した機器から本機のタリーを制御するために必要な情報を設定します。
設定は[Set]ボタンで確定します。



Index number [1～65534]

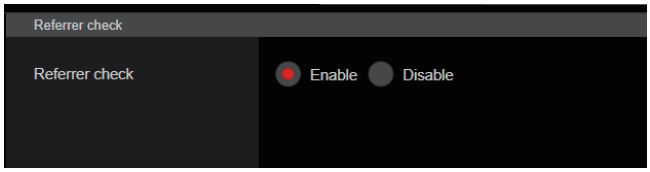
TSL5.0制御機器に設定されているINDEXと本機のIndex numberを合わせることで、個別に本機のタリーを制御することができます。
工場出荷時の設定: 1

TSL5.0 port [1～65535]

TSL5.0プロトコルによる制御を受け付けるポート番号を設定します。
工場出荷時の設定: 62000

■ Referrer check

Referrer checkを有効にすることで、カメラに対するアクセス要求元が正当なものであるか確認することができます。
不正なアクセス元と判断された場合は、アクセスを拒否します。
ご使用していただく環境によってはReferrer checkが有効な場合、本機にアクセスできない場合があります。
その場合は、Referrer checkを無効にすることでアクセスが可能になりますが、不正なアクセス元か判断ができなくなります。

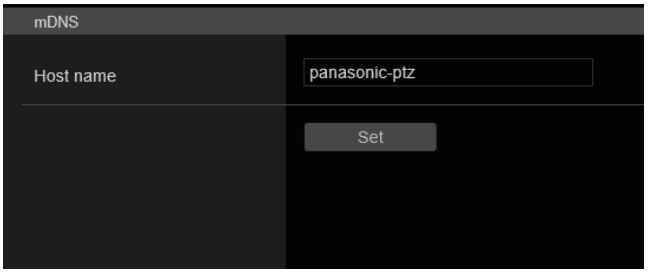


Enable	Referrer check機能を使用します。
Disable	Referrer check機能を使用しません。

工場出荷時の設定: Enable

■ mDNS

[mDNS]の[Host name]を設定することで、本機に対して http://Host name.localでアクセスすることが可能になります。
設定は[Set]ボタンで確定します。



入力可能文字数	63文字
入力可能文字	半角英数字、半角記号：-

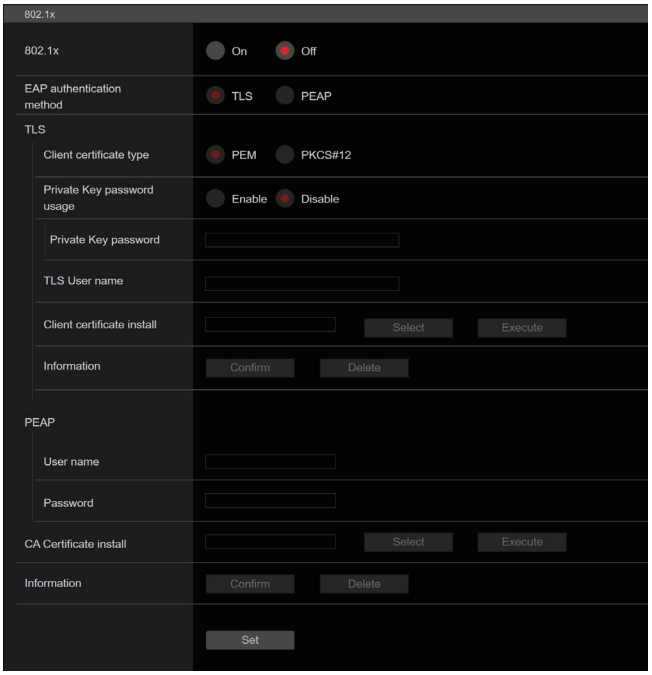
工場出荷時の設定：panasonic-ptz

NOTE

- 同一ネットワーク内に同じ設定のカメラがあった場合の動作は、保証いたしません。

■ 802.1X

IEEE 802.1X クライアントの設定を行います。
設定は[Set]ボタンで確定します。



NOTE

- 設定には、802.1Xに関する知識が必要になります。
  詳しくは、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
- 本機能を用いたシステムを構成するには、認証サーバー、Authenticatorの設定が、別途必要です。
  詳しくは、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
- 802.1Xが有効になっているシステム構成では、ROPからカメラを制御することができません。
- 設定前に、[Date&Time]設定画面または[NTP]設定画面にて本機の時刻設定を行ってください。
  本機の時刻設定が正しく行われていない場合、正しく動作しない場合があります。
- 設定前に、[Date&Time]設定画面の[Memory]を[Enable]に設定してください。

802.1x [On、Off]

802.1X機能を使用するかどうかの設定を行います。
工場出荷時の設定：Off

EAP authentication method [TLS、PEAP]

802.1X機能で用いる認証方式の設定を行います。
本機では、TLSまたはPEAPを用いた認証方式に対応しています。
工場出荷時の設定：TLS

NOTE

- 認証サーバーで許可されている認証方式と一致しない場合、正しく動作しない場合があります。

TLS

TLS認証方式を用いた場合の設定を行います。

Client certificate type [PEM、PKCS#12]

TLS認証で用いるクライアント証明書の方式の設定を行います。
本機では、PEM、PKCS#12方式に対応しています。

NOTE

- 秘密鍵を用いる場合は、クライアント証明書内に秘密鍵情報が含まれている必要があります。
  [Private Key password usage]を[Enable]に設定し、正しいパスワードを設定してください。
- PKCS#12方式でクライアント証明書をインストールする場合、[Private Key password usage]を[Enable]に設定し、正しいパスワードを設定する必要があります。
- PKCS#12方式を選択した場合、PKCS#12のパスワードと[Private Key password]を一致させる必要があります。

Private Key password usage [Enable、Disable]

クライアント証明書に秘密鍵を使用するかどうかの設定をします。

Enable	秘密鍵を使用するときに選択します。
Disable	秘密鍵を使用しないときに選択します。

NOTE

- [Enable]を選択した場合、[Private Key password]で正しい値を設定する必要があります。

Private Key password

秘密鍵に設定したパスワードの設定を行います。

NOTE

- PKCS#12方式のクライアント証明書をインストールする場合は、PKCS#12に設定したパスワードと同一のものを入力してください。

TLS User name

TLS認証で許可されるユーザー名を設定します。

NOTE

- 有効なユーザー名については、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

Client certificate install

クライアント証明書をインストールします。

NOTE

- クライアント証明書は、認証局より発行された正しいものをインストールしてください。
- 証明書をインストールする前に[Client certificate type]、[Private Key password usage]、[Private Key password]の設定が完了していることを確認してください。
  上記設定がされていない状態では、証明書が正しくインストールされない場合があります。

PEAP

PEAP認証方式を用いた場合の設定を行います。

User name

PEAP認証で許可されるユーザー名を設定します。

NOTE

- 有効なユーザー名については、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

Password

PEAP認証でUser nameにひもづくパスワードを設定します。

NOTE

- 有効なパスワードについては、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

CA Certificate install

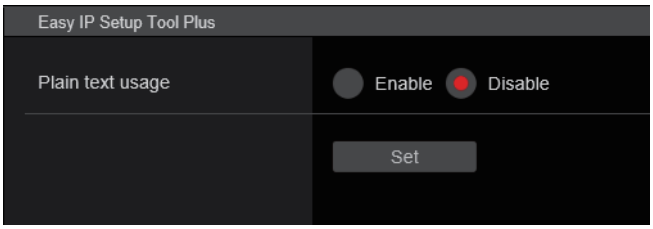
IEEE 802.1X認証で用いるCA証明書をインストールします。

NOTE

- CA証明書は、正しい認証局より発行されたものをインストールしてください。

■ Easy IP Setup Tool Plus

Easy IP Setup Tool Plus関連の設定を行います。
設定は[Set]ボタンで確定します。

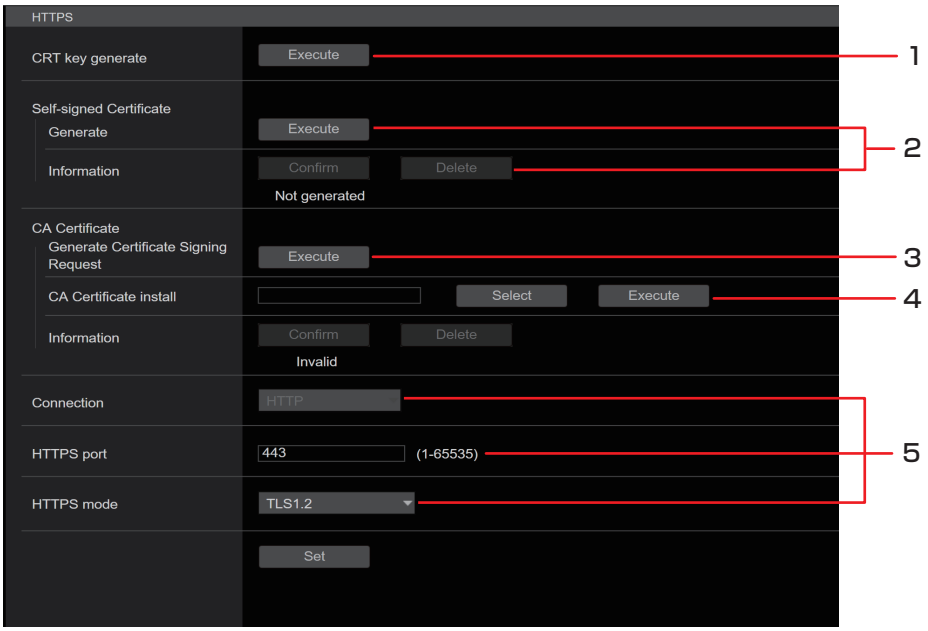


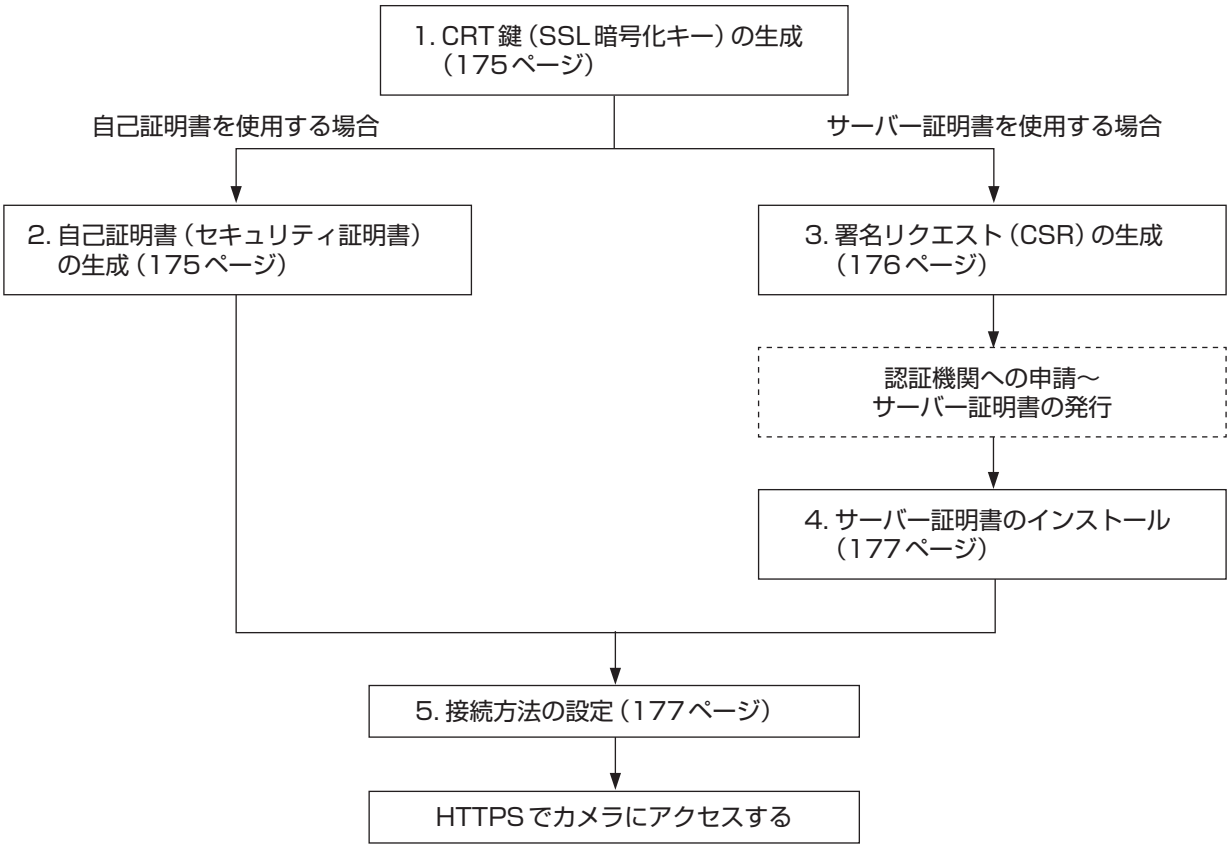
Plain text usage [Enable、Disable]

Easy IP Setup Tool Plusとの通信を暗号化するかどうかの設定をします。
工場出荷時の設定：Disable

HTTPS の設定方法 [HTTPS]

カメラへのアクセスを暗号化し、通信の安全性を高めるためのHTTPSを設定します。
HTTPSの設定は次の手順で行います。
設定は[Set]ボタンで確定します。





NOTE

- サーバー証明書を使用する場合、認証機関への申請～サーバー証明書の発行は、お客様と認証機関の間で行っていただく必要があります。
- 自己証明書あるいはサーバー証明書はいずれか一方を使用します。本機では、自己証明書の生成とサーバー証明書のインストールがともに行われた場合は、サーバー証明書を優先して使用します。

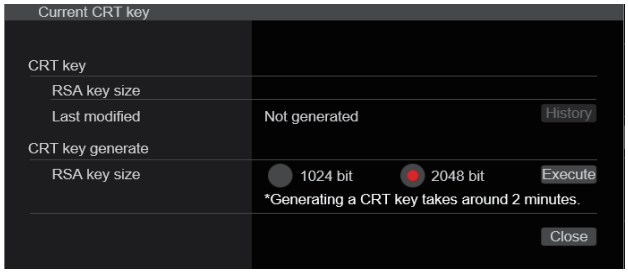
CRT 鍵（SSL 暗号化キー）の生成 [CRT key generate]

NOTE

- 自己証明書、サーバー証明書が有効な場合は、CRT鍵の生成を行うことはできません。
- サーバー証明書を使用する場合は、認証機関によって使用できる鍵長が異なります。あらかじめ使用できる鍵長を確認してください。
- CRT鍵の生成は、1024 bitの場合で1分程度、2048 bitの場合は2分程度かかります。CRT鍵の生成が完了するまで、Webブラウザーを操作しないでください。CRT鍵生成中は、画面の表示速度や通信速度が低下することがあります。

1. [CRT key generate]の[Execute]ボタンをクリックする

[Current CRT key]ダイアログが表示されます。



2. [CRT key generate] – [RSA key size]で、生成するCRT鍵の長さを[1024bit] / [2048bit]から選択する

NOTE

- サーバー証明書を使用する場合、RSA鍵長は申請する認証機関から要求される内容に従ってください。

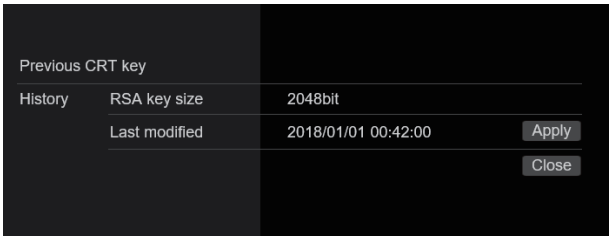
3. [Execute]ボタンをクリックする

CRT鍵の生成が始まります。

CRT鍵の生成が終了すると、[Current CRT key]に生成したCRT鍵の鍵長と生成が完了した日時が表示されます。

NOTE

- 生成したCRT鍵を変更（更新）したい場合は、手順1～3の操作を行います。CRT鍵と自己証明書、サーバー証明書は一組で有効になるため、CRT鍵を変更した場合は、あらためて自己証明書の生成あるいはサーバー証明書の申請を行う必要があります。
- CRT鍵を更新した場合、それまでのCRT鍵を1つ分履歴管理しています。[Current CRT key]ダイアログの[CRT key]で[History]ボタンをクリックすると、[Previous CRT key]ダイアログが表示され、鍵長と生成が完了した日時を確認することができます。[Previous CRT key]で、[Apply]ボタンをクリックすると、過去のCRT鍵を現在のCRT鍵と入れ替えることができます。



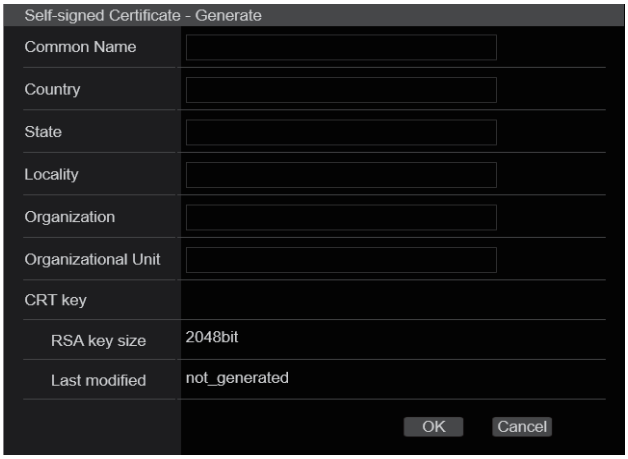
自己証明書（セキュリティ証明書）の生成 [Self-signed Certificate - Generate]

NOTE

- CRT鍵が生成されていない場合、自己証明書の生成を行うことはできません。

1. [Self-signed Certificate] - [Generate]の[Execute]ボタンをクリックする

[Self-signed Certificate - Generate]が表示されます。



2. 生成する証明書の情報を入力する

入力する項目は、下表の通りです。

項目	説明	入力可能文字数
Common Name	カメラのアドレスあるいはホスト名を入力します。	64文字
Country	国別記号を入力します。（省略可能）	2文字：国名コード（日本の場合：JP）
State	都道府県名を入力します。（省略可能）	128文字
Locality	市区町村名を入力します。（省略可能）	128文字
Organization	組織名を入力します。（省略可能）	64文字
Organizational Unit	部署名を入力します。（省略可能）	64文字
CRT key	現在のCRT鍵の鍵長と生成が完了した日時を表示します。	

NOTE

- [Common Name]、[Country]、[State]、[Locality]、[Organization]、[Organizational Unit]で入力可能な文字は、0～9（半角）、A～Z（半角）、a～z（半角）、半角記号 -. _ , + / ( )です。
- カメラをインターネットに公開している場合、[Common Name]にはインターネットからアクセスするアドレスまたはホスト名を設定してください。この場合、ローカルからアクセスすると、セキュリティ証明書をインストールしてもアクセスするごとにセキュリティ警告画面が表示されます。
- [Common Name]にIPv6アドレスを入力する場合は、アドレスを[ ]で囲んでください。
  例：[2001:db8::10]

3.入力が終了したら、[OK] ボタンをクリックする

自己証明書が生成されます。

NOTE

- 生成した自己証明書の情報は、[Self-signed Certificate] − [Information] に表示されます。自己証明書（セキュリティ証明書）の状態によって、次のように表示されます。

表示内容	説明
Not generated	自己証明書が生成されていない場合
Invalid (Reason: CA Certificate installed)	自己証明書が生成済みで、サーバー証明書もインストール済みの場合 • この場合、サーバー証明書が有効になります。
自己証明書の[Common Name]	自己証明書が生成済みで、有効な場合

- [Confirm] ボタンをクリックすると、生成した自己証明書（セキュリティ証明書）の登録内容が、[Self-signed Certificate - Confirm] ダイアログに表示されます。



- [Delete] ボタンをクリックすると、生成した自己証明書（セキュリティ証明書）を削除します。
- [Connection] で [HTTPS] が選択されている場合は、自己証明書（セキュリティ証明書）の削除を行うことはできません。

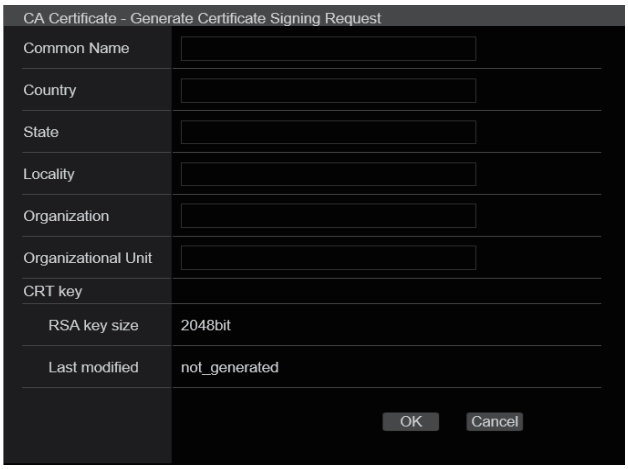
署名リクエスト（CSR）の生成 [CA Certificate - Generate Certificate Signing Request]

NOTE

- CRT鍵が生成されていない場合、署名リクエスト（CSR）の生成を行うことはできません。
- 署名リクエスト（CSR）を生成する場合、Webブラウザーのインターネットオプションであらかじめ以下の設定を行ってください。メニューバーの [ツール] − [インターネットオプション] − [セキュリティ] タブで、以下の設定を行ってください。
- カメラを「信頼済みサイト」に登録する。
- [レベルのカスタマイズ] で [ダウンロード] − [ファイルのダウンロード] を [有効にする] に設定する。
- [レベルのカスタマイズ] で [ダウンロード] − [ファイルのダウンロード時に自動的にダイアログを表示] を [有効にする] に設定する。

1.[CA Certificate - Generate Certificate Signing Request] の [Execute] ボタンをクリックする

[CA Certificate - Generate Certificate Signing Request] ダイアログが表示されます。



2.生成する証明書の情報を入力する

入力する項目は、下表の通りです。

項目	説明	入力可能文字数
Common Name	カメラのアドレスあるいはホスト名を入力します。	64文字
Country	国別記号を入力します。	2文字：国名コード（日本の場合：JP）
State	都道府県名を入力します。	128文字
Locality	市区町村名を入力します。	128文字
Organization	組織名を入力します。	64文字
Organizational Unit	部署名を入力します。	64文字
CRT key	現在のCRT鍵の鍵長と生成が完了した日時を表示します。	

NOTE

- サーバー証明書を使用する場合、入力する情報は、申請する認証機関から要求される内容に従ってください。
- [Common Name]、[Country]、[State]、[Locality]、[Organization]、[Organizational Unit] で入力可能な文字は、0 ～9（半角）、A ～Z（半角）、a ～z（半角）、半角記号 -. _ , + / ( ) です。

3.入力が終了したら、[OK] ボタンをクリックする

[名前を付けて保存] ダイアログが表示されます。

4.[名前を付けて保存] ダイアログで、署名リクエスト（CSR）にファイル名を付け、パーソナルコンピューターに保存する

保存した署名リクエスト（CSR）を使用して認証機関に申請します。

NOTE

- 生成した署名リクエスト（CSR）とCRT鍵の組に対して、サーバー証明書が発行されます。認証機関に申請後、CRT鍵を生成／更新すると、発行されるサーバー証明書が使用できなくなります。
- 本機で生成する署名リクエスト（CSR）は、PEM形式です。

サーバー証明書のインストール [CA Certificate - CA Certificate install]

NOTE

- 署名リクエスト（CSR）が生成されていない場合、サーバー証明書（セキュリティ証明書）のインストールを行うことはできません。
- サーバー証明書のインストールには認証機関から発行されたサーバー証明書が必要です。

1. **[CA Certificate - CA Certificate install] の [Select] ボタンをクリックする**

[ファイルを開く] ダイアログが表示されます。

2. **サーバー証明書ファイルを選択し、[開く] ボタンをクリックし、[実行] ボタンをクリックする**

サーバー証明書がインストールされます。

NOTE

- インストールしたサーバー証明書に登録されているホスト名が、[CA Certificate] − [Information]に表示されます。また、サーバー証明書の状態によって、次のように表示されます。

表示内容	説明
Invalid	サーバー証明書がインストールされていない場合
サーバー証明書の [Common Name]	サーバー証明書がインストール済みで、有効な場合
Expired	サーバー証明書の有効期限が切れた場合

- [Confirm] ボタンをクリックすると、インストールしたサーバー証明書（セキュリティ証明書）の内容が、「CA Certificate - Confirm」ダイアログに表示されます。（[Organizational Unit] の欄のみアスタリスクが表示されます。）



- [Delete] ボタンをクリックすると、インストールしたサーバー証明書（セキュリティ証明書）を削除します。
- [Connection] で [HTTPS] が選択されている場合は、サーバー証明書（セキュリティ証明書）の削除を行うことはできません。
- サーバー証明書を更新する場合は、手順 1 ～手順 2 の操作を行います。
- 有効なサーバー証明書（セキュリティ証明書）を削除する場合は、パーソナルコンピューター、記録メディアなどにサーバー証明書（セキュリティ証明書）のバックアップがあることを確認してください。再度インストールする場合に、サーバー証明書（セキュリティ証明書）が必要になります。
- サーバー証明書の有効期限が切れると、HTTPS機能を使用することができなくなります。この場合、再起動すると、接続方法がHTTPに変更されます。サーバー証明書の有効期限が切れる前に、サーバー証明書の更新を行ってください。
- サーバー証明書の有効期限は、認証機関から発行されたサーバー証明書ファイルをダブルクリックすると確認することができます。

接続方法の設定 [Connection]

1. **[Connection] で、カメラへのアクセス方法を設定する**

HTTP: HTTP接続のみ可能になります。
HTTPS: HTTPS接続のみ可能になります。

NOTE

- HTTPS接続の場合、ROPをネットワークで接続できません。

2. **[HTTPS port] に、HTTPSで使用するポート番号を設定する**

設定可能なポート番号: 1～65535
以下のポート番号は、本機で使用していますので設定できません。
20、21、23、25、42、53、67、68、69、80、110、123、161、162、443、546、547、554、995、5960～5985、7960～8060、10669、10670、11900、59000～61000
工場出荷時の設定: 443

3. **[HTTPS mode] に、HTTPSで使用する暗号プロトコルを設定する**

TLS1.0/1.1/1.2: TLS1.0/1.1/1.2で接続可能になります。
TLS1.2: TLS1.2で接続可能になります。

4. **[Set] ボタンをクリックする**

カメラが再起動し、HTTPSでのカメラへのアクセスが有効になります。

NOTE

- 接続方法の設定が変更された場合、本機は再起動します。
- **自己証明書を使用する場合**
  HTTPSでカメラにアクセスした場合、初回は警告画面が表示されます。画面に従って、自己証明書（セキュリティ証明書）をパーソナルコンピューターにインストールしてください。（178ページ）
- **サーバー証明書を使用する場合**
  あらかじめご使用のWebブラウザーに認証機関のルート証明書、中間証明書をインストールしてください。ルート証明書、中間証明書の取得方法、インストール方法は、認証機関の手順に従ってください。
- HTTPSでカメラにアクセスする場合は、画面の表示速度と動画のフレームレートが低下することがあります。
- HTTPSでカメラにアクセスする場合、画像が表示されるまで時間がかかることがあります。
- HTTPSでカメラにアクセスしたときに、画像が乱れたり、音声が途切れたりすることがあります。
- カメラに同時に接続できる最大数は最大画像サイズと配信フォーマットにより異なります。

HTTPS でカメラにアクセスする

1. **パーソナルコンピューターでWebブラウザーを起動する**

2. **カメラのIPアドレスを、Webブラウザーのアドレスボックスに入力する**

入力例：https://192.168.0.10/

NOTE

- HTTPSポートの番号が「443」から変更されている場合は、「https://カメラのIPアドレス：ポート番号」を [アドレス] ボックスに入力してください。
  例：https://192.168.0.11:61443
- 本機がローカルネットワーク内にある場合、ローカルアドレスに対してプロキシサーバーを使用しないように、Webブラウザー（メニューバーの [ツール] − [インターネットオプション]）からプロキシサーバーの設定を行ってください。

3. **[Enter] キーを押す**

ライブ画面 [Live] が表示されます。
セキュリティ警告画面が表示されたら、セキュリティ証明書をインストールします。（178ページ）
[User auth.] を [On] に設定した場合、ライブ画面 [Live] が表示される前にユーザー名とパスワードの入力画面が表示されます。

NOTE

- HTTPSを使用すると、画面表示や画像表示が遅くなり、画像更新間隔（フレームレート）も遅くなることがあります。

■ セキュリティ証明書のインストール

HTTPSを使用してカメラにアクセスするときに、アクセスするカメラのセキュリティ証明書がパーソナルコンピューターにインストールされていない場合に、セキュリティの警告画面が表示されます。この警告画面を表示しないようにするには、以下の手順に従ってセキュリティ証明書をインストールする必要があります。インストールしない場合は、アクセスするごとにセキュリティの警告画面が表示されます。

NOTE

- [Common Name]に設定している内容でセキュリティ証明書がパーソナルコンピューターにインストールされます。そのため、「ホスト名」に設定している内容をカメラにアクセスするためのアドレス／ホスト名に合わせる必要があります。異なる場合は、アクセスするごとにセキュリティの警告画面が表示されます。
- セキュリティ証明書をインストールしても、カメラのアドレス／ホスト名を変更した場合は、セキュリティの警告画面が表示されます。再度、セキュリティ証明書をインストールしてください。
- インターネットに公開している場合、[Common Name]には、インターネットからアクセスするアドレス／ホスト名を設定してください。この場合、ローカルからアクセスした場合、セキュリティ証明書をインストールしてもアクセスするごとにセキュリティ警告画面が表示されます。
- セキュリティ証明書が正しくインストールされると、カメラにアクセスしたWebブラウザーのアドレスボックスに鍵のアイコンが表示されます。

1.HTTPSでカメラにアクセスする

2.セキュリティ警告画面が表示されたら、[このサイトの閲覧を続行する(推奨されません)。]をクリックする



ライブ画面[Live]が表示されます。
なお、認証画面が表示された場合、ユーザー名とパスワードを入力してください。

NOTE

- カメラ以外の機器／サイトにアクセスし、上記の画面が表示された場合は、セキュリティ上の問題がある可能性がありますので、よくご確認ください。

3.URL上の[証明書のエラー]をクリックし、[証明書の表示]をクリックする



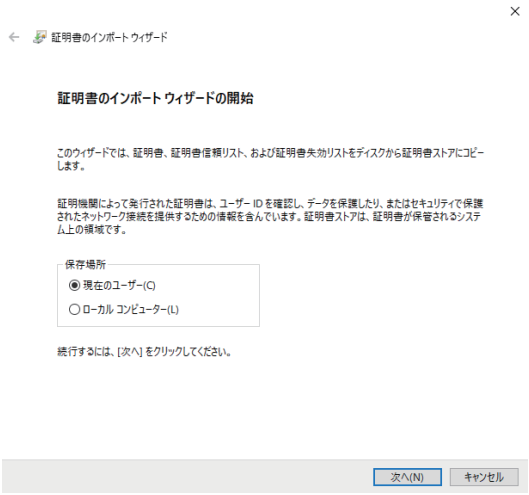
4.[証明書のインストール(I)...]をクリックする



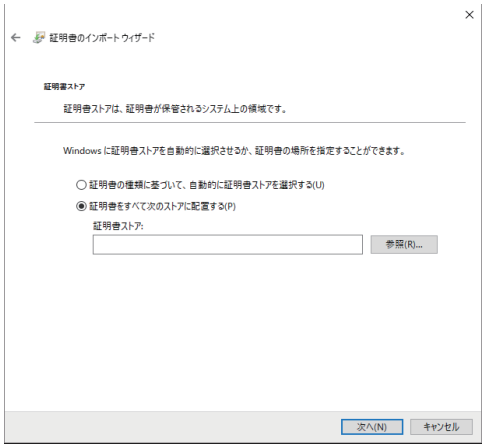
NOTE

- [証明書のインストール(I)...]が表示されない場合は、一度Internet Explorerを閉じて、[管理者として実行(A)...]を選択し起動してください。
  [スタート]－[プログラム]－[Internet Explorer]を右クリックして、[管理者として実行(A)...]をクリックします。

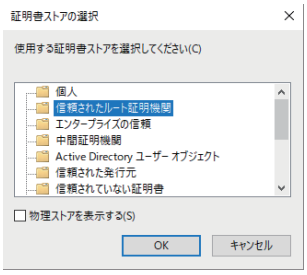
5.証明書のインポートウィザードに表示される[次へ(N)]をクリックする



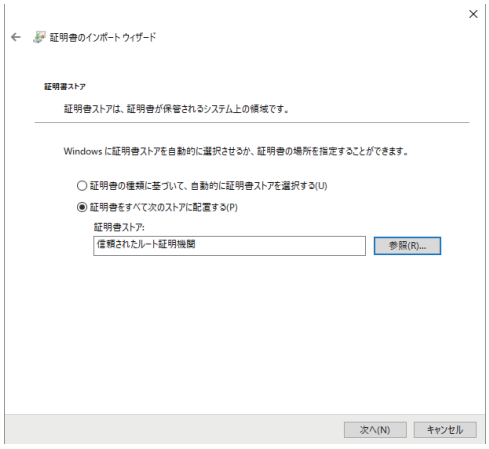
6. [証明書をすべて次のストアに配置する (P)] を選択し、[参照 (R)...] をクリックする



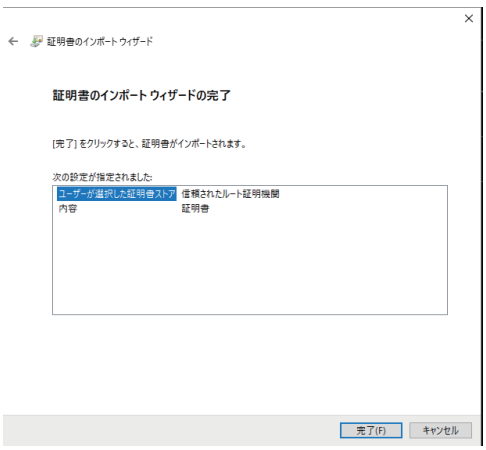
7. [信頼されたルート証明機関] を選択し、[OK] をクリックする



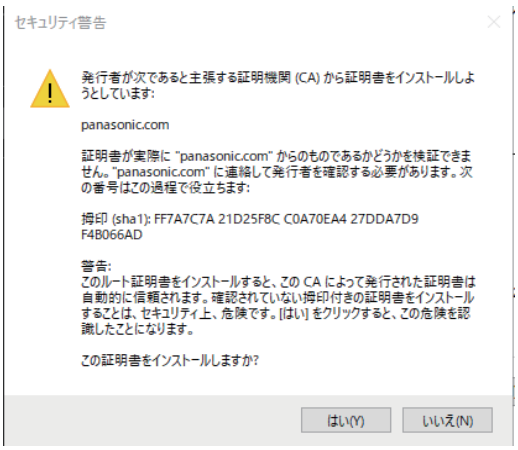
8. [次へ (N)] をクリックする



9. [完了 (F)] をクリックする

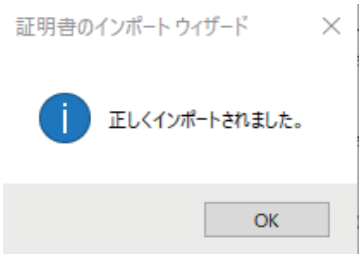


10. [はい (Y)] をクリックする



インポートが終了すると、「正しくインポートされました。」の画面が表示されます。

11. [OK] をクリックする



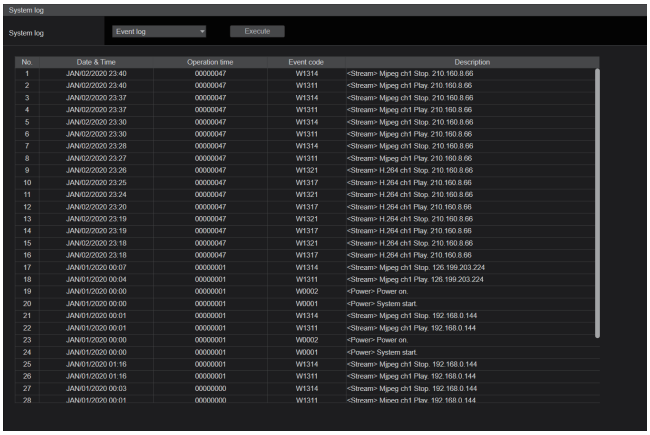
証明書をインポートしたあとWebブラウザーを閉じて、再接続すると、「証明書エラー」は表示されなくなります。

メンテナンス画面 [Maintenance]

システムログの確認やソフトウェアのバージョン確認、本機の初期化などを行います。
[System log]、[Maintenance]、[Product info.]、[Backup]の4つの設定で構成されています。

システムログ画面 [System log]

本機の内部メモリーに最大1000件のイベントログと最大100件のエラーログを保存できます。
保存できるログの最大数を超えた場合は、古いログから上書きされます。
本機の電源を切っても、ログは保存されます。



NOTE

• システムログ画面を表示したときは、イベントログの表示になります。

System log [Event log、Error log1、Error log2]

イベントログとエラーログの表示を切り替えます。
[Execute]ボタンをクリックすると、イベントログの表示が更新されます。

Event log	イベントログを表示します。
Error log1	エラーログを表示します。
Error log2	エラーログを表示します。

[Event log]

No.

ログの通し番号が表示されます。
「1」が最新情報を示し、最大1000件までログを保存できます。

Date & Time

イベントの発生日時が表示されます。
イベントの発生日時は、本機の時計に従って24時間形式で表示されます。

Operation time

イベントの発生日時が表示されます。
イベントの発生日時は、本機のアワーメーター（0h～99999h）で表示されます。

Event code

イベントのコード番号が表示されます。

Description

イベントの内容が表示されます。
表示例：
- <Power> Power on.
- <Stream> H.264 ch1 Play.
- <Stream> H.264 ch1 Stop.

[Error log1、Error log2]

No.

ログの通し番号が表示されます。
「1」が最新情報を示し、最大100件までログを保存できます。

Date & Time

エラーの発生日時が表示されます。
エラーの発生日時は、本機の時計に従って24時間形式で表示されます。

Operation time

エラーの発生日時が表示されます。
エラーの発生日時は、本機のアワーメーター（0h～99999h）で表示されます。
Error log2はOperation timeは表示できないため、"---" 表示となります。

Error code

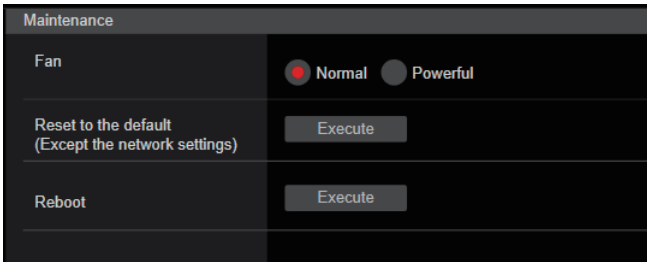
エラーのコード番号が表示されます。

Error description

エラーの内容が表示されます。
表示例：
- Temp Sensor Error

メンテナンス画面 [Maintenance]

本機の設定データの初期化、本機の再起動などを行います。



Fan [Normal、Powerful]

冷却ファンの動作を設定します。

Reset to the default (Except the network settings)

[Execute]ボタンをクリックすると、本機の設定内容を初期設定に戻します。

初期化動作を行うと、本機を再起動しますので、約2分間は操作できません。

NOTE

- 次の設定項目は初期化されません。
  - [Live page - Automatic installation of viewer software]
  - [Live page - Smoother live video display on the browser(buffering)]
  - [Access mng.] 以下のすべての項目
  - [Network - Network] 以下のすべての項目
  - [HTTPS - Connection]
  - [HTTPS - HTTPS port]
  - [HTTPS - HTTPS mode]
  - HTTPS：CRT鍵、サーバー証明書
  - [UPnP] 以下のすべての項目
- [AWB]および[ABB]の調整値は、初期化されません。
- [Format]と[Frequency]の設定内容（118ページ）は、初期化されません。

Reboot

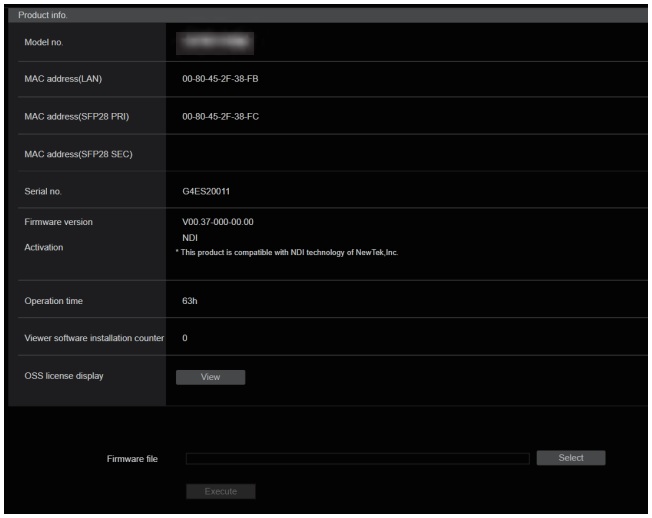
[Execute]ボタンをクリックすると、本機を再起動します。

再起動後は、本機の電源をONしたときと同様、約2分間操作できません。

製品情報確認画面 [Product info.]

本機のソフトウェアのバージョンを確認できます。

[Model no.]、[MAC address(LAN)]、[MAC address(SFP28 PRI)]、[Serial no.]、[Firmware version]など本機の各情報が表示されます。



Model no.

本機の品番が表示されます。

MAC address(LAN)

本機のLANのMACアドレスが表示されます。

MAC address(SFP28 PRI)

本機のSFP1のMACアドレスが表示されます。

MAC address(SFP28 SEC)

本機のSFP2のMACアドレスが表示されます。

Serial no.

本機の製造番号が表示されます。

Firmware version

本機のシステム全体のバージョンを表示します。

Activation

アクティベーションされている機能についての情報が表示されます。

Operation time

本機が動作した時間を表示します。

Viewer software installation counter

本機から自動インストールを実施した表示用プラグインソフトウェアの数が表示されます。

OSS license display

[View]ボタンを押すと、OSSライセンスを表示します。

OSSライセンスの表示画面を閉じる時は[Close]ボタンを押してください。

Firmware file

ファームウェアのバージョンアップを行います。

バージョンアップの方法については、「ファームウェア（Firmware file）のバージョンアップ」（182ページ）をご参照ください。

■ ファームウェア（Firmware file）のバージョンアップ

1.最新のソフトウェアをパーソナルコンピューターにダウンロードする

NOTE

・保存ディレクトリー名とダウンロードしたソフトウェア名を合わせて、250文字以内にしてください。

2.[Select]ボタンをクリックして、ダウンロードしたソフトウェアを指定する

3.[Execute]ボタンをクリックする

バージョンアップ実行の確認画面が表示されます。
バージョンアップを行った後は、必ずインターネット一時ファイルを削除してください。

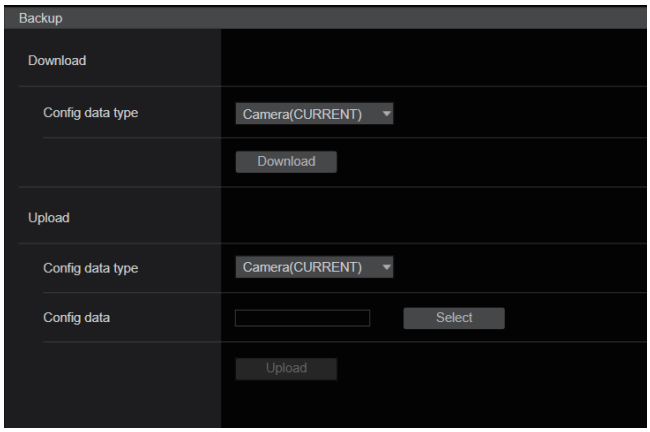
NOTE

- [Execute]ボタンをクリックした後、バージョンアップ処理中を示すプログレスバーが表示されるまで、1分程度かかることがあります。
- バージョンアップは、本機と同じサブネット内にあるパーソナルコンピューターで行ってください。
- バージョンアップ用ソフトウェアを使用する場合は、注意事項を必ずご確認のうえ、その指示に従ってください。
- バージョンアップ時に使用するソフトウェアは、当社指定の下記ファイルを使用してください。

  UPDATE.bin
- バージョンアップ中は、本機の状態表示ランプが以下の状態になります。
  - 橙色点滅：ファイル転送中
  - 赤色点滅：データ書込中
- バージョンアップ中は、本機の電源を切らないでください。（完了したことを示すポップアップ画面が表示されるまで）
- バージョンアップ中は、バージョンアップが終了するまでは一切の操作を行わないでください。
- バージョンアップを行った後は、Webブラウザーを一度閉じてください。
- 本機のバージョンアップには、最大1時間程度を要する場合があります。
- [DHCP]が[On]になっている状態でバージョンアップを行うと、バージョンアップ後の再起動時に本機のIPアドレスが変更される場合があります。その場合、Webブラウザーにてバージョンアップ完了を示すポップアップ画面が表示されずに、タイムアウトが発生する場合があります。本機の状態表示ランプにてバージョンアップ完了を確認してください。

バックアップ画面 [Backup]

本機の設定をパーソナルコンピューターに保存したり、パーソナルコンピューターに保存してある設定を本機に適用することができます。



Download

Config data type
[Camera(CURRENT)、Camera(SCENE1)～Camera(SCENE8)、Camera(USER1)～Camera(USER3)、Camera(LENS1)～Camera(LENS32)、Camera(OPERATION)、Network、Camera(All)、Camera(All Scene)、Camera(All User)、Camera(All Lens)]
本機の設定をパーソナルコンピューターに保存する際の設定データの種別を指定します。

設定値	保存される内容	保存ファイル拡張子
Camera(CURRENT)	現在の設定内容	.cs
Camera(SCENE1)	Scene1の設定内容	.cs
⋮	⋮	⋮
Camera(SCENE8)	Scene8の設定内容	.cs
Camera(USER1)	User1の設定内容	.us
Camera(USER2)	User2の設定内容	.us
Camera(USER3)	User3の設定内容	.us
Camera(LENS1)	LENS1の設定内容	.lns
⋮	⋮	⋮
Camera(LENS32)	LENS32の設定内容	.lns
Camera(OPERATION)	Operationの設定内容	.ope
Network	Web画面での設定内容 ネットワークの設定内容	.nal
Camera(All)	すべてのScene、User、LENSの設定内容	.cs .us .lns
Camera(All Scene)	Scene1～8の設定内容	.cs
Camera(All User)	User1～3の設定内容	.us
Camera(All Lens)	LENS1～32の設定内容	.lns

Download
本機の設定をパーソナルコンピューターに保存します。
[Download]ボタンで保存先ダイアログ画面を表示したら、保存先のフォルダーを指定します。

NOTE

- [Download]ボタンをクリックしてから保存先ダイアログ画面が表示されるまで、カメラの設定ファイルの場合で約50秒、ネットワークの設定ファイルの場合で約10秒かかります。
- 本機の状態によっては、設定ファイルをダウンロードできないことがあります。この場合、本機は自動的に再起動します。

Upload

Config data type

[Camera(CURRENT)、Camera(SCENE1)～Camera(SCENE8)、Camera(USER1)～Camera(USER3)、Camera(LENS1)～Camera(LENS32)、Camera(OPERATION)、Network、Camera(All)、Camera(All Scene)、Camera(All User)、Camera(All Lens)]

パーソナルコンピューターに保存した設定データを本機に反映するときの、設定データの種別を指定します。

設定値	アップロード可能なファイル拡張子
Camera(CURRENT)	.cs
Camera(SCENE1)	.cs
⋮	⋮
Camera(SCENE8)	.cs
Camera(USER1)	.us
Camera(USER2)	.us
Camera(USER3)	.us
Camera(LENS1)	.lns
⋮	⋮
Camera(LENS32)	.lns
Camera(OPERATION)	.ope
Network	.nal
Camera(All)	.cs .us .lns
Camera(All Scene)	.cs
Camera(All User)	.us
Camera(All Lens)	.lns

Upload

ダウンロード機能でパーソナルコンピューターに保存した本機の設定ファイルをアップロードします。

[Select]ボタンをクリックしてダイアログ画面を表示し、保存したファイルを指定します。

[Upload]ボタンをクリックするとメッセージダイアログ画面が表示され、[OK]ボタンをクリックすると、アップロードを開始します。

アップロード完了後にメッセージダイアログ画面が表示され、[OK]ボタンをクリックすると、本機は自動的に再起動します。

NOTE

- アップロードに使用するデータは、本機でダウンロードしたファイルを使用してください。
- ダウンロード／アップロード中は、本機の電源を切らないでください。
- ダウンロード／アップロード中は、ダウンロード／アップロードが終了するまで一切の操作を行わないでください。
- カメラの設定ファイルの場合、アップロード完了ダイアログ画面が表示されるまで約3分かかります。

第６章　メンテナンス

本機のワーニング表示やアフターサービスについて説明します。

故障かな？と思ったら

操作関係

症状	原因・対策
電源が入らない	電源コードがコンセントに確実に接続されていますか？
IP 接続した ROP から操作できない	電源は入っていますか？ • 本機の電源ランプが消灯の場合は、本機の電源が入っていません。
	本機に有効な IP アドレスは設定されていますか？
	操作したい本機を正しく選んでいますか？
	ROP と正しく接続されていますか？ • ROP の取扱説明書も参照してください。
	本機のダイジェスト認証が ON（[User auth.] が [On] で [Authentication] が [Digest]）で、[Wait time mode] が [Mode1] の設定になっていませんか？ • ROP を使用する場合、ダイジェスト認証のときは [Wait time mode] を [Mode2] に設定してご利用ください。 [Wait time mode] を [Mode1] に設定している場合、スムーズな操作性が損なわれる可能性があります。
	本機に対応するための ROP のバージョンアップが必要なことがあります。 • 販売店にご相談ください。
Web ブラウザーからアクセスできない	〈LAN〉端子にカテゴリー 5e 以上の LAN ケーブルを使って接続していますか？
	〈LAN〉端子のランプは点灯していますか？ • 消灯している場合は、LAN に正常に接続されていないか、接続先のネットワークが正常動作していません。 LAN ケーブルの接触不良、配線をお確かめください。
	電源は入っていますか？ • 本機の〈POWER〉ランプが消灯している場合は、本機の電源が入っていません。
	本機に有効な IP アドレスは設定されていますか？
	間違った IP アドレスにアクセスしていませんか？（Windows） • Windows のコマンドプロンプトで >ping [本機に設定した IP アドレス] を実行し、本機から応答が返ってくると、正常に動作しています。 応答が返ってこない場合は、本機を再起動し、20 分以内に EasyIP Setup Tool Plus を使って、IP アドレスを変更してください。
	間違った IP アドレスにアクセスしていませんか？（Mac） • OS X のターミナルで >ping -c 10 [本機に設定した IP アドレス] を実行し、本機から応答が返ってくると、正常に動作しています。 応答が返ってこない場合は、本機を再起動し、20 分以内に EasyIP Setup Tool Plus を使って、IP アドレスを変更してください。
	HTTPS 機能を使用中に「http://」でアクセスしていませんか？ • HTTPS をご使用の場合は、「https://」でアクセスしてください。また、ポート番号の入力も必要です。
	ポート番号に 554 を設定していませんか？ • HTTP ポート番号は、本機で使用する次のポート番号以外を使用してください。 [20]、[21]、[23]、[25]、[42]、[53]、[67]、[68]、[69]、[110]、[123]、[161]、[162]、[554]、[995]、[10669]、[10670]、[49152]、[59000]…[59999]、[60000]…[61000]
	設定した IP アドレスが他の機器と重複していませんか？ • 本機およびアクセス機器（パーソナルコンピューター、コントローラーなど）、他のカメラの IP アドレスを確認してください。
	設定したサブネットマスクが設置先のネットワークサブネットと一致していますか？ • 本機およびアクセス機器に設定されているサブネットマスクをご確認のうえ、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
	Web ブラウザーで [プロキシサーバーを使う] の設定になっていませんか？（本機とパーソナルコンピューターが同一サブネットに接続されている場合） • Web ブラウザーの [プロキシ設定] でプロキシーサーバーが設定されている場合は、本機の IP アドレスをプロキシから外すアドレスに設定することをお勧めします。
	本機に設定したデフォルトゲートウェイが間違っていませんか？（本機とパーソナルコンピューターが異なるサブネットに接続されている場合） • 本機に設定されているデフォルトゲートウェイをご確認のうえ、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
Web 設定画面 [Setup] の設定値がうまく更新されない、表示されない	パーソナルコンピューターのキーボードの F5 キーを押して、設定値の取得要求を行ってください。（Windows）
	パーソナルコンピューターのキーボードの Command+R キーを押して、設定値の取得要求を行ってください。（Mac）
	以下の手順でインターネット一時ファイルを削除してください。（Windows） 1）Microsoft Edge で […] - [履歴] を選択する 2）[…] - [閲覧データをクリア] を選択する 3）[閲覧の履歴][ダウンロードの履歴][Cookie およびその他のサイトデータ][キャッシュされた画像とファイル] のチェックボックスをオンにして [今すぐクリア] をクリックする
	次の手順でインターネット一時ファイル（キャッシュ）を削除してください。（Mac） 1）Safari で [Safari] − [キャッシュを空にする] を選択する。 2）[閲覧の履歴] の [削除] ボタンをクリックする。

症状	原因・対策
	ウイルスチェックソフトのファイアウォール機能などにより本機のポートがフィルタリングされている可能性があります。 • 本機の HTTP ポート番号をフィルタリング対象外のポート番号に変更してください。
設定ファイルのダウンロードができない	ポップアップがブロックされていませんか？（Windows） 以下の手順をおこなってください。 1）Microsoft Edge で […] - [設定] を選択する 2）[Cookie とサイトのアクセス許可] を選択する 3）[ポップアップとリダイレクト] を選択する 4）[ブロック（推奨）] をオフにする
認証画面が連続して表示される	ユーザー名やパスワードが変更されていませんか？ • 本機にアクセス中に、異なる Web ブラウザーでログイン中のユーザーに対するユーザー名やパスワードを変更すると、画面を切り替えたるたびに、認証画面が表示されます。 Web ブラウザーを閉じて、本機にアクセスし直してください。
	ユーザー認証方式の設定を変更していませんか？ • [User auth.] − [Authentication] の設定を変更した場合は、Web ブラウザーを閉じて、アクセスし直してください。
画面表示に時間がかかる	同じローカルネットワークの本機をプロキシー経由でアクセスしていませんか？ • プロキシーを経由しないように Web ブラウザーの設定をしてください。
	HTTPS モードでアクセスしていませんか？ • HTTPS では、復号処理のため、表示が遅くなります。
	複数のユーザーが同時に本機の IP 映像を参照していませんか？ • 複数のユーザーが同時に本機の IP 映像を参照すると、画面表示に時間がかかったり、IP 映像の更新速度が遅くなったりすることがあります。

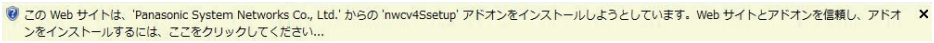
IP 映像関係

症状	原因・対策
画像がぼやける	フォーカスは正しく調整されていますか？ • フォーカス調整を確認してください。
画像が更新されない	ご使用の Web ブラウザーやバージョンによっては、画像が更新されないなどの不具合が発生することがあります。 ネットワークの混雑具合や、本機へのアクセス集中などにより、画像の表示が止まることがあります。 本機の IP 映像設定を変更した場合、一時的に画像の表示が止まることがあります。 • 本機へのアクセス状況を確認し、中断できるアクセスを停止してください。その後、パーソナルコンピューターのキーボードの F5 キーを押して、設定値の取得要求を行ってください。（Windows） • 本機へのアクセス状況を確認し、中断できるアクセスを停止してください。その後、パーソナルコンピューターのキーボードの Command+R キーを押して、設定値の取得要求を行ってください。（Mac）
画像がうまく更新されない、表示されない	以下の手順でインターネット一時ファイルを削除してください。（Windows） 1）Microsoft Edge で […] - [履歴] を選択する 2）[…] - [閲覧データをクリア] を選択する 3）[閲覧の履歴][ダウンロードの履歴][Cookie およびその他のサイトデータ][キャッシュされた画像とファイル] のチェックボックスをオンにして [今すぐクリア] をクリックする
	次の手順でインターネット一時ファイル（キャッシュ）を削除してください。（Mac） 1）Safari で [Safari] − [キャッシュを空にする] を選択する。 2）[キャッシュを空にしてもよろしいですか？] ポップアップの [空にする] ボタンをクリックする。
	ウイルスチェックソフトのファイアウォール機能などにより本機のポートがフィルタリングされている可能性があります。 • 本機の HTTP ポート番号をフィルタリング対象外のポート番号に変更してください。
画像が乱れる	伝送路の輻輳などにより映像情報が適切に伝送されず、映像が乱れることがあります。 • ネットワーク管理者にお問い合わせください。
	伝送路にて映像パケットの順序入替が発生し、映像が乱れることがあります。 • インターネットサービスプロバイダーを、カメラ側とパーソナルコンピューター側で同一のものにすると回避できることがあります。ネットワーク管理者にお問い合わせください。
NDI High Bandwidth 対応アプリケーションで映像が停止する	パーソナルコンピューターと本機を市販の USB LAN 変換アダプターを使用して接続している場合、パーソナルコンピューター側のネットワーク不具合によって映像が停止する場合があります。 • この現象が発生した場合は、最初にパーソナルコンピューターの本機と接続しているネットワークアダプターを無効化し、[Video over IP] の [Streaming mode] を [H.264] に切り替えてください。その後、無効化したネットワークアダプターを再度有効化し、[Streaming mode] を [NDI High Bandwidth] に変更すると映像が出力されます。

Web 画面

お使いのパーソナルコンピューターの OS によっては、次の現象が発生することがあります。現象が発生した場合は、それぞれの対応方法を実施してください。
なお、これらの対応方法により、他のアプリケーションの動作に影響を与えることはありません。
ここの説明で使用している「情報バー」とは、Microsoft Edge に表示されるメッセージバーのことです。（Windows）

■ Microsoft Edge



「情報バー」は、Microsoft Edge のアドレスバーの下に表示されます。

症状	原因・対策
画像がコマ落ちして見える	パーソナルコンピューターの性能が不足している可能性があります。 • 必要なパーソナルコンピューターの環境を確認してください。
	リアルタイム更新切替ボタンで、Web ブラウザーのリアルタイム更新機能を無効化することで現象が改善される場合があります。
下記メッセージの情報バーが表示される [この Web サイトは、'Panasonic System Networks Co.,Ltd.' からの 'WebVideo Module' アドオンを実行しようとしています。]	次の手順で許可してください。 1）[許可 (A)] を選択する。
下記メッセージの情報バーが表示される [この Web サイトは、'Panasonic System Networks Co.,Ltd.' からの 'nwcv4SSetup.exe' アドオンをインストールしようとしています。]	次の手順で許可してください。 1）[インストール (I)] を選択する。 セキュリティーの警告画面が表示されます。 2）[インストールする (I)] ボタンをクリックする。
IP 映像が表示用の枠と一致していない	画像の DPI 設定が 120DPI 以上に設定されている場合は、正しく表示されないことがあります。 次のように設定してください。 1）パーソナルコンピューター画面上で右クリックし、[ディスプレイの設定] − [テキスト、アプリ、その他の項目のサイズを変更する] をクリックする。 2）[100%（推奨）] に設定する。
	Microsoft Edge のズーム機能における拡大レベルが 100% 以外に設定されている場合は、正しく表示されないことがあります。 次のように設定してください。 1）Microsoft Edge で [···] - [ズーム] の [−][＋] をクリックし、[100%] に設定してください。

ご使用時間の確認

[ALL MENU] → [MAINTENANCE] → [HOUR METER] で確認できます。

ワーニング表示について

カメラのオート機能でエラーが生じた場合に表示されます。

カメラワーニング表示

■ AWB（オートホワイトバランス）実行時

[AWB BREAK]	オートホワイトバランスが中断しました。
[AWB HIGH LIGHT NG]	光量が大きくてオートホワイトバランスを実行できません。 適度な光レベルを設定してください。
[AWB LOW LIGHT NG]	光量不足でオートホワイトバランスを実行できません。 適度な光レベルを設定してください。
[AWB NG]	オートホワイトバランスが失敗しました。 再度やり直してください。
[AWB NG CHECK FILTER]	フィルター位置の誤りのためオートホワイトバランスを実行できません。 正しいフィルター位置に設定してください。
[AWB RCH OUT RANGE]	赤のホワイトバランス収束ができません。 画面いっぱいに白を写して実行してください。
[AWB BCH OUT RANGE]	青のホワイトバランス収束ができません。 画面いっぱいに白を写して実行してください。

■ ABB（オートブラックバランス）実行時

[ABB BREAK]	オートブラックバランスが中断しました。
[ABB RCH OUT RANGE]	赤のブラックバランス収束ができません。 映像に異常がないか確認してください。
[ABB BCH OUT RANGE]	青のブラックバランス収束ができません。 映像に異常がないか確認してください。
[ABB GCH OUT RANGE]	緑のブラックバランス収束ができません。 映像に異常がないか確認してください。
[ABB NG]	レンズアイリスがクローズになっていない可能性があります。

その他のワーニング表示

[FIRMWARE UPDATE FAILED] [ERRCODE:01]	バージョンアップファイルが存在しないか、壊れている可能性があります。 正しいバージョンアップファイルを USB メモリに格納してから、再度実施してください。 また、USB メモリが正常に動作しているか確認してください。
[FIRMWARE UPDATE FAILED] [ERRCODE:02]	バージョンアップファイル書き換え時にエラーが発生しました。 本機、外部 DC 電源、USB メモリが正しく接続されていることを確認した上で再起動後に、再度実施してください。
[FIRMWARE UPDATE FAILED] [ERRCODE:03]	その他のシステムエラーです。（通信異常など） 本機、外部 DC 電源、USB メモリが正しく接続されていることを確認した上で再起動後に、再度実施してください。
[FIRMWARE UPDATE FAILED] [ERRCODE:04]	FAN エラーが発生しています。 FAN が停止していないか確認してください。問題なければ、再起動後に、再度実施してください。
[FIRMWARE UPDATE FAILED] [ERRCODE:05]	電源エラーが発生しています。 外部 DC 電源を使用して、本機の〈POWER〉スイッチを〈EXT〉にして再度実施してください。
[TEMP OVER!] [FORCE POWER OFF!]	内部の温度が高温になっています。 電源を強制的に切ります。
[DATE/TIME HAS BEEN RESET]	時計用内蔵電池が一時的に LOW BATTERY になったため、時計機能がリセットされました。[DATE/TIME] を再設定してください。（102 ページ、122 ページ） 定期的にカメラに電源供給することをお勧めします。

本機搭載ファームウェアのアップデート

ファームウェアアップデートの有無および操作説明は次の Web サイトをご参照ください。
https://connect.panasonic.com/jp-ja/products-services_proav

保証とアフターサービス（よくお読みください）

故障・修理・お取扱い・メンテナンスなどのご相談は、
まず、**お買い上げの販売店**へ、お申し付けください。

お買い上げの販売店がご不明の場合は、当社（裏表紙）までご連絡ください。
* 内容により、お近くの窓口をご紹介させていただく場合がございますので、ご了承ください。

■ 保証書（同梱印刷物に添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ずお確かめのうえ、お買い上げの販売店からお受け取りください。

内容をよくお読みいただいたうえ、大切に保管してください。

万一、保証期間内に故障が生じた場合には、保証書記載内容に基づき、無料修理させていただきます。

保証期間：お買い上げ日から本体 1 年間

■ 補修用性能部品の保有期間 8 年

当社は、この 4K スタジオカメラの補修用性能部品を、製造打ち切り後、8 年保有しています。

* 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ 保守・点検

- 保守・点検は機器の機能を常に良好な状態に維持し、お客様が安心してご使用していただくためのものです。
- 部品の劣化、ごみ、ほこりの付着などにより突発的な故障、トラブルを未然に防ぐとともに、安定した機能、性能の維持のために、定期的な保守・点検を行ってください。
- 保守・点検（有料）についての詳しい内容は、お買い上げの販売店にご相談ください。
- 修理、保守、点検時には、情報漏えいしては困る本体設定情報はあらかじめ削除して、ご依頼ください。

修理を依頼されるとき

この取扱説明書を再度ご確認のうえ、お買い上げの販売店までご連絡ください。

■ 保証期間中の修理は...

保証書の記載内容に従って、修理させていただきます。詳しくは、保証書を参照してください。

■ 保証期間経過後の修理は...

修理により、機能、性能の回復が可能な場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

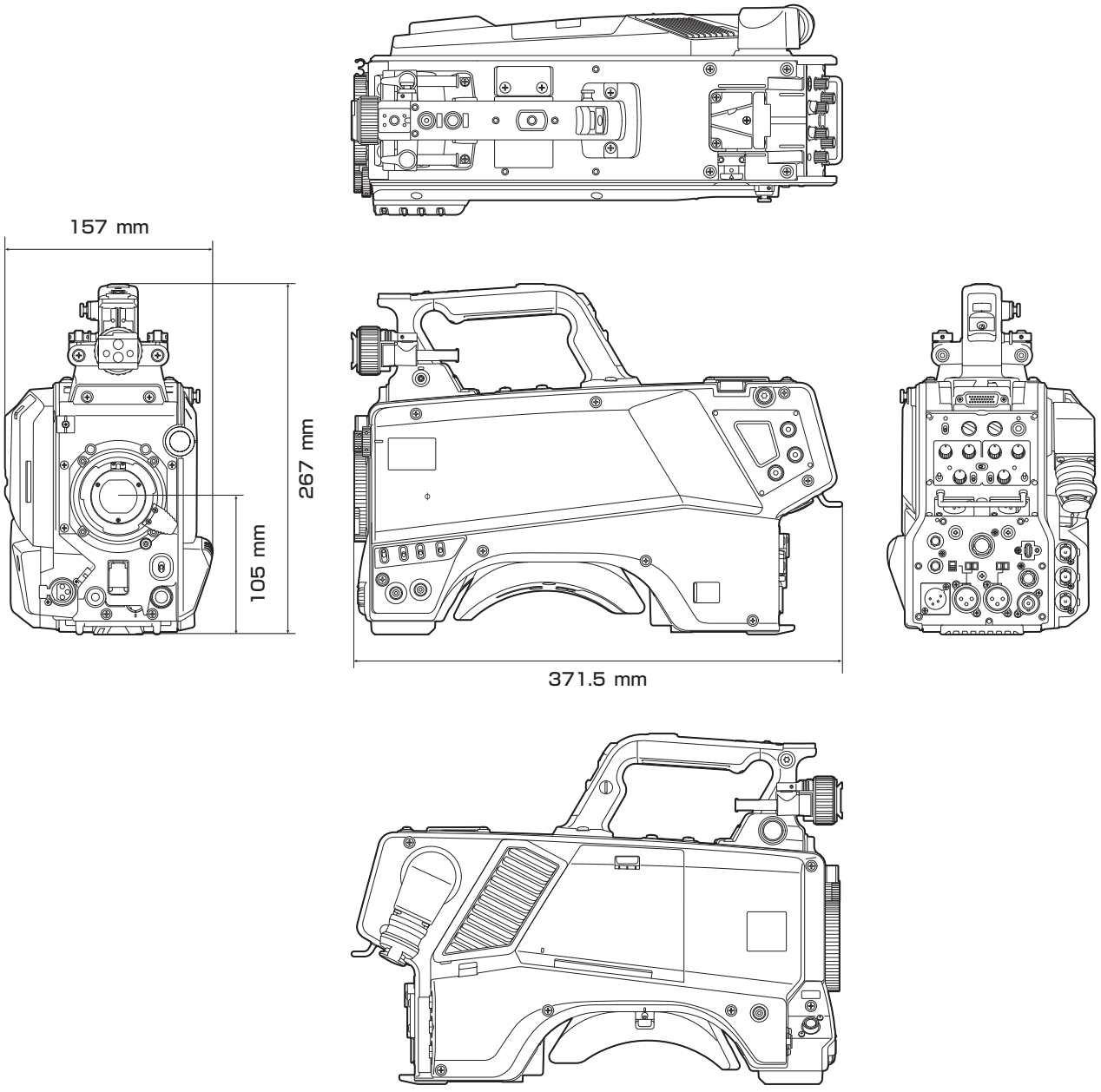
ご連絡いただきたい内容	
品名	4K スタジオカメラ
品番	AK-UCX100
製造番号	
お買い上げ日	
故障の状況	

第７章　仕様

本製品の定格について説明します。

定格

寸法図



定格

総合

電源
DC ⎓ 12 V（外部電源供給時）
AC ～ 240 V、50 Hz/60 Hz（AK-UCU700/AK-UCU700S/AK-UCU710/AK-UCU710S/AK-CFA100 接続時）
消費電力
119 W（外部 12 V 接続時（外部接続機器への供給含む）最大）
360 W（AK-UCU700/AK-UCU700S/AK-UCU710/AK-UCU710S/AK-CFA100 接続時（外部接続機器への供給含む）最大）

▭ は安全項目です。

動作周囲温度	–10 ℃～ 45 ℃ （0 ℃以下では予熱が必要）
保存温度	–20 ℃～ 60 ℃
動作周囲湿度	85% 以下（相対湿度）
質量	約 4.55 kg（本体のみ、付属品を除く）

外形寸法（幅 × 高さ × 奥行）	本体のみ 157 mm × 267 mm × 371.5 mm （突起部分を除く）

カメラ部

撮像素子	1929 万画素、MOS センサー
光学フィルター	FX：CLEAR、CLEAR(OP*)、CROSS、Diffusion、CAP * Option：HD Low Pass Filter ND：CLEAR、1/2、1/4、1/16、1/64
レンズマウント	2/3 型バヨネット式
感度	2 撮影モード [LOW LIGHT]：F10（59.94 Hz）/F11（50 Hz） [NORMAL]：F6（59.94 Hz）/F7（50 Hz） 2000 lx、3200 K、白反射率 89.9% 時
S/N	62 dB 以上
水平解像度	4K：2000TV 本以上（中心） HD：1000TV 本以上（中心）
ゲイン切り替え	–6、–3、0、3、6、9、12、15、18
シャッタースピード	• [59.94i]/[59.94p] モード： 1/100、1/120、1/125、1/250、1/500、1/1000、1/1500、1/2000 • [29.97p] モード： 1/48、1/50、1/60、1/96、1/100、1/120、1/125、1/250、1/500、1/1000、1/1500、1/2000 • [23.98p] モード： 1/48、1/50、1/60、1/96、1/100、1/120、1/125、1/250、1/500、1/1000、1/1500、1/2000 • [50i]/[50p] モード： 1/60、1/100、1/125、1/250、1/500、1/1000、1/1500、1/2000 • [25p] モード： 1/48、1/50、1/60、1/96、1/100、1/125、1/250、1/500、1/1000、1/1500、1/2000
システムフォーマット	3840 × 2160、59.94p、50p、29.97p、25p、23.98p 1920 × 1080、59.94p、50p、29.97p、25p、23.98p （29.97p、25p、23.98p は将来対応予定）

ビデオ入出力部

〈SDI OUT 1〉端子	BNC×1 12G/6G/3G/1.5G-SDI：0.8 V[p-p]、75 Ω
〈SDI OUT 2〉端子	BNC×1 12G/6G/3G/1.5G-SDI：0.8 V[p-p]、75 Ω
〈TRUNK IN〉端子	BNC×1 12G/6G/3G/1.5G-SDI：0.8 V[p-p]、75 Ω
〈G/L IN/REF OUT〉端子	BNC×1 〈G/L IN〉：3 値 SYNC またはブラックバースト 〈REF OUT〉：ブラック（バーストなし）信号

オーディオ入出力

〈MIC 1〉端子	XLR×1、3 ピン 〈LINE〉/〈MIC〉/〈+48V〉切り替え式 〈MIC〉時、〈FRONT〉/〈REAR〉切り替え式 〈LINE〉：0 dBu、+4 dBu メニュー選択可 〈MIC〉：–60 dBu、–40 dBu、–20 dBu メニュー選択可
〈MIC 2〉端子	XLR×1、3 ピン 〈LINE〉/〈MIC〉/〈+48V〉切り替え式 〈LINE〉：0 dBu、+4 dBu メニュー選択可 〈MIC〉：–60 dBu、–40 dBu、–20 dBu メニュー選択可
〈MIC〉端子（フロント）	XLR×1、3 ピン 〈MIC 1〉端子との切り替え式

インターコム部

〈INTERCOM1〉端子	XLR×1、4 ピン
〈INTERCOM2〉端子	XLR×1、4 ピン
〈EARPHONE〉端子	ステレオミニジャック ×1、3 ピン

その他入出力部

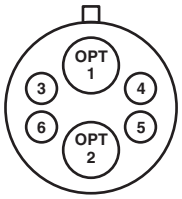
〈SFP 1〉端子	SFP28 ×1
〈SFP 2〉端子	SFP28 ×1
〈OPT FIBER〉端子	光複合コネクター ×1
〈LENS〉端子	12 ピン ×1
〈VF〉端子	20 ピン ×1
〈VF〉端子（リア）	29 ピン ×1
〈DC IN〉端子	XLR×1、4 ピン、DC12 V
〈DC OUT 12V 1A〉端子	4 ピン ×1
〈RET CTRL〉端子	6 ピン ×1
〈EXT I/O〉端子	20 ピン ×1、DC 12 V、0.5 A
〈REMOTE〉端子	10 ピン ×1
〈DC OUT 12V 2.5A〉端子	2 ピン ×1
〈LAN〉端子	RJ-45×1
〈USB3.0 HOST〉端子	タイプ C コネクター
ビルドアップ端子	20 ピン ×1

本製品（付属品を含む）に表示の記号は以下を示しています。

～	AC（交流）
⎓	DC（直流）

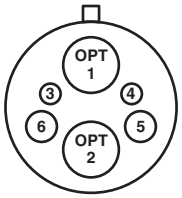
コネクター信号の内容

OPT FIBER



1	OPT-RX（Mark Band=IN）
2	OPT-TX（Mark Band=OUT）
3	AC240V（C）
4	AC240V（H）
5	STBY-CONT
6	STBY-SIG

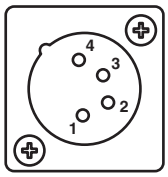
多治見無線電機

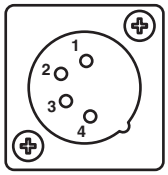


1	OPT-RX（Mark Band=IN）
2	OPT-TX（Mark Band=OUT）
3	STBY-SIG
4	STBY-CONT
5	AC240V（H）
6	AC240V（C）

LEMO

INTERCOM





1	TALK GND
2	TALK
3	RECEIVE GND
4	RECEIVE

XLR-4-32-F77（アイティティキャノン）

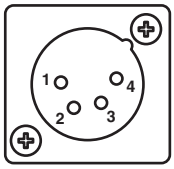
RET CTRL



1	INTERCOM1 MIC ON
2	INTERCOM2 MIC ON
3	GND
4	RET CONT3
5	RET CONT1
6	RET CONT2

HR10A-7R-6SB（73）（ヒロセ電機）

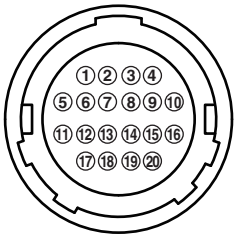
DC IN



1	UNREG GND
2	未使用
3	未使用
4	+12 V

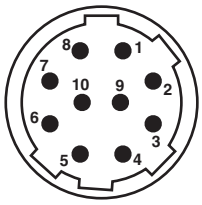
XLR-4-32-F512（アイティティキャノン）

EXT IO



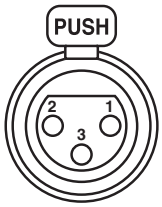
1	CRANE DATA（H）
2	CRANE DATA（C）
3	CRANE CONT（H）
4	CRANE CONT（C）
5	GND
6	CRANE INTERCOM RECEIVE
7	CRANE INTERCOM RECEIVE GND
8	CRANE INTERCOM TALK
9	CRANE INTERCOM TALK GND
10	CRANE PGM1 LEVEL
11	CRANE PGM2 LEVEL
12	未使用
13	未使用
14	G TALLY VF
15	R TALLY VF
16	T TALLY VF
17	CRANE ACT
18	UNREG +12 V
19	未使用
20	UNREG GND
HR10A-13R-20SC（ヒロセ電機）	

REMOTE



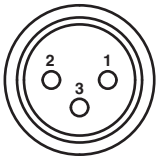
1	CAM DATA（H）
2	CAM DATA（C）
3	CAM CONT（H）
4	CAM CONT（C）
5	未使用
6	未使用
7	未使用
8	未使用
9	UNREG +12 V
10	UNREG GND
HR10A-10R-10SC（ヒロセ電機）	

MIC（フロント）



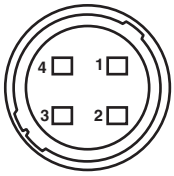
1	GND
2	AUDIO IN（H）
3	AUDIO IN（C）
XLM-3-31-PCS-F（アイティティキャノン）	

MIC（リア）



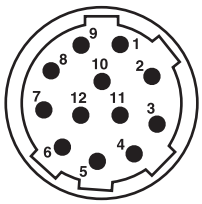
1	GND
2	AUDIO IN（H）
3	AUDIO IN（C）
XLM-3-32-PCS-F（アイティティキャノン）	

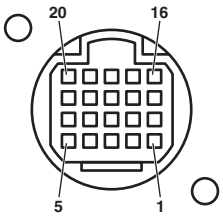
DC OUT 1.0A



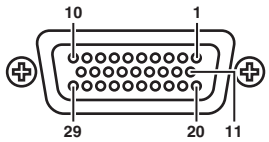
1	GND
2	R TALLY（オープンコレクター）
3	G TALLY（オープンコレクター）
4	UNREG+12 V（最大 1.0 A）
HR10A-7R-4SC（ヒロセ電機）	

EARPHONE		
—	1	GND
	2	AUDIO OUT1
	3	AUDIO OUT2

LENS		
	1	RET-SW
	2	REC
	3	GND
	4	IRIS-AUTO
	5	IRIS-CONT
	6	UNREG +12 V
	7	IRIS-POSI
	8	IRIS-G-MAX
	9	EXT-POSI
	10	ZOOM-POSI
	11	FOCUS-POSI/LENS-RXD
	12	IRIS-AUTO/LENS-TXD
	HR10A-10R-12SC（ヒロセ電機）	

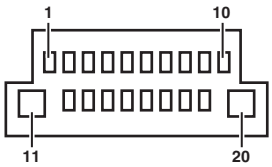
VF（フロント）		
	1	UNREG-12V
	2	UNREG-12V
	3	+9 V
	4	VF-P_B-OUT-GND
	5	VF-P_R-OUT-GND
	6	VF-Y-OUT
	7	VF-Y-OUT-GND
	8	VF-CLK
	9	VF-WR
	10	VF-DATA
	11	UNREG-GND
	12	ZEBRA-SW
	13	PEAKING
	14	TA BOX ACT
	15	VF-P_B-OUT
	16	VF-P_R-OUT
	17	VF-SW3
	18	FRONT-VR
	19	TA TALLY
	20	GND
	HR12-14RF-20SDL（ヒロセ電機）	

VF（リア）



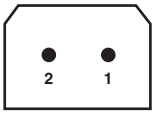
1	VF-Y-OUT
2	VF-P_B-OUT
3	VF-P_R-OUT
4	CAM DETECT
5	I2C DATA
6	R TALLY
7	T TALLY
8	UNREG +12 V
9	UNREG +12 V
10	UNREG +12 V
11	VF-Y-OUT-GND
12	VF-P_B-OUT-GND
13	VF-P_R-OUT-GND
14	AGND
15	DGND
16	未使用
17	UNREG GND
18	未使用
19	FGND
20	LCD ACT（未使用）
21	未使用
22	未使用
23	PEAKING CONT（未使用）
24	I2C CLK
25	G TALLY
26	VF P REQ
27	RESERVED
28	RESERVED
29	RESERVED
	D02F-29SF-N-F0（日本航空電子工業）

BUILD UP



1	未使用
2	VF-P_B-OUT-GND
3	VF-P_B-OUT
4	VF-P_R-OUT-GND
5	VF-P_R-OUT
6	VF-Y-OUT
7	VF-Y-OUT-GND
8	CAM DATA
9	CAM CONT
10	未使用
11	AC（H）
12	未使用
13	IRIS POS
14	GND
15	IRIS CNT
16	FOCUS POS/L2C DATA
17	C2L DATA
18	BU ACT
19	未使用
20	AC（C）
	QR/P8-20S-C（ヒロセ電機）

DC OUT 2.5A



1	UNREG +12 V
2	UNREG GND
	VJS4444（パナソニック）

さくいん

A
[AUDIO] 52

B
[BASIC CONFIG] 46

D
DC 電源 40

F
[FILES] 98
[FOCUS SETTING] 90

I
[INTERCOM] 53
[IP SIGNAL] 57

L
[LENS] 92

M
[MAINTENANCE] 100

N
[NETWORK] 48

O
[OUTPUT] 50

P
[PAINT] 70

R
[RETURN] 51

S
SFP モジュール 30
BiDi SFP28 モジュールの取り付け 30
[SUB DISPLAY] 92
[SWITCH ASSIGN] 97

T
[TRACKING DATA OUTPUT] 97

W
Web 設定画面 [Setup] 116
カメラ画面 [Image/Audio] 124
システム画面 [System] 118
信号設定画面 [Signals] 123
設定状態画面 [Setting status] 118
ネットワーク設定画面 [Network] 163
メンテナンス画面 [Maintenance] 180
ユーザー管理画面 [Access mng.] 160
連携機能 [Linkage] 158

かな

か
外部 DC 電源 40
外部電源 40

く
駆動時間 188

こ
コネクター信号 196

て
定格 193

ね
ネットワーク設定 107
設定用ソフトウェア 107

は
パーソナルコンピューターの環境 10

ひ
ビューファインダー 31
ビューファインダーの取り付け 31
リアビューファインダーの取り付け 32

ふ
フレーム周波数の設定 18

ま
マイク 37
ビューファインダーに取り付け 37
マイクホルダーに取り付け 38

め
メニュー
構成 45
操作 43

ゆ
ユーザーファイル 41

ら
ライブ画面 [Live] 112

わ
ワーニング表示 189

パナソニック コネクト株式会社
パナソニック株式会社
〒571-8503　大阪府門真市松葉町2番15号　☎ 0120-872-233

© Panasonic Corporation 2025-2026